

【文化映画（自然）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-1-1	アラスカ （氷河と動物たち）	30	小・高学年以上 一般	<p>原始の姿をそのままの形にとどめるその自然、そして野生動物の宝庫としてもアラスカは世界屈指の貴重な地域である。映画では、アラスカヒグマの野生の饗宴を中心にムース、カリブー、アメリカの国鳥であるハクトウワシ、そしてアラスカの短い夏をいろどる美しい花々など、豊かな生物のいとなみを大自然を背景として白夜の季節に描いていく。</p> <p>（文部省選定）</p>
1-1-2	オーストラリア ～野生の驚異と大自然～	30	小・高学年以上 一般	<p>オーストラリア、他の世界との接触を一切もたずに長い年月を過ごしたこの大陸は、自然科学の見地から最も興味ある地域として新たな注目を集めている。おなかの袋の中でこどもを育てるカンガルーやコアラ、卵から生まれて母乳で育てカモノハリモグラ、進化した鳥のアズマドリやツツクツクリなど珍しい生態の生物を大自然の中に追う。</p> <p>（文部省選定）</p>
1-1-3	母なる河ボルガ	40	中学生以上 一般	<p>「母なるボルガ」と呼ばれ、数多くの伝説と民謡を生みだしてきたボルガ…。これまでその全貌が明らかにされなかったボルガ全流域。NHKは外国のテレビ局として初めてその取材に成功。これはボルガをめぐる旅行記の形をとりながら、今日のソ連を眺め、ロシア人の素顔を伝える貴重な記録であり、ソビエト理解のための格好の映画教材である。</p> <p>（文部省選定）</p>
1-1-4	氷海を越えて （第1集）	30	中学生以上 一般	<p>第7次南極観測船「ふじ」は数か月をかけて南極海域に近づいた。目的地に近づくに従って氷の海が広がっていく。「ふじ」に積み込んだヘリコプターで氷の状態を調べるなど目的地に到着するまでの様々な苦闘を記録している。</p>
1-1-5	よみがえる昭和基地 （第2集）	24	中学生以上 一般	<p>さまざまな困難をのりこえて第7次南極観測調査隊はようやく目的地に到着した。基地を二倍に広げる作業が急ピッチで進められる。設備の設置を終え、本格的な越冬観測が始まる。よみがえった昭和基地を足掛かりに、南極観測する人たちの姿を記録していく。</p>
1-1-6	黒部峡谷 —日本の自然—	27	中学生以上 一般	<p>北アルプスの高峰を背景に冬の黒部峡谷の自然の美しさを描いている。えさを求めて歩きまわるカモシカ親子の生態を中心に、ツキノワグマ、アナグマなどの動物たち、そして渓流をよじ登るイワナの群れなどにもふれている。雪どけとともににはじまる小鳥たちのコーラス、黒部の四季は微妙に移り変わる。</p>
1-1-7	日本人の富士	43	中学生以上 一般	<p>「高く美しくそびえる山、富士山。それは日本人のふるさとである。…」この映画は北海道から九州までの有名な「ふるさと富士」を紹介するとともにその周辺に生き、富士の心をよりどころとして暮らす日本人の姿を描いたドキュメンタリーである。</p> <p>（文部省選定）</p>
1-1-8	エベレストへの道 第1集 —300キロのキャラバン—	30	中学生以上 一般	<p>ネパールの首都カトマンズからエベレストのふもとのベースキャンプ、5,350mの氷の丘まで30トンの膨大な物資を、約千人のシェルパ、ポーターの力で運び上げるまでを描く。隊員と現地の協力者たちの出会いに、前途に輝く希望に相互の信頼と協力の素朴な顔が浮かぶ。出発を祝う現地の人々の祈りをこめた見送りなど珍しい交歓風景を描いていく。飽くことのない雄大な自然と美しい画面が続いていく。</p>
1-1-9	エベレストへの道 第2集 —氷雪とたたかう—	30	高校生 一般	<p>ベースキャンプから難関のアイスフォールを越えるまでの苦闘を伝える。いよいよ困難なポイントにさしかかる一行の姿が克明に写しだされる。発生したいくつかの事件（スリップ事故、成田隊員の不慮の死に遭遇した隊員の悲痛な顔、シェルパの死）等とその波紋を伝える。こうしたさまざまな困難と戦いながら、さらにきびしい技術的精神的努力によって、最大の難関を克服していく。</p>
1-1-10	エベレストへの道 第3集 —頂上に立つ—	30	高校生 一般	<p>いよいよ最後の挑戦である。きびしい自然とのとりくみ、氷と雪の表層にいとむ姿。固く凍ったブルーアイス、ゆくてをははむ落石、酸素不足に加えて猛吹雪、寒さに耐えてゆくたくましい前進とそれを支える科学観測、医療の、地味ながらも頼もしい仕事ぶりを克明に描いていく。登頂に成功した植村隊員らの雪焼けの笑顔に伝わる涙が印象的である。日本人の初めて味わう感激の一瞬である。</p>
1-1-11	日本の屋根 —長野県の自然—	30	高校生 一般	<p>日本の屋根といわれる中部山岳地帯に、残された自然を見ることが出来ます。雪の下から春を感じるフクジュソウの群落、ひなを育てる野鳥たち、厳冬の岩場に餌を求めるカモシカ、あらためて生命の尊さ自然の価値を実感するでしょう。また人間のくらしも自然と深く結びついていました。身近な生活の中にも驚くべき自然はあります。夕暮れの善光寺に舞うムクドリの大群は、さまざまなことを私たちに語りかけます。</p> <p>（文部省選定）</p>

【文化映画（自然）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-1-12	乗鞍の自然とくらし	27	高校生 一般	稜線がまだ残雪におおわれている5月のはじめの乗鞍岳。修験道の滝もある信仰の山ともされる夏の乗鞍。高山植物の宝庫と化す秋の乗鞍高原。新雪の稜線に飛鳥から雪が流れこむ冬の乗鞍。四季おりおりの山の姿を動物・植物・人々の生活様式などをまじえながら詩情豊かにうたいあげていく作品である。自然味あふれた画面に、思わず身も心も洗い清められていく様な気がする。  (文部省選定)
1-1-13	北アルプス 冬の上高地	30	高校生 一般	冬、上高地はたどりつくことすら容易ではないほどの厳しい世界である。夏のやさしさしか知らない人には、想像もつかない。冬の上高地は全くの白い谷間である。そんな白い谷間も、ひっそりと息づいている。厳しい世界と戦いながら、春の訪れを待つ谷間の息吹きをカメラは克明に追い、自然の厳しさを鮮やかに描き出している。
1-1-14	信州の自然と人	30	高校生 一般	信州は日本でも自然が残されているところです。信州における自然と人間のかかわりを過去、現在にわたってみつめ、かつては自然利用のルールを守っていた生活習慣を、今の私たちの生活は、ともすれば自然を破壊してしまいます。賢明な自然利用のために何が必要かを自然観察の集まりや野外活動のグループを通じて、皆で考えようとする映画です。  (文部省選定・観光映画コンクール優秀賞)
1-1-16	日本のこころ 日光	25	一般	「日光を見ずして結構というなかれ」で知られる豪華絢爛たる日光は、年間1,500万人といわれる観光客で賑わっています。しかし、奈良朝のむかしからの歴史を物語る遺跡などをとどめる日光には、ほとんどの人が気付かずにいるようです。この映画は、勝道上人が靈感を求めて男体山に分け入った時から始まり、現在につづく日光山・二社一寺の全貌をより深く知ってほしいと製作されている。
1-1-17	自然の王国 —アフリカの動物たち—	33	一般	この映画は、大自然と動物たちと人間の調和ある生活が再び戻ってくる事を願って、アフリカに残された貴重な自然と野生動物の姿を記録したものです。青い空、澄みきった大気、輝く眩しい太陽、その豊かな大自然の中で生き生きと生活している野生の動物たち。我々は、この豊かな大自然を大切に、生命あるすべての物に愛情の手をさしのべる時だといえます。
1-1-18	北極の大自然	30	一般	北極圏には、北極海を取り巻く北緯66度30分以上のシベリア、グリーンランド、アラスカなどが含まれる。寒さのきびしい北極の水にも暖かいほかの海と同じように、さまざまな生物が独特の適応性をもって生活している。北極グマ、セイウチ、アザラシ、北極ギツネ、ケワタガモ、ウミウシ、ウミガラス、ガンギエイ…広大な北極圏の大自然、野生の動物たちの生態を描く感動のドキュメントである。
1-1-19	干潟の詩（うた）	31	小・中学年以上 一般	子どもから大人まで私たち人間には本能的に抱く自然への共感があります。私たちの母なる自然であった干潟を通して、ただそれだけを語りかけたかったのです。自然保護や生命の大切さ、人の心のやさしさを明るく干潟を舞台に詩情豊かな画面と音楽でやさしく訴えます。自然を知らない都会の少女と、自然そのもののような海辺の少年の出会いと別れの物語を通して、自然の保護を強く訴えます。
1-1-20	大いなる南極大陸	31	小・高学年以上 一般	地球における氷の大陸、南極の特色を理解させ、日本調査隊の22次にわたる研究・調査の記録を中心に、すばらしい南極の自然を紹介していく。昭和基地の一年の推移と自然の姿。海・陸・水・植物・動物・気象・大気上昇の現象・隕石などの研究を、南極の四季折々の変化や、エピソードを加えて楽しみながら、極地に対する認識を深めることをねらいとしたものである。  (文部省選定)
1-1-21	南極観測10年の歩み	45	小・高学年以上 一般	日本で最初に南極大陸を訪れたのは明治45年、白瀬中尉の一行でした。戦後、歴代の隊員が現地「昭和基地」を中心にどのような生活をし、研究活動を続けてきたのか、私たちに強い印象を残した数々の出来事が貴重なフィルムによって紹介されていきます。南極には国境がなく観測資料は開放されています。探検の時代を終えた今は、各国の協力で安定した研究時代に入ったと言えるでしょう。
1-1-22	ライン川 川と文化と歴史	30	中学生以上 一般	ライン川はアルプスに源を發し、スイス・リヒテンシュタイン・オーストリア・フランス・ドイツ・オランダの6か国を通り、その長さ1,300kmの流れが北海へと注いでいる。上流にはまだまだたくさんの大自然が残り、流域には中世ローマ時代の荘厳な建物が残る町が点在している。ライン川の上流から河口までの自然や歴史、そして産業・文化などを紹介していく。

【文化映画（自然）】

1-1-23	喬戈里（チョゴリ）峯への道 —もう一つのシルクロード—	30	高校生 一般	崑崙山脈を越えてカラコルム山系のチョゴリ山麓に至る山岳路は、インド・パキスタンを結ぶ交易路の一つであり、いわばもう一つのシルクロード地帯である。ほとんど世界に紹介されことなく地球上の数少ない空白地帯として残されてきたところである。秘境の風土とそこに住む人びとの生活、崑崙山の山々、タクラマカン砂漠の砂の発生の秘密、キルギス族の生活ぶりなどを映像で紹介。  (文部省選定)
1-1-24	喬戈里（チョゴリ）峯 —北稜初登頂—	43	高校生 一般	チョゴリとは、現地言葉で「大なる山」を意味する。標高8,611mの山で国際的に通用しているK2の別名が示すとおり、エベレストにつぐ世界第2位の高峰である。中国側の北稜ルートは前人未踏のルートであり、それにいどむ日本山岳協会の登山隊の困難な登頂の様子をあますところなく紹介する。日中国交回復10周年にあたり、その記念行事の一環として中国から入山許可がおりたものである。
1-1-25	木曾川 —その源流をさぐる—	30	高校生 一般	湯水から濁流へと変貌する源流部の木曾川の生きた姿。地球上の水の循環と降水。水が川に集まるまでの経路。積雪・土壌水・地下水などの状態で留まる水と、自然力による川の調節。流れを決め、流れを保つさまざまな要因をみるとともに、川の自然としての機能を探る。
1-1-26	穂高岳讃歌	32	高校生 一般	日本アルプス・穂高岳の四季の移り変わりを背景に、ライチョウなど、そこに生息する生物をまじえながら、その景観を描く。  (文部省特選)
1-1-27	交響詩 立山	39	高校生 一般	第一章大地、第二章祈り、第三章道。日本三霊山のひとつ立山の魅力を、歴史とのふれあいや、山と人のかかわりを織りこみながら交響曲「立山」をバックにえがき出す映画詩。  (文部省特選)
1-1-28	緑と人々の暮らし	27	中学生以上 一般	緑の森林は人々の生活に欠かせません。この森林が地球的規模で見ると急激に減少しています。これは重大です。緑の破壊を防ぐため世界各国は手をとりあって緑化に努力しています。この映画は、わが国の森林と人々の関わりを歴史的に考察するとともに、緑の果たす役割、生態さらに今日的問題点や国の施策などを紹介し、緑とわたしたちの暮らしについてともに考えようとするものです。
1-1-29	特別天然記念物 尾瀬	30	中学生以上 一般	世界まれに見る高層湿原地帯・動植物の宝庫、尾瀬を1年以上にわたる現地ロケで記録した貴重な作品。ミズバショウ・ハッチョウトンボ・ニッコウキスゲなど、四季それぞれに移り変わる景観をカメラでとらえている。  (芸術祭受賞)
1-1-30	—日本の国立公園— 北海道の自然	30	中学生以上 一般	広大な原野、数々の火山、黒々とひろがる大森林、湖、ナキウサギ、ハシボソミズナギドリ、アザラシ(トッカリ)、ヒグマ、マリモ、皆既日食。日本列島のなかでも最も原始の雰囲気にあふれた北海道の4つの国立公園を詩情豊かに、また科学的に記録した作品。  (文部省特選)
1-1-31	ニューギニアの自然 高地の原住民	39	中学生以上 一般	南北を4,000mの山脈にはさまれた高原地帯にくらす約100万の人間が発見されたのは、1930年代に入ってからである。ニューギニアの高地の原住民の暮らしを色彩ゆたかに紹介する。
1-1-32	ニューギニアの自然 極楽鳥をたずねて	38	中学生以上 一般	ニューギニアの学術的にきわめて貴重で珍しい映画である。雄の飾り羽の発達、華麗な愛の踊りなど、鳥のなかできわめて特異な存在である極楽鳥の生態を描く。
1-1-33	日本の川 —信濃川と水の利用—	20	小・高学年以上 一般	川の総合利用の姿を日本の代表的な信濃川を通して描き、新潟平野の農業用水、電力、工業用水、生活用水など、川が人々の生活や産業を支えている様子を理解させる。
1-1-34	富士川をさかのぼって —国土をさぐる—	20	小・高学年以上 一般	静岡県の富士川を例にして、その河口から源流までさかのぼりながら、そのまわりに見られる国土の様子を描いたもの。河口付近の平野、中流の盆地、上流の山地、高原など。さまざまな地形の中で営まれる人々の生活と、土地利用の様子を空撮などにより理解させる。  (文部省特選・文部大臣賞・教育映画祭最優秀作品賞)
1-1-35	日本の河川 —治水の歴史とその背景—	40	中学生以上 一般	日本の河川は、国土の形状などから水害を発生させやすい宿命を背負っている。その宿命に抗し、人々を水害から守るため多くの治水の努力が積み重ねられてきた。そしてそれは、ひとつの日本の歴史でもある。  (文部省選定・日本土木学会選定 他)
1-1-36	森林（もり）へのいざない	27	中学生以上 一般	人間は森林から受ける恩恵として、林業・水資源など経済的側面や気候・酸欠問題など自然環境的側面があげられますが、このほか人間に憩いを与えてくれる側面を見のがすことはできない。この映画は森林が国民の憩いの場として利用されている状況を具体的に紹介し、その一層の利用をすすめて、あわせて木の特質や森林資源の大切さを知ってもらうことを目的としている。

【文化映画（自然）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-1-37	大山の自然	24	中学生以上 一般	伯耆富士といわれる鳥取県の大山は、昔から神々の居ます山として人々におそれられあがめられてきた。その大山は植物や野鳥、そして蝶の宝庫として豊かな自然を残している。自然破壊が進む現代社会の中で、大山を愛する人々はどうか大山を破壊から守ることができるか、けんめいに努力している。この映画では大山の生いたち、大山寺の歴史、大山の美しい四季の移り変わりを通して自然を守る大切さを考える。
1-1-38	穂高は生きている —高山植物の四季—	37	中学生以上 一般	北アルプス穂高岳の大自然。その厳しく長い冬の間、じっと耐えて来た高山植物たちは、つかの間の短い夏、先を争うように美しい花を開き、喜びの詩を奏でる。そのけなげに生きる可憐な姿を詩情豊かに描いた作品。  (文部省選定)
1-1-39	生きている海岸線	30	中学生以上 一般	四方を海に囲まれた日本列島の美しく豊かな海岸線を舞台に、海と陸との接するところでの生物たちの生態を記録した作品。海の大自然を舞台に水中撮影・航空撮影・顕微鏡撮影などをまじえて、生きた海の姿を描く。
1-1-40	森林（もり）は生きている 第1部 森のおいたち	26	中学生以上 一般	日本の森林はどのようにして生まれてきたか。桜島の溶岩台地、尾瀬沼などを例に森林の発生と生長のドラマー遷移を、そこに住む動物たちとの共存生活を交えながら説きあかしていく。さらに、気候や土壌によって種相林が変化する水平・垂直分布のあり様を屋久島から北海道の原生林に至る各地の森林のうちに示し、同時に森林の役割について考える。
1-1-41	森林は生きている 第2部 森の生物たち	24	中学生以上 一般	もの言わぬ静かな森林、しかしそこにはし烈な生存競争がある。森林の消費者、昆虫やけもの。彼らも食物連鎖によって結ばれ、互いに抑制しあい森の命を保っている。そこには眼に見えない物質とエネルギーの循環という大きな自然の力が働いている。ライチョウ、カモシカ、クマタカをはじめ森の生物の生態を、四季の移り変わりの中に生き生きととらえる。
1-1-42	戸隠の四季	25	高校生 一般	長野県、戸隠は観光開発による俗化や自然破壊を免れている数少ない地域である。この映画は、神話や伝説が今も肌で感じられるような四季の自然と、素朴な民俗を紹介するなかで、私たちがいま、生活環境のなかから急速に失いつつある多くの貴重なものを認識する。
1-1-43	日本の国立公園 第一部 九州の自然	15	一般	噴煙を吐きつづける中岳を中心にした阿蘇の火山群、ミヤマキリシマの大群落が飾る九重連峰、そして霧島、雲仙天草などの風景美を克明に描写する。
1-1-44	日本の国立公園 第二部 本州の海	18	一般	季節を晩春から盛夏にとり、瀬戸内海国立公園を中心に、山陰、熊野、陸中などの海岸国立公園の景観を、そこに住む生物や人々の生活を交えて描く。
1-1-45	日本の国立公園 第三部 本州の山	25	一般	富士箱根、伊豆、磐梯朝日、八幡平などの代表的な山岳、高原、湖沼の夏から冬にかけての景観を、そこに生息する動物の姿を交えながら描く。
1-1-46	グランドキャニオン (ビスタ版)	29	一般	映画は、グランド・キャニオンの息をのむような渓谷美の紹介から始まる。そびえたつ断崖、侵食された谷、そして不毛の原野が広がる景観を、フォルデ・グローフェの名曲「グランド・キャニオン」に合わせ描いたもので、記録映画にかかすことのできない解説を入れず、すべて音楽で描き出す新しい試みをした映画である。  (文部省選定・アカデミー短編記録映画賞)
1-1-48	北海道の湿原	32	中学生以上 一般	北海道の釧路地方の湿原を中心に、湿原のもつ特色や湿原地帯に生育する動植物の生態を四季を追ってとらえている。  (文部省選定)
1-1-49	雑木林の四季 —親と子の散歩道—	32	小・高学年以上 一般	雑木林にみられる自然のいたなみの様子を、四季折々の変化を背景にとらえたもので、身近な雑木林を通して、人間と自然のかかわりあいについて考えさせてくれる。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-1-50	富士・箱根・伊豆	34	中学生以上 一般	富士・箱根・伊豆のすばらしい景観を、あますところなく紹介するとともに、人々がこの大自然にたえまなく挑み、新しい観光地として開発していく様子を描きだしている。  (文部省選定)
1-1-51	北陸路の自然	24	中学生以上 一般	北陸の四季折々の変化を紹介していくとともに、きびしい冬の自然の中で春を待つ人々の心を描いている。
1-1-52	磐梯朝日国立公園 —大いなる自然—	20	中学生以上 一般	磐梯朝日国立公園の自然を四季にわたり追ったもので、そこに住む熊やカモシカ、そして移りかわる四季の自然・植物などを通して、自然環境の保護を訴えている。
1-1-53	蝶がとぶ・森	52	小・高学年以上 一般	埼玉県嵐山町の人々が、オオムラサキの保護を訴え、生息地である雑木林を守るため、互いに協力し合い活動を続けていく様子を一年間にわたり記録したもので、自然を愛しその自然を守るため、地域の人々の地道な努力がいかに大切かを、オオムラサキの興味深い生態とともに描いている。  (文部省特選)

【文化映画（自然）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-1-54	生きている森 —生物どうしのつながり—	27	小・高学年以上 一般	自然の中で生活するすべての生物は、目に見えないつながりによって結ばれている。それは、いったいどのようなつながりなのだろうか。
1-1-55	幻のホーチャ族 —中国最少民族・ 魚と共に生きる民—	30	高校生 一般	中国北部・黒龍江の川辺で昔から漁業を中心として生活するホーチャ族。人口が少なく幻の漁労民族と呼ばれるホーチャ族の生活の姿を、厳しい四季の変化を背景にとらえている。  (文部省選定)
1-1-56	オロチョン族 —私たちは山を駆ける狩猟民族—	40	高校生 一般	中国の北限、ロシア連邦と国境をはさむ黒龍江、その南に連なる興安嶺の原生林地帯で、狩猟を中心とした生活を営むオロチョン族の姿を、厳しい四季の変化を背景にとらえている。  (文部省選定)
1-1-57	風車（かじまや）のまわる島	25	小・高学年以上 一般	この映画は、沖縄の瀬底大橋完成前の瀬底島の歴史と暮らしを子どもたちを中心にして描くことにより、受けつぎ伝えてきた自然と一体となった生き方こそ、大切ではないかと訴えている。
1-1-58	日本の四季 花の詩	36	小・高学年以上 一般	植物の、眼で見ることのできない開花していくありさまを、微速度撮影という手段による映像と、和歌や俳句に読まれるような詩情ある四季の風物とを交えて描きあげている。
1-1-59	美しい未来へ —自然保護を考える—	28	中学生以上 一般	日本は、四季の変化と複雑な地形が生んだ多様な植生、そこを生活基盤とするさまざまな野生動物など、豊かな自然に恵まれている。しかし、その美しい日本の自然は、今、急速に失われつつある。この映画は、日本の素晴らしい自然と野生動物を紹介しながら、貴重な自然を守るための人々のさまざまな努力も描き、自然保護の大切さを訴える。
1-1-60	自然の中の水の変化	18	小・中学年以上	水は常温でも蒸発し、空気中に水蒸気として含まれており、水蒸気はまた水に変化することを特殊撮影によって実証的にとらえる。そして、これらの水は自然界で霧や霜、雲や雪などに形を変えて、循環していることを理解させる。  (文部省選定)
1-1-61	美しい地球をよごさないで	25	小学生以上 一般	世界70数カ国の子どもの自然保護に対する叫びが、イギリスで「美しい地球をよごさないで」という絵本になった。その絵を元にドラマに仕上げた作品。東京に住む小学3年生のナナは、おじさんの山小屋で不思議な絵本と出会う。絵本の中から飛び出した女の子と友だちになったナナは、世界中を旅することになる。貴重な体験をしたナナには、やがて『森のささやき』『地球の音』などが聞こえてくる。  (文部省選定)
1-1-62	地球を救うのは君たち (ビデオ有り：1-9-20)	20	小・高学年以上	世界中で問題となっている環境破壊と汚染。その源は私たちの日常生活に起因している。次代に生きる子どもたちも、今直面している地球の危機に無関心ではいられない。この作品は、地球破壊や汚染の現状を見つめ、その解決のために子どもたちにできることを紹介する。
1-1-63	母なる森 ～プナ帯の自然と文化～	32	中学生以上 一般	プナの森では、はるか昔の縄文時代から豊かな生命の営みが繰り返され、動物や植物ばかりか、人間もその恵みを授かってきた。山形県の月山や朝日連峰を舞台に、プナの森の豊かな自然を四季にわたって撮影し、そこに生きる動物や植物の生態を紹介。また、プナの森が食料の宝庫であり供給源であったことや、森が生み出す副産物で人々の暮らしに結びつくトチ餅作りやシナ布織りなども紹介し、プナの森と人間との深い結びつきを描く。
1-1-64	かごしまの自然探訪 ～南北600キロの旅～	30	小・高学年以上	北海道で初夏に生まれ、夏を過ごしたアカショウビンの親鳥とヒナが、奄美大島まで移動する様子を紹介。また、経由地の鹿児島や屋久島などの珍しい動物や植物を紹介する。
1-1-65	富士山の自然誌	30	小・高学年以上	日本人の魂のふるさととも言うべき富士は、自然の宝庫として知られている。この映画は、富士山をフィールドとする優れた生物学者たちの協力のもとに、四季の自然の息吹きをとらえた記録。
1-1-66	1本の木が支える生命 (ビデオ有り：1-1-14)	10	高校生以上	熱帯雨林には、単位面積当たりの動植物の種類がきわめて多いという特徴がある。例えば、1本の木は表面部から梢までを見ても、そこには多様な環境があり、生物たちはその微細な環境に適した暮らしをしている。この作品は「熱帯雨林の大規模破壊」の問題を取り上げ、現状認識の基礎となる調和のとれた熱帯雨林の(生態学的)環境を描き出す。  (文部省選定)

【文化映画（自然）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-1-67	雑木林 ～人と自然の共生～ (ビデオ有り：1-1-16)	11	高校生以上	雑木林は、クヌギ、コナラなどをはじめとした幾種類もの落葉広葉樹を中心に、アカマツなどの常緑樹からなる混交林である。人間は、炭焼き、シイタケ栽培、落葉かきとさまざまな形で雑木林を利用してきたが、現在はほとんど見捨てられ、荒廃が進んでいる。身近な自然である雑木林をとらえて人間が自然とどう関わっていくべきかを描く。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-1-68	かおるちゃんの昆虫日記	34	小・高学年以上	本州最南端に近い和歌山県古座川町に住む辻かおるちゃん(12歳)は、6000匹の昆虫を採集し、町の昆虫博士といわれている。彼女の活動を通して、昆虫から自然と環境の大切さを学ぶ、ドキュメンタリータッチの児童劇映画。  (文部省選定・厚生省中央児童福祉審議会平成8年度推薦文化財他)
1-1-69	タンポポや虫たちの1日	19	小・中高学年	植物の運動と動物の活動は1日の時刻や天気に関係している。そして人間と同じように環境の変化に適応しながら一定のリズムを保って生活していることを理解させる作品。  (文部省選定)
1-1-70	かごしまの自然探訪Ⅱ ～大地の成り立ちと生物～	30	小・高学年以上	鹿児島県の地形や地質は実に多様で、また、そこに分布する動物や植物は、トカラ列島を横切る渡瀬線を境にしてがらりと種類が変わる。これらの原因である鹿児島県の大地の歴史を、案内役のアカショウビン(水恋鳥)、鹿児島情報キューブとともに訪ねる。
1-1-71	かごしまの自然探訪Ⅲ ～身近な自然と四季の変化～	31	小・高学年以上	季節のうつろいに伴って、鹿児島県の自然の姿も劇的に変化していく。刻々と変化する自然の様相を縦軸に、その中で自然にふれ、自然と親しみ、学んでいく鹿児島の子どもの様子を、いきいきと描き出す。
1-1-72	世界遺産シリーズ 白神山地	21	中学生以上 一般	白神山地のほぼ中心部にあるブナの原生林は、低木や下草にびっしりと覆われている。ここでは尾根と沢が複雑に絡み合い、山腹はいずれも急斜面を呈している。そして落差の大きい滝が随所に見られ…。その自然の魅力と雄大さに圧倒される。
1-1-73	世界遺産シリーズ 屋久島 (ビデオ有り：1-1-35)	20	中学生以上 一般	屋久島では、日本列島の北から南までの凝縮された自然が見られる。亜熱帯の海辺から冷温帯の山頂付近まで、多様な植生が分布している。また、樹齢千年以上になる屋久スギの巨木など、この島でしか見ることが出来ない自然が、世界遺産として評価された。
1-1-74	世界遺産シリーズ 白川郷・五箇山の合掌造り集落	20	中学生以上 一般	富山県の平村相倉、上平村菅沼、岐阜県の白川郷・五箇山。この一帯は冬には豪雪にみまわれるため、独特の形をした家屋を生み出した。その合掌しているような構えを見せる建築には、驚くべき先人の知恵と工夫が盛り込まれている。

【文化映画（動物）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-2-1	特別天然記念物 ニホンカモシカ —行動と生活の記録—	28	小・高学年以上 一般	ニホンカモシカの子別れ、テリトリーをめぐる闘争、繁殖行動、食性や食害問題を秋田県大平山等に探り、その四季にわたる珍しい生態をつぶさに描きながら、野生動物の生きる条件を考える。  (文部省選定・第4回動物愛護映画コンクール優秀作品賞)
1-2-2	ニホンザル 母の愛 —モズの子育て日記—	30	小・高学年以上 一般	長野県志賀高原、地獄谷野猿公苑に集まる野猿の中で、重度四肢奇形のモズというニホンザルが初めて赤ん坊を産みました。こんな不自由な母親に、果たして子育てが出来るとはでしょうか。この映画は群れ生活をするニホンザル社会の中で重度四肢奇形というハンディを負ったモズ親子にスポットをあて、四季を通じて子猿の成長を追いながら、母系社会の母子の絆や母の愛を記録した嬉しいモズの子育て日記です。
1-2-3	日本の自然 クモの世界	20	小・中学年以上 一般	クモ糸を操る狩人。鳴かず、はばたかず、じっと待ち続けて生涯を終る小さな賢者たちのしたたかな一生。それでいてそっと卵を糸のしとねにくるむやさしさ。母性愛だろうか。はじめて記録された不思議なその生態のかずかずを紹介していきます。
1-2-4	日本の自然 セミの世界	20	小・中学年以上 一般	セミの世界—新しい世代の人たちに伝えておきたい。あの頃あった自然とのほのかなふれあい…。もう遠くすぎ去ったその思い出の虫たちの世界。7年もかけてやっと鳴き出した虫たち—これは、その北のセミ雨のセミの生活史です。
1-2-5	日本の自然 チョウの世界	20	小・中学年以上 一般	華麗な舞姫たち—歌に歌われて詩にも詠まれ続けてきた自然の女王たち。卵から蝶になるまでのかくされたその生活ぶり、実に5年もの期間を経てここに公表されました。それでもこれは、その膨大な記録の一部でしかありません。
1-2-6	小鯨の冒険	45	小・高学年以上 一般	この作品はジャック＝イブ・クストーの海洋シリーズ中白眉ともいえる名作です。暖かいカメラの目がコクジラの生態を追います。かつて乱獲のため全滅しかかったコクジラを追ってカリブソ号は北の海から一路南へ向かいます。この調査はコクジラの出産と育児という貴重な生態をフィルムに収めるのが目的です。長い冒険の旅をするコクジラを追った素晴らしいドキュメント映画です。
1-2-7	雷鳥の四季	30	小・高学年以上 一般	雷鳥は高山でしかも豪雪という厳しい条件下にすむため、生態を観察するには非常な困難を伴い、その行動はいまなお多くの謎につつまれている。この映画は、北アルプスの立山に生息する雷鳥の行動をつぶさに観察し、生まれたヒナが成鳥になるまで、同じ親子を徹底的に記録しつつ、一羽の雷鳥の生活史をはじめ明らかにしたものである。  (文部省特選・東京都教育映画コンクール金賞)
1-2-8	ビーバーの谷	33	小・高学年以上 一般	かつて北アメリカ全体は広漠たる緑の原野で、大自然の領分であった。ビーバーの谷は四方をロッキーの岩壁にかこまれ、人間をよせつけない、かくれた谷間にある。数多くの谷がいくつもあの中、この谷だけは、青々として肥沃な土地が広がっている。この映画では、ミソサザイ、サケ、マス、ザリガニ、アライグマ、コヨーテ、マーモット…、この谷に生息する動物のさまざまな生態を紹介する。
1-2-9	母親の役割を考える ～ニホンザルの子育て～	30	小・高学年以上 一般	この映画は、自然ザルの子育ての様子を1年にわたり観察記録したものである。異なった環境で育った2頭のサルを、おりの中で対面させる出合わせ実験を組合わせることにより、子どもの成長における「母親の役割」を科学的に追求し、「隔離飼育でも、母親と一緒にいる場合、色々な事を学び、より多くの社会性を身につけている事、群での母親の役割といった事」などをわかりやすく解説している。
1-2-10	海・自然のバランス ～産卵とふ化～	30	小・高学年以上	海は地球上にすむ全生命の「母」です。特に、海にすむ動物たちにとって海は、生まれ、育ち、生殖し、そして死ぬ、といった生命の営みを繰り返す生活の場です。外敵から身を守るための知恵と本能、そこには調和のとれた素晴らしい世界があるといえます。
1-2-11	たたかう魚たちの世界 ～知恵と行動～	30	小・高学年以上	海は陸上の動物たち以上に、食物としてつながりをもった弱肉強食の世界です。海にすむ弱い動物たちは、知恵と行動で外敵に立ち向かったり、近寄るのを防いでいます。海—神秘の世界。そこにはまだ知られない魚たちの素顔があるのです。
1-2-12	白い鮫と人間	45	小・高学年以上	サメは俗に「海の殺し屋」と呼ばれ、多くの船乗り達から恐れられる存在であり、学問的に謎の多い海の生物でもあるのです。クストー船長以下カリブソ号一行は、この危険なサメを相手に綿密な調査を行った結果、多くの学術的な新発見を得ました。

【文化映画（動物）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-2-13	特別天然記念物 朱鷺（とき）	25	小・高学年以上 一般	今や絶滅の方向に向かっている世界の国際保護鳥朱鷺。その珍鳥の生態を映像としてとどめようと、NHKスタッフが全力をそいで撮影した貴重な記録。特に、新潟県国見山山中で撮影した営巣期の朱鷺の生態は、世界で初めてフィルムに収められた。  (文部省選定)
1-2-14	信州の動物たち	30	小・高学年以上	美しい信州の山々、渓谷、山間の平野や盆地、こうした自然の中にさまざまな生きものが棲息しています。昆虫、魚、鳥、けものたちのみせる生物の躍動に満ちた姿は、あらためて自然の素晴らしさ尊さを教えてくれます。人間をはじめ、どのような生命も自然の大きな体系の中で生きています。自然を、動物たちの生命のいとなみを知ることが、自然保護への第一歩といえるでしょう。  (文部省選定)
1-2-15	東洋のガラパゴス ～琉球列島の動物たち～	25	小・高学年以上 一般	新種ヤンバルクイナの発見で、一躍世界の脚光を浴びた琉球列島の大自然には、ほかにイリオモテヤマネコを筆頭に、世界的に見ても国宝級の生物が沢山生息している。そうした生物の珍しい生態を、鮮やかに描き出す貴重な記録である。  (文部省選定)
1-2-16	アジアの自然 ジャングルの動物たち	30	小・高学年以上 一般	セイロン島（スリランカ）は、アジアで動物が最も保護されているところである。クジャクが寝みのをいっぱいひろげ、シカの群れが走り、ヒョウが歩く。サイチョウが飛び交い、ナメケグマが歩くまさに動物たちの王国である。  (文部省選定)
1-2-17	アジアの自然 湿原に舞う	30	小・高学年以上 一般	ジャワ島に浮かぶさんご礁の島プロランブット。ここには無数の水鳥とジャワオオコウモリが生息している。湿原に住む彼らの生態や飛行ぶりをハイスピード撮影し、鳥の一日を描く。  (文部省選定)
1-2-18	アジアの自然 セイロンの象	30	小・高学年以上 一般	セイロン島（スリランカ）南部のヤラ国立公園が舞台。干ばつにみまわれた同公園を訪れ、数少ない水場にうるおいを求めて現われる象たちを中心に、美しいセイロン島の風物を織りまぜながら描く。  (文部省選定)
1-2-19	アジア・オセアニアの動物たち	30	小・高学年以上 一般	広いアジア大陸、海と島々のオセアニア、そして氷の大陸の南極、地球の約半分を占めるこの大陸と島々にも豊かな自然の営みが続いています。この美しい自然の中で力強く生きる野生動物たちの姿を描き出しています。  (文部省選定)
1-2-20	南北アメリカ大陸の動物たち	30	小・高学年以上 一般	南アメリカのガラパゴス島、アンデス山脈、パタゴニア草原、北アメリカのアラスカ、ロッキー山脈など、南北アメリカ大陸の中でも一年の大半が厳しい自然条件にある地域で、生命の限り生きている野生動物たちの姿を描き出しています。  (文部省選定)
1-2-21	南アメリカの自然 動物の楽園ガラパゴス	30	小・高学年以上 一般	赤道直下にあり、実に珍奇な動植物。そこに生活する原住民を中心に、常人では行くことのできない「楽園」を訪ねる。  (文部省選定)
1-2-22	滅びゆく野生の動物たち ヤマネコ	30	小・高学年以上 一般	1,000万年の間地球に生き続け、いまや絶滅しつつあり、「生きた化石」といわれるヤマネコ。ヨーロッパの森林地帯に生息する、そのヤマネコを追求め、生命の誕生、子育て、闘争などを通して世界で初めて彼らの生態を克明にカメラにおさめた貴重な記録作品。  (文部省選定)
1-2-23	動物たちの行動をさぐる ～アフリカ・サバンナの動物たち～	24	小・高学年以上 一般	動物たちの世界を知り、理解することは失われつつある自然の大切さを知り、ひいては滅びゆく動物たちを救うことにつながる。この映画では、サバンナの中で生きる50種以上の野生動物たちの行動を追いつつながら、動物たちはどのように生活し、生きているかをさぐっていく。  (文部省選定)
1-2-24	山野の鳥 ～あなたも今日から バードウォッチャー・1～	32	小・高学年以上 一般	川原、野原、林などで身近にみかける野鳥。スズメ、ムクドリ、キジバト、カラスを基準にして、こうした野鳥の特徴を良くとらえて、型や色、行動等から、その違いを説明していく。  (文部省選定)
1-2-25	水辺の鳥 ～あなたも今日から バードウォッチャー・2～	25	小・高学年以上 一般	水辺の鳥には、ツル、カモ、カモメを代表とする三つのタイプがある。これらを基準にして、それらの見分け方をスローモーション、ストップモーション、オーバーラップ、イラスト、分割画面を用いて解説する。  (文部省選定・農林水産大臣賞)
1-2-26	欧米の野鳥保護 ～アメリカ・イギリスに見る バード・サンクチュアリー～	27	小・高学年以上 一般	わたしたちの身のまわりから、自然は驚くほどの早さで失われ、自然の中で暮らしている野鳥たちの姿も、年と共に少なくなっている。野鳥たちが安心して暮らせ、わたしたちが野鳥の姿に身近に接することが出来るような、バードサンクチュアリーのアメリカ・イギリスでの実態を紹介し、野鳥保護の意識を高める。

【文化映画（動物）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-2-27	冬を越す生物のからだのしくみ	20	中学生以上 一般	冬、生物は、どのようにして氷点下の寒さに耐えているのだろうか。厳冬期にも葉を落とさない植物、あるいは越冬する昆虫などは、どんな状態になっているのだろうか。凍ってしまうのではないだろうか。凍っても生きていられるのだろうか。それとも、何らかの手段で、凍らずにいられるのだろうか。以上のような問題を追及し、低温環境下における生物の適応の様子を明らかにしたのがこの映画である。
1-2-28	動物の行動をさぐる	28	高校生 一般	動物の行動にはいろいろな意味がある。とりわけ繁殖期には、同種の雌雄、親子間に特別な意味をもった行動が見られる。この映画は、いろいろな動物の興味深い繁殖行動を究明にとらえ、それぞれの行動のもつ意味をわかりやすくえがくとともに、ふだん私達が見ることができない行動研究活動の一端を示したものである。素材—アメリカシロヒトリ・トゲウオの一種イトヨ・オオセグロカモメ。  (文部省選定)
1-2-29	ひなにとって親とは何か imprinting ~すりこみ~	20	P T A 女性	行動学者であるローレンツの「すりこみ理論」の概要を描くこの映画により、「すりこみ現象」を理解するとともに、生体の発達初期に与えられる経験(刺激づけ)が、その後の発達に重要な影響をもつことを考え、乳児保育における親の育児観を高める。  (文部省特選・文部大臣賞)
1-2-30	熱帯アジアの動物	30	小・高学年以上 一般	60mを越す巨木の密生するジャングル、そして湿原。自然環境の変化が激しい熱帯アジアは、インドライオン、ワニ、トラなど、きわめて特色のある動物たちの生息地となっている。これは、猛暑と危険の中で動物の生態を追い続けた貴重な記録である。
1-2-31	動物園に チンパンジー村の掟を見た	30	小・高学年以上 一般	舞台は東京、多摩自然動物公園。チンパンジー村にカメラをすえ、その“住民”の一日の生活をつがさに追った。すると、そこにあきらかに彼らの社会に独特の集団生活のルールとも呼ぶべき掟のあることが確認された。チンパンジー社会に見るルール、親子の愛情、ボスの責任感あふれる活躍ぶりなどを、チンパンジーのユーモラスな姿の中に描く異色のドキュメント作品。
1-2-32	やあやあコアラ君	20	小・低学年以上 一般	コアラの故郷オーストラリアでは、どこへ行っても、とびはねるカンガルーと、森はユーカリの木である。コアラは一日のほとんどもこのユーカリの木の上で生活している。太い幹、枝ばかりでなく、かなり細い枝でも上手に登ってゆくが、時々木から木へ移動するために、地上を歩かなければならない。その格好はまことにユーモラス、縫いぐるみか歩いてみたい…。
1-2-33	日本の自然 テントウムシの世界	20	小・中学年以上 一般	テントウムシの世界—きつと造物神が胸につけたに違いないこの赤いウルシ塗りのペンダントたち。葉かげに産まれ、岩かげに眠るテントウムシのかわいい四季をNHK特撮取材班が、あますところなく記録した集大成版。
1-2-34	日本の自然 トンボの世界	20	小・中学年以上 一般	トンボの世界—自然は突拍子もないものをつくってしまった。水中のジェット機のヤゴ、とびまわる虫を手当たり次第攻撃する4枚はねの飛行機トンボ。早春に始まり、夏に栄え、冬を迎えるそのトンボたちの生活史を5年がかりで詳細に記録。
1-2-35	日本の自然 ハチの世界	20	小・中学年以上 一般	ハチの世界—驚くべき虫の知恵、白壁をはう孤独な勇者と花園に集う花蜂の群れ、ゆるぎなき社会生活を背景に敢然と外敵に立ち向かっていった蜜蜂たち…。それは小さな世界の騎士たちが描き出した、たくましく且つ詩情豊かなドキュメントである。
1-2-36	ゲンジボタル	19	小・中学年以上 一般	かつては日本の夜をやさしい光でいろどり、今では大変少なくなってしまうゲンジボタル。その生態、生活条件、生活史を克明に描き出した貴重な記録である。そしてボタルと自然を守る人々の活動をも記録しながら、豊かな自然、美しいふるさととは何かを考えさせる。
1-2-37	深海の探険	40	小・高学年以上 一般	かぎりなく広がる大海原。その底は深い神秘に包まれている。この神秘の世界を探る種々の潜水艇がここでは数多く紹介される、ジャック=イブ・クストーの海洋冒険シリーズ。
1-2-38	沈黙の世界	86	一般	永遠の神秘となぞをふくんで、我々をたえずロマンと冒険の世界へとかりたてる海—。その壮大な沈黙の世界に限りない危険を乗り越えていどんだ画期的なジャック=イブ・クストーの長編記録映画。  (カンヌ映画祭グランプリ)
1-2-39	日本列島ワンワン地図	25	小・高学年以上 一般	犬は遠い昔から人間とともに暮らして、いろいろ役立ってきた。日本では、特に狩りに活躍してきた。北海道犬、大型の秋田犬、中型の甲斐犬、小型の柴犬などの日本犬を通して人と犬との協力の姿を描く。

【文化映画（動物）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-2-40	特別天然記念物をさぐる ～イリオモテヤマネコ～	25	小・高学年以上 一般	特別天然記念物のイリオモテヤマネコは、南国沖縄の西表島だけに生息していて、1965年に発見された。イリオモテヤマネコは数が少ないうえに夜行性でなかなか出会うことの難しい動物である。今に地球上から姿を消してしまう恐れのあるイリオモテヤマネコを守るため、美原地区の牧場で偶然保護された仔ネコから多くの手掛かりを見つかる。
1-2-41	ヤンバルクイナの親子 ～頑張れ！3羽のヒナたち～	25	小・高学年以上 一般	1981年、野生動物の宝庫として知られる沖縄本島の原生林ヤンバルで発見されたヤンバルクイナは、谷あいの水辺や湿原に住む、とても美しい鳥である。この映画は、ヤンバルクイナの親子の行動を追いながら、豊かな自然の保護の必要性和野鳥保護の意識を高める。
1-2-42	タンチョウヅル 親と子の絆	25	小・高学年以上 一般	5月の終り、釧路湿原の春が真っ盛りの頃ヒナが誕生し、そして子育て。11月親鳥夫婦は、ヒナを連れ、湿原から人里へと移る。厳しい冬の群れ生活、その中で親子の結びつきは強く、ヒナはたくましく成長していく。この映画では、釧路湿原の厳しさのなかでタンチョウ親子の交流を詩情豊かに描く。
1-2-43	動物たちの世界 ～オーストラリア編～	25	小・高学年以上 一般	オーストラリアには、他の大陸では見ることのできない野生動物、有袋類などが数多く住んでいる。ユーカリの木を登るコアラ。カンガルー、カモノハシなどの野生動物の珍しい生態を、鮮やかに描き出す貴重な記録である。
1-2-44	動物たちの世界 ～中国編～	25	小・高学年以上 一般	中国の内蒙古の草原には、家畜以外の蒙古ガゼル、クロヅル、オオカミなど世界的に見ても貴重な野生動物が生息している。この映画は、そうした動物が美しい自然の中で力強く生きる姿を克明にとらえている。
1-2-45	動物たちの世界 ～北アメリカ編～	25	小・高学年以上 一般	この映画は、北アメリカの国立公園の野生動物（トランペッターズワン、エルク、白頭ワシ、バイソンなど）の生態を克明にとらえるとともに、人間と野生動物の共存の試みを紹介し自然保護とは何かを考えさせる。
1-2-46	動物たちの世界 ～南アメリカ編～	25	小・高学年以上 一般	最後の秘境といわれている南米大陸アマゾンの流域の野生動物イグアナ、アナコンダ、アルマジロ、ピラニア、ハキリアリ、バクなどの生態を克明にカメラにおさめた貴重な記録作品。
1-2-47	絶海の島々	26	小・高学年以上 一般	ガラパゴス、フォークランド、グアダルペ、ミッドウェイなどの島々には、厳しい自然条件の中できわめて特色ある野生動物が生息している。ガラパゴスペンギン、陸トカゲ、海トカゲ、象アザラシなどの動物たちの姿を島々の風物を織り混ぜながら描く。  (文部省選定)
1-2-48	ジャングルキャット	22	小・高学年以上 一般	「ジャングル・キャット」は、南アメリカ産のジャガー(アメリカヒョウ)の別名で、見事なまでの雄姿が美しいカラーフィルムに収められている。広漠として神秘的なアマゾン流域のジャングル地帯の中で展開される闘いや家族との生活をさまざまな角度から観察、二年間にわたって追目のカメラ・アイでその状況を撮影したものである。  (文部省選定)
1-2-49	日本の鶏	30	中学生以上 一般	特別天然記念物として保護されている土佐のオナガドリをはじめ、トウテンコウ、シャモなど日本の鶏として古い歴史をもつ17種の鶏をとらえ、それぞれの特徴を説明している。  (文部省選定)
1-2-50	10000Kmの架け橋 ～鳥が結ぶ日本・オーストラリア～	47	中学生以上 一般	オオジシギは、秋にオーストラリアへわたり越冬し、春に日本、特に北日本へ帰って繁殖する。このオオジシギの四季の生態を、日本とオーストラリアの自然を背景にとらえている。
1-2-51	はばたけオオタカ・ チョウゲンボウ ～那須野原の猛禽たち～	30	中学生以上 一般	栃木県北部の那須野原は、今もアカマツを主体とした平地林が多く見られ、オオタカをはじめとする猛禽類のための良い環境が、まだ残っている。この映画は、そのオオタカとハヤブサのなかまのチョウゲンボウの抱卵から巣立ちまでを中心に、猛禽たちの生活と現状を紹介する。  (文部省選定)
1-2-52	奥羽の鷹使い ～日本の狩猟習俗～	33	中学生以上 一般	奥羽地方では、猛禽クマタカを飼いならして野うさぎなどを捕えるタカ狩りが伝承されてきた。この映画は、滅びゆく鷹使いの伝統習俗を記録した民俗資料で、冬山の厳しい大自然の中で、人と鷹とが一体となっておこなう狩猟には、自然と共存し、調和を保って生きてきた山の民の息づかいがうかがえる。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-2-53	野生のイノシシ ～出産から子育ての記録～	30	小・高学年以上 一般	イノシシは、外観から受ける感じとは違って、非常に敏感で用心深い動物である。そのため、その生態をとらえることは、困難なこととされていた。この映画は、数年を費やして、ようやくカメラに収めることができた貴重な野生の記録である。  (文部省選定)

【文化映画（動物）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-2-54	大きく育て！アオウミガメ ～小笠原の自然に生きる～	30	高校生 一般	小笠原諸島は、いま絶滅の危機にさらされているアオウミガメが産卵におとずれる、日本で数少ない産卵地の一つである。この映画は、小笠原におけるアオウミガメの生態とその保護、増殖の現状をとらえ、自然環境の保全や生きものの保護の大切さと、これを推し進める人々の苦悩と地道な活動をありのままに描いている。 (文部省選定)
1-2-55	海の野生動物	30	中学生以上 一般	南米のさまざまな海に住む動物たちの、ユニークな生態を追いながら、長い歴史の海の世界を描く。 (文部省選定)
1-2-56	白い荒野	28	小・高学年以上 一般	今から数千年の昔、地球が氷河時代といわれた時代は、ぶ厚い氷河におおわれていた。この映画は、あまりの寒さに死に絶えた生物や、きびしい大自然の寒さに、今も耐えながら生き続けている生物たちを、大自然とともに記録した「生きるものの神秘的記録」である。 (アカデミー賞・ウォルト・ディズニー作品)
1-2-57	生きている化石 コモドトカゲ	21	小・高学年以上 一般	コモドトカゲは地上最大の巨大トカゲであり、恐竜時代の面影をとどめ、一千万年以上も変わらぬ姿で、今なお生き続けている。しかも、インドネシアのコモド島とフローレンス島にしか棲息していない、世界的に見ても貴重な生物である。この映画は、厳しい大自然の中で生き続けるコモドトカゲの生態を、克明に記録している。 (文部省選定)
1-2-58	野鳥百科 1 森や草原の鳥	26	小・高学年以上 一般	草原や湿原、高原そして森林など、それぞれの地帯に生息する数多くの鳥の姿をとらえ、その特徴や生態について説明している。 (文部省選定)
1-2-59	野鳥百科 2 川や海の鳥	24	小・高学年以上 一般	ハクチョウやガン、シギの仲間、カモメなど河や海、溪流などに生息する数多くの鳥の姿をとらえ、その特徴や生態について説明している。 (文部省選定)
1-2-60	奄美の森の動物たち ～自然をさぐる～	27	小・高学年以上 一般	奄美、沖縄を含む南西諸島は、アマミノクロクサギをはじめ世界でも類例のない特異な動物相を示している。この映画は、病害研究のため赴任した一青年研究者が、奄美の原生林にわけ入り、独創的な工夫と推理によって貴重な動物たちの観察をつづけた記録で、自然探求の喜び、その保護の重要性を訴えたものである。 (文部省特選・教育映画祭最優秀作品賞)
1-2-61	やさしいどうぶつのおやこ	21	小・低学年以上	動物の親子の愛情あふれるふれあいや、子育ての様子を通して、動物の親子のかわいらしさ、優しさにポイントを置き、子どもたちに豊かな心を育むねらいを持って制作されている。こうした動物の親子の姿から、母と子のきずな、スキンシップの大切さ、生命の尊さ、思いやりの気持ちを考えさせてくれる。
1-2-62	カマキリ ～みてみよう・しらべてみよう～	19	小・中学年以上	卵の孵化、幼虫期の生活、そして脱皮を繰り返して成虫となるまでのカマキリの成長過程を、それぞれの過程における体の特徴や、モンシロチョウの育ち方との違いなどをまじえ説明している。 (教育映画祭最優秀作品賞)
1-2-63	トキよ舞いあがれ ～巣だちの記録～	23	小・高学年以上	地球上にその数約40羽になってしまった国際保護鳥トキ。日本ではすでに大空を舞う美しいその姿を見ることはできない。世界でただ一か所野生のトキが棲む中国・陝西省一そこで、トキの巣づくり・産卵・巣立ちが克明に記録された。この貴重な映像は、失われたものの尊さを私たちに静かに重く語りかけてくる。 (優秀映像教材選奨入賞作品)
1-2-64	野鳥百科 7 野鳥と人間	24	小・高学年以上 一般	町にすむ鳥、庭を訪れる鳥、森林の伐採で困っている鳥などを紹介し、野鳥と人間のかかわりを環境問題をからませて説明している。 (文部省選定)
1-2-65	クマタカ 森の精	40	小・高学年以上	日本に生息する猛禽類の「クマタカ」。森で食し、子孫を繁殖させてきた日本最大の鷹が、いかにして森の生態系の中で生きてきたか。クマタカに魅せられた研究者とともに、長い年月にわたって取材撮影され、森の中でクマタカの知られざる多くの未知の部分、解き明かそうとした生態記録映画。 (文部省選定)
1-2-66	小さな羽音 ～チョウセンアカシジミ 蝶の舞う里～（ピスタ版）	50	小・高学年以上	山形県のほんの一部に生息するチョウセンアカシジミの生態を、明らかにするとともに、ほんの小さな環境の変化が、いかに貴重な蝶を減らしているか。生きものが生息するための環境についての問題を提起している作品。 (文部省選定)

【文化映画（動物）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-2-67	サシバ 海を渡るタカ (ビデオ有り：1-2-17)	35	小・高学年以上	<p>サシバは、本州北部以南の各地の丘陵地に夏鳥として渡来する。体長は約50cmで、翼を広げると1mくらいの中型のタカである。東北・関東・中部地方等、おもに太平洋側で繁殖したサシバたちは、愛知県渥美半島の伊良湖岬で群になる。そして、鹿児島県佐多岬で日本各地から集まってきた群と合流し、宮古諸島伊良部島へ移動するサシバを記録。</p> <p>(文部省特選・教育映画祭優秀作品賞)</p>
1-2-68	謎の樹上生活 モリアオガエルの誕生	20	一般	<p>モリアオガエルは、日本の本州の山中に多く生息し、国の天然記念物に指定されている。木々に若葉がもえ出るころ、産卵期を迎え、山間部の沼地のほか低地にも降りてきて、池の上に張り出した木々の枝に卵塊を作る。樹上に生活し、夜行性であるため人々にあまり知られていないモリアオガエルの生態をとらえる。</p> <p>(文部省選定)</p>
1-2-69	女王蜂の神秘	33	中学生以上 一般	<p>何万というミツバチが女王蜂を中心につくりあげるミツバチ社会。その一糸乱れぬ秩序は生命の美しさであり自然界の神秘である。有名なミツバチの情報伝達の手段であるダンス、女王蜂の誕生、スズメバチとの闘争など一年間ミツバチと寝食をともにして初めて撮り得た貴重な生態記録。</p> <p>(文部省特選・パドヴァ国際映画祭ブロンズ牛頭賞 他)</p>
1-2-70	可愛いコアラ	16	小学生	<p>ユーカリの葉を主食とし、よく食べ、よく眠るコアラ。その生態を子どもたちが楽しみながら理解できるよう、説明していく。</p> <p>(文部省選定)</p>
1-2-71	カプトガニ ～地球の主～	34	小・高学年以上 一般	<p>日本ではカプトガニが絶滅に瀕している。原因は育成の場が埋め立てられたことや海水の汚染など。そこでアメリカに取材して彼らの産卵や発生などの生態と、日本での保護育成の様子を描いて、環境教育の大切さを訴える。</p> <p>(文部省選定・教育映画祭優秀作品賞 他)</p>

【文化映画（文学・歴史）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-3-1	近代百年の歩み(1) 明治(1) 文明開化の世の中	白黒 20	小・高学年以上 一般	欧米の制度や文化が次々に取り入れられたこの時代を人々はどう受けとめたか—そして憲法制定や国会開設への民衆の動きを、さまざまな資料を駆使して解明していく。  (教育映画祭最高賞・東京都教育映画コンクール金賞)
1-3-2	近代百年の歩み(2) 明治(2) 新しい産業の発達	白黒 20	小・高学年以上 一般	日清、日露の両戦役を通じて、産業も交通も発達し、近代産業の基礎ができたこの時代を、貴重な記録フィルムを多数収録して再現した。  (教育映画祭最高賞・東京都教育映画コンクール金賞)
1-3-3	近代百年の歩み(3) 大正 民衆の時代	白黒 20	小・高学年以上 一般	大正デモクラシーの動き、国民各層に行きわたった文化、しかし反面、退廃的なムードや不景気も起こるこの時代を、生々しい記録フィルムにより描く。  (教育映画祭最高賞・東京都教育映画コンクール金賞)
1-3-4	近代百年の歩み(4) 昭和(1) 戦争と国民生活	白黒 20	小・高学年以上 一般	日本がどうして第二次大戦の破局に至ったか—国民の生活はどうであったかを、現在と比較しながら物語った昭和史の決定版。
1-3-5	近代百年の歩み(5) 昭和(2) 混乱から復興へ	白黒 20	小・高学年以上 一般	終戦から講和条約の締結による独立までの期間を、政治、経済、産業、生活の面から、記録フィルムを駆使して描く。混乱から復興への推移と人々の努力が浮きぼりにされる。
1-3-6	近代百年の歩み(6) 昭和(3) 発展する日本	P20	小・高学年以上 一般	講和条約の締結後、朝鮮戦争などを契機として、日本の産業は大きく立ち直り、人々の社会生活もしだいにレベルアップしてきた。しかし、反面には、高度成長のひずみも現われてきた。
1-3-7	近代100年のあけぼの	120	小・高学年以上 一般	明治初期に海外に派遣された先覚者たちが、さまざまな苦労と困難に打ち勝って、電信、建築、鉄道、農業、工業、造船、教育、医学など、新しい西洋文明を学んだ姿を中心に日本と欧米、アジアなどの対比を紹介する。  (明治百年総集編)
1-3-8	映像で見る昭和の歴史シリーズ(1) 昭和時代の幕あけ	白黒 20	小・高学年以上 一般	「昭和、昭和、昭和のこどもよ僕たちは—」の歌声が街々に流れ、すべての国民の幸福と世界の平和を願った「昭和」の年号とともに昭和時代は幕をあけた。生活の近代化は進んだが、同時に経済恐怖や社会不安がつづき「暗い谷間の時代」となって国内の動揺は深まり、ついに満州事変が勃発。
1-3-9	映像で見る昭和の歴史シリーズ(2) 太平洋戦争の記録	白黒 20	小・高学年以上 一般	昭和16年12月8日、米・英に対して宣戦を布告。緒戦は次々と戦果を収め、占領地域は広がっていったが、国内の生産力は消耗し、日々の生活は苦しくなった。「欲しがりません勝つまでは」と、国民は耐えていたが、国力に勝る米・英は反撃に転じ、日本は破滅の道をたどり始めた。ニュース映画の解説は勇ましかったが、画面からは戦争の暗い影がうかがわれた。—そして敗戦、戦争終結へ。
1-3-10	映像で見る昭和の歴史シリーズ(3) 焦土からの復興	白黒 20	小・高学年以上 一般	昭和20年8月15日、長く苦しかった戦争は終わった。日本の国力を使い果たし、多くの人々を犠牲にして得た代償は焦土のみであった。ヤミ市、浮浪児、飢え、戦争の傷あとは深く虚脱状態であったわが国に、連合国総司令部は民主化の名のもとに、矢つぎ早に指令を出し、新日本は動転の日々であった。—こうした中に朝鮮戦争が勃発、世界の波動は日本にも伝わり、独立回復への道がひらけた。
1-3-11	映像で見る昭和の歴史シリーズ(4) 高度成長への道	白黒 20	小・高学年以上 一般	サンフランシスコ講和会議(昭和26年)によって日本は独立したけれど、政治の主体性をめぐって保守、革新の対立が深まった。そして日米安全保障条約改定の衝突となり、全国民を巻き込んだ激動期を迎えた。しかし国力の回復によって経済は高度成長し、輸出の拡大、国内需要の増大に伴って多忙な日本列島となっていった。昭和39年に開かれた東京オリンピックは、確かに日本繁栄の象徴であった。
1-3-12	映像で見る昭和の歴史シリーズ(5) 繁栄のなかで	20	小・高学年以上 一般	戦後20年、日本はかつて見なかった繁栄に達し、国内は泰平ムード。昭和43年には「昭和元禄」が流行語となった。しかし、急ピッチですむ高度成長経済は、公害、自然破壊、交通惨禍など幾多のひずみを生んだ。そして高度成長の終焉をつける「石油ショック」(昭和48年)。—こうした内外の厳しい情勢にとり巻かれた現代、昭和この歴史の激流の中に、明日への期待がこめられている。
1-3-13	平家物語の世界	23	高校生 一般	「平家物語」は源氏物語と並び称される中世国民文学の傑作である。この映画は、その全12巻の流れを尊重しながら「清盛の死」「壇の浦合戦」「建礼門院」の3点に主題をしぼって、物語の文学的世界に迫ろうとした。革命期に生きた人間像、人生の無常相のあわれ…。中世国民文学の傑作をここに映画化したものである。戦記文学としての豪快なタッチとビビッドな表現、平家滅亡のあわれを描く。
1-3-14	岡倉天心のこころ	43	高校生 一般	日本美術の先覚者として、美術史上に偉大な足跡を残した岡倉天心の波乱に富んだ生涯が、赤倉の山荘で終焉を迎えるまでを、前半は文部省とともに、後半は茨城県五浦を中心に、彼の弟子である大観、観山、春草、武山などの作品を通して、その人となりを探っていく。天心が日本美術史に大きな足跡を残したのは、アーネスト・フェノロサとの出会いに始まる。彼によって日本古美術に目を開かれたのである。

【文化映画（文学・歴史）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-3-15	日本近代女性の歩み	41	一般 婦人会	風雪は人をきたえる。女性もまた風雪の中できたえられて成長する。明治維新から現代までの百年間、日本の女性たちは、かすかすの偏見や圧迫にたえながら、つねに新しさを求めて、たえまない歩みをつづけてきた。明治期—津田梅子、樋口一葉、平塚らいてう、与謝野晶子、大正期—三浦環、市川房江、昭和期—円地文子、林芙美子などの先駆者たちが、明治以来百年にわたる風雪と戦った足跡をたどる。
1-3-16	万葉のふるさと	20	高校生 一般	万葉集は、わが国現存の最古の歌集であり、歌数は約4,500首、作者も、天皇・皇族から庶民に至るあらゆる階層にわたる上代文学の傑作である。この映画は、そうした国民文学に親しみ、理解するための一助として、大和の山野辺の道を中心にしながら、上代日本人の素朴な感情の機微に触れる歌の数々、その歌まくらなど、美しい自然のたたずまいや、遺跡などをたずねてみたものである。
1-3-17	源氏物語の世界	30	高校生 一般	平安時代に紫式部によって著された「源氏物語」は、日本文学史上の傑作のひとつである。この映画は「源氏物語」がどのような時代背景や風土の中で展開されるのかを、主人公の光源氏の生涯に焦点を絞って描きながら作品の「文学的な世界」を具体的なイメージによって浮かび上がらせようとするものです。この古典文学に、これから取り組もうという人々が興味をもてるようわかりやすい表現で描いている。  (文部省選定)
1-3-18	埋もれた天平	30	中学生以上 一般	日本の歴史上、かつてなかった国家的大事業が奈良時代に行なわれた。国分寺・国分尼寺の建設—全国60数か所津々浦々に建設された国分寺も、今わずかに地名を残しているにすぎない。国分寺は何故建設され、どんな役割を果たし、どのように消えていったのだろうか。岐阜県大垣市の地中に眠る美濃国分寺の発掘を例に、奈良時代の社会背景・人々の暮らし、文化などを探っていきます。  (文部省選定)
1-3-19	友誼の門	105	高校生 一般	千数百年の昔、東海の荒波を踏破して日本に渡った中国の僧鑑真は、老齢と疲労のため両眼失明となったとはいえ、進んだ唐代文化の教々を伝来して、我が国の学術文化・医学・建築技術などに多大な貢献を残し、異国の土と化した。この映画は、鑑真と上像とともに荒波をのりこえ、天空を飛翔し、黄河の流れに沿って、二千年の歴史のなかに入っていく。鑑真没して千数百年今も変わらぬ黄河の流れがある。
1-3-20	暦と太陽の文明 ～マヤ・インカ～	22	小・高学年以上 一般	日本がまだ弥生時代を歩んでいた頃、マヤはすでに複雑な文字を持ち、驚くべき才によって太陽暦を作り出した天才的な民族であった。また、インカ人も建築、土木、農業などの技術にすぐれ、天文学や数字にすぐれた知識を持っていたが、彼らは文字を知らなかったため、歴史の記録はいっさい残されていない。マヤ・インカの歴史を知ることが、遺跡や墓地・ミイラとともに埋葬した遺品にたよるしかない。
1-3-21	孤島の巨石文明 ～イースター島～	20	小・高学年以上 一般	太平洋の荒波が打ち寄せる謎の島、イースター島。この島には1千年程前に造られたモアイと呼ばれる不思議な石像が立ち並んでいる。しかし、多くのモアイは何者かによってわざと破壊されたかのように砕かれている。誰がこの巨人達を造ったのか。何故それらが破壊されたのか、今日もお謎にまつまれている。イースター島の歴史は太平洋の荒波だけしか知らないのかもしれない。
1-3-22	飛行の伝説 ～ナスカの地上絵～	20	小・高学年以上 一般	南米のペルーのアンデス山脈の近くにある荒涼とした台地に、はるか昔に描かれた巨大な地上の絵がある。地上の絵はあまりにも大きすぎて、飛行機から見なければわからない。しかし、そのどれもが奇妙な絵ばかりである。誰が、何のために描いたのだろうか。まっすぐに伸びている現代の滑走路らしきものが砂漠に刻まれている。一体これは何なのだろうか。歴史的・宗教的な思想を背景に限りない空想を与える。
1-3-23	京都の川	34	中学生以上 一般	いつの世でも川は人を育て、歴史をはぐくんできたが、もちろん京都もその例外ではない。千数百年にわたってこの地に展開した、人の世の興亡の歴史もここをうるおす鴨川、桂川、宇治川、木津川などの河川によってはぐまれたものであった。京都を育て、千年の歴史をはぐくんだ川、これらの川は今後どんな歴史をその水に映す事だろうか。今日も川は流れて止むことがない。  (文部省特選・芸術祭大賞受賞作品)
1-3-24	大江戸の春	29	中学生以上 一般	町には町の歴史がある。その町で生きてきた数多くの人々の生活、風習・行事・文化、そういったものが長い年月の間に伝統となって現在の都市を形作り、その都市の核ともいえるものになって生き続けている。この映画は、大江戸の持っていたダイナミックな活力の源泉を探るとともに、江戸の歴史が今日の首都東京にどのように生き、どうかかわりあっているかを考える「町と歴史シリーズ」第一作である。  (文部省選定・芸術祭優秀賞)

【文化映画（文学・歴史）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-3-25	洛中洛外	29	中学生以上一般	千年の都、京都には今でも歴史的な建造物や年中行事、そして日常生活の中に伝統文化が生き続けている。この「町と歴史シリーズ」第二作は、現在の京都の町のルーツをたずね、その歴史や伝統・文化が千年を経た今日の京都の町にどのように生きているかを探ろうとするものである。特に応仁～文明の乱で焦土と化した京都の町を復興し、王朝文化を新しくよみがえらせた人々―町衆に視点を向けている。
1-3-26	浪花繁昌記	28	中学生以上一般	秀吉の天下統一以来、大阪商人は始末、才覚、算用を旨として、移り変わる社会に適応しながら天下の台所として町を発展させてきた。この映画は流通経済の中心として、西回り、東回りの回船航路が栄えた元禄頃の大坂に焦点を合わせ、経済発展の背景と、町人文化成立の歴史を描こうとするもので、「町と歴史シリーズ」の第三作目である。
1-3-27	アンコールワットの遺跡	12	小・高学年以上一般	1861年フランスの植物学者アンリ・ムオが偶然発見したアンコールの遺跡は、古代ギリシャ神殿にも匹敵する遺跡であるといわれている。カンボジアの遺跡群の中で最も有名なアンコール・ワットとアンコール・トムを歴史的背景とともに、あますところなくとらえた貴重なドキュメンタリー映画。
1-3-28	仏教文化の源流をたずねて ～ガンダーラ～	30	中学生以上一般	仏教はどこから来たのか。その源流を求め、足跡をたどると、カラコルムの南、インダスの支流にそったガンダーラにぶつかる。今はイスラム圏だが、遠い昔、そこに栄え、埋もれた仏教王国の遺跡と歴史の興亡の跡をカメラが探る。
1-3-29	ペルシャ文化の栄光 ～イラン～	30	小・高学年以上一般	ダリウス大王の築いた古代ペルシャ帝国の歴史、正倉院にもあるサザン朝ペルシャ以来の美術工芸、中世の都イスファンのモスクの造形美など、その文化の栄光を探る。
1-3-30	伊予水軍	45	一般	時は古代末期から中世期にかけて、伊予の国の河野氏は、その水軍力を駆使して源氏を助け平氏打倒に存分の活躍をした。瀬戸内を舞台として、日本の歴史の波乱の時期に華やかに登場し、安静の時期に到るや、あたかも舞台の役者が自らの役割を終えて退場するように、日本歴史から姿を消していった伊予水軍を劇的に描いている。
1-3-31	姫路城 第一話 歴史・濠・石垣の探索	25	高校生一般	姫路城は、元弘3(1333)年播磨の守護、赤松則村が姫山に砦を築いたのが始まりで、慶長14年、池田輝政が現在に残る大天守を完成し、城主は目まぐるしく入れ替わりながら今日まで風雪に耐えてきた。その歴史と、防備の第一線である濠の構造、そして防備の第二線である石垣について解明していく。 (文部省選定)
1-3-32	姫路城 第二話 城門・土塀・各種櫓の探索	25	高校生一般	城門は、単に城の出入口の機能だけでなく、防備、攻撃の施設を備えたものであり、また一面、城の威厳を誇示したものである。姫路城の土塀、狭門、各種櫓の説明、西の丸、上山里曲輪、太鼓櫓、帯櫓、折廻り櫓等の日常、見ることでできない内部を見せて、その構造、目的を解明していく。 (文部省選定)
1-3-33	姫路城 第三話 天守曲輪の探索	25	高校生一般	天守にはいろいろな形があるが、大別すると八形態になる。その形態の図解と、初期の望楼型の弱点を補うために、地下から六階の床下まで、二本の心柱を貫かせた、姫路城、大天守の構造を線画で解明していく。 (文部省選定)
1-3-34	姫路城 第四話 縄張りの探索	25	高校生一般	姫路城は戦を知らぬ城である。もし、この城が敵の攻撃を受けたとしたら、あの複雑で迷路のような厳重を窺めた縄張りほどのような攻防をくりひろげるであろうか。優美にして雄大な白亜の天守を評して「華麗な緋おどしの鎧を着けた若武者」と言った人がいる。姫路城こそ世界に冠たる名城である。 (文部省選定)
1-3-35	未来への遺産 1 プロローグ ～失われた時への旅～	60	中学生以上一般	アフガニスタンのシャリ・ゴルゴラ、ヨルダンのペトラ遺跡、ナイル河上流・王家の谷の壁面に見る死後の世界、シルクロードの拠点・パルミラ遺跡など…。世界各地に残るさまざまな遺跡や文化財を見つめ、それらの遺跡のもつかなしさと、美しさを現地の大自然とともに描く。
1-3-36	未来への遺産 5 ヴィーナス ～彼女の周辺～	60	中学生以上一般	ミロのヴィーナスをはじめ、パールベック、タンザニア、インドのヴィーナス像、そして土偶にいたるまで、世界各地に残るさまざまな姿を紹介。愛と美・豊じょうと多産を司る女神ヴィーナスの名に含まれるものすべてを、数万年をさかのぼって多角的に描く。
1-3-37	良寛をもとめて	43	高校生一般	世俗とかけ離れつつも自然や人間を心から愛して北越の山里に一生を終わった良寛(1758年～1831年)の美しい人間性や、利慾に汚れた社会に染まらずひとり強く生き抜いた真の心を、遺墨・史蹟・逸話などをもとに描く。 (芸術祭優秀賞文部大臣賞・キネマ旬報文化映画ベストテン5位)
1-3-38	いのちを考える ～宗教改革者法然上人～	40	一般	浄土宗の開祖・法然上人(1133年～1212年)の生涯を少年たちに住職が語るなかで、いのちの尊さを再確認し、現代人の教化に役立てる。

【文化映画（文学・歴史）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-3-39	幾山河の歌 ～若山牧水～	36	高校生 一般	牧水の一生涯は旅から旅への連続であり、西行、芭蕉に続く旅の詩人として各地に数々の旅の秀歌を残した。映画は雪におおわれた山河が静かに横たわる北海道を走る蒸気機関車から始まり、全国各地の牧水の足跡を四季折々の自然の中にたずね、旅に生きた歌人の一生涯を描く。  (文部省特選)
1-3-40	最上川のうた ～斎藤茂吉～	46	高校生 一般	この映画は斎藤茂吉の歌や芭蕉の俳句をたて糸にして最上川の自然をよこ糸に自然・文化・産業等を主眼におくが、山形県の母なる川最上川の流域の住民にもたらした恩恵とその反面にひそむ問題点をもあわせ考えながら、究極的には自然への愛をひろく訴えていく。  (文部省特選)
1-3-41	奥の細道の世界	36	高校生 一般	元禄期に、松尾芭蕉によって著された俳文紀行「奥の細道」は、蕉風の芸術の極致を示す作品の一つである。この映画は、その「奥の細道」が書かれた背景や、また、実際の文学行脚の様子などを本文の旅の経路にしたがって描きながら、漂泊の詩人・芭蕉が、この作品にこめようと意図したものへと迫ろうとする。  (文部大臣賞)
1-3-42	日本の心をもとめて ～俳句の世界～	25	中学生以上 一般	日本独特の美的感覚や心は、四季折々に移り変わっていく季節感にある。その自然と人生を見事に融合させ、独特の境地を開いた芭蕉を中心に、西行、蕪村、一茶、子規など、季節感情豊かな句境を美しい画面に再現し、それらが現在なお、私達日本人の心に脈々と流れている事を考えさせる。
1-3-43	未来への遺産 2 天は語らず大地をして語らしむ	60	中学生以上 一般	かつて、高度の文明が存在していた巨大な遺跡がなぜ滅びたのか…。急に乾燥しはじめたサハラ砂漠、インダス文明発祥のモヘンジョダロ、シュメール人が築いた世界最古の都市ウルとウルク、マヤ文明発祥のグアテマラなどの遺跡を通して、「自然との関係の中で文明は興亡を繰り返してきた」という観点から、その謎を探る。
1-3-44	未来への遺産 3 天は語らず廃墟をして語らしむ	60	中学生以上 一般	各地に残る遺跡は、古代人の喜び・悲しみ・願いなどをさまざまな形で語りかけてくれる。この映画では、荒涼とした渓谷のトルコのカッパドキア、バベルの塔があったイラクのバビロン、古代マヤ文明の栄えたメキシコのチチェン・イツァ、シルクロードとして栄えたパルミユラ、エジプトのアブシンベル神殿などを紹介していく。
1-3-45	未来への遺産 4 天は語らず人をして語らしむ	60	中学生以上 一般	トロイを発掘して古代ギリシャの神話を実証したシュリーマン、古代エジプトの神聖文字ヒエログリフを解読したシャンボリオン。2人の天才の数奇な生涯と、その業績をたどる。また、エール大学マイケル・コー教授による古代マヤの神聖文字の解読と、その解読への努力を紹介する。
1-3-46	漱石の世界	22	中学生以上 一般	この映画は、日本近代文学作家のなかで、高校生などに最も親しまれている夏目漱石をとりあげたものである。映像をとおして時代的背景をさぐるのと同時に、漱石の人間性や、作品に対する理解を深めるよう、原作の一部や各種資料等を織りこんで製作したものである。  (文部大臣賞)
1-3-47	アンデルセンの世界	27	小・高学年以上 一般	この映画は、アンデルセンの作家としての資質が形成された前半生を中心に、豊富で正確な資料を集め、アンデルセンゆかりの地、デンマーク及びイタリアにおける現地ロケーションを通して、その人となりをわかりやすく解説している。また、人形アニメーションで描く珠玉の童話の世界を詩的なイメージで合成し、映像による「アンデルセン博物館」を意図したものである。  (文部省選定)
1-3-48	詩人とふるさと ～藤村・白秋・朔太郎・光太郎～	22	中学生以上 一般	芸術作品鑑賞に不可欠な作品の時代的背景や作者のおいたち、ひととなりにより焦点を置いた作品。日本の近代詩の分野に重要な地位を占める四人の詩人を取りあげ、日本の近代文学の主要な主題となっている詩人とふるさととの関係を描く。  (文部省特選・教育映画祭優秀作品賞)
1-3-50	日本の美 二条城	30	中学生以上 一般	慶長8(1603)年徳川家康によって創建された二条城は、近代の美の壮大なモニュメントとして現在でもその偉容を誇っている。カメラは、二之丸御殿の美と魅力を多角的に探る。
1-3-51	日本の美 日光東照宮	30	中学生以上 一般	日光東照宮は、徳川家康の霊を祭るため、元和3(1617)年に造営された霊びょうで、金ばくや漆など高価な材料をふんだんに使用し、けんらん豪華で変化に富む数多くの彫刻や文様絵画で埋めつくされている。その魅力をさまざまな角度から克明に紹介する。
1-3-52	縄文時代 ～自然環境と人々の暮らし～	22	中学生以上 一般	人間の歴史は自然環境と深くかかわって発展してきました。縄文時代の人々は気候の温暖化にともなう実り多い落葉広葉樹林の進出を背景に、豊かで独自の生活文化を築きました。その様子を福井県鳥浜貝塚発掘の実際と出土物を中心に復元し、人間と自然の関係を考えます。  (文部省特選)

【文化映画（文学・歴史）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-3-53	登呂の米づくり ～弥生時代の文化～	21	小・高学年以上 一般	登呂遺跡は、弥生時代のむらの景観、人々の生活や仕事、その工夫や努力のあとなどをよく示している。この映画は、その登呂を主な舞台に、実験考古学の助けもかりながら、弥生時代のすがたを具体的にとらえさせるとともに、遺跡・遺物を通しての歴史のさぐり方にも気づかせる。  (文部省選定)
1-3-54	日本の古墳	30	中学生以上 一般	全国にわたる航空撮影を中心に、日本の国家形成期の民族のエネルギーの結晶である古墳のすべてを初めて解明した画期的大作。それらは当時の歴史や会社を物語ってくれる。  (文部省特選)
1-3-55	素晴らしき冒険者たち 第一部 マルコポーロの大旅行	30	中学生以上 一般	ベニス生まれのマルコ・ポーロの生家及び少年時代。それに地中海を経てシルクロードを通して中国に入り、東シナ海、インド洋を経て帰国した25年の旅を、その陸と海のルートの現地取材によって紹介していく。
1-3-56	素晴らしき冒険者たち 第二部 大航海時代	30	中学生以上 一般	マルコ・ポーロの旅行記を基にコロンブスがアメリカ大陸を発見した。以降コルテスがメキシコを征服、ピサロがペルーを征服、マゼランの世界一周成功の苦難などを現地ロケをして、ダイナミックに見せる歴史編。
1-3-57	川端康成と伊豆 ～名作のふるさと 伊豆の踊り子を訪ねて～	30	高校生 一般	伊豆天城で道づれになった旅芸人一座の少女と多感な青年の物語「伊豆の踊り子」の朗読にそって、舞台となった康成ゆかりの地をつぎつぎに訪ね、康成その人の生い立ちをも語る。死の6か月前の記録もそえられている。  (文部省選定)
1-3-58	柳田国男と遠野物語	25	一般	日本民俗学の父といわれる柳田国男の名著「遠野物語」のふるさと遠野市をたずね、遠野物語に採録されている民間信仰のこん跡や、現に行われている民間伝承をひきながら、その雰囲気や再現しつつ柳田民俗学の側面をわかりやすく描く。
1-3-59	東京裁判への道 世紀の爪跡	BW. 92	一般	敗戦の荒廃のなかで開かれた東京裁判を通じて、戦乱に明け暮れた昭和初期から太平洋戦争終結までの悲劇を描き、今、平和の恩恵の中で生活している若人をはじめ、すべての人々に、戦争の悲惨、平和の尊さを“実感”として受けとってもらうために生まれた民族のドキュメンタリーである。
1-3-60	平安の四季	22	高校生 一般	平安朝の人々が四季折々の生活の中で自然や季節の変化をどう受け止めていたかなど、当時の典型的な習俗の諸相や古典の中にひそむ人間の姿を色鮮やかに描く。
1-3-61	弘法大師の世界の構造	60	一般	弘法大師空海上人は、いうまでもなく平安初期に真言宗を開いた人である。上人の人と生活、思想と事業などの史実を伝え、日本のダヴィンチといわれる上人の文学者・文人・文化的・社会的な実践活動もとらえた作品。
1-3-62	石の文化	29	中学生以上 一般	石器時代から古墳時代を経て、歴史の流れに従って江戸時代まで、石の文化は、亡びずにわたしたちの身近にあって、歴史の中に生きた人々の息づかいを伝えてくれる。石の文化財を日本各地にたずねて描く、もの言わぬ石が語る日本の歴史。  (芸術祭優秀賞)
1-3-63	建造物との対話 ～文京の文化財～	33	高校生 一般	建造物は外見だけ見てもよく分からない場合がある。時代の約束ごとや棟梁たちの心意気、建てた人々の願いや趣味。そして今、その建造物の基本的な形式や特色の知識をもつことによって、その趣味は広がり、理解は深いものとなる。そんな観点から郷土の文化財と対話を試みることが、文化財保護の第一歩なのである。  (文部省特選)
1-3-64	明治の洋風建築	28	中学生以上 一般	明治の洋風建築は、現代日本の夜明けを語る貴重な文化遺産である。新しい文明に触れた先人たちの衝撃と興奮、それに立ち向かった日本人の創意と工夫を、初期の洋風建築の様式の中に見いだすことができる。転換期の人々の努力の一つの象徴として洋風建築をとらえる。  (文部省特選・芸術祭大賞・キネマ旬報ベストテン1位)
1-3-65	大むかしの生活	20	小・高学年以上 一般	実験考古学的手法で当時の暮らしぶりを再現しようとしたもので、さらにこれを通じて遺跡・遺物から住時の人々の生活や心情に迫っていく手だてにも、気づかせる。
1-3-66	聖徳太子と法隆寺	19	小・高学年以上 一般	聖徳太子が誕生した6世紀の終わりごろの日本は、大和朝廷の仕組みがようやく整ってきたものの、天皇の勢いが弱まり、豪族たちが勢力争いを繰り広げるきわめて不安定な時代であった。この飛鳥時代に、推古天皇の摂政として政治を行った聖徳太子の一生を振り返りながら、冠位十二階、十七条の憲法、遣隋使、法隆寺などの業績の意味あいを考える。  (文部省選定)
1-3-67	遣唐使船 ～遣唐使の人々～	20	小・高学年以上 一般	遣唐使船は、7世紀から9世紀にかけて、およそ260年の間に15回にわたって計画され、大陸文化の移入に大きな役割を果たした。この映画は、そのころ、遣唐使船で荒波を渡った人々の役割や苦心を、数々の資料や文化財によって、具体的に描き出し、中国(唐)の影響を色濃くうけていた奈良時代の政治や文化の特質について考える。  (文部省選定)

【文化映画（文学・歴史）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-3-68	平安京の貴族	P16	小・高学年以上一般	平安時代前・中期の貴族の政治や暮らしについて、絵巻や復元された当時の装束などから、より具体的なイメージを与えようとする映画。
1-3-69	いざ鎌倉 ～鎌倉幕府と御家人～	21	小・高学年以上一般	源頼朝がひらいた鎌倉幕府は、その後、およそ700年も続くことになる武家政治のきっかけとなるものがあった。この映画は、鎌倉幕府が、どのようにして成立し、その後、その土台をどのようにして固めていったのかを、主に幕府と御家人との関係に焦点を絞って描きながら、当時の武家政治の特質について考えていく。 (文部省選定)
1-3-70	蒙古の来襲	18	小・高学年以上一般	日本の歴史上かつてない二度にわたる大規模な外国の侵襲、「蒙古の来襲」に当時の幕府や武士はどう対処したか。民衆はどうか。この映画は、戦いに参加した九州の御家人竹崎秀長が描かせた貴重な絵巻「蒙古襲来絵詞」などにより、具体的にとらえていく。 (文部省選定)
1-3-71	金閣と義満	18	小・高学年以上一般	建武の新政のあと、室町幕府が成立し、やがて戦国時代に至るまでのほぼ200年のうち、3代将軍足利義満の時代を中心に、鹿苑寺金閣やその周辺の文化を織り交ぜ政治や文化の特色を描く。
1-3-72	銀閣と義政	18	小・高学年以上一般	足利義政の時代になると、室町幕府の体制の矛盾がさまざまなかたちで現れてきた。義政と慈照寺銀閣、そして応仁の乱、山城国一揆などの土一揆でさわがしい世の中の動きを浮きぼりにしている。
1-3-73	秀吉と天下の統一	20	小・高学年以上一般	1467年に始まった応仁の乱をきっかけに、世の中は大いに乱れ、各地の大名が勢力争いを繰り広げる戦国時代に入っていく。この映画は、その戦乱の世に生まれ、やがて全国の大名を従えて、関白の位にまで出世した豊臣秀吉の一生を見つめながら、激しい時代の流れの中で天下の統一がどのように進められていったのかを考えていく。 (文部省選定)
1-3-74	南蛮文化の伝来と受容	21	中学生以上一般	1543年の鉄砲伝来に始まる日本とヨーロッパ世界との交流によって、いわゆる“南蛮文化”がもたらされた。この映画では、15・16世紀のヨーロッパの大航海時代という世界的背景のもとに、南蛮文化が、ポルトガルやスペインから、どのように伝来し、動乱の戦国期にあった日本でどのように受容されていったか。そしてそれは、その後、日本文化の土壌の中で、どのように消化され変容し、定着していったかを描く。 (文部省特選)
1-3-75	江戸時代の川と海の交通	20	小・中学年以上	江戸時代、陸上では街道が整備され旅は著しく便利になったが、物資の輸送は主として川や海が中心だった。この映画は、最上川の舟運やその川口港酒田を中心にした千石船の活躍を例にその様子を再現し、当時の水上交通の実態やその役割を明確にとらえていく。
1-3-76	東海道の旅 ～江戸時代の陸上交通～	20	小・中学年以上一般	江戸時代における東海道を中心とした街道や、宿場・関所・川止めなどを解説し、道中・大名行列・連台渡し等の実景を入れて、昔の旅のイメージ化が深まるよう描いた映画。
1-3-77	町人の文化 ～歌舞伎と浮世絵～	20	小・高学年以上一般	江戸時代、大商人の財力に支えられて、町人の文化が生まれた。大阪を中心に、京都、江戸に生まれた文化を、歌舞伎と浮世絵に見ていき、それらが町人にどのように受け入れられたかを描く。
1-3-78	藩校と寺子屋	22	小・高学年以上一般	江戸時代の代表的な教育機関であった藩校と寺子屋の様子を再現し、幕府の政策維持のため、また日本の近代化のために、当時の教育が果たした役割について考える。 (文部省特選)
1-3-79	蘭学をおさめた人びと	20	小・高学年以上一般	江戸時代中期、杉田玄白らによるターヘルアナムトミア（解体新書）翻訳の3年半の苦心を中心にしながら、蘭学に取り込み、これを発展させてきた人々の努力や、蘭学の発展が及ぼした社会的影響について描く。 (文部省選定・教育映画祭優秀賞)
1-3-80	幕末から維新へ	20	小・高学年以上一般	江戸時代末期、長州藩の城下町一萩に開いた吉田松陰の松下村塾に学んでいた高杉晋作と、木戸孝允、伊藤博文などの若者たち。安政の大獄と桜田門外の変、薩英戦争と下関戦争、薩長同盟と倒幕の動き、大政奉還と五ヶ条の御誓文など。幕政の動きや諸外国との対応の中で、世界の情勢に目覚めた若い武士たちの活躍を描いていく。 (文部省選定)
1-3-81	ショッキング・オ・ジャポン ～ビゴーが見た明治の日本～	53	一般	1882年、かねてあこがれていた木版浮世絵の国、日本にやってきたフランス人画家・ビゴー（1860～1927年）。彼は、当時の日本において大胆な言論諷刺活動を展開し、数千の作品を描いた。それは、「大日本帝国憲法」発布直前の日本近代における重要な転換期であった。
1-3-82	素晴らしき冒険者たち 第三部 スパイス戦争	43	中学生以上一般	バスコ・ダ・ガマのインド洋横断によってコショウの原産地が発見されて、ヨーロッパ各国がアジア侵略を開始する。そして、各植民地への労働力確保のため、アフリカの奴隷狩りの悲劇が生まれる。史実に基づいて現地取材した作品。

【文化映画（文学・歴史）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-3-83	竹取物語	24	中学生以上 一般	<p>仮名文による我が国最初の文学作品とされる竹取物語の世界を、宮内庁所蔵「かぐや姫絵巻」を背景に映画化したもの。竹の中から生まれ、やがて月世界に帰っていくかぐや姫の物語を、実写と絵巻を巧みに交え美しく描いた作品である。</p> <p>(文部省選定)</p>
1-3-84	徒然草	24	中学生以上 一般	<p>若くして宮廷を去り、思索と体験を重ねた兼好法師の人生観を平淡優雅な文章でつづった“徒然草”は不朽の名をとどめている。この映画は、その無常観、論理観、人生観などを徒然草画帖を中心に実写を交えて、中世穩者文学の美の極致にせまる。</p> <p>(文部省選定)</p>
1-3-85	枕草子	24	中学生以上 一般	<p>枕草子に描かれている平安の四季や、清少納言のもの見かた、優れた文章表現を、枕草子絵巻や当時の衣・食・住の再現などにより説明している。</p> <p>(文部省選定)</p>
1-3-86	絵図に偲ぶ江戸の暮らし	23	中学生以上 一般	<p>文京区の本郷通りは、昔將軍の日光御成道といわれ、この通りに安政年間に住んだ髪結い「えび床」、伊せや吉左衛門という人が詳しい絵図を二巻残している。この人が自ら記録した素朴な絵図は当時の人々の暮らしの姿や町の様子や風習が生き生きと記録されていて、今は消滅したもの、変化したものを現在の街と対応し、交互に織り交ぜながら、江戸時代の庶民の生き方を偲んで行く。</p> <p>(文部省特選)</p>
1-3-87	武田の里 ～ふるさとを語る人になろう～	47	一般	<p>富士川の上流、釜無川と南アルプスの懐に抱かれた山梨県韮崎市は、美しい自然と歴史とロマンの町である。武田氏の発祥と滅亡の悲哀を伝え、考古学上名高い坂井遺跡など、まさに心や言葉につながるふるさとである。この映画は、郷土映画としての要素を伝統的にまとめたもので、自分のふるさとの正しい認識や理解を深めることの必要性を訴えている。</p>
1-3-88	円空	30	一般	<p>「独自の造型性」、「強靱さ」、「強い庶民感覚」、「想像力が豊か」…と、これは、円空仏に冠されたさまざまな形容であり、その彫刻芸術は現代においても高く評価されている。この映画は、多く日本の中部山村に残り、人々の間に今も守り伝えられている円空仏の魅力を造形的な面だけにとどめず巾広い解明から彫像に目を据える中で探っていく。</p>
1-3-89	近代文学シリーズ 島崎藤村	25	高校生 一般	<p>明治・大正・昭和にわたり数多くの作品を発表した島崎藤村の生涯と、その人間性を「初恋」「夜明け前」などの代表作によって紹介するとともに、作品とゆかりのある土地を訪ね、その土地と深いかわりを持つ藤村文学の特性を明らかにする。</p> <p>(文部省選定)</p>
1-3-90	近代文学シリーズ 北原白秋	25	高校生 一般	<p>「邪宗門」「思いで」「桐の花」など数多くの詩集や歌集を発表した北原白秋の生涯とその人間性を、それぞれの作品を背景に説明している。</p> <p>(文部省選定)</p>
1-3-92	武家社会と鎌倉文化	22	中学生以上 一般	<p>鎌倉時代は日本の歴史における一つの大きな転換期であった。この映画は、土地を仲だちにした主従関係でしっかりと結ばれた鎌倉時代の武家社会、その武家社会を背景にした、新仏教を中心とする個性的な鎌倉文化の特徴をテーマに、当時の具体像を人物、舞台、社会などと関連させながら描く。</p> <p>(文部省特選・教育映画祭優秀作品賞)</p>
1-3-93	室町時代の社会と文化	25	中学生以上 一般	<p>足利尊氏による室町幕府の成立と政治のあらまし、日明貿易や倭寇、応仁の乱後の戦国大名の台頭等の政治史、産業の発達に伴う農村や都市の発達と特色及び庶民文化の芽生え等について、貴重な文化財や遺跡などによって描き、室町時代の時代像を全体的かつ具体的に描いている。</p> <p>(文部省選定)</p>
1-3-94	安土桃山の社会と文化	24	中学生以上 一般	<p>信長、秀吉による全国統一、鉄砲やキリスト教の伝来、南蛮貿易によるヨーロッパ文化の流入等によって、安土桃山時代は日本歴史上に大きな意義を画している。このきわめて躍動的な時代の社会と文学の具体像と特色を、貴重な文化遺産や歴史的景観を交えて描き出す。</p> <p>(文部省特選・教育映画祭優秀作品賞)</p>
1-3-95	キリシタンとヨーロッパの文化	20	小・高学年以上 一般	<p>16世紀、日本人は、初めてヨーロッパ人とヨーロッパの文化に接した。鉄砲、キリスト教、そしてヨーロッパの学問、風俗など―この映画は、ヨーロッパ各国との関係やキリスト教が日本人の心に与えた影響等について、種々の歴史資料にもとづき描いていく。</p> <p>(文部省選定・教育映画祭最高賞)</p>
1-3-96	元禄文化	22	中学生以上 一般	<p>江戸時代に町人の中から興り、庶民の間に根づいて綿繻とくりひろげられた元禄文化。その町人文化の特色と大要を、現代に今なお受け継がれている歌舞伎や人形浄瑠璃、染色等、現代文化の基盤となっている数々の文化遺産を通して描き出す。</p> <p>(文部省特選・教育映画祭優秀作品賞)</p>

【文化映画（文学・歴史）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-3-97	化政文化	25	中学生以上 一般	近世を通じて最も文化の爛熟した時代と言われる文化、文政時代に焦点を当て、鎖国という障壁の中で蘭学と国学を中心とする学問、思想の新しい動きと教育・文化の広がり及び地方の生活・文化について歴史的資料を駆使して描く。  (文部省選定)
1-3-98	女性文化史3 いきの時代 ～江戸が育てた女性美～	30	一般	この映画は、江戸中期以降に生まれた独自の江戸文化、特に女性風俗と美意識に焦点を当て描いている。まず、江戸の衣装、髪型の特徴、変化を詳しく追って、それが江戸の女性美と深く結びついて江戸の美をはぐくんできたことを示す。そして江戸後期の「いき」が深川芸者などを中心とした、女性の社会進出の中から生まれてきたことを示し、それがまた時代を超えて現代にも通じていることを説明する。  (文部省選定)
1-3-99	女性文化史1 平安の幻想	30	一般	この映画は、葵祭をはじめ、京都御所、絵画、書などさまざまな有形、無形の文化財などにより当時の文化を紹介するとともに、この時代の女性の生活と風俗を解説していく。  (文部省選定)
1-3-100	女性文化史2 幽玄の誕生	21	一般	この映画は、室町時代を代表する文化である能と、室町時代の女性風俗とのかかわりあい語りながら、能面と、この時代の女性美との関係にふれてゆく。そして、能面のなかに、室町時代の女性の美意識が集約されていることを多角的に分析し解説していく。
1-3-101	幻の錦	43	一般	今世紀の初め、シルクロードへおもむいた大谷探検隊が、西域トルファンの地底の墓から持ち帰ったミイラの顔は、一片の錦の仮面におおわれていた。京都の織物研究家は、その錦の断片に昔から法隆寺に伝わる由来不明の国宝「獅狩文錦」の謎を解く鍵がひそむことを発見する。この錦から華麗な古代錦が復元されていく過程の中で、かつて日本、中国西域を結んだ歴史の糸が解きほぐされていく。  (文部省選定)
1-3-102	深川芭蕉庵 ～松尾芭蕉の生涯～	30	高校生 一般	俳諧の世界に生き、旅の生活をおくった松尾芭蕉の生涯を東京におけるゆかりの地、深川芭蕉庵を中心に描いている。
1-3-103	出羽三山と芭蕉 ～奥の細道から～	30	高校生 一般	奥の細道にうたわれている、出羽三山参詣のオりの史跡をたどりながら、松尾芭蕉の旅の心についてとらえている。  (文部省選定)
1-3-104	清盛から頼朝へ	22	小・高学年以上 一般	武士の出現、源氏と平氏の争いを経て、平氏の政権時代、そして頼朝の挙兵により平氏が敗れ、鎌倉時代が成立するまでの過程を、残された建造物や史跡、絵巻物などの資料をもとに説明している。  (文部省選定)
1-3-105	信長・秀吉・家康	21	小・高学年以上 一般	戦国時代から全国統一への布石を敷いた信長、その跡を継ぎ、力強く歩み出した秀吉、そして天下統一を果たした家康。劇映画のフィルムをまじえながら、それぞれの人物と業績を対比し、天下統一に至る時代の流れを鮮やかに描く。  (文部省選定)
1-3-106	城と城下町	20	小・高学年以上 一般	室町時代に生まれ、大いに栄えた城下町とはどのような都市か。その成立のしくみや性格を描きながら、都市の発達の中で、城下町の果たした役割や意義について考えていく。  (文部省選定)
1-3-107	家光と江戸幕府	22	小・高学年以上 一般	江戸幕府の基礎を固めるうえで大きな役割を果たしたといわれる三代将軍家光にスポットをあて、その制度や時代背景を、文化財として保存されている建造物や種々の資料をもとに描いている。  (文部大臣賞・文部省特選・教育映画祭最優秀作品賞・東京都教育映画コンクール銀賞)
1-3-108	江戸時代中ごろの町人と農民	20	小・高学年以上 一般	江戸時代中ごろにおける町人の様子を、江戸の商人三井高利と大阪の商人淀屋辰五郎に焦点をあて説明し、さらに当時の農民の様子などについて資料をもとに説明している。  (文部省選定)
1-3-109	大名と大阪の商人 ～細川と鴻池～	20	小・高学年以上 一般	熊本の大名・細川と大阪の商人、鴻池を例に江戸時代における大名は財政的に苦しんでおり、商人から借金していた。反面、商人は財を蓄え、次第に力を増してきたことを、具体的な数字や貴重な文化財をとし説明している。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-3-110	宿場町	20	中学生以上 一般	この映画は、中山道を中心に東海道、北国街道、会津西街道の昔日の面影をよく残す宿場町を紹介し、その町並の文化史的価値ならびに建造物を通して宿場町の機能を描いている。宿場町の全体像を描いたものとしては、日本で初めての作品。
1-3-111	福沢諭吉と文明開化	20	小・高学年以上 一般	江戸時代から明治へ、新しい世の中を開いていくうえで大きな業績を残した福沢諭吉の働きを中心にしながら、文明開化の様子や明治初期の時代的特色について描いている。  (文部省選定)
1-3-112	明治維新への道	25	中学生以上 一般	ペリーの来航、開国による社会の混乱の中で、幕府が崩壊し、明治維新に至る時代の流れ、交錯するさまざまなファクターを、貴重な歴史的資料を駆使して描く。  (文部省選定)

【文化映画（文学・歴史）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-3-113	大久保利通	22	中学生以上 一般	明治維新の原動力となり、近代日本建設の礎をつくった政治家、大久保利通の足跡とその人間像を忠実にさまざまな資料をもとに描いている。
1-3-114	近代百年の歩み(7) 昭和(4) 国際社会の中の日本	20	小・高学年以上 一般	大阪万博以降の時代の歩みを主に、産業や経済の動向に焦点を絞って描く。そして、国際化の進む時代背景の中で、今日の日本が国際社会の一員として、世界の国々と密接なかかわりをもちながら、歩んでいるのだということ、具体的な映像によって浮びあがらせる。
1-3-115	松本城	BW. 29	小・高学年以上 一般	松本盆地のほぼ中央、平城ながら山や川に囲まれた天然の要害を利用して作られた松本城。370年余りを経てきたこの城を昭和25年から約6年にわたって行われた大修理の記録を中心に、城の内部構造、城の歴史などをくわしく説明する。  (文部省特選)
1-3-116	松山城	30	小・高学年以上 一般	300年余の歴史をもちながら焼失した伊予松山城。この映画は、焼失後再建したときの記録で、材料から木組一切が古式にのっかって作られていく様子を、城の歴史を織りまぜながら説明していく。  (文部省選定)
1-3-117	甕える鉄剣	31	中学生以上 一般	稲荷山古墳から発掘された鉄剣、その鉄剣の銘文の研ぎ出し作業の過程を追いながら、金文字にこめられた日本の古代史について説明をしている。
1-3-118	銅鐸をつくる	20	中学生以上 一般	弥生時代とともに姿を消してしまっただ銅鐸は、いまだに考古学の謎の一つとされている。出土した銅鐸を紹介しながら、その一つ流水紋の銅鐸を復元し、その持つ意義を考える。
1-3-119	海獣葡萄鏡	15	中学生以上 一般	高松塚古墳の副葬品の一つとして発見された海獣葡萄鏡。その鏡の目的や文様の持つ意義について、現存する各種の鏡をまじえて説明する。  (文部省選定)
1-3-120	岩宿の発見 ～日本の石器時代～	40	中学生以上 一般	群馬県岩宿の赤土から発見された旧石器の意味を考え、さらに、全国各地からの出土品を紹介しながら、それがどのようにして作られてきたかを描く。  (文部省選定)
1-3-121	ぶんきょうゆかりの文人たち	38	高校生 一般	明治以降、東京・文京区に数多く住んだ文人たち。その一人森鷗外とのかかわりあいを通し、明治という時代を描いている。  (文部省選定・キネマ旬報ベストテン1位)
1-3-122	よみがえる光琳屋敷	35	高校生 一般	尾形光琳の晩年の屋敷が復元された。それは、光琳直筆の平面図のほか茶室の図や仕様書、見積書などの資料が豊富に残っていたからである。この映画は、光琳屋敷の復元の過程を克明に描くとともに、光琳芸術についてわかりやすく解説している。  (文部省特選)
1-3-123	幕末に生きる中岡慎太郎	57	高校生 一般	幕末の頃、坂本竜馬とともに日本の変革のため活躍し、30歳の若さで暗殺された中岡慎太郎の生涯を描いたもので、当時のめまぐるしい世情の動きの中で、時代に立ち向かっていった彼の姿をとらえている。  (文部省選定)
1-3-124	古墳の発掘 ～宮中野古墳群・大塚古墳～	33	中学生以上 一般	一つの真実を明らかにするために、さまざまなアプローチの仕方があり、また試行錯誤とがある。この映画は、たんなる大塚古墳の発掘記録というだけでなく、調査の進め方や、研究・勉学に全力で打ち込む先生と学生の姿を追求した作品で、古代東国の謎の解明に迫る考古学のヒューマンな世界をうかがうことができる。
1-3-125	万葉集の心	25	高校生 一般	我が国最古の歌集として知られる万葉集。その中の、東歌や防人の歌など代表的なものをとりあげ、遺跡や自然景観を背景に作者の詞にたくした心情などについてとらえている。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-3-126	近代文学シリーズ 石川啄木	26	中学生以上 一般	過酷なまでの貧困と病苦の生活体験を歌いつづけた天才詩人石川啄木。その生涯はわずか27年であったが、彼ほど長い期間にわたって多くの読者を持ち続けた近代歌人も少ない。代表的な作品の数々の朗読を織り込みながら、鮮烈に生きた啄木の生涯をたどり、その魅力の秘密をさぐっていく。  (文部省選定)
1-3-127	近代文学シリーズ 芥川龍之介	29	中学生以上 一般	「羅生門」「蜘蛛の糸」など大正から昭和にかけ多くの作品を発表した芥川龍之介の生涯と人間性を、それぞれの作品を背景にとらえている。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-3-128	国宝「源氏物語絵巻」	58	高校生 一般	貴重な文化財、国宝「源氏物語絵巻」(現在19編)を映像収録するとともに、「源氏物語の情趣」を語りあげ、併せて建物・衣装・絵画技法など当時の「王朝文化」を映像化し、「平安の夢と憧れ・平安の美」をまのあたりに再現する。  (文部省特選・教育映画祭最優秀作品賞)
1-3-129	古典文学の背景 平安貴族の生活	25	高校生 一般	平安時代における風俗習慣や行事の様子を、絵巻物や資料をもとにとらえとともに、当時の文官や武官、女性の装束を再現するなど王朝文学に登場する生活様式について説明する。  (文部省特選)

【文化映画（文学・歴史）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-3-130	わざとちえ ～産業近代化のあゆみ～	21	高校生 一般	鉄鋼や生糸、綿紡績を中心に幕末から明治後期にかけて、従来の農業を中心とした産業から、工業を中心とした産業近代化への歩みについて説明している。 (文部省選定)
1-3-131	近代文学シリーズ 志賀直哉	26	高校生 一般	的確な描写と簡潔な文体で知られる志賀直哉の生涯を、「城の崎にて」「暗夜行路」などの主要な作品と背景を紹介しながらたどっていく。また、作家の安岡章太郎氏が直哉の人と作品について語る。 (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-3-132	井原西鶴	26	中学生以上 一般	近代文学の代表的作家「井原西鶴」は、俳諧から浮世草紙（小説）の世界で多くのすぐれた作品を世に残している。この映画では、「好色一代男」や「日本永代蔵」などの西鶴の代表的な作品を取り上げ、時代的な背景やその特徴を明らかにしている。 (文部省特選)
1-3-133	古今和歌集	25	中学生以上 一般	古今和歌集は力強さや生々しい直接的な表現よりも婉曲な言い回しや、繊細さや優美な表現に重きをおいた歌集である。この映画は、後世の詞歌に大きな影響を与えた古今和歌集を取り上げ、そのなかの代表的な歌人とその歌を風景や絵巻など資料によって映像化、歌の朗読をまじえて歌人や時代背景について理解を深めさせてくれる。 (文部省特選)
1-3-134	宮沢賢治	25	高校生 一般	「注文の多い料理店」や「銀河鉄道の夜」などによって、今ではなじみ深い詩人であるが、その評価が高まったのは死後何年か後のことであった。彼の作品世界の宇宙的広がりは、土と信仰に生きた賢治の実生活の表象といえよう。主要作品の朗読を交えながら、真摯な生涯と作品の背景を紹介している。 (文部省選定)
1-3-135	古典文学の背景 中世武士の世界	26	中学生以上 一般	平家物語や方丈記、徒然草にみられる時代的背景を、特に武士の世界に焦点をあて、当時の武士のくらしや東国武士と西国武士の違いなど、中世武士の背景について説明している。 (文部省選定)
1-3-136	平家物語	25	中学生以上 一般	平家物語の成立やその時代的背景についてとらえるとともに、著名な部分を絵巻物やそれにまつわる遺跡を背景に朗読するなど、平家物語をダイジェストにまとめている。 (文部省選定)
1-3-137	森鷗外	25	高校生 一般	舞姫、高瀬舟などの著作から、評論、翻訳と幅広い活動をくりひろげ、近代文学の重鎮として足跡を残した森鷗外の生涯を、数多くの資料を背景に説明している。 (文部省選定)
1-3-138	高瀬舟	45	高校生 一般	森鷗外原作「高瀬舟」を素材に映画化したもので、弟殺しの罪で鳥流しの刑を受けた善助が、護送する高瀬舟の中で、役人に語る自分の生いたちと貧しさから生じた罪の物語を、ドラマ構成で描いている。 (文部省選定)
1-3-139	松尾芭蕉	26	高校生 一般	芭蕉は三代将軍・徳川家光のころの寛永21（1644）年、伊賀の国で武士の子として生まれた。しかし、29歳の時、武士の身分を捨て江戸へ出て俳諧の道へと進む。その後の芭蕉の俳諧宗匠への道は―。時代背景とともにその生涯を追う。
1-3-140	奥の細道	28	中学生以上 一般	松尾芭蕉が、曾良とともに旅してつづいた“奥の細道”を、芭蕉の歩んだ道をたどりとらえたもので、それぞれの土地で句にたくした芭蕉の想いや、その人となりについて説明している。 (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-3-141	発掘・吉野ヶ里遺跡 ～よみがえる邪馬台国～	45	高校生 一般	「宮室・桜観・城柵を厳かに設け、常に人有りて兵（器）を持ち守衛す」日本の歴史上最大の謎とロマンを秘めた女王卑弥呼の国、邪馬台国の様子を伝える魏志倭人伝の一節である。今まで文献の中でしか伝わらなかった古代王国の姿を具体的に教えてくれるのが、平成元（1989）年全貌を表わした吉野ヶ里遺跡である。
1-3-142	日本歴史の流れ	33	中学生以上 一般	飛鳥・奈良時代の中国文学の摂取、平安時代におけるその日本化、安土桃山時代の南蛮文化の渡来、幕末から明治にかけての西洋文化の影響など文化史の側面を中心に、現在に残る美術品、建築、伝統芸能などを日本各地にたずねて描く。 (文部省選定)
1-3-143	弘法大師 空海	43	高校生 一般	奈良から平安時代の転換期に、宗教改革や農民のための治水工事など多くの偉業をなした空海の生涯を、現存する資料や空海ゆかりの地を背景にとらえている。 (文部省選定)
1-3-144	源氏物語 ～若紫～	25	中学生以上 一般	「源氏物語」は全巻54帖からなる長編古典文学であり、11世紀の初めごろ完成した。この映画は、源氏物語の一節「桐壺」から始まり、光源氏と若紫がめぐり合う流れの中で、特に「若紫」にポイントを置いてまとめたものである。文章の朗読、源氏絵、解説などで源氏物語の内容だけでなく、人物や情景にせまる。 (文部省選定)

【文化映画（文学・歴史）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-3-145	伊勢物語	25	中学生以上一般	「伊勢物語」は、歌物語ともよばれ、和歌を中心に、叙情的な文章でまとめた作品である。この映画は、125段からなる物語の中から、その代表的な歌と文章をとりあげて、伊勢物語の特徴を解説していく。解説は、第一段「初冠」、第九段「あづま下り」、第二十三段「筒井筒」、第八十二段「渚の院」、第八十四段「さらぬ別れ」に加えていく。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-3-146	方丈記	25	中学生以上一般	「方丈記」の作者、鴨長明の生い立ちと時代の背景にふれながら、わずか一万字たらずの文字でまとめられた方丈記の内容と特徴をわかりやすくまとめていく。また方丈記とゆかりのある場所や建物の実写、絵巻、屏風絵、絵図などを紹介し、古典に楽しく親しめるように工夫してある。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-3-147	江戸時代の朝鮮通信使	50	中学生以上一般	江戸時代のけんらん豪華な朝鮮通信使の歴史的意義とその華やかな文化交流の事実は、あまり知られていない。朝鮮通信使は、徳川幕府が朝鮮から招いた大文化使節団である。幕府は、秀吉の朝鮮侵略で途絶えた国交の回復を願い、李氏王朝の使節を1607年に招いた。以後計12回、来日している。この映画は対馬から瀬戸内を抜け、大阪から江戸までの道程を追い、各地で行われた交流の様子を浮きぼりにしていく。  (文部省選定)
1-3-148	森と縄文人	38	一般	今からおおよそ1万2千年前、人びとは、亜寒帯の針葉樹林と交替して新たに形成されつつあった湿帯の落葉広葉樹林の中で、新たな環境への対応を迫られていた。減少していく獣に代わる新たな食料源の確保である。幸いなことに新しい森は、豊かな実りを保証した。そして土器の登場がその利用に途を開いた。人びとは、森を破壊することなく、森とともに生活する共存の道を選んだ。  (文部省選定・教育映画祭最優秀作品賞)
1-3-149	アメリカ合衆国の誕生	25	高校生一般	17世紀初頭に北米大陸に入植したイギリス人は、食料不足等に悩まされたが、先住アメリカ人に生活方法や農作物の栽培方法を教わりながら苦難の道を歩み始める。やがて18世紀後半にはイギリス本国の圧政から解放をめざして闘う。独立宣言の採択、合衆国憲法を制定して、共和制と三権分立による新しい国家が誕生するまでを描く。  (文部省選定)
1-3-150	ばさらの時代	28	一般	鎌倉幕府が倒れ、南北朝の動乱が始まった時代は、歴史の大きな転換点となった。政治、社会、文化の全般にわたって、きわめてドラマチックな変化が起きたのである。この「太平記」の時代、娑婆羅の風潮が一世をふうびした。常人とは異なる衣装・振舞いで注目を集め、奇抜な生き方をしようという流儀である。能、花、茶の文化も、この娑婆羅の中で原形を作りあげた。そのばさらの姿を追う。  (文部省選定)
1-3-151	土佐日記	29	高校生一般	「土佐日記」は、平安朝の歌人、紀貫之によって“かな文字”で書かれた日記である。この映画は、3ヶ月の船旅の日記の内容と関連のある土地の実景や遺跡、絵図等を示すと同時に、日記文の要点になる部分の朗読をとりあげながら、古典に楽しみ、関心を高めることをねらいとして製作されたもの。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-3-152	貴族のくらし	20	小・高学年以上	藤原道長、紫式部、清少納言の活躍した平家時代の中頃、貴族と呼ばれる人々はどうのような生活をしていたのかを探る。貴族による政治形態や、公・私にわたる生活様式、貴族のくらしを支配していた精神的背景も取りあげ、日本風の文化が生まれたことについて探る。
1-3-153	戦後50年の歩み (ビデオ有り：1-3-40)	20	小・高学年以上	終戦時の混乱から、復興、そして高度成長への発展の道を歩んできた日本。戦後50年という時代の大きな区切りを迎えて、この半世紀の歩みを政治・経済・社会などさまざまな分野にわたって回顧し、その意義を深めるとともに、今、日本が直面している問題や、これから進むべき道などについて解説。
1-3-154	近世の技術と生活 ～文字の普及～	21	中学生以上	江戸時代中頃までは、文字を読める者は多くなかったが、近世後期から19世紀にかけて庶民の間に広く普及した。最近の研究では、寺小屋は全国で6万あったと考えられ、幕末の識字率は、世界的に見ても極めて高かったといわれている。この作品は、文字が人々にどのような影響を与え、近代日本を築く大きな役割を担ってきたかを描く。  (文部省選定)
1-3-155	長安と唐の文化 (ビデオ有り：1-3-41)	21	高校生以上	7世紀の初めから10世紀にかけて、中国を統一していた唐王朝は、その200年にわたる支配の中で、かつてない異色あふれる唐文化を育てあげた。この作品は、これら唐文化発展の様子を、都・長安（現在の西安）を背景に捉えながらその文化が東方に伝わり、日本の平城京に天平文化を花開かせたことなどにも言及していく。  (文部省選定)

【文化映画（文学・歴史）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-3-156	総力戦という戦い ～第一次世界大戦～ (ビデオ有り: 1-3-42)	21	高校生以上	1914年7月から4年3か月にわたって繰り広げられた第一次世界大戦。この大戦は、色々な意味で人類が初めて体験する壮絶な戦いであった。この作品は、両陣営の戦争の経緯や勝敗の行方を追うのではなく、各国の国民がどのように戦争に参加し関わったかを探り、「総力戦」と呼ばれた第一次世界大戦の意味を考えようとしたものである。  (文部省選定・教育映画祭最優秀作品賞)
1-3-157	王の墓 埋もれた都市 (ビデオ有り: 1-3-43)	22	高校生以上	古代文明のうち最も早く成立したオリエント文明は、メソポタミアとエジプトの二つの文明圏からなる。治水と灌漑に基づく神権政治が築き上げたこの二つの世界には、共通性と際立った対照性が見い出される。二つの文明の遺跡や出土物をとおしてその特質を探る。  (文部省選定)
1-3-158	世界に開かれた窓 ～出島と朝鮮通信使～	20	小・高学年以上	江戸幕府は、島原の乱をきっかけにキリスト教の取り締まりを厳しくし、1639年にポルトガル船の来航を禁止した。その中でオランダと中国は、長崎の出島で貿易することを許されたが、出島以外の対馬でも外国との交流があった。朝鮮半島から500人からなる使節団が送られてきた。この作品は、鎖国時代の日本の外交と貿易について描く。  (教育映画祭最優秀作品賞)
1-3-159	大仏をつくる ～奈良時代～	20	小・高学年以上	奈良時代で最も栄えたのは聖武天皇の時代である。天皇が即位して間もなく、貴族間に闘争が起こり、また、伝染病の流行により、世の中は不安に包まれた。天皇は仏教の力でその不安を取り除き、平和な世の中になることを願って奈良の都に東大寺を建立し、大仏を造った。大仏の鑄造工程、奈良時代の国力と仏教中心の文化を紹介する。  (教育映画祭優秀作品賞)
1-3-160	更級日記	25	中学生以上一般	更級日記は、菅原孝標女によって書きつづられた作品。彼女の生い立ちと、上総の国から京へ上る旅の間に見聞した出来事や考え事を、実写と多くの資料を使って説明する。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-3-161	革命のロシア (ビデオ有り: 1-3-49)	23	高校生	20世紀最大の実験「ロシア革命」。ソ連崩壊から、革命の掲げた理想と現実、その栄光と悲惨の両面をレーニンにまでさかのぼり、スターリン期の実態も含めて見つめる。記録映像資料・数字データ等も添えて、今日的視点から「ロシア革命」の歴史的意義を考える。  (文部省選定・教育映像祭優秀作品賞)
1-3-162	パリの革命 (ビデオ有り: 1-3-48)	22	高校生	パリの民衆は革命をどのように生きたか？8月10日の蜂起やジャコバン独裁の実相、ヴァンデの反乱など、カルナヴァレ博物館の協力で当時の民衆像を鮮明に再現する。また、女神や祭典、音楽、各種のシンボルといった“政治文化”の新視点からも革命を紹介する。  (文部省選定)
1-3-163	今昔物語集	24	中学生以上一般	今昔物語集の成立や特徴を解説するとともに、「袴垂（はかまだれ）」「馬盗人（うまぬすびと）」などの代表的な話を取り上げ、絵巻や実写などで描きながら、古人の生活やものの見方にふれ、興味・関心を高めるために制作した作品。
1-3-164	万葉集	24	中学生以上一般	万葉集の中から代表的な歌人とその歌を取り上げ、歌の舞台となった風景や映像資料を交えて鑑賞するとともに、作者や時代背景などについて描いた作品。
1-3-165	稲荷塚古墳 ～八角形墳の謎に迫る～	32	中学・高校生一般	多摩市にある都内でも有数の古墳「稲荷塚古墳」が横穴式石室の風化により、保存強化作業の上、埋め戻された。その発掘調査による成果などから築造技術を解明するとともに、全国で11例しか発見されていない八角形墳の謎に迫る。  (文部省選定)
1-3-166	イギリスの産業革命	20	中学・高校生一般	18世紀半ば頃イギリスに起こり欧米から日本に及んだ産業革命は、なぜイギリスで始まったのか。繊維工業に始まり、やがて社会を大きく変えて行った変革の全体像を、イギリス各地に残る遺跡や遺物を通して描き、これがもたらした世界的影響を考える。  (教育映画祭最優秀作品賞)
1-3-167	南北戦争と黒人奴隷解放	26	中学・高校生一般	19世紀初頭、アメリカ合衆国では工業の北部と農業の南部の間に奴隷制をめぐっての対立が生じた。南北戦争の歴史的背景を解明しながら、黒人奴隷解放への軌跡をたどり、今日のアメリカ合衆国の内情に迫る。  (教育映画祭優秀作品賞)
1-3-168	大化の改新	22	小・高学年 中学生	聖徳太子が掲げた理想を受け継ぎ、中大兄皇子や中臣鎌足が中心になって行った大化の改新を、再現ドラマやイラスト・アニメなどによって古代を実感させながら描く。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-3-169	藤原道長	15	小・高学年 中学生	11世紀のはじめ、藤原道長が他の貴族を抑えて政治の実権を握ったところに焦点をあてて、貴族の政治や生活・文化などわかりやすく描く。  (文部省選定)
1-3-170	聖武天皇	15	小・高学年	聖武天皇の時代、都のおかれた平城京の様子や東大寺や巨大な大仏の建立の歴史的背景を、平城京の模型やアニメで表現し、わかりやすくまとめた作品。  (文部科学省選定)

【文化映画（文学・歴史）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-3-171	紫式部	15	小・高学年	紫式部が源氏物語を書いた時代を、大和絵や寝殿づくりの家、十二単や束帯などから具体的に説明し、併せて「かな文字」の発明、日本風の文化の誕生を描き、紹介します。（文部科学省選定）
1-3-172	対馬藩にみる 鎖国時代の国際交流	20	中学生以上	江戸時代の日本は鎖国体制で、幕府の直轄都市・長崎のみが、海外への窓口だったといわれています。しかし、対馬は当時、日本にとって唯一の正式な国交を持った朝鮮との窓口でした。残された記録や風俗を訪ねながら当時の様子などを描きます。  （文部省選定・優秀映画鑑賞会推薦・映倫青少年映画審議会推薦）

【文化映画（旅）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-4-1	日本の美 東海道五十三次	30	小・高学年以上 一般	風景の詩人といわれる広重の「保永堂版東海道五十三次」は、平安以来のやまと絵の伝統である季節叙情をもちこんだ風景画（四季絵）の集大成である。
1-4-2	遺跡の旅1 摩崖の石窟寺院 アジャンター（インド）	10	中学生以上 一般	インド・デカン高原の断崖に開削されたアジャンターの石窟寺院は仏教発祥の地、インドにおける最大の仏教遺跡である。馬蹄形に流れる谷川の断崖にそって東西およそ550メートルにわたって掘られた29の石窟寺院群は、建築、彫刻、絵画を総合しており、インドの古代文化を知る上での最も重要な遺跡である。
1-4-3	遺跡の旅2 岩窟の宗教壁画 カッパドキア（トルコ）	10	中学生以上 一般	トルコ西北部のアナトリア高原に展開する奇岩群地帯には、紀元前1世紀ごろから人が住みついていたといわれる。かれらは、奇岩に洞窟をうがち、自給自足の生活をし信仰の日夜を営んだ。このカッパドキアの岩窟群は、15世紀末からのイスラム侵攻によって廃墟と化した。しかし、その岩石の宗教壁画群は東方キリスト美術の宝庫として脚光を浴びている。
1-4-4	遺跡の旅3 インダスの都市文明 モヘンジョダロ（パキスタン）	10	中学生以上 一般	パキスタンの中部、インダス川の中流の半砂漠地帯に「死者の丘」とよばれた砂丘があった。実はこの砂丘が人工の丘であり、そこから発見された印章がきっかけとなって、丘を中心に2キロ四方にひろがる先史時代の遺跡が発掘された。以来、世界4大古代文明（エジプト、メソポタミア、中国、インダス）の一つとして位置づけられるにいった。
1-4-5	遺跡の旅4 王家の谷 ルクソール（エジプト）	10	中学生以上 一般	世界の発掘史上もっとも劇的な事件は、イギリスの考古学者ハーワード・カーターのツタンカーメン王の墓の発見だろう。舞台はカイロからナイル川を670キロさかのぼったルクソールの東岸にある「王家の谷」である。ここは古代のエジプト新王国のファラオたちの「隠された墓処」だった。
1-4-6	遺跡の旅5 謎のマヤ文明 パレンケ（メキシコ）	10	中学生以上 一般	メキシコ、チアパス州の密林に埋もれて、その存在さえ知られていなかったマヤの遺跡「パレンケ」が、陽の目を見たのは150年ほど前のこと。以来発掘と調査が続けられ昔日の面影を忍ぶことができるまでに復元された。マヤ・アーチの技法でつくられた建築。建築の壁画を飾る化粧塗喰の彫刻など「パレンケ」はらん熟した文明の宝庫というにふさわしい。
1-4-7	遺跡の旅6 インカの遺跡 オリヤンタイタンボ（ペルー）	10	中学生以上 一般	南米のペルーに栄えた帝国は、万年雪のアンデス高地に灼爛たる黄金文化の花を咲かせた。多彩な黄金芸術と太陽信仰、そして皇帝を頂点にいただいた政治。社会組織もよく整備され、インカは太陽の社会主義といわれる国家を実現した。またインカの人々は「石の魔術師」と呼ばれるほど、石造建築に優れた才能を発揮した民族である。
1-4-8	遺跡の旅7 ダリウス王の遺産 ペルセポリス（イラン）	10	中学生以上 一般	ペルセポリスはイランの最大の古代遺跡である。いまからほぼ2,500年前、東はインダスから西はナイルにおよぶ世界最初の大帝國をさすきあげた。帝王ダリウスが自分の創意による設計にしたがって建設したきわめて規模の雄大な宮殿遺構であって、その建築、装飾美術はペルシャだけでなく世界古代史上の1大偉観といわれている。
1-4-9	遺跡の旅8 火山灰に埋もれた都市 ポンペイ（イタリア）	10	中学生以上 一般	突然の火山爆発で、一つの都市を一瞬のうちに溶岩や火山灰で覆ってしまう―生活全体を博物館的に後の時代に伝える方法として、これ以上の手段があるだろうか。とある考古学者は言っている。ポンペイがまさにそれであった。当事者にとっては悲惨きわまる事態が結果として2,000年昔の古代ローマの都市生活を、まざまざと今日に伝えてくれることとなった。
1-4-10	遺跡の旅9 巨石の神殿 パールベック（レバノン）	10	中学生以上 一般	レバノン山脈とアンチ・レバノン山脈にはさまれたベカ盆地にあるパールベックは、1,000トン以上の巨石を集めてつくったローマ時代の神殿群で名高い。出来上った神殿の壮大さは例えばジュピター神殿だけでも、ピルの7階の高さにあたる22メートルの柱が、100本以上使われていることでもわかる。
1-4-11	遺跡の旅10 シルクロードの隊商都市 パルミラ（シリア）	10	中学生以上 一般	シリア砂漠の中央に栄えたパルミラは、オアシス都市として東西貿易に欠かすことの出来ない拠点であった。紀元1世紀から3世紀にかけては、その豊かな財力を背景に、東西文化の結晶ともいべき美しい都市を完成させた。東西文化の様式がまじって、いかにも東西文明の十字路と呼ぶのにふさわしい遺跡である。
1-4-12	大いなるアメリカ	30	中学生以上 一般	日本人はアメリカという国についてかなりよく知っています。しかし「アメリカとは、その文化とは」という設問には簡単に答えられない程、多様性のある国です。この映画は東部・西部の主要都市生活の紹介と、地方都市で日本の少年少女達がアメリカ人家庭で生活する様子も紹介されます。
1-4-13	ヨーロッパの旅	30	中学生以上 一般	この映画は、ヨーロッパ旅行への手引きです。日本人旅行者の数は年々増加の一途をたどっています。旅行の内容も段々、奥行き深いものになってきました。そこで、一歩踏み込んだヨーロッパを撮ろうという意図でスタートしました。これまでのこの種の映画にはなかった場面を加えて、そこに生活する人々の心にも触れていきます。通り一べんの旅行映画にならない様配慮されています。

【文化映画（旅）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-4-14	ポルトガル	30	中学生以上 一般	1543年、種子島に鉄砲が伝来して6年後、フランシスコ・ザビエル神父が鹿児島を経て長崎の平戸へやって来た。日本とポルトガルの本格的な交流が始まった。深い入江を持つ長崎は、その後ポルトガル貿易の中心地となった。日本国中を爆発的な南蛮ブームに湧かせたポルトガルカメラは、ヨーロッパの西のはずれにあたるこの国を余すところなく紹介していく。
1-4-15	東ドイツの旅	32	中学生以上 一般	(旧)東ベルリン市庁舎の前は市民の広場で、土曜と日曜には音楽会が開かれている。歴史が物語る建物も都市計画に組み込まれ、保存されていた。また中心近くに団地があり、都市計画のなかに市民生活を織りこんでいる。古い町角に森鴎外の下宿した家が残っていた。鴎外の訪れたベルガモン博物館、国立オペラ劇場、ベルリンはシュプレ川にのぞむ村から発展した都市で美しい水郷風景である(1990年のドイツ統一前に製作されたもので、名称が異なります)。
1-4-16	東南アジアの国々(1) マレーシア	18	中学生以上 一般	東南のアジア、長い間植民地として抑圧されてきたこの地域は、生活の面でも産業の面でも、ここから発展しつつある地域である。しかし、先進国の文化は早くからはいつていたし、新しい独立国として建設の意気込みも目ざましい。この映画はマレーシア共和国の生活と産業を、その背景となる自然の姿とともに生き生きと描き、さらにここに住む人々がどんな願いをもち努力をしているかについて描いている。
1-4-17	東南アジアの国々(2) フィリピンとインドネシア	19	中学生以上 一般	この映画は、自然条件、農業とその問題点、プランテーションとその近代化、諸外国の影響とナショナリズムの動き、工業の近代化と日本との関係、日本の技術協力……など、広い視野からこの地域の実態を見させ、「地域の特徴」を浮きぼりにしている。自然・米作・熱帯農業・自給的農業・マニラ麻・工業化と輸出・諸外国の影響とナショナリズム・国内の近代化など多方面にわたって紹介する。
1-4-18	インドネシアの母たち	32	中学生以上 一般	この映画はインドネシアのジャワ島のごく普通の米作農民の生活とそのところを伝えようとするものである。それは私たち日本人に親近感を与える意外に身近な人々である。アジア地域の人口の爆発的な増加は、食糧問題との関係で大きな問題にもなっている。
1-4-19	インド ～文化の源を訪ねて～	27	中学生以上 一般	この映画は、はじめの部分で、インドの独立記念の民族色豊かなパレードや、独立に至る歴史や宗教の違い、社会の複雑さなど、インドのかかえる問題を描いている。しかし、中心になっているのは長い歴史と古い文化の中ではくまれた建築、工芸、音楽、舞踊などの特色のある伝統文化である。古い歴史と高い文化、そして民衆の貧しさ、インドは広く大きな国であり、その社会はまことに複雑である。
1-4-20	マレーシア	19	中学生以上 一般	マライ半島のマラヤと遠く海をへだてたボルネオ島のサバ、サラワクからなるマレーシア連邦。この国はゴム、スズ、コブラ、木材等を多量に産し、素朴な農村の食生活をにぎわず魚類もゆたかである。食料の自給を目指し耕地をひろく他、工業面でも努力をかかえている。その反面、異文化多民族の国家統一を計るといふ大きな問題をもつ。この映画は建国間もないマレーシア連邦の国づくりを紹介する。
1-4-21	タイ	17	中学生以上 一般	タイはアジア大陸の南東、インドシナ半島の中央に位置し、東南アジアの他の国とちがって、ヨーロッパや中国の支配を受けたことがなく、タイの人々は、自分たちを「自由の民族」とよんでいる。タイの国民のほとんどが仏教徒であり、男子として生まれたら、一生に一度は仏門をたたくことが社会的に一人前と見られる前提条件となっているなど、生活の中心に仏教のいろいろな行事が組みこまれている。
1-4-22	イスラエル	13	中学生以上 一般	一度国家が消滅し、文字通り世界中へ散り散りになった民族が、長い年月のちにもう一度自分たちの国を建ておかせた—世界でもめずらしい例ではなからうか。建国後日浅く、なお多くの問題をかかえ、世界の注目の中にあるイスラエルの今日をさぐる。現代のイスラエル人は、住みついていた世界各地のことばや風習や生活を身につけたまま、祖国イスラエルに集まってきている。
1-4-23	洞窟の遺跡 秘境カッパドキア	27	中学生以上 一般	アナトリア地方<トルコ共和国>にあるカッパドキアの景観は岩石と峡谷の複雑な地形からなりたっています。火山の噴火で溶岩が流れ出し、雨でその火山灰をとかし、氷河が火成岩に峡谷を切り刻み、岩の表面は風と雨により風化され荒々しい岩峰の連なりとなった。撮影不可能といわれた今世紀最大の洞窟遺跡カッパドキアに初めてカメラをもちこみ、大自然の雄大さと人間の歴史の重みを描く貴重な記録映画。
1-4-24	神秘の湖 ～チチカカ湖の伝説～	45	中学生以上 一般	この作品は、ジャック=イブ・クストーの珍しい湖底探検の貴重なフィルムです。アンデス山中のチチカカ湖には、古代インカ文明の遺跡と多くの秘宝が眠っているという。この謎にみちたチチカカ湖をカリブソ号一行は調査することになります。海拔4,000mという高度にあるため、さまざまな困難が生じます。酸素不足、気圧の低さ、更には淡水であること、ダイバー達はこれを克服してカメラを回しました。

【文化映画（旅）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-4-25	五大湖地方	21	中学生以上一般	アメリカ合衆国は世界に誇る巨大な工業生産国である。中でも五大湖地方はその心臓部になっている。この映画は、豊かな資源と水運・工業都市における高度の生産などと有機的に結びついて大きく発展した五大湖地方の鉱工業の特色を素晴らしい映像による具体例を通して描き出している。
1-4-26	ハワイの休日	30	中学生以上一般	海外とのかかわり合いがますます深まっている日本では、海外視察や休暇旅行も国際化の時代になってきました。この映画は、身近な旅行映画のかたちをとりながら、オアフ島だけでなく、ハワイ諸島の紹介や、そこの人々の生活にも触れていきます。動く図鑑として、また、海外旅行のオリエンテーションや報告会などに最適な作品である。
1-4-27	中国 長城と運河	30	中学生以上一般	今からおよそ二千年前、秦の始皇帝によって建設され、15世紀はじめ明の時代に大改修と新たな建築が行なわれた万里の長城。7世紀はじめ隋の煬帝によって開削された運河。二つは、ともに世界最大の土木事業といわれるが、長城は巨大な文化遺産として歴史を語りかけ、運河は今日つぎつぎと新しい改修、建設が進められて、中国の水上運輸の大動脈となっている。長い文明の歴史と今日の姿を重ね合わせて描いている。
1-4-28	中国 瀟江を行く ～山水画の世界～	30	中学生以上一般	日本文化の粋のように思われる山水画も、その源流は中国にあるが、まるでその山水画の世界そのままの風光を展開するのが、中国南部桂林を流れる瀟江である。奇峰奇岩が群をなしてつぎ、美しい水にそれが映える。世界的に美しいこの風光を中国秘蔵の山水画の名品と合わせて、世界にはじめて紹介するとともに、そうした風光をいかに愛し、また瀟江の水をどのように生産に結びつけているかを描いている。 (文部省選定)
1-4-29	美しい中国を訪ねて	30	中学生以上一般	万里の長城を筆頭に悠々と流れる黄河、黄山や泰山、なじみの深い西湖、雲崗・龍門・敦煌等の石窟や石仏。絶景の一語に尽きる長江三峡。重慶から武漢に至る山峡下り。昆明の石林。桂林、瀟江…等々、美しい中国を空撮を交えて描きます。 (文部省選定)
1-4-30	ひろしまに川は流れる	26	一般	広島のみちをつくってきた太田川に視点を据え、広島市の歴史・産業・交通や、春夏秋冬の風物・催し（フラワーフェスティバルやとうか祭など）、こども文化科学館・映像文化ライブラリー・ひろしま美術館など文化施設の紹介を織りまぜた広島市のPR映画。
1-4-31	海と太陽の島 ～おきなわ～	28	中学生以上一般	静かなサンゴ礁の青い海、荒々しい岩肌をむきだしにした男性的な海の自然と、そこに育った特異な文化を、音楽と自然で詩的に描き、「おきなわ」を映像詩としてうたいあげる。
1-4-32	四川 ～熊猫(パンダ)の故郷～	10	小・高学年以上一般	中国の西南部、長江の上流に位置する四川省は、パンダの故郷である。成都の紹介から、さまざまな名勝・旧跡、工芸品、四川料理などを紹介していく観光映画である。
1-4-33	ミシシッピ一川流域をたずねて	27	中学生以上一般	これからのわが国の経済の道は、諸外国との共存共栄にあるといえる。そのためには、諸外国の実情を今まで以上に理解することが必要となる。この映画は、このような立場から、アメリカ合衆国のうち、わが国民に余り知られていないアメリカ合衆国のもう一つの顔、ミシシッピ一川流域を紹介し、アメリカ合衆国理解の一助とするものである。 (文部省選定)
1-4-34	伊勢志摩の旅	20	中学生以上一般	この映画は、観光資源の豊富な三重県のなかでも、その中心である伊勢志摩地方に焦点をあわせて描いたものである。伊勢神宮、二見町の御塩浜、伊勢志摩スカイライン、鳥羽港、真珠の養殖、あわび取りの海女、的矢湾、磯部御田植祭りなど、古くからの民俗行事や祭を中心に、郷土色にあふれたこの地方独特の姿を余すところなく紹介した、美しい観光映画。
1-4-35	三重をめぐる	21	中学生以上一般	三重県というと昔からお伊勢参りや、伊勢志摩だけに目を向けすぎて、他の魅力に気づくことが少ない。北伊勢の人口的行楽地、伊賀地方の史跡や美しい自然にみちた山と溪、紀伊半島先端に広がる深い森林や、黒潮に洗われる太平洋のきびしい自然など、この映画は、こうしたさまざまな土地を紹介し、人々の関心を三重県全体に拡げてくれる。
1-4-36	森と海の詩	26	一般	原始以来の森と、深く谷をえぐる熊野川、断崖を洗う熊野灘、そこに住む人たちは、原生林の伐採や遠洋漁業に出ることによって暮らしの糧を得ている。この映画は、三重県熊野地方の自然・風土を紹介するとともに、そこに営まれる森と海の生活をそれぞれの祭を中心に詩いあげる。
1-4-37	中近東 ～国土と人々～	20	中学生以上一般	この映画は「中近東」と呼びならされている西アジアから北アフリカにかけて、アラビア半島を中心に、その風土と、メソポタミア文明、エジプト文明、北アフリカ西端のモロッコやイランの古代と現代など、イスラム世界を総論的に紹介していく。そして今日、世界の注目を集めているこの地域の石油の産出が、地域社会にもたらした変化を、その歴史的な背景とともに多角的に考えさせる。

【文化映画（旅）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-4-38	ラテンアメリカ ～歴史と遺産～	17	中学生以上 一般	アメリカ大陸の過去に栄えたインディオの文化と、ラテン系ヨーロッパとの接触、血なまぐさい異文明の流入、フランス革命やアメリカ独立戦争の影響による、ヨーロッパからの解放、そうした歴史の中で形成されたラテンアメリカ諸国と現在の経済的環境などを解説していく。
1-4-39	西への旅 ～シルクロード～	26	中学生以上 一般	この映画は、西安、かつての唐の都であった長安を起点にして、蘭州を訪れ、万里の長城の最西端にある街・酒泉を経て更に敦煌へと中国内のシルクロードのうち、最もボリューミーなコースを訪ねる西への旅。そこに残るさまざまな歴史の遺跡を紹介し、三千年の時の流れの中の現代中国、その風土の中で覚えたさまざまな感慨を紀行文の形で映像表現したもの。
1-4-40	エジプトの遺跡	20	中学生以上 一般	古代エジプトを代表とするピラミッドやスフィンクス。エジプトにはすばらしい遺跡が沢山ある。そうした世界的な遺跡を系統的に描いた貴重な記録。（文部省選定）
1-4-41	イスラムの聖地	22	中学生以上 一般	約6億人の教徒を持つイスラム教の性格を掘り下げながら、モハメッドとイスラム文化、その文化を受け入れた国々との融合などを聖地メッカを中心に描く。
1-4-42	敦煌の芸術	36	高校生 一般	敦煌の東南、鳴沙山の山腹に492個の石窟がある。その莫高窟の中には4～14世紀、約千年にわたる各時代の文化を反映した塑像・壁画が秘められている。この映画は、その世界最古・最長の石窟画廊の扉を開き、すばらしい芸術を紹介していく。
1-4-43	箱根の自然と歴史	28	小・高学年以上 一般	徳川期に関所が設けられ、江戸の表玄関として重要な位置を占め、また現在も温泉地として有名な箱根の自然の成因や歴史を、箱根火山の生成・火山活動・箱根道の変遷、旧東海道や関所跡の様子、その四季などを通じて描き出していく。
1-4-44	鎌倉 江の島を見る	25	小・高学年以上 一般	鎌倉、江の島の歴史とその背景を考えるため、散在する史跡を集めて系統化し、さらに江の島を地質的にながめて、観光地化された鎌倉、江の島を別の立場で見つめさせる。
1-4-45	日光をさぐる	25	小・高学年以上 一般	日光に旅して何を見、何を考えたらよいか。この映画は100万年前にさかのぼり、日光の大自然形成の跡をたずねて偉大な自然美を探り、その中に生まれた東照宮・大猷院の人工美を追求している。  (文部省特選)
1-4-46	フランス	20	中学生以上 一般	よく知られている風景、エッフェル塔や凱旋門だけでなく、フランス各地の気候風土、産業、生活など、未来をめざして変わりつつある姿がそのままに紹介され、新しいフランスを知る手引きとなる。
1-4-47	西ドイツ	20	中学生以上 一般	(旧)西ドイツを、工業中心に現状や発展ぶりを通して描き、風景に恵まれた南部や、陸の孤島のような(旧)西ベルリンなどにもふれながら、第二次大戦の傷跡もいえた工業の巨人を語る。(この作品は、1990年のドイツ統一前に製作されたもので、名称が異なります。)
1-4-48	スイスとオーストリア	21	中学生以上 一般	ヨーロッパの屋根アルプス連峰のふもとの国、スイスとオーストリアは、山がちのせまい国土にもかかわらず、高水準の国民生活を営んでいる。二国を繁栄に導いた国民の生活をありのままに描く。
1-4-49	イタリア	21	中学生以上 一般	工業・商業・農業いずれも活気をみせる北部。土壌条件が悪く近代化の進まない南部。そんな南北の対比をみせながら、豊富な観光資源もつし、明日の発展をみざして努力するイタリアを描く。
1-4-50	菩提樹の下で ～スリランカ 水と人々～	34	中学生以上 一般	スリランカの国土の3分の2は、「ドライゾーン」と呼ばれる乾燥地帯である。450年にわたる長い植民地経済から脱したスリランカは、食糧自給をめざして、今、この地に再び豊かな農業をよみがえらせようとしている。映画では、灌漑をはじめとする水の問題に取り組むスリランカの国と民衆の姿を描く。
1-4-51	日本の心のふるさと 萩	60	一般	明治維新の原動力の地としての「萩」の歴史（毛利輝元・吉田松陰ほか）、史跡（松下村塾・明倫館ほか）や文化財、風光、町並み、観光、伝統（萩焼）、四季の行事などをくまなく紹介していく観光映画。
1-4-52	京の風物詩	30	一般	歴史の都、京都にはすばらしい文化遺産が数限りなくある。この映画はその中の年中行事に焦点をあて、葵祭・祇園祭・時代祭という京都の三大祭から、町々に祭られているお地藏さんの地藏盆に至るまで、京都に伝わる大小さまざまな祭や伝統芸能・歴史的行事のすべてを、四季の美しい風物と共に描いている。
1-4-53	あなたと夏のまつり東北	24	一般	青森のねぶた、秋田の竿灯、仙台の七夕、山形の花笠など東北の夏の祭りを紹介する。
1-4-54	あなたと冬のまつり東北	24	一般	青森八戸のふんぶり、岩手の雪まつり、秋田のかまくら、なまはげ、宮城のたこ揚げ大会、山形の樹氷まつり、福島の日守三山眺祭りなどを紹介する。
1-4-55	九州夏の三大祭り	24	一般	九州の三大祭り、博多祇園山笠、小倉太鼓祇園、戸畑提灯大山笠の勇壮豪快な祭りの精神を画面を通じて描いていく。

【文化映画（旅）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-4-56	山陽路の旅 ～姫路から岡山へ～ ～瀬戸内と広島～	40	一般	姫路と本州最西端の下関を結ぶ山陽路。この作品は、第一部は「姫路から岡山」と題し、姫路城、後楽園、閑谷学校、吉備風土記の丘、大原美術館などを、第二部は「瀬戸内と広島」と題し、厳島神社、広島城、錦帯橋、鞆の浦、音戸、因島、尾道、岩国など、各地の歴史と文化遺産などを紹介。
1-4-57	山陰 ～歴史とふるさと～	30	一般	隠岐、松江、出雲、倉吉などの歴史と文化を、山陰ならではの豊かな自然の営みを背景に紹介していく。
1-4-58	四国路	24	一般	宇高連絡船で高松へ。美しい海と山、鳴門のうず潮、徳島の人形芝居、阿波踊り、南部海岸一帯の自然と風俗を見ながら、宇和島、松山へと移り変わる。
1-4-59	カナダ 冬の旅	17	一般	バンクーバーからケベックにいたる、美しくも厳しいカナダの冬を知る旅― 若い国カナダの町々を訪ね、自然条件と闘いながらも生活を楽しむ人々にふれ、雄大なカナダの自然を描く。  (文部省選定)
1-4-60	北ヨーロッパ三国 ～デンマーク・ノルウェー・ スウェーデン～	18	中学生以上 一般	清潔な町と福祉国家で知られ、豊かな生活を営む北欧三国の共通点と相違点を紹介しながら、与えられた条件と資源を生かし作られる北欧の製品、その優秀性はどこから生まれるのか、その理由を解明する。  (文部省選定)
1-4-61	イギリス	19	中学生以上 一般	人口密度の高いイギリスを世界の大国として支えてきたのは、海運を利用する経済活動と各種の産業である。そのイギリスの現状を、各地の人々の生活を交えながらとらえていく。  (文部省選定)
1-4-62	オランダ	16	一般	海を埋め立てて巨大な堤防を築き、新しい国土を作るオランダ、その産業と文化を中心に人々の生活を織りまぜ描いている。  (文部省選定)
1-4-63	スペイン	16	一般	スペインはヨーロッパ大陸の南西に突き出したイベリア半島にある。映画は、この国の建国の歴史とともに、自然条件を背景に人々の生活、産業、社会、経済、文化の全貌を描く。  (文部省選定)
1-4-64	ギリシャ	14	一般	古代ギリシャは民主国家発生の地である。ギリシャの歴史と発展の経過を織りまぜながら商業、産業、文化について描いていく。
1-4-65	オーストラリア	22	一般	都市化の著しい沿岸部から未開の広い奥地まで、オーストラリアの現在の姿を産業、市民生活、文化などを通して描いていく。
1-4-66	信州の自然と歴史をたずねて ～東北信編～	28	高校生 一般	長野市を中心とした信州東北部の四季の変化を背景に、この地方の歴史や文化遺産について紹介。
1-4-67	中山道・碓氷峠をたずねる	28	中学生以上 一般	江戸時代になって制定された五街道の一つ中山道の碓氷峠を中心に、坂本の宿場街や関所跡を紹介するとともに、当時の経済の発達や文化の伝播について描いた映像風土記。  (文部省選定)
1-4-68	信濃の自然とまつり ～中南信編～	29	高校生 一般	諏訪大社のお舟まつりや田立の花馬まつり、大町に伝わる流鏝馬など、信濃の民俗行事を四季の美しい風物とともに描く。
1-4-69	鉄砲伝来の島 種子島	37	高校生 一般	東南アジアからの文化の渡来地であった種子島の歴史や、風俗、習慣、産業などについて、恵まれた自然を背景にとらえる。  (文部省選定)
1-4-70	太陽の旅 かがしま	24	高校生 一般	豊かな自然の営みを背景に、鹿児島島の魅力をさまざまな角度から紹介。
1-4-71	まつりの島 太平山	25	高校生 一般	沖縄県平良市を豊かな自然の営みを背景に紹介したもので、素朴なまつりや芸能、そして人々の生活を描く。  (文部省選定)
1-4-72	若狭・丹後・但馬 ～風土と歴史～	27	中学生以上 一般	若狭湾国定公園や山陰海岸国定公園に代表される自然景観や、数多く残されている歴史的遺産を背景に、若狭・丹後・但馬の風土と歴史について説明。
1-4-73	近江 ～歴史と文化～	30	中学生以上 一般	琵琶湖とその周辺に残る大津京跡や石山寺、西明寺など、数多くの歴史的遺跡や建造物をとらえながら、近江の歴史と文化について説明。  (文部省選定)
1-4-74	東京 ～むかしと今～	25	小・高学年以上 一般	首都東京の昔と今の様子を、貴重な絵画や写真、文化遺産、実景などを交えて描き、江戸城下町成立の歴史や文化、生活を想い、その変遷と歴史的条件との結びつきなどを考えながら、首都東京がどのようにして今日の姿に発展してきたかを理解していく。  (文部省選定)
1-4-75	飛騨の高山	50	中学生以上 一般	京都風のゆるやかな線、素朴な建造物など、高山には芸術がある。そして、高山祭。盛り上がるエネルギーに飛騨の人々の血と感動をこまやかに描く。  (文部省選定)

【文化映画（旅）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-4-76	フランスはぶどうの村で	25	中学生以上 一般	<p>泰西名画を思わすような牧歌的なフランスのぶどうの村。昔ながらの地主と小作、ドイツから来ている出稼ぎ青年、トラクターのそばを荷車をひいていく若者など、この映画では、古いものと新しいものが共存し、しかもそれぞれの良さを自信をもって受けついでいく村人たちの生活を描き、また若者と年寄りのそれぞれ自立し干渉しない生活態度を紹介する。</p> <p>(文部省特選)</p>
1-4-77	ドナウ川と人々の生活 ～ハンガリーを中心に～	20	中学生以上 一般	<p>ドナウ川の流域に位置する国ハンガリーの農業や産業の現況、そして人々の生活の様子をとらえるとともに、国際河川としてのドナウ川のもつ意義や、川と人々とのかかわりあい説明。</p> <p>(文部省特選)</p>
1-4-78	西アジアの自然と生活 ～カタールを中心に～	20	中学生以上 一般	<p>砂漠が多く乾燥の激しい西アジアの自然と人々の生活の様子を、アラビア半島の一角に位置する国カタールをとりあげ描いたもの。石油資源の開発による人々の生活の変化や、砂漠における水利利用の工夫、イスラム教との深いつながりなどについて説明。</p> <p>(文部省選定)</p>
1-4-79	修学旅行事前研究 奈良Ⅰ・Ⅱ	30	中学生以上 一般	<p>NHKの豊富な映像を中心に、奈良の最新の情景を新規に撮影して、その自然、歴史、生活、文化、産業などを、観光スポットとしての楽しみを織り込みながら紹介する。</p> <p>〈奈良Ⅰの部〉平城京はいま 一町と寺院を中心に— 〈奈良Ⅱの部〉古代のなぞ 一古墳と石造物を中心に—</p>
1-4-80	修学旅行事前研究 京都Ⅰ・Ⅱ	30	中学生以上 一般	<p>NHKの豊富な映像を中心に、京都の最新の情景を新規に撮影して、その自然、歴史、生活、文化、産業などを、観光スポットとしての楽しみを織り込みながら紹介する。</p> <p>〈京都Ⅰの部〉歴史に生きる 一人と社会体制を中心に— 〈京都Ⅱの部〉暮らしの四季 一生活と文化を四季に合わせて—</p>
1-4-81	坂 ～くらしの中の風景～	33	一般	<p>坂というのは、傾斜のある道にすぎないのに他の道とは違う愛着がある。坂に名前がつくのも、そうした無意識の世界のあらわれなのだろうか。この映画は、東京都文京区にある名のついた坂100のうち、文学者が作品に描いた坂、伝承にまつわる坂、富士見坂のように風景を織り込んだ坂などを訪ねていく。</p> <p>(文部省選定)</p>
1-4-82	これからの街づくり	30	一般	<p>ふるさと創生運動が盛んになり、今や全国各地に個性的で魅力ある街づくりが展開されている。そこには、いずれも観光の振興と住民の暮らしよさを考慮した点など、今までと違った新しい発想による町並がつけられている。その事例を紹介する。◎長野県妻籠宿 ◎愛知県三河高原の足助町 ◎長野県千曲川沿いの小布施町 ◎滋賀県琵琶湖畔の長浜市 ◎神奈川県横浜市</p>
1-4-83	メラピ火山の麓の村で ～インドネシアの砂防～	21	一般	<p>インドネシアの古都ジョグジャカルタ市にあるメラピ山麓は、豊かな穀倉地帯であると同時に、火山泥流にたびたび襲われる危険な地帯でもある。この映画は、自然災害から暮らしを守る警報システムや砂防施設の配置及びその技術者の養成を図る日本からの国際協力の姿を素材に、背景になっているインドネシアの自然と人々の生活、ポロブドゥールやワヤン芝居などジャワ文化についても興味深く描いている。</p> <p>(文部省選定)</p>
1-4-84	バラングイを駆ける ～フィリピンの ヘルスワーカー～	33	青年 一般	<p>バラングイとは村のこと。日本赤十字社の援助のもとに、フィルピン赤十字社によって育成された「村を駆ける」ヘルスワーカーたちの活躍の姿を追う。彼女たち自身、苦しい生活を支えながら、ボランティアとして、村人の衛生思想の普及、地域医療の充実、自活への誘導と、献身的努力を傾ける彼女たちとフィリピンの村々の現状を描く。</p> <p>(文部省選定)</p>
1-4-85	ベンガルに生きる	34	青年 一般	<p>バングラデシュは、ガンジス川などベンガル湾に注ぐ大河の河口に位置し、国土のほぼ一割を河川が占め、国土の大半は海拔2～3メートルの低地帯である。この国では、毎年のように暮らしを脅かす洪水とサイクロンに襲われている。その厳しい生活の中で、サイクロンシェルターの建設や、避難訓練の様子、保健衛生活動など自立をめざす活動の実態を追う。</p> <p>(文部省選定)</p>
1-4-86	クーロンの素顔 ～ベトナムの村の女たち～	39	一般	<p>ベトナムは、日本から九州を除いた程の国土をもつ。第一次インドシナ戦争、ベトナム戦争で超大国と戦い、1975年のサイゴン陥落によって、南北ベトナムの統一を果たした。その後、社会主義国家として経済機構や制度の統一を目指し、大きく変わろうとしている。特に、停滞していた村の空気を変えはじめた農村の女性たちの保健ボランティア活動を紹介。</p> <p>(文部省選定)</p>

【文化映画（旅）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-4-87	ねぶた祭り ～津軽びとの夏～	34	一般	東北を代表する夏祭り「ねぶた祭り」は、青森の「ねぶた」と弘前の「ねぶた」が有名だが、その他津軽地方を中心に、今もたくさんねぶた祭りが行われている。この映画は、青森ねぶたを中心に、ふだん見られないねぶたの製作の様子を紹介しながら、その準備から祭りの当日までを描く。  (文化庁優秀映画作品賞・文部省選定)
1-4-88	スマトラ物語	34	高校生以上	スマトラ島は、インドネシアで二番目に大きな島である。この島のいくつかの町や村を訪ね、それぞれの異なった地域社会の暮らしや、人々のものの考え方を、生活改善に取り組む民衆の姿を通して捉え記録した作品である。  (文部省選定)
1-4-89	東西の接点 イスタンブルを歩く	21	高校生以上	トルコ最大の都市・イスタンブルはアジアとヨーロッパの接点にあり、ギリシア時代から2000年以上もの伝統をもち、独自の文化を育てあげてきた。この作品は、ビザンティン帝国の歴史、オスマン帝国の歴史をイスタンブルに辿りながら、この街の東西交流の接点としての性格を描く。  (文部省選定・教育映画祭最優秀作品賞)
1-4-90	イスラムの信仰と生活 (ビデオ有り：1-4-68)	22	高校生以上	人口8億を超えるといわれるイスラム圏は、唯一神アッラーを信仰するひとつの世界であり、それぞれの地域や国ごとに多様に発展し、世界の政治・経済・文化に大きな影響を与えてきた。この作品では、その中心となる中東諸国を訪ね、イスラムの信仰、歴史、生活などをわかりやすく紹介する。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-4-91	文明を湛える海 地中海世界 ～ギリシア・ローマ～	21	高校生以上	地中海沿岸部の人々は、地中海を中心に盛んに交流を行い、そこから、様々な特色のある文明が生まれ出されてきた。この作品は、現代のヨーロッパ文明の基盤ともなったギリシア・ローマの古代文明に焦点を当て、現在にまで残る遺跡を中心に紹介し、古代地中海世界の歴史をたどる。  (文部省選定)
1-4-92	ナイル川と人々の生活	20	中学生	ナイル川と深く結びつきながら営まれているエジプトの人々の生活を、ナイル川流域の自然環境と歴史的背景、川と農業、アスワンハイダムとそれによる開発の功罪などを通して描く。  (文部省選定)
1-4-93	広大で豊かな国・ オーストラリア ～人びとの暮らし～	21	小・高学年	オーストラリアの内陸部に住む2つの家族を密着取材し、日常生活や小学校の様子、羊毛生産の仕事などを紹介すると同時に、経済や文化の面など、日本との深い結びつきを描く。  (文部省選定)
1-4-94	北ヨーロッパ ～自然と暮らし～	21	中学生以上一般	北欧の自然の特色を概観しながら、やせ地を改良し開拓地を拡大して模範的な酪農畜産国をつくりあげたデンマークの農業を中心に、その風土と人びとの暮らしを紹介します。  (教育映画祭優秀作品賞・文部科学省選定)

【文化映画（科学）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-5-1	宇宙の気象台ひまわり	31	小・高学年以上 一般	世界気象監視計画の一環として、1977年7月に東経140度の赤道上空35,800kmの円軌道に打ち上げられた静止気象衛星「ひまわり」の打ち上げ実況からこの映画ははじまる。「ひまわり」から気象情報を送るしくみや、雲の温度と雲の形から雲解折図を作成するなど、大気の大循環や温帯低気圧の発達を映像的にわかりやすく説明していく。  (文部省特選・産業映画コンクール文部大臣賞)
1-5-2	人類月に立つ	10	小・高学年以上 一般	1969年7月16日、ケネディ宇宙センターから、重さ2,760トン、全長110mのサターン5型ロケットが月に向かって発射された。アポロ11号と名づけられたこのロケットが、人類史上はじめて月面に着陸したのを記念して作られた映画です。最初に月面を歩いたアームストロング船長、それを補助したオールドリン飛行士、2人の行動を助けたコリンズ飛行士の3人の活躍を描いていく。
1-5-4	人工衛星とくらし	15	小・高学年以上 一般	はじめて人工衛星が打ち上げられておよそ20数年、それらは私達のくらしとどのようななかかわりを持ち、どのような関係があるのだろうか。一日に5～6回情報を送り続けている気象衛星「ノア」。世界の国々の距離を大きく縮めた通信衛星「インテルサット」。地球上のあらゆるものを写し出してくれる資源探査衛星「ランドサット」…今この広大な宇宙には700個もの人工衛星が回っている。
1-5-5	異常気象 ～大気の流れをめぐって～	30	中学生以上 一般	1963年冬の北陸豪雪、この時、北アメリカ・ヨーロッパにも異常寒波、1962年のインド北西部の干ばつ、1974年7月のバングラデシュ洪水。異常気象が今、世界を覆っている。そして異常気象から食糧危機が現実の問題となってきた。異常気象はどうして起こるのだろうか。原因はわからないが、一つははっきりしているのは、1940年以降北極圏の気温が下がって来ている事実である。
1-5-6	野尻湖発掘の記録	32	小・高学年以上 一般	この映画は長野県野尻湖第六次発掘（1975年3月）の状況と、これまでに発掘された多くの化石や資料を手がかりに、ここに住んでいたナウマンゾウやオオツノシカ、それらを獲物にして生活していた野尻湖人の当時の姿を明らかにしている。こうした学問的価値とともに、この発掘で大書さるべきは老人から子どもまで1万1千人という大衆の積極的な参加があったことで、世界でも珍しい大衆活動である。
1-5-7	月 ～その石が語った誕生の秘密～	25	小・高学年以上 一般	「私の一歩は小さいが、人類にとっては大きな一歩である」アームストロング船長の名セリフによって頂点に達したアメリカの月探査。1969年7月のアポロ11号の月面着陸を始めとするアポロ計画の感動的場面を再現するとともに、アポロ計画によってもたらされた月の謎。そして地球の謎にせまる。それは、宇宙を舞台とした人間の未来へと続く限りない探究の旅の第一歩を描いたフィルムである。
1-5-8	火星 ～赤い惑星に生命を求めて～	25	小・高学年以上 一般	古くから生命の存在が期待されていたあの赤い惑星、火星。今世紀の初頭アメリカの天文学者ローウェルは、火星には運河さえもあると主張した。しかし本当に火星に生命は存在するのだろうか。火星の生命探査の様子をバイキング1号・2号の息づまる記録から教えてくれるだけでなく、私たちの地球に豊富にたえられた水のありがたさを、しみじみと知らせてくれるものである。
1-5-9	水星 ～太陽直下の惑星に見た天地創造の日～	25	小・高学年以上 一般	第一惑星、水星。太陽の真近をめぐるとこの惑星は、私たち人間になかなかその素顔を見せなかった。近年、マリナー10号が月そくりの無数に残るクレーターにうめつくされた素顔をとりえた。この映画は、これら無数に残るクレーターから水星誕生の謎をさぐる中で、衝突という現象が地球型惑星の形成に重要な過程であることなどを明らかにしていく。
1-5-10	木星 ～太陽になれなかった巨大惑星～	25	小・高学年以上 一般	地球から6億kmのあなたにある巨大惑星、木星。それは、太陽と同じような物質でできたガスの惑星である。ボイジャー1号・2号の鮮やかな映像を忘れることはできない。初めて目にした巨大惑星木星の姿と、ガリレオ衛星の姿。そして生きていたイオ火山。私たちがボイジャーの映像・探査から知ったのは、それらの実像だけでなく、今まさに進行している宇宙の壮大なドラマであった。
1-5-11	金星 ～厚い大気の底に 灼熱の地獄があった～	25	小・高学年以上 一般	明けの明星、宵の明星と呼ばれる金星。全天で一番明るいこの星を知らない人は、おそらくないだろう。だが、この星が地獄のような世界をもっていることを知る人は、どのくらいいるのだろうか。この映画によって、金星の厚い大気のペールをはがし、その地獄ぶりを鮮やかに私たちに伝えてくれる。もう5千万km太陽に近ければ、地球も同じ地獄になっていたのだというおそろしい事実とともに。
1-5-12	土星 ～その輪が外惑星の 秘密を知っている～	25	小・高学年以上 一般	巨大惑星のうち、土星がもつリングの正体は、いったい何なのだろうか。1600年代のガリレオの発見以来、私たち人間がさまざまな手段で探査を続けてきた土星。その探査もバイオニア11号以来、最先端の科学技術により長足の進歩をとげている。この映画は、ボイジャー1号の土星探査の様子からリングの正体を探り、さらに巨大惑星やその衛星系の形成との関連を探っていく。

【文化映画（科学）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-5-13	スペース・シャトル ～宇宙への旅立ち～	25	小・高学年以上 一般	1981年4月12日午前7時、スペース・シャトル「コロンビア」は、人類の限りない夢と期待をのせて大空高く飛びたった。この瞬間、人類は永遠の夢だった宇宙旅行のパスポートを手に入れたのである。この映画は、スペース・シャトルのすべてをあますところなくとらえた貴重なドキュメントフィルムである。スペース・シャトル計画をメインに、スペースコロニー計画までを描いたスケールの大きい映画である。
1-5-14	宇宙への第一歩	25	小・高学年以上 一般	人類は長い間、地球の大気の下にうずくまるようにして生きてきた。大気の下を抜け出たところが「宇宙」だと知りながら、ごく最近まで全く手のとどかぬ世界として考えていたのである。しかし、20世紀になってはじめて宇宙空間にとび出し、とうとう月の土を踏むことができた。900年にわたるロケットの歴史は人類の未知への好奇心と冒険心をわかせた。この映画は、貴重なフィルムによるロケットの発達史である。
1-5-15	揺れ動く大地 ～地震の驚異～	30	小・高学年以上 一般	地震—それは時として私たちに大きな災害をもたらす自然の脅威、しかもいつどこで起こるか分からない。絶えず変動し続ける地殻。その下で噴き出そうとゆれ動いているマントル。日本と世界各地の地震分布図、近況の地震データからどうして地震が発生するのかを解明し、また、さまざまな地震予知の最新データを私たちに教えてくれる。  (文部省選定)
1-5-16	地球は生きている ～火山の驚異～	30	小・高学年以上 一般	アイスランドでのスルツェー島の誕生、ヘーマイ島の噴火、川のように溶岩が流れるハワイ島の火山、爆発的な活動を示すイタリアの火山。火山について現在手に入る限りの最も貴重な場面がこのフィルムにおさめられ、ダイナミックな火山の噴火、川のように流れる溶岩、この大自然を科学的に解明している。  (文部省選定)
1-5-17	空からみた日本の火山	30	中学生以上 一般	有珠山火山口原の新山、桜島の爆発と広大な溶岩流、阿蘇カルデラ、富士山等、日本の代表的な火山を主として航空撮影によって立体的にとらえ、それぞれの特性と複雑な日本列島を形造ったマグマのエネルギーを実感として伝える。  (文部省特選・科学技術映画祭優秀作品賞)
1-5-18	宇宙から地球を見る ～リモートセンシング～	16	中学生以上 一般	「宇宙からの地球情報」リモートセンシングによる人工衛星からの情報は、私たちの生活にどのようなかわりがあるのだろうか。こうした観点から、先ずリモートセンシングの画像の特徴を説明し、また、その広域性、同期性を生かした有効利用の可能性を、地学環境、気象、漁業での利用研究の様子をわかりやすい画面で示して、リモートセンシング技術開発への関心を高める。
1-5-19	氷河時代の日本	32	中学生以上 一般	地球は過去200万年—第4紀—人類の時代—に4回の氷河時代を体験した。日本の氷期の存在を海進海退、氷河地形、動植物やその化石の分布等から総合的に立証し、野尻湖発掘の記録と成果を通して当時の自然と人間の生活に迫り、日本列島の過去の姿を鮮明に描き出す。
1-5-20	サイエンスグラフィティ ～科学と映像の世界～	27	小・高学年以上 一般	身近な自然の観察は科学の第一歩といわれる。その身近な自然も肉眼と映像では世界が違ってくる。望遠レンズ、顕微鏡、超微速度撮影を駆使して、身近な自然の知られざる世界を現出したのがこの映画である。雪の結晶の生成、結核菌と白血球、飛んでいるトンボのはねの動き、カメレオンの舌の動き…など、時間をかえ、光をかえ、新たな発見とイマジネーションを科学の分野にもたらしたものだ。
1-5-21	火山の探究 ～有珠新山誕生～	31	高校生 一般	1977年8月以来、3年にわたる有珠山の活動と、北海道大学理学部の観測研究の成果を明らかにするとともに、火山研究最前線の姿を紹介する。  (文部省選定・科学技術映画祭優秀作品賞)
1-5-22	火山列島の謎	38	中学生以上 一般	活火山の数が60をこえる日本。最近、この火山の活動と大地震を関係づける研究が進み、その成果として、両者の相互関係が明らかになってきている。この映画は、火山による新島の誕生という西之島の記録や、三原山噴火と伊豆半島沖地震の経過を中心に、火山の噴火、大地震との関係など、火山研究の新しい成果を紹介し、火山列島の謎を探っていく。
1-5-23	セントヘレンズ大噴火	28	中学生以上 一般	1980年5月18日、アメリカ西海岸北部にあるセントヘレンズ火山が大噴火。あのポンペイの町を埋め尽くしたペスピオス火山の噴火に匹敵する今世紀最大規模のものであった。浅間、三原、桜島、阿蘇、富士山等いつ噴火するか知れない危険な火山を抱える火山列島日本。セントヘレンズ大噴火の全貌を明らかにすることによって、わが国の観測体制のあり方、情報の伝わり方などの問題を改めて提起する。

【文化映画（科学）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-5-24	前線と天気の変化	21	中学生以上 一般	前線と低気圧の観測とその微速度撮影、モデル実験、気象衛星写真と天気図の対比、赤外線放射温度計によるデータなど、さまざまな映像資料を使って前線や低気圧を視覚化し、目に見えない前線による天気の変化をわかりやすく理解させる。  (文部省特選)
1-5-25	天気の変化 台風	24	中学生以上 一般	台風の発生から消滅まで、構造と風、進路と災害などについて、気象衛星「ひまわり」の連続雲画像、天気図、水槽実験、線・動画を駆使してわかりやすく描き、太陽放射に基づく大気の運動の中で起こる台風の天気変化のしくみと規則性について理解させる。  (文部省選定)
1-5-26	天気予報は今… ～降水確率予報とその利用～	20	中学生以上 一般	我が国の天気予報は雨や雪、みぞれといった降水の有無を確率で予報するようになった。その確率予報に関連する最近の天気予報技術を追いつながら、天気予報の難しさ、確率予報の意味、その利用の一つの考え方を描く。
1-5-27	夏の星	20	小・中高学年	夏の夜空に見える天の川、おりひめ星、白鳥座や北斗七星など、星座の実写を事後処理して、その位置や特徴のある並び方、色などを観察させ、方位磁石や星図鑑を使っての観察方法を会得させるよう意図した作品である。フィルムに写された星のまたたき、色、光など神秘性を感じさせる。  (文部省選定)
1-5-28	冬の星	18	小・中高学年	シリウス・カシオペア座・北斗七星・オリオン座などを中心に、冬の夜空に見える主な星座を観察し、季節によって見える星がちがうことを、夏の星との比較によってとらえ、星の年周運動の基礎概念を学習させるために製作した。さらに、空間・時間の認識が深められるよう考慮した作品。  (文部省選定)
1-5-29	星の動きをしらべる	19	小・高学年	星はどのような動き方をするのか、子どもたちに出来る観測方法、線動画による解説、オリオン座やカシオペア座を例に実写・微速度撮影等によって星の動きや明るさ、色を観察し、天体観測への関心を高める。
1-5-30	三億年への旅 秋吉台	20	小・中学年以上 一般	山口県にある秋吉台。草原には、のこぎりの歯のように乱立した白い岩石が、果てしなく点在している。いったい、こうした風景はどのようにしてできたのだろう。まだ、日本列島が地球上になかった3億年もの昔にさかのぼり、秋吉台の研究に携わる専門家とともに、地学的な見地からこの謎につつまれた秋吉台創造の歴史を興味深く説き明かしていく。
1-5-32	宇宙 —その始まり—	19	中学生以上 一般	百数十億年前、大爆発「ビッグバン」によって誕生し、今もなお進化、膨張を続けている宇宙。映画は、この宇宙の始まり、多くの銀河や星々、そして現在の姿を解説するとともに、その中で地球と私たち人類の位置づけを明らかにする。  (文部省選定)
1-5-33	宇宙 —太陽系—	19	中学生以上 一般	2,000億個もの星が集まる銀河系。その中にある太陽と九つの惑星を次々と訪れ、惑星探査機によって得られた最新データをもとに解説。太陽系における地球、私たち人類の位置づけと、さらに宇宙に向かう人類の科学と技術の重要性を描く。  (文部省選定)
1-5-34	宇宙 —偉大なる挑戦—	30	中学生以上 一般	数々の失敗を乗り越えて得た技術で、さまざまな困難と戦いながら行われてきた宇宙開発とは何か。何のために行われ、今後どのようにしていくべきかを現在までの経緯を振り返りながら説明する。  (文部省選定)
1-5-35	宇宙 —未来への旅立ち—	22	中学生以上 一般	星はどのようにして生まれ、育ち、最後の時を迎えるのか。星にも一生があるように、太陽も生まれその惑星の一つに私たちの地球があり、人類が築いてきた文明を糧として宇宙に広がる未来を探っていく。
1-5-36	地球大紀行 —地球誕生—	28	中学生以上 一般	豊かに水をたたえた生命を育むかけがえのない星、地球。しかし、いったん宇宙へ目を向けると、太陽系の他の星には静寂と死の世界しかない。同じ46億年前に生まれながら、何ゆえ地球だけがこのような美しさに恵まれ、人類を含む数々の生命が誕生したのか。この奇跡とも言うべき謎を解き明かすため、グレートバリアリーフ、桂林など地球のさまざまな景観を描くとともに、特撮技術を駆使して大陸移動や水の形成など原始地球の姿を描く。
1-5-37	ヒトはどのように進化したか	11	小・高学年以上 一般	私たち人類の祖先は、いつごろこの地球上にあらわれたのか。長い歴史の中でどのような生活をし、どのように進化してきたのか。この映画は2,000年もの昔の人類の祖先からホモサピエンスまで、人類の進化の歴史をアニメーションで描いている。

【文化映画（科学）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-5-38	日本人はどこからきたか	42	小・高学年以上 一般	日本人の成立の歴史を人類学的な面からさぐったもの。今から200万年前に氷河期が始まった。この時代に人類は生まれ進化し、私たち日本人の属しているモンゴロイドも誕生した。この映画は、このモンゴロイドがどのようにして生まれ現在に至ったかを、考古学、民族学、地質学などあらゆる点から明らかにし、さまざまな文化の流れの中で変化してきた特徴などを描いていく。  (文部省選定・科学技術映画祭入賞 他)
1-5-39	恐竜の時代	12	小・高学年以上 一般	およそ、6,500万年前、突如地上から姿を消した恐竜たち。彼らの上に何が起こったのか。この映画は、発掘された化石の研究をとおり、後期白亜紀を中心とした恐竜たちの生き生きとした生態を、精巧なモデルを使って再現する。
1-5-40	パレオパラドキシア ～よみがえる謎の化石動物～	26	小・高学年以上 一般	1,500万年前、第三紀中新世の日本列島の海辺に生息していた大型哺乳動物パレオパラドキシア。世界に五体という貴重な化石動物の時代の大地と生物の変遷について説明する。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-5-41	橋は生きている	34	中学生以上 一般	巨大な吊橋は、自然現象、自動車、列車の荷重で常に動いている。この動くことで荷重にすばやく対応し、100年以上の耐用年数が保証される。この映画は、瀬戸大橋が機械装置のごとく精緻につくられ、1,000トンの列車の通過にも耐えられる模様を克明に紹介している。
1-5-42	農業とバイオテクノロジー	20	高校生 一般	生長点培養や、胚培養によるランの育成、やく培養によるイネの品種改良など、農業分野におけるバイオ技術の理論と実際を、神奈川県農業高校や、農業研究所での現状をとらえ説明している。  (文部省特選)
1-5-43	塩をとり出す 化学反応と熱の出入り (ビデオ有り：1-5-15)	5	中学生	〈塩をとり出す〉イオンの移動する性質を利用したイオン交換膜により、海水から塩をつくりだす原理を実験する。  〈化学反応と熱の出入り〉化学反応には熱の出入りがあることを使い捨てカイロで説明し、実際例による熱の発生をサーモビジョンで見る。  (文部省選定)
1-5-44	運動を見る基準 エネルギーの移り変わり (ビデオ有り：1-5-19)	5	中学生	〈運動を見る基準〉走る車からボールの落下運動を、立ったままみただけの場合と併走する車からみた場合の違いについて具体的に説明する。  〈エネルギーの移り変わり〉さまざまな形に変え利用されるエネルギーの移り変わりを、水力発電を事例に具体的に説明する。  (文部省特選)
1-5-45	イオンの移動 さびはなぜできる (ビデオ有り：1-5-17)	5	中学生	〈イオンの移動〉イオンの移動の様子を、BTB溶液を用いた実験により視覚化し、またイオンの種類による速さの違いなどを説明する。  〈さびはなぜできる〉フェリシアン化カリ、フェノールフタレインの二種類の指示薬を用い実験し、さびが化学反応であることを説明する。  (文部省選定)
1-5-46	風に向かって走るヨット うすい気体の中の放電 (ビデオ有り：1-5-21)	5	中学生	〈風に向かって走るヨット〉一枚帆のヨットを用いた実験により、ヨットが風上に向かって走る原理について具体的に説明する。  〈うすい気体の中の放電〉真空放電の原理、空気濃度の変化や内部の気体の種類などによって放電や発色の違いを実験により説明する。  (文部省選定)
1-5-47	バイオテクノロジー ～農業のあすが変わる～	30	高校生 一般	バイオテクノロジーの農業分野での活用はめざましいものがあり、遺伝子組換え技術、植物の特性を生かした組織培養など、さまざまな技術が急速に進んでいる。この映画は、バイオテクノロジーの研究開発の現状、わが国とアメリカにおける応用例を紹介し、バイオテクノロジーに対する理解を得ることを目的としている。
1-5-48	人工知能 ～コンピューターは 人間を越えられるか～	29	高校生 一般	人工知能とは、人間が書いたり、しゃべったりすることばをコンピューターがそのまま理解して、その理解したことばによって自分で判断を下したり推論することができるコンピューターをいう。この映画は、人工知能型コンピューターの研究・開発の現状と実際の応用例を紹介する。また、未来への展望をその第一線の現場からリポートしながら、わが国の人工知能について明らかにしていく。
1-5-49	極限の世界 ～超高圧・超低温・超強磁場～	30	高校生 一般	超高圧・超低温・超強磁場など物質にとつての極限的な環境が、物質にどのような変化をもたらすし、どのような現象を引き起こすかを、それぞれの実験により説明している。  (文部省選定・科学技術映画祭長官賞)
1-5-50	野尻湖を求めて ～1万人の野尻湖発掘～	35	小・高学年以上 一般	1987年3月に行われた第10次野尻湖発掘調査の様子を記録したもので、これまでの調査結果や、今回の発掘による成果など発掘調査のもたらす意義について説明している。  (文部省選定)

【文化映画（科学）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-5-51	工業とエレクトロニクス ～設計と製作の自動化～	20	高校生 一般	自動工作機械、搬送ロボットなど、電子技術と機械技術の融合による自動化のしくみについて説明するとともに、コンピュータによる設計・製図の方法について具体的にとらえ説明している。 (文部省特選)
1-5-52	すい体の体積を調べよう	20	小・高学年	角すいや円すいの体積は、底面と高さが同じ角柱や円柱の体積の3分の1であることを実験・実測をまじえて説明している。 (文部省選定)
1-5-53	刺激と反応 生きている細胞 (ビデオ有り：1-5-29)	5	中学生	〈刺激と反応〉アメンボウやクモの捕食行動、ハブの熱線に対する反応など、生物の外界からの刺激に対する反応のしくみを説明する。 〈生きている細胞〉細胞の死とともに原形質流動が停止する様子などを植物による実験でとらえ、生きている細胞の動きについて説明する。 (文部省選定)
1-5-54	動物の歯のしくみ ボルボックスへの進化 (ビデオ有り：1-5-23)	5	中学生	〈動物の歯のしくみ〉草食、肉食動物の歯の特徴を、馬や犬の骨格標本やX線撮影による食事のとり方を具体的にとらえ説明している。 〈ボルボックスへの進化〉単細胞生物からより複雑なしくみへと生物が進化してきたことについて説明している。 (文部省選定)
1-5-55	山のおいたちを知る 地震の波 (ビデオ有り：1-5-25)	5	中学生	〈山のおいたちを知る〉堆積岩に含まれる石炭から花粉化石を抽出し、それを手がかりに、年代や環境を推定できることを説明する。 〈地震の波〉地震のゆれには、初期微動のP波と主要動のS波があり、それぞれのゆれの特徴について説明する。 (文部省選定)
1-5-56	積み重なった空気 太陽が沈まない (ビデオ有り：1-5-27)	5	中学生	〈積み重なった空気〉山の高さによる気圧の違いを実測し、気圧とは、積み重なった空気の重さであることを説明する。 〈太陽が沈まない〉北極や南極において、夏に太陽が沈まない現象をとりあげ、それが地軸の傾きによることを説明する。 (文部省選定)
1-5-57	わたしたちと原発	20	小・高学年以上 一般	日本の電気の約30%が原子力発電所でつくられており、世界第4位の「原発大国」となっている。「原発が電気を生み出す仕組みは？」「原発と原爆は同じもの？」「放射性物質ってどんな影響があるだろう？」などの疑問にわかりやすく答えながら、プラス・マイナス、どちらの面でも私たちの暮らしに大きな影響をもたらす原発の本質に迫るアニメーション。
1-5-58	もみ・稲・そして米	25	中学生以上 一般	穀物の中でも、理想的な食品とされる米。もみから稲そして米という、米が生み出されるまでの過程を、科学的な目で追いつながり、稲がもつその素晴らしい生命力と、米の食品としての優秀さを浮び上がらせようとするものである。 (文部省選定)
1-5-59	生きている土	41	高校生 一般	25年間、化学肥料や農薬を使用せず、自然農法だけに取り組んできた農家の姿を記録したもので、自然農法の大切さとそれにもなう土づくりの大切さについて説明している。 (文部省選定・教育映画祭最優秀作品賞)
1-5-60	半導体 ～その仕組みとはたらき～	30	中学生以上 一般	産業の各分野をはじめ、私たちの暮らしの中のほとんどの機器に組み込まれ、さまざまな機能を果たしている「半導体・IC」。半導体・ICの登場によって私たちの社会は急速に進歩してきた。この映画は、その半導体・ICの仕組みとはたらきを製造や利用の実際を織り込みながら解説している。
1-5-61	コンピュータを生かす	20	一般	これからの教育は、コンピュータ抜きでは考えられない状況になってきている。コンピュータは、利用方法を工夫することにより、新たな学習形態を可能にする。この映画は、これからの学習指導に活用していこうとする指導者層に、実践例を紹介するものである。 (文部省選定)
1-5-62	地球SOS！ ～地球温暖化編～	27	小・高学年以上 一般	地球環境問題を子どもたちにも理解させようとする環境庁の協力できあがったアニメシリーズの第一弾。年々あつくなる地球、しかしこの温暖化はスーア星人たちのしわざだった。欲望ガスを吸わされた地球人は物をどんどん消費し、二酸化炭素が増えて、地球の温度は急上昇する。このままでは危ない！世界中から集まったおばけ軍団がついに立ち上がった。 (文部省選定)

【文化映画（科学）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-5-63	ちきゅうたんじょう	20	小・中学年以上	太陽のまわりをまわる惑星の中で、ただひとつ地球だけが水があり、酸素を含む大気がまわりを囲んでいるから、生物が存在できる。その地球が、人類によって少しずつ破壊され、汚染されている。この映画は、そのかけがえのない地球を守るために、まず地球の誕生から始まり現代にいたるまでをみていこうというディズニー作品のアニメーションである。
1-5-64	祖谷（いや）のかずら橋	30	一般	徳島県・祖谷のかずら橋は、つる植物のシラクチカズラを使った珍しい吊橋である。3年ごとに架けかえられるが、この架橋工程と作業には、カズラ採り、綱揃え、雲綱張りなど昔ながらの特筆すべき技術が残されている。いまの近代化した工法の中で生きるそれらの技術を忠実に記録する。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-5-65	放射線の利用 ～その有効性と広がる未来～	30	高校生 一般	放射線と聞くと人々は原水爆などを連想しがちである。しかし、太古の昔から宇宙や大地から発せられる放射線の中で人間は暮らしてきた。このような自然放射線の他に、今日では人工的に放射線を作りだし、多方面で平和的に活用している。この映画は、放射線発見の歴史を振り返りながら、今日の医学利用、農業利用、産業・文化利用など、広範な有効利用の実際を具体的に紹介するものである。
1-5-66	あした天気になあれ！ ～天気の見方調べ方～	10	小・高学年	天気現象は日常生活や学校行事に深くかかわる自然現象であり、マスコミを通じて天気に関する情報も身近なものになっている。この作品は、子どもたちによる地上での、やさしい気象観測や記録の取り方と、新聞天気図とを関連づけて考えさせ、さらに気象衛星ひまわりやアメダスの画像を利用して、天気はおおむね西から東へ変化するという傾向をとらえさせ、天気の変化を予想するための見方や考え方を育てる。  (文部省選定)
1-5-67	空気中の水じょう気の変化	10	小・中学年	水は、いろいろと姿を変えて存在しているが、雲もその一つであることを、飛行機で雲の中に突入したり、車で山腹を登る途中で観察したりしながら、興味深く雲の実体をとらえる。特に微速度撮影なども加えながら、自然界の水の変化した姿を観察して、さらに学習を高めるために作成されたものである。  (文部省選定)
1-5-68	空気の中の水じょう気	10	小・中学年	この作品は、小学校中学年の学習に合わせ、私たちのまわりの空気には、どこでも必ず水蒸気が入っていることを理解させようとするものである。そこで、①水は加熱しなくても自然に蒸発、②水の蒸発はどこでも常に起こる、③湯気やモヤで水の蒸発が起こっている証拠になる、④空気には必ず水蒸気が入っている、という4つのポイントを、実験や特殊撮影で印象深く教えていく。  (文部省選定・科学技術庁長官賞)
1-5-69	気温でなに どうして変わるの？	10	小・高学年	気温は空気の温度であり、日光によって直接温められるのではなく、地熱により温められるものである。この映画は、晴れと曇りのそれぞれ1日間の、地面の温度と、空気の温度の垂直分布を最新の機器で測定することによって、日光と地面の温度との関係、地面の温度と空気との関係について明らかにする。  (文部省選定)
1-5-70	明日へ挑む科学技術 ～日本のロボット～	28	高校生以上	ひとりでに動くものを作りたい、人間と同じような動作をする機械を作りたい…。それは、人々の昔からの夢であった。江戸時代に作られた単純な自動機械や「茶汲み人形」から、現在の自動車の組み立てで使われる産業ロボットや、センサーなどを組み込んだ知能ロボットの紹介と、これからのロボットの展望について紹介する。
1-5-71	暑くなる地球 ～地球温暖化と科学技術～	25	中学生以上	地球が誕生したのは46億年前。緑豊かな美しい地球は大量の酸素が地表にあふれていた。そして今、地球は急速に暖かくなり、その温度の上昇カーブは、地球の炭酸ガスの増加カーブと重なり合っている。地表を覆う炭酸ガスが赤外線を吸収することにより温室効果を起こす。このメカニズムを解明するとともに、ピンチに立つ地球環境の中で、それを克服する明日の科学技術を紹介。
1-5-72	デジタルのしくみ (ビデオ有り：1-5-89)	11	高校生以上	現代の情報化社会を支えているコンピューターや通信の技術の基礎である「デジタル」とは何かを、特にCDを例に取り、実験やCGを使って解説する。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-5-73	洗剤の働き (ビデオ有り：1-5-90)	10	高校生以上	洗剤の働きを解説するにはさまざまなアプローチが可能であるが、この作品は、必ずしも定量的な扱いを求めぬ化学IAの立場から、魅力的なデモ実験と平明で正確なアニメーション、特殊撮影による洗剤の働きの観察を組み合わせて、洗剤の働きのもとには洗剤分子の構造があることを印象的に理解させることを目的に製作。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)

【文化映画（科学）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-5-74	自然の風景 ～地形とその成り立ち～ (ビデオ有り：1-5-91)	11	中学生以上	日本の地形は変化に富みさまざまな風景を作り出している。しかし、実際にその場に立ったとき、地学的な目で見ることはあまりない。この作品は、映像としての資料性を重視しながら代表的な地形、火山、川、海岸の姿を、その成因とともに紹介。また、航空機撮影で、より明確に身近な自然の風景を、ダイナミックな地球活動と関連づけて捉えている。  (文部省選定)
1-5-75	音をみる (ビデオ有り：1-5-95)	10	高校生以上	音は、日常生活の中で情報伝達や音楽などに利用されている。この作品は、目に見えないために理解しにくい音の発生、音の伝わり方、音の聞こえる仕組みを映像化し、また、オシロスコープで楽器の音色や音の高低、強弱などを波形で調べ、音についてわかりやすく解説する。  (文部省選定)
1-5-76	鉄をつくる ～金属の精錬～ (ビデオ有り：1-5-96)	10	高校生以上	ほとんどの金属は、材料としてすぐ使えるような状態では自然界に存在するわけではなく、酸化物や硫化物などの化合物として地中に含まれるものが、鉱石などの形で産出される。この作品では鉄を例にとり、金属化合物から単体の金属を取り出す方法（精錬）について解説し、還元という化学概念の基礎的理解を深める。  (文部省選定)
1-5-77	酸性雨 ～そのでき方と影響～ (ビデオ有り：1-5-97)	10	高校生以上	現在、地球環境のバランスに影響を与えている一つに酸性雨がある。この作品は、酸性雨の元となる二酸化硫黄や一酸化窒素を生成する実験により、酸性雨が出来るまでの過程とそれらの特性を調べ、酸性雨が地球環境にどのような影響を与えているか解説する。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-5-78	LOST ANIMALS 太古への旅	28	小・低学年以上	タイムマシンに乗り込み、ホスト・コンピューターと共に太古の世界へタイムワープして、いろいろな時代、いろいろな場所の絶滅動物たちと出会うという、スリリングで非日常的な物語を疑似体験できる作品。CGアニメーションでよみがえる太古の世界の映像の中に、絶滅していった動物たちに捧げる敬愛の念と、人類に対する警鐘の意味を含めたストーリーを盛り込んでいる。
1-5-79	太陽・月・惑星 ～ガリレオが見たもの～	19	小・高学年 中学生	ガリレオが成し遂げた天文学上の様々な発見は人々に衝撃を与え、近代科学の先駆けとなった。彼がいかにして地動説を確立していったかを観察記録をもとにたどる。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-5-80	雨や雪のでき方	20	中学・高校生 一般	雨や雪はどうしてできるのか。雪の中で何が起きているのか。気球にテレビカメラを積んで調べるなど、興味深い実験を通して、不思議な気象現象の面白さを探究する。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-5-81	新しい地球の科学 ～日本列島の誕生～	30	中学・高校生 一般	プレート・テクトニクスをもとに、日本列島はどのように形成されたのか、四万十帯の地層の重なり方や南海トラフの堆積物等を手がかりに、その謎に迫る。  (教育映画祭最優秀作品賞・文部省選定)
1-5-82	ダーウィンの進化論と ガラパゴスの生物	13	中学・高校生 一般	ダーウィンの進化論のさきえとなったガラパゴス諸島の生物を、現地ロケで紹介し、適応放散や隔離の現象を実例にもとづいて描く。  (文部省選定)
1-5-83	マグマからできる岩石 ～火山岩と深成岩～	19	中学・高校生	マグマが固まってできた火成岩の中で火山岩と深成岩はどのような成因の違いがあり、どのような特徴があるのか。偏光顕微鏡撮影や結晶生成実験などにより解説する。  (文部省選定)
1-5-84	地そうのでき方	15	小・高学年 中学生	地層を観察し、重なり方や各層を構成する物質の特性に気付かせ、地層が主に流水のはたらきによってできたことをモデル実験によって説明する。  (文部省選定)

【文化映画（芸術・芸能）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-6-1	日本の美 富嶽三十六景	30	中学生以上 一般	浮世絵という風俗画の中に、自然そのものを主題とする本格的な風景画を誕生させた北斎の美を、彼の芸術の集大成である富嶽三十六景を中心に役者絵、北斎漫画、肉筆画などの作品や安藤広重との比較を通して探る。
1-6-2	日本の美 日光東照宮	30	中学生以上 一般	造営費85億円（現在になおして）、動員された人々述べ450万人、そしてわずか1年5か月で完成したといわれる東照宮の全容を忠実にとらえ、建築配置について周到な配慮や彫刻、金工、彩色など装飾美を見直し、それが絢爛たる桃山芸術の集大成であることについて認識を深める。
1-6-3	日本の美 冬の桂離宮	30	中学生以上 一般	桂離宮は「古くて新しい」といわれる。正しく日本建築の典型として、その美しさが絶賛されている。この映画は、「桂」が秘めている「永遠の美」を晩秋から初冬にかけて、色彩ゆたかに描いている。
1-6-4	奈良の寺と仏像	30	中学生以上 一般	古都奈良の寺と仏像に日本の美と歴史がある。中でも有名な法隆寺、薬師寺、東大寺、唐招提寺を取り上げ、その全容と歴史を、こうした貴重な国の宝を現代に伝え、保存して来た人々の苦労とともに描く。見る人は必ずやこの奈良の寺と仏像に親しみと、新たな感動を抱くに違いない。
1-6-5	日本の美 金閣・銀閣	30	中学生以上 一般	およそ百年の隔たりを置いて室町時代を代表する二つの文化が開花した。華やかな北山文化、幽玄枯淡な東山文化という両文化の面影と特徴をよく表わしている金閣と銀閣。その外観はもとより、普通では見る事の出来ない内部の素晴らしさ、大庭園を形造る一つの景観としての様相…。日本の美の伝統を基礎づけた室町文化の精髄を考察していく。  (文部省選定)
1-6-6	法隆寺	24	中学生以上 一般	千三百年の歴史の風雪に耐えてきた大和法隆寺は、世界で最も古い木造建築であり東洋仏教美術の貴重な遺品である。五重塔の内部にある須弥山の洞穴にある釈迦ねはんの塑像群、臨終の釈迦をとりかこんで泣きわめく羅漢僧の真に迫る表情、金堂の四すみにはうずくまっている奇怪な獣、その背中にガッシリときぎまされる四天王、これらの高い芸術性はいまもなお生命にあふれ、訴えかける永遠の新鮮さに輝いている。  (文部省選定)
1-6-7	法隆寺献納宝物	21	中学生以上 一般	法隆寺につたわる数々の宝物は、明治以降皇室に献納され御物となってしまうためほとんど一般の人の眼にふれる機会がなかった。けれどそれらの御物のなかには、飛鳥、白鳳期の美術工芸品が数多くあってその重要さは天平期の正倉院宝物に匹敵する。1964年東京国立博物館の構内に法隆寺宝物館が新設されてようやく、全容が公開されるようになりこの映画においてその魅力を解明しようとしたものである。
1-6-8	東大寺大仏殿 昭和大修理 第1部	28	中学生以上 一般	天平の創建以来1,200年の歴史をもつ東大寺大仏殿は、二度も戦火で焼失したが、その都度大きな困難を克服して再建され、今みる大仏殿は元禄の頃再建された。その後、明治に入って、いわゆる「昭和大修理」が行われた。昭和50年夏「昭和大修理」の第一期工事である須屋根建設工事は無事完了し、今、本格的な屋根ふきかえを待つばかりとなった。  (文部省選定 他)
1-6-9	東大寺大仏殿 昭和大修理 第2部	28	中学生以上 一般	大屋根の瓦のふきかえを中心とした大仏殿の修復が「昭和大修理」の名のもとに行われている。昭和50年11月、仮設の須屋根にすっぽりと覆われた東大寺大仏殿は、本工事である瓦のふきかえ工事が本格的に始まった。昭和52年秋、最初の丸瓦をおろしてから1年5か月、下層の屋根の修理はすべて完了した…。そして今、上層の工事が着々と進められている。  (文部省選定 他)
1-6-10	東大寺大仏殿 昭和大修理 第3部	26	中学生以上 一般	東大寺大仏殿の昭和大修理は、昭和52年の春、下層の瓦葺き開始、上層の本工事開始と佳境に入っていく。上層の工事は、その美しい勾配をいかに出すかの苦労であった。スライド工法によって須屋根が解体されていくにつれて大仏殿はその優雅な姿を現わしてくる。昭和大修理の主要な工事がすべて終わった時、それは昭和54年の春、桜の花が若草山に満開であった。  (文部省選定 他)
1-6-12	曲水の流れ ～金沢兼六園～	12	一般	金沢城は天保8年、柴田勝家を降した秀吉の命によって入城した前田利家の居城であった。金沢兼六園はその金沢城とともにそのかたわらにある名園である。兼六園とは、廣大、勇壮、優雅…など六つの要素を兼ね備えていることからともいわれている。水は豊かで曲折がある。魔よけの石とも陰陽石ともよばれる奇岩が異容をほこり、この庭園の数ある名所の一つである。

【文化映画（芸術・芸能）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-6-13	砂の幻想 ～銀閣寺～	12	一般	銀閣寺は西の金閣寺とならんで、大文字のふもとにたえず建 築物として名作である。山水の明媚にふさわしいしっとりとおち ついた、たえずまいで好ましい雰囲気をかもしだしている。その 庭園は前面から池に向かってのびていて各地の大名が寄進した石 が並ぶ回遊式庭園である。室町時代のすいを集めた名園である。 その他、藤原氏の作ったといわれる龍安寺にも枯山水庭園で知ら れた石庭がある。
1-6-14	桜花の饗宴 ～平安神宮～	12	一般	平安神宮は、桓武・光明両天皇をあわせまつている。色彩は 大極殿の廊間に代表されるように中国色豊かなけんらんたる光彩 である。そしてその庭園は、深山幽谷の美があり花は八重咲色は 紅、見る人を驚嘆させざるをえない桜花の饗宴がそこにある。豊 太閤が増田長盛によって作らせたといわれるとび石式の橋などが 簡素なたたずまいを見せており、古都、京都の歴史は平和とあら そいの長い長い歴史がある。
1-6-15	大名の心 ～岡山後楽園～	12	一般	岡山城は、慶長8年、池田輝政の次男忠次が城主として入城以 来、池田氏代々の居城として有名である。後楽園は三大公園の一 つとして知られる。その庭園は曲水がめぐり、林泉回遊式の庭園 であり、水とならんで石の多いこの地方の特色を生かし石とそれ をくいだいた砂で色とりと趣をそえている。室町時代からの庭園樹 とされているそてつや、しょうぶ、かきつばたの群生もあり、お ちついた雰囲気を出している。
1-6-16	勝景の集約 ～縮景園～	12	一般	広島城は元和6年、今から350年前、浅野長晟が初代藩主として 入国した城である。縮景園は、その藩主浅野氏の別邸でもあつ た。敷地総面積は約4万平方メートルあり、大小10あまりの池があ り、それに小さな島が点在する代表的な回遊式庭園である。中で も景観なのは、白い花崗岩でできた円橋。あまり大きなものでは ないが、見る人の心をゆるやかにごませてくれる。
1-6-17	水の詩 ～栗林公園～	12	一般	高松城は今から360年程前に建設された城である。源平の古戦場 である屋島・壇の浦がそばにあり、これも風光明媚な所である。 栗林公園は藩主の下屋敷にあたり、南庭と北庭とに分かれた回遊 式林泉庭園である。池は北湖と南湖に分かれ、特徴の一つである 松がいたるところに配置され、背が低く枝と根が大きくはり、そ れだけでも庭の雄大さを見せつけている。奇岩・怪石も配置さ れ、その雄を助けている。
1-6-18	歌舞伎の魅力 舞台	34	高校生 一般	ダイナミックな舞台転換をはかる大ぜり。役者が変身してスッ ポンから出現するためには、何回も入念なテストが行われます。 舞台が表現するさまざまな表情と変化は、いろいろな裏方の工夫 と仕掛けに支えられ、そこで演ずる役者の呼吸が一つに合つて、 思いがけない新鮮な魅力が歌舞伎に秘められていることを再発見 させます。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-6-19	歌舞伎の魅力 勸進帳 ～松羽目物の成立～	32	高校生 一般	歌舞伎の醍醐味ともいえる勸進帳、弁慶の飛び六法の引き込 み、しかし勸進帳はもともと能の「安宅（あたか）」を素材とし て誕生した歌舞伎なのです。能舞台の様式（羽目板に松の背景） をそのまま歌舞伎の様式として使ったので、後世松羽目物（まつ はめもの）とよばれるようになり、中世の能と近世の町人が作り 上げた歌舞伎との違いを見ることが出来ます。  (文部省特選)
1-6-20	狂言	37	高校生 一般	舞台の狂言は、民俗芸能とは対照的な洗練の極致にある芸でさ さえられています。人間国宝・野村万蔵の演じる「瓜盗人」を中 心に「千鳥」「宗論」「首引」「葺」が狂言の面白さを展開しま す。狂言の舞台にはその様式美とともに、数百年のへだたりを忘 れさせる新鮮な笑いがあります。このような狂言の芸がどのよう に伝承されていくか、野村家の稽古風景がそれを見せます。  (文部省選定・教育映画祭特別賞)
1-6-21	菅丞相(かんしょうじょう) 片岡仁左衛門 ～義太夫狂言の演技～	35	高校生 一般	義太夫狂言というのは、人形浄瑠璃として製作されたものを、 歌舞伎の舞台に移し、役者が演じたものをいいます。とくに、こ の菅丞相を主人公とした「菅原伝授手習鑑」は「仮名手本忠臣 蔵」「義経千本桜」とともに、義太夫狂言の三大傑作といわれ ています。稽古から本舞台へと、片岡仁左衛門がいかにして悲劇の 主人公としての菅丞相になりきることがこの映画の最大の魅力で す。  (文部省特選・芸術祭優秀作品賞)
1-6-22	彫る ～棟方志功の世界～	38	一般	ユニークな作品で国際的にも評価されている版画家・棟方志 功。その創作活動、生い立ち、私生活などを、代表作とともに、 郷里青森の風土のなかに描く。  (文部省特選)

【文化映画（芸術・芸能）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-6-23	梅原龍三郎 ～北京～	24	一般	日本の巨匠、梅原龍三郎の画業のうちでも、前後6回にわたり北京に滞在したいわゆる北京時代は、この巨匠が日本の近代絵画の流れの中で登りつめた、ひとつの頂点ともいえるでしょう。この映画は「美」の生成過程を、「北京秋天」「天壇」「紫禁城」「姑娘」など数多くの作品をとりあげながら、画伯自らの回想で構成し、近代絵画の内面に触れようとしています。  (文部省選定)
1-6-24	彫塑（ちょうそ）の表現	20	一般	彫塑を理解するためには、物の形に対する知識や観点を与えることが大切です。造形上の基本的な概念、例えば、天、線、面、量、動勢を具体的に解説して、彫塑を知的に分析、解釈します。豊富な作例は、自然そのものを題材にしたり、古くからの遺品、あるいはきわめて新しい作品、動勢をわからせるための技法など、適切な選択によって、造形美術の入門教科書として適切です。  (文部省選定・教育映画祭最高賞)
1-6-25	ふるさとの民俗芸能 壬生の花田植 (DVD有り：1-6-2)	29	小・高学年以上 一般	旧山県郡千代田町では毎年6月の第1日曜日に「はやし田（花田植）」が盛大に行われます。はやし田とは、隣り近所の家々が、組をつくって共同で田植をすることです。花嫁や色々な飾りをつけた牛のしろかきから、早乙女たちの田植までが、太鼓や横笛を使った田植唄のはやしにあわせて展開していきます。  (国の重要無形民俗文化財)
1-6-26	ふるさとの民俗芸能 有田神楽 (DVD有り：1-6-2)	20	小・高学年以上 一般	この神楽は、旧山県郡千代田町の有田八幡神社に、今を去る400年前から伝えられてきたものです。収穫の終わった秋、陽が西に傾むくと、有田八幡宮からは、神楽太鼓の音が聞こえて来ます。「神囃し」から始まり、「天の岩戸」の舞、そして大蛇が雲をはきながら天空より降りてくる「八岐の大蛇（やまたのおろち）」、この舞が終わる頃には秋の夜長もそろそろ明け始めます。  (県の無形民俗文化財)
1-6-27	ふるさとの民俗芸能 阿刀神楽 (DVD有り：1-6-2)	23	小・高学年以上 一般	この神楽は、広島市安佐南区沼田町阿刀の阿戸明神社に伝わるもので、今から約170年前に、宇高宗助という柔術家が、舞の中に柔術の型を入れたことで、「所望分け」などの戦いの舞の手が、他の神楽団の舞とは違っています。「五刀の舞」「ナギナタ舞」「八つ花」「世鬼の舞」「將軍の舞」など12の演目がよく残され、文化庁から「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」、いわゆる「選択芸能」に指定されました。
1-6-28	日本の伝統音楽 ～長唄と義太夫節～	32	高校生 一般	歌舞伎の伴奏音楽として発達して来た「長唄」、文楽と結びついた「義太夫節」という二つの伝統音楽を、舞台上で演じられる本来の型で味わっていただく作品。人間国宝を含む第一級の演奏者、演者が一体となって奏でる深みのある本物の素晴らしさは、観る者を美しい芸術の世界にいざなっていく。
1-6-29	日本の音楽・民謡	24	中学生以上 一般	生活の中から民謡が生まれなくなった今日でも、私たちはその音楽的感覚を共有している。この映画は「こきりこ節」「齋太郎節」「刈干切唄」…等を聞きながら、日本の民謡の特質と、私たちがとのかかわりあいを考えていく秀作。  (文部省特選)
1-6-30	日本の伝統音楽 琵琶	22	中学生以上 一般	琵琶は奈良時代に伝わってから宗教音楽、語り物芸能、器楽音楽と日本の音楽界の一角を担っている。その琵琶の豊かで多様な味わいを、一流の演奏者による盲僧琵琶・平家琵琶・薩摩琵琶・筑前琵琶の代表曲の演奏によって鑑賞していく。  (文部省特選)
1-6-31	薩摩盲僧琵琶	90	一般	鹿児島地方に800年も前から伝えられ、盲僧によって弾じられる薩摩琵琶。民衆の生活の中に深く根付き、現代にも生き続ける神秘的な盲僧琵琶の魅力を追い、6年余の歳月をかけて製作されたのが、このドキュメンタリーである。民衆と密教そして盲僧と深くかかわりながら、いかにしてこの琵琶が伝えられていくかを、盲僧の姿を記録する中で説きあかしていく。  (文部省選定)
1-6-32	前田青邨（せいそん）と日本画の流れ	30	中学生以上 一般	戦前戦後の半世紀以上にわたって美術界の第一線で活躍した前田青邨画伯。この映画は、青邨芸術の代表作をあますところなくとらえていくとともに、岡倉天心以来の日本の伝統絵画の流れと、青邨画伯の活動、さらにはその人間性をとらえた作品である。  (文部省選定)

【文化映画（芸術・芸能）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-6-33	横山大観	30	高校生 一般	横山大観の90年の生涯を、その美しい作品によって追っていき、時代とともに変化する作風を克明に記録した映画。 1. おいたち 2. 画家への道—東京美術学校の学生から助教教授へ 3. 前期日本美術院時代—日本画近代化をめざして 4. 文展審査員として—連年力作を発表 5. 再興日本美術院の中心として 6. 戦時下の活動—画壇の長老として 7. 晩年—東洋への回帰 (文部省特選)
1-6-34	はだかの天才画家 山下清	35	中学生以上 一般	放浪の画家山下清と起居を共にして撮影された記録映画。彼の出身校である千葉県市川市の精神薄弱児の看護施設である八幡学園が紹介され、かれの生い立ちを説明、その才能が世に出るところから、発達過程及びその作品が紹介される。 (文部省選定)
1-6-35	ふるさとの民俗芸能 本地の花笠おどり (DVD有り：1-6-2)	22	小・高学年以上 一般	旧山県郡千代田町本地の花笠踊りは、400年の歴史を持ち、古くは「太鼓踊り」又は「豊年踊り」とも呼ばれ、豊年の見通しがついていた年の秋、旧暦8月15日に踊られてきた。踊り手は女装しているが全員が男子。この女装のいわれは、その昔、この地方の城主、吉川元春が伯耆羽衣石の城主、南条元統を攻めた際、たまたま敵の城主が踊り好きであるの目をつけ、部下を女装させて城内に入り攻略した故事にならっている。
1-6-36	ふるさとの民俗芸能 火の山おどり (DVD有り：1-6-2)	17	小・高学年以上 一般	旧山県郡芸北町八幡に伝えられている火の山おどりは、太鼓おどりともいわれ、文政11年の「おどり歌帳」が物語るように、本来は8月14日、15日に踊られる盆踊りであった。しかし、娯楽の乏しかったこの地域では、事あるごとにこの踊りを踊ったため、虫送りや豊年祝いその他のいろいろの行動にも踊るようになった。 (県の無形民俗文化財)
1-6-37	ふるさとの民俗芸能 湯立神楽 (DVD有り：1-6-2)	17	小・高学年以上 一般	旧山県郡加計町の長尾神社では、毎年例祭日に湯立神楽が奉納されている。湯立神楽は大きく分けると、大釜に湯をたてる湯立神事とその後に舞われる湯立舞の二つから成り立っている。特に、湯立舞は秋田、長野、愛知県山中にわずかに残っているだけで、そのいずれもがみなお面をつけて舞われ、この加計町の湯立舞のように素面のものは極めて珍しいとされている。 (県の無形民俗文化財)
1-6-38	ふるさとの民俗芸能 津浪の太鼓おどり (DVD有り：1-6-2)	16	小・高学年以上 一般	旧山県郡加計町津浪の正福寺に伝えられる太鼓おどりは、吉川元春が伯耆羽衣石城を攻略するときに利用した花笠踊りから派生した一連の太鼓踊りの一つと考えられている。文献ではこの踊りは田の尻踊りとも呼ばれ、これは田の尻、つまり田のはしで行う虫送りの踊りのことで、豊年踊りであり、五穀の豊穡と悪魔払いを祈った踊りであった。 (県の無形民俗文化財)
1-6-39	日本の太鼓	20	小・高学年以上 一般	日本の太鼓は遠い昔から人々に親しまれてきた。この映画は、全国でさまざまな特色を持った太鼓が生まれ、日本人の生活と深いかわりをもってきたことを描いていく。 ○能楽 ○歌舞伎 ○高千穂神楽 ○鹿踊り ○秩父夜祭 ○ねぶた祭 ○八丈太鼓 ○御諏訪太鼓 ○御陣乗太鼓 (文部省特選)
1-6-40	日本の建築 ～歴史と風土～	28	中学生以上 一般	日本の風土は、日本人の心を育てるとともに、日本の建築物にも大きなかわりあいがある。この映画は、日本の建築物の原点をさぐるとともに、長い歴史の中で、それぞれ特色ある建築物と、その美を発見し、あわせて風土との関連をまとめたものである。 (文部省特選・教育映画祭優秀作品賞他)
1-6-41	日本の花火	35	一般	この映画は、日本の花火を世界的・風土的観点から見つめ直し、同時に世界の数ある花火の中でも、最も完成された美しさを誇る「八重心菊花型花火」の製造技術をも伝える記録映画である。
1-6-42	オーケストラの世界	24	小・高学年	様々な楽器の音色の組み合わせによって、美しいハーモニーをかなでる、オーケストラの世界—この映画は、オーケストラを構成するひとつひとつの楽器の特徴や、その組み合わせによる演奏の様子を具体的にわかりやすく描いていく。
1-6-43	ベートーヴェンの世界	15	一般	九つの交響曲、数多くの弦楽四重奏曲、ピアノ曲など不朽の名作を残したドイツの作曲家、ベートーヴェン。その苦労と努力に満ちた楽聖の生涯を熱く描いた音楽映画。
1-6-44	ボレロ	27	中学生以上 一般	有名なラベルの「ボレロ」のすばらしさを、映像と共に味わえる作品。演奏はダイナミックな指揮で知られるズービン・メータとロスアンゼルス・フィルハーモニック・オーケストラ。本番前のリハーサル風景等を含む、彼らの完璧な演奏を通して、音楽の神髄をひれきしていく。

【文化映画（芸術・芸能）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-6-45	ふるさとの民俗芸能 南条おどり (DVD有り：1-6-2)	16	小・高学年以上 一般	旧山県郡大朝町新庄に伝わる南条おどりは、新庄の日野山城を築いた吉川元春の戦上手をたたえた踊りといわれている。わら人形でつくられた実盛さんの武者人形を稲の害虫の主に見立て、川に流すことで虫送りができたと考えたといった昔の人々の素朴な信仰の深さがわかるおまつりである。  (県の無形民俗文化財)
1-6-46	ふるさとの民俗芸能 新庄のはやし田 (DVD有り：1-6-2)	16	小・高学年以上 一般	旧山県郡大朝町新庄に残る「はやし田」は毎年5月の中旬から6月の上旬の日曜日に公開される。田の神、サンバイのご降臨を願って、五穀豊穡を祈願するサンバイ祭り、頭に飾りをつけ、見事なクラを置いたしろかきをする牛、稲を植える早乙女など、古式を伝える大田植である。  (県の無形民俗文化財)
1-6-47	ふるさとの民俗芸能 原田はやし田 (DVD有り：1-6-3)	34	小・高学年以上 一般	旧高田郡高宮町の「原田はやし田」は芸北一帯で行われる大田植と大きな差はないが、古式にのっとり田の神様「さんばい」迎えの儀式を忠実に守っているところに特徴がある。原田にだけ伝わる独特の節まわし「原田ぶし」などが克明に記録されている。6月第1日曜日が現地公開日。  (国の選択民俗文化財)
1-6-48	モーツァルトの生涯	BW.90	中学生以上 一般	奇跡にも近いモーツァルトの神童ぶりがクローズアップされ、旅から旅への生活が詳細にとりあげられた作品。若き晩年の「魔笛」や「鎮魂曲」に至るまでの生涯を、忠実な史実に従って伝記的に展開し、その間にかれの代表的な作品はほとんど紹介されている。すべて現地のロケで構成されているので、わずか90分たらずの間に、かれの伝記を読み音楽をききながら、巡礼の旅をするような楽しさがある。
1-6-49	演劇入門 ～ジュリアス・シーザー～	P40	高校生 一般	福田恒存演出、小池朝雄、西沢利明などの出演によるシェークスピア劇実演に至るまでの全記録。演出法、本読みから立ち上げいこ、裏方、衣裳係りの役割等演劇のすべてを描く。
1-6-50	能	45	中学生以上 一般	わが国の古典芸術として、また現存する世界最古の音楽劇として世界に誇る能を忠実にとらえ、上演の実際を通してその歴史や独特の様式を理解させながら、古典に親しませ、伝統芸能のよさを感じさせる作品。  (文部省特選)
1-6-51	楷書 ～その均斉美の世界～	40	高校生 一般	活字の基本は楷書である。これは、誰にも親しみやすく、見なれているからである。この作品は、楷書の完成までの歴史、執筆法、用筆法、運筆法、造形法などの基本を紹介していく。
1-6-52	絵巻	28	中学生以上 一般	絵巻の画面に歴史をみる。平安から鎌倉へ、貴族から武家の時代へ、当時の人々がその生活と事件を絵巻の画面に託しこんだように、今、またわたしたちはその絵巻の画面から歴史の大きな流れとそれを動かしていった民衆の力と願望を読みとることができる。「源氏物語絵巻」「鳥獣戯画巻」「伴大納言絵詞」その他10点、全部が国宝という珍しい映画である。
1-6-53	中国の陶磁	18	一般	5千年の歴史をもち、世界的に高い評価をうけている中国の陶磁。唐、宋、元、明、清の各時代別に、それぞれの逸品を紹介し、陶磁の美とともに、各時代の背景、特徴と美術の関連を描く。
1-6-54	ふるさとの民俗芸能 原田神楽 (DVD有り：1-6-3)	23	小・高学年以上 一般	原田神楽は、旧高田郡高宮町の南部、原田地区に伝わる、実りを神に感謝する代表的な文化財の一つです。この神楽の演目には、神楽を奉納するに当たって、神殿を清めるための「四方祓（よもばらい）」、大疫神を捕えて退治する「鐘道（しょうぎ）」、仲哀天皇が悪鬼を退治する「塵倫」などがあります。
1-6-55	ふるさとの民俗芸能 山根神楽 (DVD有り：1-6-3)	21	小・高学年以上 一般	旧高田郡高宮町川根の山根地区は江の川の流域にあって、広島県と鳥根県が背中あわせに接しているところにある。この里にある降子（おろしご）神社の神楽の演目には、木火土金水をお迎えする陰陽五行説の教えから出来ている四人舞の「剣舞」、將軍坂上田村麻呂が鬼退治する「鈴鹿山」、菅原道真の天神さんが悪人どもを懲らしめて行く「天神」、須佐之男命（すさのおのみこと）が大蛇を退治する「八岐の大蛇」などがあります。  (県の無形民俗文化財)
1-6-56	ふるさとの民俗芸能 梶矢神楽 (DVD有り：1-6-3)	20	小・高学年以上 一般	古くから山陰との交流の深い旧高田郡高宮町は、出雲地方や石見地方の影響を多く受けているが神楽もその一つである。もともと高田郡は神楽の盛んな所、郡内には十八の神楽団があり、そのうち高宮町には六つの神楽団がある。その高宮町の川根地区の沖原山神社に奉納される梶矢神楽の演目には、「潮祓」、「胴の口」、「磐戸」、「八衢（やちまた）」、「鐘道」などがある。

【文化映画（芸術・芸能）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-6-57	ふるさとの民俗芸能 佐々部神楽 (DVD有り：1-6-3)	18	小・高学年以上 一般	旧高田郡高宮町佐々部の八幡神社に奉納される佐々部神楽は、「胴の口」、「八幡」、「天神」という演目になっている。神楽は、神事を中心とした儀式舞と、神の御威徳をたたえる物語をテーマにした能舞とに区別出来るが、安芸系の神楽は、どちらかといえば、勧善懲悪の能舞が中心になっている。それだけに娯楽性を重んじた神楽になり、この「天神」も華やかさをふんだんに盛り込んでいる。
1-6-58	ふるさとの民俗芸能 羽佐竹神楽 (DVD有り：1-6-3)	20	小・高学年以上 一般	旧高田郡高宮町羽佐竹の八幡神社に奉納される羽佐竹神楽の演目は、「神迎え」、「岩戸」、「天神」などがある。
1-6-59	ふるさとの民俗芸能 桑田神楽 (DVD有り：1-6-3)	20	小・高学年以上 一般	旧高田郡美土里町桑田の桑田八幡神社に伝わる神楽の奉納は毎年9月30日の例祭日と11月12日の客祭日の夜に行われる。演目には、「神降し」、余興神楽とか衣裳みせ神楽ともいわれる「大江山」などがある。  (県の無形民俗文化財)
1-6-60	ふるさとの民俗芸能 青神楽 (DVD有り：1-6-3)	21	小・高学年以上 一般	旧高田郡美土里町の青地区は、昔から鉄づくりが行われており「たたら」跡が残っている。ここに伝わる「青神楽」も古くからの文化の香りと整然とした様式美を今に残している。演目には、「神迎え」や八幡神社のご祭神である「ほんだわけのみこと」が、氏子に災いを及ぼす悪い鬼を退治するという「八幡」がある。  (県の無形民俗文化財)
1-6-61	ふるさとの民俗芸能 生田花笠おどり (DVD有り：1-6-3)	17	小・高学年以上 一般	旧高田郡美土里町生田は、その昔、近くに銀山や鉄をつくる「たたら」があって、人の往来もはげしく、石州街道の宿場町として大変栄えたところである。毎年、8月13～14日に、花笠おどりの一団20名が、踊りを奉納する西勝寺をめざして道行をして、境内に入ると「加納若」、「博多の町」など踊りを踊っていく。
1-6-62	日本のこころ 浮世絵	30	中学生以上 一般	浮世絵が、今、我々の心を引き付けてやまないのは、芸術としての価値と同時に、絵師、彫師、摺師ら、町の職人たちの浮世絵に打ちこんだ熱い心のゆえであろう。この映画は、これらの職人たちが一体となってつくり出した浮世絵の美と心を制作過程を追いながら探る。
1-6-63	広重	20	一般	浮世絵版画は、日本紙の紙質を木版という独特の組合わせによって生み出されるもので大変すぐれた味わいがある。この映画は、風景の詩人といわれる広重の版画「東海道五十三次」を紹介しながら、遠くヨーロッパにまで渡り、19世紀の画壇に与えた影響について描く。  (文部省選定)
1-6-64	フランスの近代美術	25	一般	古典派の巨匠アングルの「ペルレーズの肖像」、ミレー、モネ、ロートレックからピカソ、エルンストまでフランス美術の代表作を、その時代背景とともに展望する。
1-6-65	ロダン	22	一般	“カレーの市民”、“考える人”、“化粧するビーナス”、“姉と弟”などロダンの代表作品を、彼の半生を背景に紹介する。  (文部省選定)
1-6-66	ミケランジェロ	30	中学生以上 一般	フィレンツェを中心に華やかに咲き誇ったルネッサンスの芸術作品を背景に、ミケランジェロの生涯にわたる傑作を忠実に描く。解説は、当時の文書、ミケランジェロ自身の手紙、彼を人間として芸術家としてもっともよく知っているヴァザーリ、コンティビによる伝記を引用し、ミケランジェロの彫刻・絵画・建築をまのあたりに鑑賞できる。  (文部省特選)
1-6-67	にわ ～その思想と技術～	21	高校生 一般	この映画は、日本における庭園の歴史を展望することから始まる。観るものは、まず登場する名園の美しさに魅せられよう。静かに語りかけるナレーターの声は、庭園の思想、技術の重要性、現代社会における庭園の役割、庭園の鑑賞方法などについて多角的に解き明かしていく。さらに代表的な造園家3人が登場して、それぞれの自作の庭を背景に、これからの庭づくりについて語る。  (文部省選定)
1-6-68	諏訪のおんばしら ～祭り・神と・人とその風土～	33	一般	諏訪大社に古くから伝わる御柱祭の様子を記録したもので樅の木の太木の山出しから木落としなど古式にのっとった雄大かつ豪壮な祭りの過程を克明にとらえている。  (文部省選定)
1-6-69	～民俗芸能の心～ 琵琶湖・長浜・曳山まつり	32	一般	滋賀県長浜に伝わる曳山まつり。曳山の舞台で演ずる子ども狂言のために、地域の人たちの指導による狂言のけい古の様子から舞台での上演を終えるまでの様子を克明に描く。  (文部省選定)
1-6-70	日本の伝統工芸 機巧人形	25	高校生 一般	名古屋地方に伝わる八百津久田見まつり、犬山市の犬山まつり、そして飛騨の高山まつりなどにみられるさまざまな機巧人形をとらえるとともに、それらの人形のからくりの原理について具体的に説明している。  (文部省選定)

【文化映画（芸術・芸能）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-6-71	日本の文様	22	高校生一般	文様は、その時代を生きてきた人々の欲求や好みに応じて、器物や衣服などに表現されている。その文様の起源・展開・素材の構成と表現について、東京国立博物館にある美術工芸品をとおして考えてみる。 (文部省選定)
1-6-72	郷土玩具 駒	15	高校生一般	郷土玩具は、その土地の生活のなかから生まれ、その地の素材を生かした心豊かな伝統玩具として作られてきた。日本各地に伝わるかすかすの「駒」の制作技法を紹介することにより、その歴史的要素を探り、あわせてその地方独自の伝統を描いていく。 (文部省選定)
1-6-73	凧	30	高校生一般	日本の伝統凧について、凧絵や形の違いを地方ごとに示し、凧土と凧がいかに神事信仰と結びつき、民間伝承の習俗として生きているかを描いている。
1-6-74	舞台裏の若者たち ～文楽へどうぞ～	24	高校生一般	文楽の舞台裏には、師匠と多くの若者たちが文楽をつくりあげていくための、苦心と修業がある。舞台裏にスポットをあて、若者たちの文楽を支えるために傾ける情熱と意気込みを描き、文楽を初めてみる人々に、文楽への興味と関心をいだかせる。 (文部省選定)
1-6-75	狂言入門 太郎冠者の日々	36	高校生一般	狂言の代表的人物、太郎冠者とは一体どんな人物なのか。いくつかの演目の中から、太郎冠者の日常生活、その仕事ぶり、暮らしぶりを紹介し、その太郎冠者の人間像と、現代に生きる私たちとの間の共通した親しさを探るとともに、狂言のおもしろさ、おかしさを探る。 (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-6-76	日本の舞踊	24	高校生一般	御神楽・盆踊り・花笠踊り・田遊び・舞楽・大平楽・能楽・上方舞・七つ子・舌出三番叟などの踊りをその推移とともに紹介し、この日本の舞踊の歴史をひもとき、その真の姿を探ってみる。 (文部省選定)
1-6-77	鳥獣戯画	30	高校生一般	鳥羽僧正覚猷筆と伝えられる絵巻“紙本墨画獣人物戯画”(国宝)の第1巻を、さまざまな映画手法と、間宮芳生の音楽で再現する。
1-6-78	文人画 ～大雅・蕪村・玉堂・木米・竹田～	20	高校生一般	江戸時代中期の文人画の大成人といわれる、池大雅・与謝蕪村・浦上玉堂・青木木米・田能村竹田の代表作を選び、その画風と時代背景について解説する。
1-6-79	アール・ヌーヴォーと高島北海	27	高校生一般	19世紀末、ヨーロッパに留学していた高島北海が、当時、若者たちによる新しい芸術を求めたアール・ヌーヴォー運動に対し与えた影響を、資料をもとに説明している。 (文部省選定)
1-6-80	明治の絵画	21	高校生一般	変動期にあった明治の画壇で、自らの表現を模索しながらも傑作を生むために力をそそいだ画家たちの姿を、代表的な作品を通して解説する。
1-6-81	日本の美術工芸	28	高校生一般	日本の伝統工芸が復興してきた1960年代の作家たちを訪ね、彼らの手わざを通して、すぐれた作品を生み出す人と技術の高度な結びつきを伝えるとき、日本独特の美の誕生の秘密をさぐっていく。 (文部省選定)
1-6-82	徳川美術館	56	中学生以上一般	尾張徳川家に伝わる名宝コレクションを展示する徳川美術館は、増改築事業が進められ、昭和62年秋、装いも新たに開館された。この映画は、新しい美術館の画期的方式、すなわち、美術品を単に陳列するのではなく、それが実際に使われた情景を再現し、その背景の中で鑑賞するという方式を紹介し、また、質・量ともに最高最大といわれる大名コレクションの名品の数々を描きだしている。
1-6-83	ふるさとの民俗芸能 川角山八幡神楽 (DVD有り：1-6-3)	28	小・高学年以上一般	旧高田郡美土里町生田は、中国山地の中にありながら、早くから陰陽両文化の影響を受けてきた。そのため、数多くの古い民俗芸能を今に残している。生田地区に伝わる川角山八幡神社もそうした芸能の一つである。神楽の系統は石見神楽の阿須那の直系と恐れ「手草」や「貴船」など、古い演目を残している。
1-6-84	ふるさとの民俗芸能 本郷のはやし田 (DVD有り：1-6-3)	31	小・高学年以上一般	旧高田郡美土里町本郷地区は、静かな山の中にあり、毎年6月の第1日曜日に、「はやし田」が盛大に行われている。我が国のはやし田がいつごろ始まったのかははっきりわからないが、鎌倉時代の末期にはすでに田植行事があり、本郷でも江戸時代にすでに行われていた。さんばいの指揮で太鼓や手打鉦などではやし、早乙女が田植唄を唄いながら苗を植えていく。 (県の無形民俗文化財)
1-6-85	ふるさとの民俗芸能 西尾山八幡神楽 (DVD有り：1-6-3)	18	小・高学年以上一般	旧高田郡美土里町北区にある西尾山八幡神社の秋まつりに奉納される神楽で、地区内の天神、中北、日吉の三つの神楽団によって行われる。演目には、「岩戸」「八幡」などがある。

【文化映画（芸術・芸能）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-6-87	ふるさとの民俗芸能 水内神楽 (DVD有り:1-6-2)	18	小・高学年以上 一般	佐伯区湯来町水内和田郷は、いで湯の里・湯之山温泉を近くにひかえた静かなところで、この和田郷一体では、秋まつりの夜、水内神楽が夜を徹して奉納される。演目には、「八ツ花」「五刀」「白湯」などがある。  (県の無形民俗文化財)
1-6-88	ふるさとの民俗芸能 説経源氏節 (DVD有り:1-6-2)	25	小・高学年以上 一般	説経源氏節は、広島県廿日市市原地区で、土地の人々によって語りつがれている。説経源氏節は、天保の末頃、名古屋に住んでいた岡本美根太夫によって始められた音曲で、明治20年、広島市から藤原淳一郎のもとに嫁いできたイワがこの原地区に伝えた。イワは、岡本美咲意和と名乗り、同好者を集めて指導し、また夫、藤原淳一郎は人形をつくったり、舞台装置をつくったりして、今日に伝えている。  (県の無形民俗文化財)
1-6-89	藤本能道の色絵磁器 ～釉描加彩～	33	高校生 一般	重要無形文化財保持者である藤本能道の、色絵磁器ひとすじに生きる姿をとらえたもので、色絵の技法に新しさを求め、試行錯誤を重ねながら、彼独自の“釉描加彩”の技法を生みだし、色絵磁器の歴史の上に新しさを築いた過程を克明にとらえている。  (文部省特選・教育映画祭優秀作品賞)
1-6-90	繡いの美 ～ある刺繍工房の記録～	38	中学生以上 一般	1600年の歴史をもつ日本刺繍は、名もない繡いびとたちの技と心によって今日まで伝えられてきた。この映画は、その伝承者の一人、齋藤馨と若い弟子たちの求道の日々を描いており、一針、一針が生み出す「繡いの美」に、長い伝統を生きつづけてきた日本人独自の美しい心が、装いも新たによみがえってくる。  (文部省選定)
1-6-91	拓本に親しむ	21	中学生以上 一般	中国、竜門石窟に残る仏像とその造像記をもとに、拓本の歴史や意義を説明するとともに、拓本をとるにあたっての留意点について高校生による探拓の実際をとらえ説明している。  (文部省選定)
1-6-92	デザインの楽しさ	20	小・高学年以上 一般	表示、絵地図などのためのデザインや生活の中で利用される家具や食器など造形のためのデザインを、事例をもとに説明し、色や形、素材の持ち味、機能性などをふまえたデザインの楽しさについて描いている。  (文部省特選)
1-6-93	利休の茶	47	高校生 一般	映像としてはじめて本格的な資料に基づいて、千利休の茶の世界へ造形の面から迫ろうとした作品で、現存している利休ゆかりの茶室・露地・茶道具などを、可能な限り探ることにより、利休の美意識と高い精神性をみていく。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-6-94	木組の技 ～萬満寺本堂建立～	32	高校生 一般	近年まれとなった本格的な木造寺院の建立過程を記録した貴重な作品で、日本の伝統技術を継承する宮大工たちの「技と巧み」を紹介し、わが国の伝統の重み、職人技術、木造建築についての理解を深める。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-6-95	縄文土器	24	小・高学年以上 一般	素朴な味の中から、時にはエネルギーな流動感をみながら、また時には工芸品のように洗練された美しさを保っている縄文土器の全貌の解説から、それらを作った人々のくらしやこころをうかがい知る。  (文部省特選・教育映画祭優秀作品賞)
1-6-96	伝統工芸の名匠 西出大三・截金の美	30	高校生 一般	人間わざとも思えない細微の限りをつくした截金技法へ挑戦し、その技術を応用した人間国宝西出大三の作品を通して、伝統的な截金技術とともに、美を創りだす作家の個性的な姿を描いている。  (文部省選定)
1-6-97	茶の湯釜 ～角谷一圭のわざ～	31	高校生 一般	茶の湯釜は、茶席の要として、また茶道の美と精神を表現する道具として重要な役割を果たしている。人間国宝角谷一圭が、古今の茶の湯釜の名品を研究し、特に芦屋風の釜に範を求めて、伝統の技と現代感覚を調和させた新しい茶の湯釜を制作し続けている姿を描く。  (文部省選定)
1-6-98	一枚の葉っぱ ～小倉遊亀の世界～	22	中学生以上 一般	大津で生まれ、大津で育ち、文化勲章を受章し、今や日本画壇の重鎮ともいえる小倉遊亀の画業生活にスポットをあて、画伯の生涯を通ずる不断の努力と信念によって生まれてきた作品をとらえて、画伯の人となり生き方についてさぐっていく。  (文部省選定)
1-6-99	だるまの里	30	小・高学年以上 一般	だるまは、250～100年前から各地で作られ、七転八起の縁起物として、多くの人に親しまれ、世のさまざまな願いごとを託していた。この映画は、縁起だるま発祥の寺、小林山達磨寺から始まり、高崎だるまをはじめ各地のだるまを紹介し、私たちの日常生活のなかで、思いもかけないところで、かわりを持っていることを描く。  (文部省選定)

【文化映画（芸術・芸能）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-6-100	日本刀 ～宮入行平のわざ～	35	高校生 一般	重要無形文化財「日本刀」保持者、宮入行平の伝承する作刀技法の工程を記録したもので、地鉄「玉鋼」の鍛錬法を中心に、「十文字鍛え」「本三枚鍛え」による刀の原形づくりや「土取り」「焼き入れ」など特殊な熱処理による仕上げの工程、また、「卸し鉄」という手法などを、紹介する。  (文部省選定)
1-6-101	絵馬	30	高校生 一般	この映画は、各地の社寺を取材し、絵馬の成り立ちから、絵馬と人間がどのようにかかわってきたかを解説し、庶民との結びつきが深い「小絵馬」に、主に焦点を当てていく。
1-6-102	歌舞伎の魅力 衣裳と化粧 ～御旗勸進帳～	30	高校生 一般	華やかな様式美にあふれる歌舞伎の舞台を支える重要な要素の一つとして、衣裳や化粧の存在は欠かすことができない。この映画は、顔見せ狂言の代表作である「御旗勸進帳（ごひきかんじんちょう）」の舞台面や、その舞台裏での準備の様子を描きながら、衣裳や化粧が歌舞伎独特の魅力を生みだすうえで、どんな役割を果たしているかを浮かびあがらせようとしたものである。  (文部省特選)
1-6-103	義太夫狂言の演技 ～熊谷陣屋を中心に～	45	高校生 一般	義太夫狂言は、人形浄瑠璃のために書かれた戯曲を歌舞伎化したもので、歌舞伎の代表的演目の一つとされている。この映画は、義太夫狂言の演技の基本を、その成立の過程、芸の継承の流れなどを含めて、説明していく。  (文部省選定・日本産業映画コンクール文部大臣賞)
1-6-104	ふるさとの民俗芸能 伊賀和志神楽 (DVD有り：1-6-5)	24	小・高学年以上 一般	三次市から江の川沿いに下ってゆくと、川向こうはもう鳥根県というところ作木村がある。この村に「伊賀和志神楽」が伝わっている。演目は「鈴合わせ」で伊賀和志天満宮に奉納されたものである。「鈴合わせ」には、昔、この地に源為朝が隠れ住んだり、平家の落人が住みついたといわれ、そうした都落ちした人達が伝えたからか、いわゆる神楽舞いとは違った、上品な手ぶりや奏楽を見聞きすることができる。
1-6-105	ふるさとの民俗芸能 神弓祭 (DVD有り：1-6-6)	21	小・高学年以上 一般	神弓祭は、比婆郡西城町に伝わる祭りで、「弓」を使うところに特徴がある。この神弓祭を通して地区の人々の強い連帯感が生まれている。昔、弓神事は備後一円にはたくさんあったが、ほとんど消滅してしまった。その中にあって、この地では、荒神様や土公神に五穀の豊穡や家内安全を願う、農民達の素朴な信仰心がひっそりと生きつづけ、今日の神弓祭を残させたといわれている。
1-6-106	ふるさとの民俗芸能 大山供養田植 (DVD有り：1-6-6)	35	小・高学年以上 一般	広島県は、古くから牛の産地として全国に知れ渡っていた。その名声を高めたのは、比婆牛や神石牛が優秀であったからである。これは、一方では農民達が牛を宝として扱い、わが子と同じように可愛がって育ててきたためである。大山供養田植は、農民達のそんな牛に対する愛情から始まった。
1-6-107	ふるさとの民俗芸能 比和の供養田植 (DVD有り：1-6-6)	16	小・高学年以上 一般	吾妻山の一帯は牛が放し飼いにされており、昔から和牛の飼育がさかんなところで比婆牛として有名である。その吾妻山の麓の町、広島県比婆郡比和町は、稲作のさかんな地方で毎年5月から6月にかけてが田植えの時期で、田植えといっしょに行われるのが牛供養で、昔からこの地方に伝わっている。いま供養田植として地元の人たちによって受け継がれている。  (県の無形民俗文化財)
1-6-108	ふるさとの民俗芸能 齋庭（さにわ）神楽 (DVD有り：1-6-6)	21	小・高学年以上 一般	齋庭神楽は、山林が多く、林業と米作が主な産業である比和町と隣り町の高野町の神職の人々によって数百年来、伝承されてきた神事で、毎年、秋の終わりが豊作を感謝するため行われる。演目には、「七座の神事」「岩戸」「八幡」「八頭」などがある。
1-6-109	ふるさとの民俗芸能 比婆荒神神楽 第三部 (DVD有り：1-6-6)	31	小・高学年以上 一般	比婆荒神神楽は、比婆郡東城町竹森地区に伝わっているもので、毎年、比婆の山々が紅葉を始め、稲刈りも終わったころ、村人たちがその年の豊年感謝と、来年の五穀豊穡を願って、荒神さんへ神楽を奉納する。また、33年ごとに式年大神楽が行われている。比婆荒神神楽は、神がかり神事などを完全な型で古式豊かに保存されている。  (国の重要無形民俗文化財)
1-6-110	甦える文化財 ～表装の技術～	48	高校生 一般	本願寺西山別院の本堂障壁画、本法寺の柴紙金字法華経など重要文化財の保存修理の過程を記録したもので、文化財の解体そしていろいろな工程をへて修復されていく様子を克明にとらえている。  (文部省特選)
1-6-111	友禪 ～森口華弘のわざ～	30	高校生 一般	重要無形文化財保持者である森口華弘氏の京友禪ひとすじに生きる姿やその人となり、氏による友禪の制作工程や、代表的作品を背景にとらえている。  (文部省選定・教育映画祭優秀賞)

【文化映画（芸術・芸能）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-6-112	箴（おさ）打ちに生きる 小川善三郎献上博多織	33	一般	日本に伝わる伝統工芸技術の多くは保存伝承が困難になってきている。この映画は、その保存・振興のための記録として、750年にわたって博多に伝えられてきた献上博多織の第一人者であり、重要文化財技術保存者である、小川善三郎のひとすじに織りつづける姿を描いたものである。
1-6-113	絵は人なり 小島善太郎	34	高校生 一般	小島善太郎の単純平明、骨太で、親しみ深いその作品には、絶えず自己を見つめている目があり、強く、しなやかに、筋目正しく生きようという、人間肯定の精神がみなぎっている。この映画は、逆境にあっても屈せず、初心を守り純粋を貫いた小島善太郎の人間像を描いたものである。  (文部省選定)
1-6-114	附子 ～狂言のおもしろさ～	30	小・高学年以上 一般	野村万作の演じる狂言“附子”の舞台をとらえ、狂言の演じ方や言葉のもつ意味など説明するとともに、能舞台の構造や衣装などについて具体的に解説している。  (文部省選定・教育映画祭優秀賞)
1-6-115	文楽の魅力	30	高校生 一般	人形をあやつる人、ストーリーを語る人、そして物語を進める三味線の三者が一体となって演じられる文楽の魅力を、“ひらかな盛衰記”の舞台や、裏方さんの苦労などをまじえ描いている。  (文部省選定・教育映画祭優秀賞)
1-6-116	ふるさとの民俗芸能 豊松の供養田植 (DVD有り：1-6-6)	20	小・高学年以上 一般	旧神石郡豊松村は、昔から品質のよい米がとれ、米作と丘陵地を利用したこんにやくの生産が盛んである。供養田植は、この地で伝承されてきた行事で、牛馬の守護神である大山祇神（おおよすみのかみ）と智明大権現をまつり、牛馬の霊を供養し、安全を祈願するため、田植えといっしょに行われる。  (県の無形民俗文化財)
1-6-117	ふるさとの民俗芸能 神殿行事 (DVD 有り：1-6-6)	20	小・高学年以上 一般	旧神石郡豊松村は、昔から荒神信仰の厚いところで、神殿（こうどの）を民家につくり、神楽を神々に捧げてきた。かつて八箇の庄の総鎮守で、村の氏神さまを祀る鶴岡八幡神社には、昔の神事や行事が実によく受け継がれており、神殿行事と呼ばれる神楽もその一つで、豊松村と隣の油木町の8か社によって行われる。
1-6-118	ふるさとの民俗芸能 豊松の神事 (DVD有り：1-6-6)	23	小・高学年以上 一般	旧神石郡豊松村の人々が誇りにしているものが二つあり、一つはコンニャク、もう一つは神様である。家の中、田んぼの蛙、道の端、いたるところに大勢の神さんが住んでいる。そのため豊松には信仰と結びついた民俗芸能や生活習慣が数多く受けつがれている。神様の中でも一番大きな氏神様、鶴岡八幡神社の秋祭りには、いちばん盛大である。  (県の無形民俗文化財)
1-6-119	ふるさとの民俗芸能 油木の神儀 (DVD有り：1-6-6)	17	小・高学年以上 一般	広島県の北東部、旧神石郡油木町に伝わる行事で、五穀豊饒、家内安全の神様として地元の人々の深い信仰の対象になっている亀鶴山八幡神社の秋祭りで行われる。この日は、神儀の太鼓と鉦の音が町中にこだまし、油木の人々は賑やかな一日を過ごす。
1-6-120	ふるさとの民俗芸能 豊栄神楽 (DVD 有り：1-6-4)	41	小・高学年以上 一般	旧賀茂郡豊栄町に伝わる神楽は、当屋（とうや）という祭りの主催者となった家で行われる。演目には、「神降ろし」「五行祭」がある。特に、この豊栄町に残る「五行祭」は、長い神楽で、通して演じると7時間にもおよぶ大変大掛かりな神楽である。神楽はまず前の晩に氏神様へ出かけて、祝詞を奏して神を迎えることから始まる。  (県の無形民俗文化財)
1-6-121	ふるさとの民俗芸能 神殿入り (DVD有り：1-6-4)	15	小・高学年以上 一般	「神殿入り」と呼ばれる秋まつりは、広島県の米どころ、世羅台地の西のはしに位置する旧世羅郡世羅西町上津田に鎮座する稲荷神社で行われる。「神殿入り」は、火の祭りともいわれ、今からおよそ400年前にはじまったといわれ、御神灯を捧げて神殿に入る。
1-6-122	ふるさとの民俗芸能 矢野の神儀 (DVD有り：1-6-5)	21	小・高学年以上 一般	「矢野の神儀」は、旧甲奴郡上下町に残る民俗芸能で、小童（ひち）の祇園さんといわれる隣町、甲奴町の須佐神社の祭礼に、上下町矢野の住民がこぞって参加し、奉仕した形を残すものです。上下町は、昔、天領だったところで、古くは山伏の修験場でもあり、その墓石も沢山残っている。「矢野の神儀」は、もともとは矢野の修験者、山伏たちが参加して祭りをとりきったとされている。
1-6-123	ふるさとの民俗芸能 弓神楽 (DVD有り：1-6-5)	21	小・高学年以上 一般	かつて幕府直轄の天領として、また、山陰と山陽を結ぶ石州街道の宿場町として隆盛を極めていた旧甲奴郡上下町には、多くの文化財や伝統芸能が残っている。「弓神楽」もそうした伝統芸能の一つで、現在は上下町の井永を中心に水永、佐倉、府中市斗升町、行勝町などで行われている。弓神楽は、古文書によると、200年も前にはすでに行われていたようである。  (国の選択民俗芸能・県の無形民俗文化財)

【文化映画（芸術・芸能）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-6-124	土と炎と人と ～清水卯一のわざ～	31	一般	清水卯一は、昭和60年「人間国宝」の認定を受けている鉄軸陶器作家である。京都で生まれ、京都を本拠として陶技を磨き、今も滋賀県の琵琶湖畔に工房を持ち、製作に没頭している。一般に青磁は石でつくることが、それを土で作って暖かい感じの青瓷（せいじ）にしようとしたのは、清水独自の発想である。清水卯一の土と炎の創り出すものにかかる情熱を追っていく。  (文部省特選・文化庁芸術作品賞)
1-6-125	重要無形文化財 輪島塗に生きる	34	一般	日本の代表的な漆器である輪島塗の技術は、1977（昭和52）年に重要無形文化財の指定をうけて以来、輪島塗技術保存会の会員たちによって技術の伝承と発展がはかられ、今日に至っている。1986（昭和61）年に保存会の総会で、20世紀の最後を飾る事業として、輪島塗の最高の作品をつくり、千年以上保存することを決定した。以後5年の歳月をかけて、懸盤一式を製作していく過程をカメラが追う。  (文部省選定・教育映画祭最優秀作品賞)
1-6-126	秩父の夜祭り ～山波の音が聞こえる～	34	一般	周囲に屏風を立てかけたように、高い山々に囲まれた秩父盆地は、その土地性ゆえに近代化の波と風化をまぬがれて、たくさんの祭りが今日まで残されてきた。なかでもこの映画が写し出す国の重要民俗文化財に指定されている夜祭りは、一年の行事のすべてを結集した秩父最大の祭りである。盆地で暮らす人々の年に一度のエネルギーの爆発ともいえる夜祭りを通して、そこに生きる民俗のこころを探る。  (文部省選定・教育映画祭優秀賞)
1-6-127	国宝「鳥獣人物戯画」	60	一般	鳥獣人物戯画は、12世紀に鳥羽僧正が描いたものとされるが、明確でない。また鳥獣人物戯画のハイライトである兎、蛙、猿がアニメのように躍動する有名な甲巻の構成も当時のものと現存するものでは違いがあるとも言われる。この映画は、甲～丁の全巻を紹介しながら、美術評論家上野憲示氏の学説を元に甲巻の復元を試みている。そして平安後期の国風文化が生んだ絵巻の素晴らしい芸術性を画像で楽しんでいく。  (文部省特選)
1-6-128	能 ～NOH DRAMA～	30	一般	六百年の歴史を経て、今なお生きつづけている重厚なドラマ・能は、日本が世界に誇りうるもの一つである。この映画は、舞台の能を容易に観ることができない外国人の人々を対象に、能の真の姿を限られた長さの中に多角的に盛り込もうとして作られたものであり、それを日本語版として逆輸入的に制作されている。舞台の造作、演目をわかりやすく解説し生きた入門書となっている。  (文部省特選・日本紹介映画祭金賞)
1-6-129	柿右衛門 ～にごしで～	30	一般	柿右衛門様式は、日本の代表的な色絵磁器のひとつである。江戸時代前期以来、酒井田柿右衛門家が代々その技法を伝承して現代に及んでいる。その華麗な赤絵の美しさは、濁手（にごしで）とよばれる乳白色の優美な磁肌の調製によるところが大きい。「柿右衛門・濁手」の技法は、国の重要無形文化財に指定されている。この技術を忠実に記録したもの。  (文部省選定・教育映画祭最優秀作品賞・文部大臣賞)
1-6-130	月と大綱引き	33	一般	日本各地で、「綱引き行事」が行われている。その様相を見ると、農耕社会を形成してきた日本人の生活とそれに結びついた信仰・習慣・風俗・技術・伝承文化などとその心根を知ることができる。特に大綱引きは、中国や韓国の「綱引き」と似ており、日本と大陸との文化交流の歴史による文化の親近性、民俗の共通性が強く感じられる。全国の「大綱引き行事」を追う。  (文部省選定)
1-6-131	浮世絵と歌川広重	22	小・高学年以上 一般	江戸中期には産業がさかになり、町人も力をたくわえ、その台頭とともに新しい文化が発達した。この映画は、浮世絵を手がかりとして、当時の町人の暮らしや、新しい文化の特色を具体的にとらえられるようにしている。特に広重の版画資料や、その刷り方などもとり入れて、理解しやすい内容にまとめている。
1-6-132	貴族と国風文化	21	中学生以上 一般	藤原氏による摂関政治が行われていた平安時代の中頃、貴族たちを中心に新しい日本文化（国風文化）が生まれた。寝殿造りをはじめとする貴族の生活、仮名文字の成立による女流文学の開花（枕草子・源氏物語）、そのほか大和絵や絵巻物など代表的な国風文化を紹介。また、貴族社会の背景に潜む怨霊への畏れ、現世への無常観、極楽浄土への憧憬等、精神文化にも言及し、国風文化の意義を深める。  (文部省選定)

【文化映画（芸術・芸能）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-6-133	舞うがごとく翔ぶがごとく ～奥三河の花祭～	34	中学生以上 一般	天童川の上流、険しい山々が連なる愛知県の奥三河。人々の平安と繁栄を願って、鎌倉・室町時代に山伏や修験者によって伝えられ、七百年余りの伝統をもつ「花祭」が伝承されている。湯立神楽とも深くかかわっており、釜の湯のまわりを夜を徹して舞い踊る人々の熱気は、湯ばやしに向かって昇華していく。長い伝統の中に生き続けてきたこの祭りの起源を探る。
1-6-134	世阿弥の能	49	中学生以上 一般	世阿弥は南北朝時代の中頃、14世紀の半ばに大和に生まれた。この映画は、能の生い立ちを語り、世阿弥の生涯と足跡をたどるとともに観阿弥作の「自然居士（じねんこじ）」、世阿弥作の「清経」「井筒」「融（とおる）」、そして晩年の傑作「砧（きぬた）」と世阿弥の能の世界を紹介する。  (文部省特選・教育映画祭最優秀作品賞)
1-6-135	漆器づくりの要具 —手仕事の世界—	42	一般	日本の代表的な手工芸品である漆器。日本の各地で、それぞれの長い伝統を持った技法で優れた漆器が作られている。この作品は、日本の優れた漆器を後世に残し伝承させるために、漆器づくりに必要な要具づくりの様子を克明に記録したものである。  (文部省特選・教育映画祭優秀作品賞・芸術祭大賞)
1-6-136	みちのくに紙 白石和紙	30	高校生以上 一般	平安朝中期頃から宮廷で「うるわしく気品のある格調高い紙」として愛用されたみちのくに紙。その優れた和紙の原点を見ることにより、和紙の持つ素晴らしさを感じ取り、手作りでしか作り得なかった「白石和紙」の伝統技法を記録し、後世に伝えることを意図として作られたもの。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-6-137	美しさの秘密 ～美を感じる心～	20	中学生以上	横山大観、平山郁夫、山田かまちなど自分の美の世界を表現した作家たちの作品、活動、考えをおして、美のとらえ方や美の深さについて理解し、美しさは、最初からそこにあるわけではなく美しいものを見る目と美しいものを感じとる心により見つけ出し、素直な心で感じ、それを素直に表現することの大切さを訴える。  (文部省特選・教育映画祭最優秀作品賞)
1-6-138	十三代今右衛門 薄墨の美	36	一般	佐賀県の赤絵町にある今泉今右衛門家は色絵磁器「色鍋島」の窯元として、その伝統的な様式を継承している。十三代今右衛門は伝統の中にも自分らしさを出すため、今までにない「薄墨」の技法を用いて作陶を行っている。この作品は、伝統と陶芸家としての創作意欲との狭間で悩みながらも自分らしさを表現した十三代今右衛門の姿を描く。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-6-139	小鹿田焼（おんたやき）	34	一般	小鹿田焼は、朝鮮半島出身の陶工により伝えられた陶芸技術が1705年頃に大分県日田市の小鹿田皿山に定着したものとされている。小鹿田焼は、すべて地元産の土を用い、陶土の製造、加工及び作品の製造にも古くから伝わる道具を用い、伝統的で地域の特色がよく現れた焼物である。  (文部省特選・教育映像祭優秀作品賞)
1-6-140	石を架ける ～石橋文化を築いた人びと～	40	一般	日本の代表的な石橋を架けたのは肥後の石工であり、その中でも江戸末期に種山村（現在の熊本県東陽村）の石工たちが架けた石橋は、構造的に最も堅ろうといわれ、その技術、造形美、素材、歴史性のいずれにおいても高い価値をもつ文化財である。九州地方を中心に、いにしえのロマンあふれる石橋を訪ね、その魅力を紹介する。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-6-141	みちのくの鬼たち ～鬼剣舞の里～	36	一般	鬼剣舞（おにけんぱい）は、北上川流域に沿って岩手県中部から南部にかけて広く分布する民俗芸能である。この作品では、国の重要無形民俗文化財に指定されている四つの鬼剣舞のうち、古くから伝わる作法や芸をほとんど変えないまま今に伝える岩手県衣川村の川西念仏剣舞を中心に取り上げ、その歴史、伝承者たちの努力、剣舞を受け継ぐ子供たちの姿を描く。  (文部省選定)
1-6-142	鑄金 ～齋藤明のわざ～	30	一般	齋藤明は、父・鏡明などの指導を受けて伝統的な鑄造技術を学び、1993(平成5)年、鑄金の分野で国の重要無形文化財保持者に認定された。この作品では、2種類の金属を溶かし、融点の差を利用して鑄型に注ぎ、吹き分けの技法を中心に紹介する。金属は、その特性を熟知した齋藤明の手を通して新たな息吹を与えられ、様々な姿に変ぼうする。  (文部省特選・教育映画祭最優秀作品賞・文部大臣賞)
1-6-143	織りと染め	20	中学生	近世の織物や染色の技術は、人々の生活を大変豊かにした。各地に今も残る織りと染めの伝統的な技術をたどりながら、発達の意味をさぐる。  (文部省選定)

【文化映画（芸術・芸能）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-6-144	木の生命よみがえる ～川北良造の木工芸～	33	一般	木工芸の挽物（ひきもの）で初めて人間国宝になった川北良造は、石川県山中町にしっかりと腰を据えて活躍している作家である。この作品では、山中木工の起こりや、山中で共に活躍している仲間たちの様々な技術、そして彼のわざと生きざまを盛器の製作過程を通して紹介する。  (文部省特選、日本紹介映画・ビデオコンクール銀賞、外務大臣賞)
1-6-145	ふるさとからくり風土記 ～八女福島の燈籠人形～	31	一般	8月末、国の重要無形民俗文化財の祭「八女福島の燈籠人形」が近付くと町の人々は1本の釘も使わない組立式の舞台小屋を建てる。そして祭の当夜。境内の大楠も静かに見守る中、けんらんたるからくり人形が多くの観客を夢の世界にいざなっていく。  (文部省選定)
1-6-146	遠江の盆行事 ～天竜川流域を中心に～	31	一般	特色ある盆行事の習俗が残る、静岡県水窪町（みさくぼちょう）周辺。盆道づくり、施餓鬼（せがき）供養、虫おくり、新盆供養、送り盆、うら盆そして念仏踊りなど、他ではみられない珍しい習俗を忠実に記録した作品。  (文部省選定)
1-6-147	飛騨古川まつり ～起し太鼓が響く夜～	34	一般	雪国飛騨古川の1年を追ひ、風土・歴史・文化の紹介とともに4月19日からの祭にかける男たちの熱い心意気を追う。寒夜、巨大な太鼓にまたがった若者たちの姿は古川男一世一代の晴れ姿である。  (文部省選定)
1-6-148	伊勢型紙	30	一般	江戸小紋など江戸時代に大いに発達した模様の染めは、多くは型紙によったが、その優れた造形美を生み出したのは知られざる職人たちであった。この作品は、そうした歴史を背景に、とぎすまされた極微の作業である型紙彫刻の技法を詳しく記録し、手仕事というものの素晴らしさ、かけがえのなさを訴えかける。  (文部省選定・芸術祭大賞・教育映画祭最優秀作品賞 他)
1-6-149	ふるさとの文化財を守る ～秩父のふくさ人形～	20	一般	埼玉県秩父地方に伝わる人形芝居横瀬ふくさ人形の代表的外題「小栗判官実道記―親子対面矢取りの場―」の舞台を記録。親子の愛情あふれる物語が説教節によって展開される。  (文部省選定)
1-6-150	伝統工芸 ～わざと人～	21	一般	陶芸、染色など伝統工芸は日本民族の生活の中から生まれ、長い歴史の中で育てられた貴重な文化財である。この作品は、いわゆる人間国宝の優れた技術と執念を描く。  (文部省特選・芸術祭賞)
1-6-151	今は昔 昔は今 歌舞伎を見る 2001・国立劇場	41	中学生以上 一般	歌舞伎は400年前から、演じられる度に演技や演出に工夫を凝らし、洗練の度合いを深めて、常に新しい驚きを観客に与えてきました。この作品は歌舞伎を見たことのない若者たちに、歌舞伎の面白さや楽しさを紹介しています。

【文化映画（政治・経済）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-7-1	新しい経営への挑戦 ～競争の中の経営～	30	一般	コンピュータを導入し経営面の情報管理を進めているアメリカ企業と対照的なオランダの電子工業や、イタリアのタイプライター会社を紹介し、現代の経営はいかにあるべきかをさぐる。
1-7-2	流通王国	30	一般	シアーズ・ローバックの商法や、西ドイツ最大の食品の共同仕入れ機構エデカの活動を中心に、流通業界の変動を描きながら、日本での流通の改善への手がかりをさぐる。
1-7-3	コンピュータとわたしたちの暮らし	29	一般	近年、エレクトロニクス技術の発達はめざましく、コンピュータは産業界のみならず、文化、行政などにおいても広く利用され、わたしたちの暮らしに大きく貢献しています。この映画は、コンピュータの原理や現在の利用状況さらに将来の展望など、コンピュータの全体像をわかりやすく解説し、これからのコンピュータ時代に対応する一助として利用されることをねがうものです。
1-7-4	若者の目は燃えた ～まだ還らぬ北方領土～	29	一般	北方領土が歴史的にみても、国際条約上からみてもわが国の領土であることを正確な資料によって解説するとともに引き揚げて来た島民の帰島の声を伝え、もって国民一人ひとりがこの北方領土について正しい認識をもつことにより北方領土返還という国民的悲願達成の一助とするものです。
1-7-10	期待と協力 ～発展途上国の日本企業～	30	一般	明治以来、わが国は欧米先進国に追いつくことを目標に近代化と産業の育成をはかってきた。今日では全世界の経済活動の一角を占める経済大国となった。この映画は発展途上国に進出して成功した例を具体的にとりあげて、きめこまかく紹介し、これからのわが国企業の海外進出のあり方について考えようとするものである。
1-7-11	わが国のエネルギーはどうか ～その現状と展望～	29	一般	わが国の経済は世界各地からの工業原料・燃料・食料などの輸入と工業製品などの輸出によって成り立っており、これらを支えているのは莫大なエネルギーである。この映画はわが国のエネルギー需給の現状や問題点、さらに安定供給のための政策などを具体的に取り上げるとともに、今後の見通しや身近な対応などを描く。
1-7-12	原子力発電とその安全性	29	一般	この映画は、原子力発電に対する市民の不安や疑問に対する答えを直接その道の専門家である科学者や原子力発電所の責任者たちからきくと共に、原子力発電の安全のためのいろいろなシステムや装置、さらにこれを扱う人の訓練などを紹介し、世界のトップレベルにあるわが国の原子力発電の安全確保についての努力を紹介する。
1-7-13	生活とサービス	20	一般	日本の諸産業の発展にともない、人々の生活にもうるおいと安定感をもたらされた。しかし現代の発展の中で忘れてならないのは、第三次産業の大幅な伸長である。この映画では豊富なデータをもとに第三次産業の中のサービス産業について、サービスとは何かを原点に立ち返って改めて考えてみようとするものである。
1-7-14	よみがえる過疎の村	27	一般	過疎地域と呼ばれる多くの町や村で、町づくりの努力が続けられている。特に昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」が公布され、国や県が深刻な過疎化に悩む市町村に対して特に手厚く財政的な援助を行うようになってから、各地の地域開発の気運は高まってきた。
1-7-15	広島ハノーバー ～平和の為のパートナーシップ～ (磁器録音)	16	一般	1983年5月27日、西ドイツのハノーバー市において、広島市とハノーバー市の姉妹都市協定の調印がおこなわれた。この映画は、この調印式の模様と、世界平和と人類への貢献をめざす両市の相互協力の在り方を克明にあらわしている。
1-7-16	ものしり博士の 国勢調査ゼミナール	27	一般	国勢調査は、わが国に住んでいるすべての人を対象とする国の最も基本的な統計調査で、国や、地方公共団体の行政施策に必要な基礎資料を得るために行われる。この映画は、国勢調査の内容と重要性、さらに統計調査にあたって個人の秘密が守られていること等を映像を通して国民に知らせることによって、国勢調査に対する国民の十分な理解と協力を得ることを目的とするものである。
1-7-17	さわやかな風のように ～ある統計調査員の記録～	29	一般	国勢調査は、わが国に住んでいるすべての人を対象とする国の最も基本的な統計調査です。統計調査にはこのほか家計調査、労働力調査、小売物価統計調査などたくさんあり、すべての国民生活に大きく役立っています。どの統計調査もこれを支えているのは、地味な統計調査員の努力なのです。この映画は、正確な統計を得るための調査の最前線で活躍する統計調査員の活動を紹介しています。
1-7-18	世界の婦人たちは… ～平等・発展・平和をめざして～	27	一般 女性	「国連婦人年の10年」の最終年にあたる1985年7月、アフリカのケニアの首都ナイロビで、世界会議が開催され、西暦2000年へ向けての女性の地位向上のための将来戦略への、実りある討議がなされた。この映画は、日本・フランス・アメリカなどの実態や、改革への努力を紹介しながら、熱気あふれる会議の様子を克明に描きだしている。

【文化映画（政治・経済）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-7-19	内閣制度創始百周年記念式典	21	一般	明治18年に近代的な行政機構としての内閣制度が発足して、昭和60年12月22日で100周年となり、中曽根内閣は72代目の内閣である。この映画は、この100周年を記念して、内閣総理大臣官邸において行われた記念式典の様子を記録したものである。
1-7-20	日本の内閣 ～その百年の歩み～	55	高校生 一般	日本の内閣制度は、今から100年前の明治18年12月22日に成立し、日本が近代国家として発展する大きな礎となった。この映画は、初代伊藤博文内閣以下の歴代内閣と現在までの日本の歩みを政治を中心に、新聞・写真・絵・記録映画を駆使して追っていく。
1-7-21	ダム・その役割	29	小・高学年以上 一般	現在、水の需要は、農業用水、工業用水、増大する都市人口の生活用水と急増している。そのため、季節的に変動の激しい雨量を貯め需要に応じて安定的に供給する必要がある。この映画は、ダムが、国土保全や発電だけでなく、私たちの生活を、そして生命を直接支えていることを訴えている。
1-7-22	航路の安全を守る	31	小・高学年以上 一般	海洋国家である日本の沿岸地域にはさまざまな船舶が航行している。これらの船舶が安全に航行するために、灯台をはじめ航路標識はなくてはならない重要な役割を果たしている。この映画は、灯台や各種航路安全のための施設、機器などについて解説するとともに、海難救助や捜索活動などをあわせて紹介しながら、航路の安全について認識を深めることを目的とした作品である。
1-7-23	変わりゆく地場産業 ～伝統技術とハイテク～	30	高校生 一般	最近、伝統的な手づくりによる木工、金属加工、磨く技術、あるいは織物、陶磁器、醸造など日本の各地に蓄積されてきたいろいろな伝統技術の分野にハイテクが導入されつつある。この映画は、伝統的な技術を伝えてきた地場産業が、今のようにハイテクを取りこみながら変身しようとしているのか、その姿を紹介している。
1-7-24	国際交流 ～私たちの場合～	31	中学生以上 一般	今、日本は、第三の開国を迎えているといわれるほど、国際交流、文化交流の活性化が求められている。この映画は、国や団体で行っている国際交流や文化交流の草の根レベルの市民同士の交流を、美しい北海道の自然を背景に紹介している。
1-7-25	原子力発電 仕組みと安全性 ～エネルギー安定確保のために～	28	高校生 一般	1988年現在、わが国では35基の原子力発電機が稼働している。そして、その出力は、総発電量の3分の1を占めている。さらに、10年後には計53基の稼働が予想されている。しかし、一方では、その必要性、安全性について、今なお多くの論議を呼んでいる。この映画は、科学ジャーナリストである舘取章男氏の幅広い取材を通して、原子力発電に対する理解を得ることを目的としている。
1-7-26	流通と情報	20	高校生 一般	今日の流通は情報化、国際化の時代といわれている。コンピュータをはじめ、高度に発達した通信網の利用により、流通は大きな変貌をとげている。ここでは、POSシステム、EOS、物流の情報化、そしてこれからの流通など、興味ある流通の現状とシステム化の実際をわかりやすく描いて流通への理解を深めるものである。  (文部省特選・教育映画祭優秀作品賞)
1-7-27	イギリス議会の歴史	22	高校生 一般	世界史の上で、議会制民主主義の一つの典型となったイギリス上・下院の成立過程と現在の姿を、マグナ・カルタから責任内閣制の成立、選挙制度改革による婦人参政権の確立までの長い歴史をふりかえりながら描く。  (文部省選定)
1-7-28	自立発展という名の木を植えよう ～国際協力の現場から～	27	中学生以上	世界の80%の国々が開発途上国と呼ばれ、世界人口の75%の人々が貧しさや病に苦しんでいる。青年海外協力隊員は、地球規模の人的貢献活動を繰り広げ、人々の心に「自立・発展」を援助する活動を行っている。バングラデシュの小児病院で看護師として、また、ケニアで日本でいえば中学・高校を併せた学校に理数科の教師として活動している隊員の活動と、駒ヶ根訓練所での研修の様子などを紹介。  (文部省選定)
1-7-29	アジアの呼び声に答えて	40	中学生以上 一般	ネパール、バングラデシュをはじめ、アジアの国々にはハンセン病をはじめ、多くの病気で苦しんでいる人々が大量にいる。これらの問題や苦悩を共に負いながら、それぞれの国の人々の自立と、自主的な医療向上をめざして活躍する「日本キリスト教海外医療協力会」のワーカーたちの働きを紹介する。また、同じアジアに住む私たちがこれらの国の人々と「共に生きる」との意味を、そして真の国際協力のあり方を訴える。  (文部省選定)
1-7-30	国際連合のはたらき	40	中学生以上	私たち人類が抱える問題は、国際的な紛争、環境問題、難民問題など数多くある。その一つ一つを解決する上で、国際連合の存在なくては考えることはできない。この映画は、国際連合の組織と活動を紹介する。

【文化映画（政治・経済）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-7-31	私たちの北方領土 ～新たなる一歩へ～	27	中学生以上	ロシアが千島列島に現れる一世紀前に、松前藩が東蝦夷地を調査し、国後、択捉島などの地図を作製し幕府に自藩領として届けたことから歴史を追い、千島と樺太の国境問題や交換条約、樺太をめぐるその後の日露関係など、アニメと実写映像により紹介する。
1-7-32	気仙沼の海に生きる	20	小学生	宮城県気仙沼漁港を訪ね、夜間に行われるさんま棒受け網漁船の活気あふれる漁のようすをはじめ、かきの養殖漁業・さけの栽培漁業、さらに資源保護のための調査活動など、水産業に取り組むさまざまな人々の仕事を紹介する。
1-7-33	新田開発と農業技術	20	中学生	近世初期の新田開発は、農業生産量の拡大の上に大きな意味を持っている。新田開発の跡をたどりながら、それを支えた土木や農業技術について具体的に考察する。  (文部省選定)

【文化映画（交通）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-8-1	くろがねの馬 蒸気機関車 ～美と力のメカニズム～	30	小・高学年以上 一般	汽笛を鳴らし、煙を吐き、野を山を走る蒸気機関車は子どもの日の甘い記憶をさそい出し、郷愁をそそるが、いまや新しい動力の前に姿を消した。この映画ではなつかしいSLのたどった歴史と、最も生きものに似る機械というその構造をさぐる。
1-8-2	くろがねの馬 蒸気機関車 ～栄光の旅路～	25	小・高学年以上 一般	雪の峠を越えるすさまじい自然との力闘、美しい日本の四季を走るさまざまな汽車、お召し列車をひく晴れ姿、各地のお別れ列車をはじめ最終SL列車の記録など、その時々表情を詩情ゆたかな映像でつつて行く。
1-8-3	はばたく日本の翼	25	小・高学年以上 一般	「神風からジェットまで」日本の航空機工業の発展の様子をその技術を中心に描き出していく。「翼を持つことは、人類の夢だった。科学技術の進歩は、それを可能にした。」画面は、F・A-200、P・S・L.など、信頼性の高い日本の航空機とその技術を紹介していきます。
1-8-4	これからの空港 ～航空機時代に応じて～	27	中学生以上 一般	この映画は、近年とみに需要の多くなった航空輸送から問題を見つけたし、これからの空港のあり方を各地のいろいろな空港を紹介しながら問題点を掘り起していきます。国内では、千歳空港、東京国際空港、大阪国際空港、秋田空港。国外では、アムステルダム空港、スキポール空港、オルリー空港、ル・ブルジュ空港、シャルル・ドゴール空港などを紹介していきます。
1-8-5	日本の港 ～物流を支える～	27	中学生以上 一般	四方海に囲まれたわが国では、昔から港は物資の輸送のために重要な役割を果たしてきました。ことに近年の私たちの生活は外国との貿易なしでは考えられず、海運業の発達とともに港の重要性は益々大きくなっています。この映画は、物流を支えるという視点からわが国の港湾の活躍ぶりを具体的に紹介するとともに、あわせてこれからの港づくりについても考えるものです。
1-8-6	練習帆船日本丸	43	小・高学年以上 一般	帆船は人類がつくりえた最も美しいものといわれてきた。自然の風や潮流を利用して走る帆船の華麗な姿は、私たちが壮大な海のロマンへと誘う。この映画は、練習帆船日本丸が、アメリカ合衆国200年を祝う大帆走会に参加した航海の様子を描いたものである。  <篠田正浩監督作品>
1-8-7	OSAKA WORLD SAIL' 83 白鳥たちよ永遠なれ	25	小・高学年以上 一般	1983年10月、大阪帆船まつりに参加するため世界中から海の白鳥たちが大阪にやってきた。海を越え、長い航海を経て大阪へたどりついた8カ国10隻の帆船が、一時代前そのままの優雅な姿で港に帆を休め錨をおろした。
1-8-8	長い航跡 ～人と海と船～	32	中学生以上 一般	いかだ、丸木舟、帆船から大型タンカーにまで発展してきた世界の6千年にわたる船の歴史を描いた記録映画。
1-8-9	イカロスの夢 ～ライト兄弟からジャンボまで～	34	中学生以上 一般	ギリシャ神話の昔から、人間は空を飛ぶことを夢みながらなかなか成功するに至らなかった。産業革命によって科学技術が急激な進歩を遂げた後、その基盤に立って、ライト兄弟が自力で飛行機を作りあげた。この映画は、過去70年にわたって飛行機の進歩に取り組んできた人間の努力の跡を、貴重な歴史的フィルムを取り入れ、世界各国の博物館を丹念に取材している。
1-8-10	私たちが支える私たちの鉄道	27	一般	我が国は、新たな民営分割時代を迎えて、全国各地でさまざまな経営努力と地域住民の協力によって鉄道を地域の足としてよみがえらせ定着させようとしている。この映画は、鉄道が地域の足として定着するために、全国各地での試み（第三セクター方式など）を紹介し、地域住民の協力が必要であるということを訴える。

【文化映画（交通）】

1-8-11	自動車の世紀	28	中学生以上 一般	<p>「自動車の世紀」と呼ばれるこの100年の間に自動車はどのように人間とかかわってきたかを、ドイツ、イギリス、アメリカなどに取材して、現存する当時の自動車を駆動した貴重なフィルムや、スチール写真を混えてわかりやすく解説する。</p> <p>(文部省選定)</p>
1-8-12	小型船舶の操縦	20	高校生 一般	<p>海洋の多目的利用の時代を迎え、小型船舶（20トン以下の小型船、ジェットスキー、ボードセーリング等）の利用度が高まる反面、安全性の確保が重要な課題となってきた。この映画は、小型船舶の操縦を学ぶ人々への実技の補助教材として製作されたものである。</p> <p>(文部省特選)</p>
1-8-13	北前船と江戸時代の交通	20	中学生以上	<p>一航海で千両も稼いだと言われる北前船は、別名千石船とも呼ばれ、米俵にして約2,500俵も積載することができた。この作品は、江戸時代の交通網の整備・発展の様子を描き、それが各地に産業を振興させたことを、北前船の活躍を中心に描く。</p>

【文化映画（生活・合理化）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-9-7	産業を支える力 素形材	27	高校生 一般	めざましい発展を遂げている日本の産業の大きな原動力となっている素形材産業。我々の日常生活に欠くことのできない家庭用器具、事務用器具、農業機械や、自動車などにいたるまで金属の部品はいろいろな方法によって形づくられています。この形をつくるのに欠くことが出来ないのが素形材産業です。この映画では現在の素形材産業の様子やその開発の様子、製品、製造方法などを紹介していきます。
1-9-12	私たちの住民参加	29	小・高学年以上 一般	多様で困難な問題を含んだ今日の社会では、住民参加による政治の必要性が叫ばれている。しかしその方法は明確でなく手探り状態である。この映画はある平凡な主婦の実際の行動学習を通じて、参加とは何かどうあるべきかを考え地についての市民としての目覚めへの一助にした作品である。
1-9-13	広島のすいどう	20	小・高学年以上 一般	「水は貴重なものです。大切に…」をキャッチ・フレーズとして広島市民の台所を預かる水がいかにかして出来るかについて、牛田及び緑井浄水場の仕組みを説明している。原水を沈澱、ろ過、殺菌の装置をはじめ水質試験のもよう、加えて漏水防止工事、高陽浄水場の新設などの展望にもふれている。広島市水道局が企画し真映社に発注して製作したローカル作品である。
1-9-14	消費者を守る社会のしくみ	27	小・高学年以上 一般	この映画は「消費者を守る社会のしくみ」の必要性やあらましを具体例をあげてわかりやすく解説する。見る人が消費者問題の発生とその対応について理解することにより、消費者の利益を保護するためのこのしくみが一層発展し、国民の消費生活の安定と向上を願って製作したものである。
1-9-15	わが国の野菜供給のしくみ	29	小・高学年以上 一般	わが国の野菜供給の現状とこれを支えている国や県・全国の生産者の団体、市場関係者の協力によるこのしくみをわかりやすく紹介する。そして時によってはおこる天候などの影響による生産の変動に対する対応もふくめて、このネットワークを正しく知ることにより生活設計の一部として役立たせることを願うものです。
1-9-16	これからの漁業 つくり 育て とる～	29	中学生以上 一般	国民のたんばく質供給源の一つであるわが国の漁業は、国際環境の変化・科学技術の進歩・国民の所得向上による食生活の変化などにより大きな影響をうけています。この映画は、この視点からわが国で成功したホタテ貝の養殖と「サケ・マスふ化放流事業」を紹介し、養殖は出荷のときまで囲いの中で人工飼育を行うのに対し、人工ふ化放流は自然の海でとれる漁獲資源をふやすのが特徴です。
1-9-17	たばこ	30	一般	一本のたばこが生まれるのに、たねがまかれ、約3年もの年月が必要である。春・種をまいて、秋・その葉を収穫し乾燥させる。それを原料として、外国産の葉たばこ3分の1を混ぜ合わせ、2年間、樽づめて寝かせる。この映画は、そうしたたばこの種植から、製品までを追って見せてくれる。製品にする複雑な工程は、合理化された近代工場、一貫した流れ作業で行われる。
1-9-18	よりよく生きるために ～生涯教育～	27	一般	近年、所得水準が向上したことや労働時間が短くなったこと、あるいはなが生きする様になったことなどにより、人々に時間的経済的ゆとりができ、文化的要求が増大してきました。この映画は国民にとって今後ますます必要になる生涯教育について、その意義・現状・国の施策などを具体例により紹介し、もって今後一層の推進をはかることを目的とするものです。
1-9-19	住みよい都市づくり	27	一般	わが国の経済は昭和30年代から急速な成長をつづけ、重工業が飛躍的に発展してきた。働く人々が都市に集まり、都市の人口は急速に膨張してきた。この映画では住みよい都市づくりについて、種々な工夫を紹介する。まず東京の下水道、過密都市の大坂、東北の中心都市仙台、臨海工業地帯の発展とともに人口が集中した和歌山などを例にとりその都市づくりの工夫を紹介する。
1-9-20	豊かな消費生活とゴミ	28	一般	昭和30年代後半あたりからのいわゆる高度経済成長のもとで、私たちの生活が豊かになると共にゴミの量が着しく増えてきた。この映画は、日本各地のゴミ焼却場、処理場の様子や、そのしくみを紹介し、改めて人々がゴミの様子に目を向け考えさせてくれるものです。札幌市郊外の厚別清掃工場、三重県の松阪市、茨城県の日立市、兵庫県の西脇市、東京郊外町田市藤の台団地、各地のゴミ処理の様子の紹介です。
1-9-21	びいる・麦酒・ビール	34	一般	今から約5,000年ほど前、エジプト時代にすでにビールの製造がなされていた。それ以来の長い歴史とともに、人間の生活の中に深く根ざしたのみものとして、ビールは人々に親しまれて来た。この映画は、ドイツ、フランス、イタリア、イギリスでの製造と飲まれている様子を、楽しく紹介していくビール讃歌の映画です。

【文化映画（生活・合理化）】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
1-9-22	がんに克つ ～その解明と予防～	27	高校生 一般	近年、がんについての研究はめざましく進み、がんの本態解明に一步ずつ近づきつつある。この映画は、現在解明されつつある発がん機構・がん細胞の特徴等をわかりやすく解説し、日常の生活環境から発がん要因をとり除き、がん発生をへらすとともに、早期発見ががん治療にいかんにかんがいを知らせ、もってがんによる死亡を減少させることを目的としている。
1-9-23	フランス料理の伝統	30	一般	人間のあくことなき美味追求によって完成されたフランス料理。その料理を支えてきたものは何か。豊かなブドウと洗練された料理によせるフランス人の愛着と誇りをさぐる。
1-9-24	チーズの風土	30	一般	ヨーロッパでは、チーズのことを「白い肉」ともいう。日本のミソのように、チーズはヨーロッパ人の生活と切り離せないものとなっている。このチーズの食生活とのかかわりあいや、トルコの遊牧民のチーズ発祥の歴史などを探る。
1-9-26	肉食と台所	30	一般	「肉食の文明」ということばもあるようにヨーロッパ人の文化、生活は肉食をぬきにしては語りえないであろう。肉食を通して、ヨーロッパの食生活の伝統をながめる。
1-9-27	菓子とくらし	30	一般	パリのトロワニャじいさんのアメ細工、そして、ウィーンの菓子店デメル華麗な菓子。食生活のなかのオアシスともいえる菓子を通して、人間が築きあげてきた文明の豊かさと、さまざまな夢を追う。
1-9-28	香料の島	30	一般	料理には欠かすことのできないスパイス。スパイスと料理の関係を歴史的にみながら、かつてスパイスをもたなかったヨーロッパと豊富なスパイスにめぐまれたアジアを比較しながら、スパイス文明の歴史をたどる。
1-9-34	川と街 ～みんな考える都市河川～	28	中学生以上 一般	都市の河川は、都市生活者にとって大切な憩いの場となっており、貴重なオープンスペースである。しかし、河川はほんらんと市民に甚大な損害を与え、いわゆる都市型洪水をおこすこともある。この映画は、いま問題となっている都市型洪水の原因を考え、具体例によりその対策を紹介するとともに、あわせて都市河川が市民の憩いの場として見直されている各地の状況をも紹介していく。
1-9-35	二千年の味 ～日本の食文化～	24	中学生以上 一般	日本は恵まれた自然環境に見あう独自の食文化をはぐくんできた。米食を基盤に多彩な味のニュアンスに富んだ日本の食文化のルーツと現状を文化的に見ながら、「日本型食生活」の良さを感じとってもらうとともに、その未来を考える。
1-9-36	和菓子	26	中学生以上 一般	日本の和菓子には、味だけでなく美しく見せることに実に神経がゆきとどき、四季折々の情感がもたらせ、季節の香りを楽しませてくれるものが多い。民族独自の感覚が生みだした和菓子、その歴史をたどりながら、限りない愛着をこめてひとつひとつの和菓子に生命をふきこんできた日本人の心をたずねようとする。なつかしくもまた楽しい異色の日本文化史。
1-9-37	にっぽん洋食物語	30	中学生以上 一般	わが国の洋食の生い立ちから、明治維新以降の本格的な西洋料理の登場などをわかりやすく、軽快に描く。 ＜主な内容とみどころ＞ ◎西洋料理の渡来 ◎開国と本格的西洋料理 ◎牛鍋の出現 ◎北海道の開拓と酪農 ◎初の料理学校の開設 ◎洋食屋の登場 ◎現代日本の食生活
1-9-38	医療先端技術 ～ハイテクが生む大いなる福音～	32	一般	近年、先端技術の研究開発はめざましく、経済・行政など各方面で積極的に導入されている。医療の面でも先端技術が導入され、すばらしい効果をあげ、患者にとっては大きな福音となっている。この映画は、先端技術を取り入れた医療技術で、すでに実用に供され、患者にとって大きな福音となっているものをいくつか取りあげて国民に知らせるとともに、医療先端技術に対し認識を深めることを目的としている。
1-9-39	豊かな暮らしの落とし穴 ～自立する消費者～	27	一般	国民の消費生活は、経済社会環境の変化や消費者の意識・価値観の変化により大きく変わりつつある。その中で、消費者問題も多様化・複雑化してきている。この映画は、最近の消費者問題の中から、特に重要なものを取りあげて、消費者が留意すべき事柄や心構えを知らせ、もって、消費者がその被害から自分を守るための一助として役立てることを目的としている。
1-9-40	日本人ここに在り ～南北アメリカ大陸大縦断～ (ワイド版)	CW. 75	一般	南北アメリカ大陸に展開する日本人の開拓精神。北はアラスカから南はアルゼンチンまで、各地に深く根をおろしてめざましい活躍をしている日系人社会の実態をとらえ、三代にわたるアメリカ大陸の中の日系人の姿を描いた長編記録映画。
1-9-41	川の生物と環境	21	中学生以上 一般	川の水はきれいか汚れているか。その程度を川の生物は教えてくれる。川の生物分布と水質との関係を調べ、川の汚れ具合と指標生物について明らかにする。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)

【文化映画（生活・合理化）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-9-42	自然のつりあいと保護	20	中学生以上 一般	生物と、それを取り巻く自然の間にはつりあいが保たれており、開発や利用がそれを無視した場合、どのような影響が現れるか、自然保護の意味と重要性を豊富な事例で描く。  (文部省選定)
1-9-44	あそぶ ～狐狗狸（こっくり）さんの事～	20	小・高学年以上 一般	小・中学生の間でひそかに流行を繰り返している“こっくりさん”。現代の子どもたちは、このこっくりさんのお告げをどう受けとめているか、また、こっくりさんの正体とは何かなどについて興味深く解明している。  (文部省選定)
1-9-45	お年寄りを狙う悪徳商法	26	一般	お年寄りの経済的不安や健康的不安に巧みに付け込む悪徳商法。その手口や被害についてとらえるとともに、被害防止のための方法について事例をもとに具体的に説明している。  (文部省選定)
1-9-46	カード時代の落とし穴	24	一般	近年クレジットカードの普及は目覚しく、便利な機能、さまざまな特典…しかしその反面、便利さのかけひきも落とし穴があることも忘れてはならない。この作品は、人間の心理的盲点を浮き彫りにさせながら、カード社会に生きる私たちがそのしくみと問題点を通して健全な金銭感覚を身につけることの必要性を訴える。  (文部省選定)
1-9-47	和鋼風土記	30	高校生 一般	最後のたたら師といわれる人々の原料採取から道具づくり築炉から操業にいたる鉄づくりの技術を中心に、その知識が、どのようにして風土の中に生まれ育ってきたかを描く。  (文部省選定・教育映画祭特別賞)
1-9-48	日本の鋸	30	高校生 一般	古風な仕事場で、玉鋼を原料として鍛冶が鋸をつくる過程を背景にして、日本の鋸の歴史を探り、現代の冶金技術でも再現がむずかしいといわれるほど優れた、たたら製鉄の和鋼の技術を再認識する。  (文部省選定・日本産業映画コンクール奨励賞)
1-9-49	木と家	25	高校生 一般	日本の家は木と柱と梁で支えられた、世界でもめずらしい独特の工法である。この映画は、日本の代表的な民家をとりあげ、現代の一般住宅と対比しながら、木という素材の美しさを生かした工法で作られる家が、どんな伝統のうえにあるか、その特徴、様式と発展をみていく。  (文部省選定・日本産業映画コンクール入賞)
1-9-50	食べる ～食品と栄養素～	20	小・高学年	学校給食に使われている材料をとりあげ、それぞれの食品に含まれる栄養素について科学的にとらえ、さらに、炭水化物、脂肪、蛋白質、無機質、ビタミンの5つの栄養素のはたらきについて説明している。  (文部省特選)
1-9-51	契約と消費者	20	小・中学年以上 一般	契約とは何か、店頭販売・訪問販売等各種販売方法と売買契約上の問題点など、消費社会における約束ごとについて、品物の購入をめぐる友人との間に生じたトラブルとその解決というドラマを通し解説している。  (文部省選定)
1-9-52	日本型食生活 ～風土がはぐくんだ食文化～	30	高校生 一般	“飽食の時代”の中での生活習慣病の増加が、欧米型の肉食への傾斜に対し警鐘を鳴らし、いま日本型食生活の見直しが進められている。では、日本型の食生活とはどういう食生活であり、どのような背景をもって生まれてきたのであろうか。この映画は、日本の食生活の歴史、風土がはぐくんだ食文化、米のもつ役割、栄養素の検討などを加えながら、望ましい食生活の姿を明らかにすることを目的としている。
1-9-53	南部杜氏	34	高校生 一般	岩手県の中央に広がる北上平野、この地方で、古くから受け継がれてきた日本酒造りの習俗を再現したもので、10月に始まる仕込みから、一連の作業工程を経て酒造りを終えるまでの様子を克明にとらえている。  (文部省選定・教育文化祭優秀作品賞)
1-9-54	越後のしな布	34	高校生 一般	シナ布は、かつて北陸地方や東北地方の山間部で広く織られていた繊維で日常生活に欠かすことができないものであった。この映画は、シナ布に関する技術の工程を中心とし、さらに製品の利用例や日常生活とのかかわりを描きながら、シナ布紡織習俗の全体像を把握しようとしている。  (文部省選定)
1-9-55	暮らしの中のダニ	30	中学生以上 一般	近年、暖かくなると方々の団地でダニ騒ぎが起きている。ダニは、きわめて小さく人間の目では見分けにくい。地上に数万種以上いるといわれているが、本当の姿はほとんど知られていない。この映画は、今までだれも知らなかった興味深いダニの生態を描くとともに、予防や駆除のいくつかの方法を紹介していく。  (文部省選定・科学技術映画祭長官賞)
1-9-56	快適な住まい方	21	小・高学年以上 一般	ゴミに含まれる細菌やダニ、蛍光灯の汚れによる照度の違い、部屋や机の整理・整とんなど住居の問題点を具体的にとらえ、健康で快適な生活をするための住居のあり方について説明している。  (文部省選定)

【文化映画（生活・合理化）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-9-57	私たちと食事	20	中学生 一般	食事に含まれる五大栄養素の働き、栄養素を含む食品群、栄養のバランスと献立などについて具体的にとらえ説明している。  (文部省選定)
1-9-58	有明海の干潟漁	33	高校生 一般	有明海の泥状干潟には、有名なムツゴロウをはじめとして特有な魚貝類が豊富に生息している。その沿岸に住む漁民の独特な漁撈習俗は、漁法・漁具とも江戸時代末期の絵図に描かれたものと変わらない。この映画は、魚貝の生態に合わせた素朴ながらも巧みな伝統漁法を紹介し、自然と人間のつき合いの基本的なあり方を教えてくれている。  (文部省特選・教育映画祭最優秀賞)
1-9-59	水と生活（くらし）	15	高校生 一般	川の源流から中流へと流れる水の美しさ、集中豪雨もたらす川の氾濫、そして農業や産業、街や家庭で利用される水など、水のさまざまな姿をとらえている。  (文部省選定)
1-9-60	現代生活とメンタルヘルス	31	一般	現代は、だれもがさまざまなストレスを受けながら生活している。労働省の健康状況調査によると、実に二人に一人が仕事や職場に強い不安、悩み、ストレスを感じていると指摘している。こうした今日の状況を踏まえ、どうしたら心の健康を守ることができるかを、事例にもとづき、わかりやすく、興味深く描いている。  (文部省選定)
1-9-61	うまい話はこの世にない	28	一般	無料です、必ずもうかる、絶対に治る、あなただけが選ばれた…等々そんな「ウマイ話」は要注意。そんなうまい話がこの世にあるわけではない。悪質商法の被害を防ぐには、知らない人から電話による誘いや訪問を受けた時、先ずどこの誰で、どんな目的なのかをよく確かめ、必要がなければキツパリ断わる勇気を持つことである。この映画は、悪質商法の手口と消費者の心のすきを描いている。
1-9-62	生活を豊かにするデザイン	20	中学生以上	これからの社会は、心の豊かさ創造性あふれる生活を求めるようになっている。個性と創造性を伸ばす上で、デザインの果たす役割は大きい。最近身近な生活の中に、さまざまなデザインが登場し、人々のデザインに対する関心も高まっている。この映画は、生活の場で果たすデザインの役割及びデザインする方法を見ていく。(文部省特選・教育映画祭最優秀作品賞)
1-9-63	ゴミ減量作戦	30	一般	地球環境保全・資源リサイクルを含むゴミ処理問題は、私たち一人ひとりに与えられた大きな課題である。この映画はそうした観点から問題点を総合的にとらえ、ゴミの減量の方法を実際例をまじえ具体的に描く。
1-9-64	地球を救う25の方法	28	一般	もし、あなたが鍋一杯の油を捨てると、浄化するのにふろおけ330杯分の水が要る…。あなたのちょっとした行動が地球の資源をムダ使いし、大切な環境を壊すことになる。環境問題の背景の一つに先進国を中心とした高度の消費社会があることは間違いない。この映画は、環境問題と私たちの日常生活との接点を十分ふまえた上で、地球にやさしいライフスタイルの具体案を提案している。  (文部省選定)
1-9-65	奇妙な出来事 アトピー	46	一般	この作品は、今の子どもたちの体の変化の中でもめだつて多い、アトピー性皮膚炎について、その症状、原因、治療、予防といった状況や、その背景について追求していくドキュメンタリー映画である。医療の面から、保育の面から、妊産婦への食事指導の面からと実践事例を紹介し、アレルギーの背景となっている食品添加物や農薬といった化学物質にドップリとつかった現在の環境問題にも焦点をあてている。
1-9-66	リサイクル社会をめざして ～『ゴミ』再資源化へのみち～	30	一般	平成元年度に日本全国で発生したゴミの量は約5千万トン。東京ドームの約135杯分に相当する膨大な量である。限りある資源とかけがえのない地球環境を次の世代に引継ぎ、豊かな社会を維持しながら発展させていくために、“もの”を“ゴミ”にしない努力が私たちに求められています。リサイクルして活用していくことの重要性を訴える。  (文部省選定)
1-9-67	水はいのち ～水資源を大切に～	28	一般	自然が恵んでくれる水には、限度がある。工夫して知恵をはたらかせ水を大切に有効に使わなくてはならない。水の惑星「地球」の未来に対して、水は大きな影響を及ぼしている。今こそ私たちは水の大切さを知らなければならない。アニメーションで水の歴史をわかりやすく解説するとともに、水と調和のとれた津和野町や、江戸時代から現在までの水道の歴史などについて紹介。
1-9-68	地球環境を守るために ～環境科学の最先端～	30	中学生以上	フロンガスによるオゾン層の破壊、二酸化炭素などの増加による温暖化、工場や自動車などの排気ガスが引き起こす酸性雨、開発による熱帯林の減少や進行する砂漠化など深刻な問題が数多くある。問題解決のために、日本の行政、学界、産業界などが取り組んでいる新しい技術やシステムの開発を紹介する。

【文化映画（生活・合理化）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-9-69	地球の秘密 SECRETS OF THE EARTH (ビデオ有り：1-9-76)	37	小・中学年以上	1991（平成3）年12月27日、12歳という若さでこの世を去った坪田愛華ちゃん原作の環境マンガ「地球の秘密」をアニメーション化。留美ちゃんは、図書館で「地球の秘密」という本を見つけ、友達の英一さんと一緒に読み始めます。すると、本の中からアースくんが飛び出してきました。ふたりはアースくんの魔法により地球の秘密を探る旅に出ます。  (文部省選定)
1-9-70	自然とのふれあい ～親子で楽しむ環境学習～	21	一般	この作品は、信州にある高遠少年自然の家を中心とした自然環境と東京近辺の都市型の自然を対比し、都市の自然環境にも目を向けて、悪化する環境の改善や自然を進んで利用することの大切さについて訴える。  (文部省選定)
1-9-71	オイシサをつくる ～発酵の魅力～	33	一般	食品には、バクテリアなどが他の生物を食べている最中に発生するオイシサや栄養を利用して作られる発酵食品があり、地球上の様々な風土に応じて多くのものが存在する。麴をもとにした日本のみそ、しょう油、日本酒。発酵に長期間の熟成が加わり個性的な味を作り出すヨーロッパのチーズなど、世界各地の発酵食品を紹介し、その魅力を探る。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-9-72	地球と環境 (ビデオ有り：1-9-19)	20	中学生以上	熱帯雨林の破壊、地球の温暖化、海洋汚染などの地球環境汚染は、私たちの日常生活と結びついて発生するものが多くある。現代生活をもう一度見つめ直し、地球環境を守るために一人一人がどのような行動をとる必要があるのかを問い直す。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-9-73	おぼんざい歳時記 ～庶民の味覚と四季～	27	一般	京都では古くから一般家庭の日常のお総菜を「おぼんざい」と呼んできた。一年の行事にあわせて食べもののしきたりがあり、無病息災を願う食べものに気を使っていたが、今日では人々の生活様式も変わり伝統的食文化は消えつつある。京都のおぼんざいの中に息づく庶民の深い知恵を探る。  (文部省選定)
1-9-74	漁場環境の保全 (ビデオ有り：1-9-101)	21	高校生	近年、大型タンカーの重油流出事故などの多発による海洋汚染は、周囲を海に囲まれた我が国の漁業や海の生態系にとって重大な被害や影響を与えています。この作品では、日本の海洋資源の利用、漁場の造成、栽培漁業、海洋環境の悪化などを描いて、海の資源の生産と同時に漁場環境の保全の重要性について解説する。  (文部省選定)

【文化映画（団体グループ活動）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-10-1	私たちの婦人会館	30	一般 女性	日常生活の中で、女性たちのさまざまな悩みや課題にぶつかります。そうした女性の問題を解決するのを助ける上で、婦人会館は大きな役割を果たしています。各種の教養講座・指導者研修・相談事業等の実施、女性の交流の場の提供等を行い、女性の学習活動の拠点となっています。この映画は、各地の国・公・私立婦人会館における活動を紹介し、女性の学習活動の有り方について考える素材を提供します。
1-10-8	共に生きる ～ボランティアの喜び～	28	一般	ボランティア活動とは、人々が住みよい社会をつくらうという心を持ち、それを実践することです。この映画は、具体例により、ボランティアに参加した動機・活動内容・問題点などを紹介し、人々がボランティア活動について認識を深め、もってボランティア活動推進の一助となることを願うものです。
1-10-10	子ども会の中の青春	29	子ども会指導者	地域とのかかわりを大事にしている高校生がいる。地域の少年団体のよき相談相手として活躍するジュニア・リーダーたちである。その活動は学校では体験できないことであり彼ら自身を高める上で役に立つことが多い。だが受験期を前にして、彼らは悩みながらも学業との両立をはかりながら頑張っている。この映画は子ども会に青春をかける若者たちを通して、ジュニア・リーダーの真の役割を描いている。
1-10-14	わたくしたちのPTA広報	30	PTA	PTA広報がはたす役割は大きいのだが、実際はどうだろう。この映画は今までPTA活動にさほど熱心でなかった一人の母親の広報活動にからんだ偶発的な事件から、問題が地域の運動にまで発展していく過程を描いて、価値あるPTA広報とはどのようなものであるかを考えてもらう。
1-10-19	明日の親のための学級	20	PTA 一般	今から親になる人。結婚したばかりの人。この映画は、ある都市のそうした親たちの学習会を具体例としてその学習内容や実践内容をつぶさに記録し紹介したものである。子育てと教育とは密接な関係をもってお互いに関連している。今から親になる人々にとって迷いのない子育て教育ができる様に作られた映画である。
1-10-20	わが街やがて故郷 ～子ども会が出来るまで～	31	子ども会指導者	子どもたちには、その年齢にふさわしい子ども社会の生活と遊びの体験が必要だといわれている。しかし、遊びを忘れ進学の嵐の中でただ学校と家庭と塾の間を往復するだけの子どもも多い。これを時代の推移でやむを得ないこととあきらめてしまってもよいのだろうか。今こそ私たちは、子ども社会のあり方を、反省をこめてみつめなおす必要がある。この映画は、子ども会作り発展していく様子を描いていく。
1-10-21	猿の子踊りと仲間たち	49	子ども会指導者	指宿市の無形文化財に指定されている猿の子踊りは、約200年の歴史をもっています。これは小学校1年から6年の子どもたちが一緒になって伝承している郷土芸能なのです。この映画は、一人の転校生が仲間に入ろうとして入れずじめられる。しかし、やがて友情が生まれ、郷土芸能大会へ向けて一緒に特訓に励む。ところが大会を目前にして仲間入りを許さなかった子どもが親の転勤で福岡に転校して行く。  (教育映画祭優秀賞)
1-10-22	集会を楽しく ～レクリエーションの活用～	30	子ども会指導者 一般	どのような集会でも、うちとけあった雰囲気づくりができないと、なかなか本音をだした話し合いはできません。人の集まりを楽しくし、仲間づくりを深めるために、大きな役割を果たしているのがレクリエーション活動です。この映画は、笑顔いっぱいさまざまな集会をとおして、レクリエーションの効用について知っていただき、その基礎的な理論と、レクを取りあげていくコツを解説していく。
1-10-23	この目の輝きを ～子ども会・その冒険と安全～	30	子ども会指導者	この映画は事故災害にあうのを恐れるあまり、子ども会で行う追跡ハイキングについて消極的であったある母親が、夢中で遊びにうちこむ我が子の姿、その目の輝きにふれ、もっと積極的に冒険への挑戦をうながすが、その子の成長にとって大切なことであること、それが実は事故を未然に防ぐ道でもあることに気づくまでを描いたものです。
1-10-24	キャンプ	31	子ども会指導者	この映画は、ある子ども会が夏にはじめて実施するキャンプの様子を、ドキュメンタリータッチでとらえ、生き生きとした子どもたちの姿をうきほりにします。またキャンプの実施に当たっては、事前の周到で綿密な準備が必要であること、指導者の安全への目くばりや配慮が大切であることなど、キャンプ実施上の基本的な問題を提示していきます。
1-10-25	日本の婦人は今…	28	一般	「国連婦人の10年」の最終年昭和60年に国連で世界会議が開催されます。この準備のため、東京で昭和59年3月『「国連婦人の10年世界会議」エスカップ地域政府間準備会議』が開催されました。この映画は、この会議を機会に、わが国の女性問題について認識をふかめることを目的に作られた映画です。

【文化映画（団体グループ活動）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-10-26	子ども会の班活動 ～ひとりひとりを育てる～	29	子ども会指導者	子ども会運営の第一歩は、まず組織づくりであり、その組織を支えているのが小人数で構成された班であり、班ごとの活動です。班活動の中で、子どもたちは、仲間同士で話しあい、物事をとり決め、協力していくことの大切さを学ぶ。この映画は、班活動を行っているある子ども会の姿を通して、班活動のあり方を考え、どのようにすれば集団の中でひとりひとりが個性・能力をのばしていけるかを考えていくものである。
1-10-27	愛のある町 ～ボランティアの心～	35	一般	住みよい社会であるためには、行政の努力はもちろん必要であるが、それに加えて、市民が住みよくしようという意思をもつことと、そのためのきめのこまかい行動がなくてはじめて可能となる。ボランティアはその一つである。この映画は、ボランティアたちが自分の技能と時間を無償で提供し、社会を住みよくするために活動している姿を、ドラマ構成により感動深く描いていく。
1-10-28	世代を結ぶふるさとづくり ～ある若者たちの社会参加～	36	一般	郷土の伝承文化を掘り起こし、受け継ぎながら、地域の子どもたちに失われた遊びや自然との触れ合いを取り戻そうと努力している若者の姿を描き、他の世代とも交流し、積極的に社会に参加し、地域に新しい人間関係を築いていく今日的意義を訴える。
1-10-29	みんなのしあわせ ～わたしたちと福祉～	25	小・高学年以上 一般	車いすの人、目や耳の不自由な人、お年寄り…そういう人々にに対して私たちはどんな手を差しのべたいのか、東京・品川に、その立場を体験し、弱者の気持ちを考えようと積極的に努めている子どもたちがいる。実際に車いすに乗って坂道をのぼったりしながら、体の不自由な人たちの苦勞を体験、それを通して地域ぐるみの温かい思いやりの心を育てている姿を描いた作品。
1-10-30	マザー・テレサとその世界	55	高校生 一般	世界最悪の居住地帯といわれる、インド、カルカッタのスラム街に身を投じ、愛と献身の活動、特に「死を待つ人のホーム」で死んでゆく人々の最後をみとる修道会「愛の宣教師たち」の創設者マザー・テレサ。カメラはそのマザーと共に生きるシスター、ブラザーたちに焦点をあて、奇跡ともいえる人間の生き方を記録した。  (キネマ旬報文化映画ベストテン1位)
1-10-31	明日をつくる若者たち ～ジュニアリーダーの役割～	31	小・高学年以上 一般	年少指導者が少年団体活動で果たす役割は極めて大きい。そこでこの映画は子ども会を例に、一つの事業を実現して行く過程の中で、ジュニアリーダーがどうかかわりあって行ったらよいかという問題を具体的に描いた作品。ジュニアリーダーの役割を広く理解してもらうための実践教材。
1-10-32	16ミリフィルムと映写機 ～フィルムを痛めないために～	21	一般	16ミリ映画フィルムは、正しく扱えば数百回上映できるが、わずかに数回の映写で痛められる例も少なくありません。映写技術講習を受けても実際の経験が浅く、基本的な事柄や、確認すべき要点を忘れる人の操作ミスで、フィルムのパーフォレーションを破ったり、画面にキズを入れてしまう。そのような破損の具体例、原因と防止策を、手掛け式、オートロード、SR方式の映写機で解説し、利用者の不注意によるフィルム破損を防ぐ目的の映画。
1-10-33	五島列島の若者組	33	一般	年齢集団（子ども組、若者組、大人組、隠居組等）ごとに地域社会での役割が変わることを年齢階梯制と呼び、かつては日本の各地に伝承されてきた。この慣習を現代まで受け継いでいる長崎県の五島列島にある福江市下崎山の実体を若者組を中心に見ていく。
1-10-34	よみがえる子どもたち ～無人島の生活体験～	42	小・高学年以上 一般	この映画は、夏休みに、「自然教室」の一環として、愛媛県の御五神島で行われた、73人の子どもたち（小・中・高校生）による無人島での生活体験の様子を記録したもので、大自然の中で9日間にわたる自給自足の体験を通し、互に協力することの大切さや、生活技能を身につけることの必要性を感じとっていく姿をとらえている。  (文部省選定)
1-10-35	大自然の中のふれあい ～新入生オリエンテーション～	32	中学生以上 一般	この映画は、栃木県のある中学校が、少年自然の家を利用し2泊3日の新入生オリエンテーションを実施した様子をとらえたもので寝食をともにする集団生活、そして大自然の中で展開される野外生活の中で、学校では得がたい生徒相互、生徒と教師のふれあいがもたれ固く結ばれていく姿を描いている。  (文部省選定)
1-10-36	会議の進め方 ～意思決定のための会議～	30	一般	目まぐるしく変動する現代社会にあって、会議はあらゆる方面にわたって必要不可欠な意思決定の方法になっている。その会議運営の技術やルールを、あるPTAの意思決定のための会議を例にして描き、会議の進め方の基本的な知識や技術を解説する。  (文部省選定)
1-10-37	中学生のボランティア体験 ～地域に根づく福祉教育～	30	中学生以上 一般	東京都久留米市の一中学校の生徒たちがボランティア体験の学習の中で、多くの人々とふれあい、地域に目を向けることの大切さや、奉仕活動のもつ意義について感じとっていく姿をとらえている。  (文部省選定・教育映画祭最優秀作品賞)

【文化映画（団体グループ活動）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
1-10-38	親たちみんなの子どもたち ～あるPTAの記録～	35	PTA 一般	この映画は、親同士の付き合いが希薄になっている今日、PTA活動を通じて知り合ったお母さんたちの仲間が、学級や地域の中で、子育てをみんなで共有することができたあるPTA活動の実例をもとに、PTAの重要性を考える。 (文部省選定)
1-10-39	伸びよ！子どもたち ～地域ぐるみの育成活動～	21	子ども会 一般	青少年の育成活動に一番大切なことは…。それは育成者や指導者が推進役となり、活動を展開していくことも大切ですが、近隣住民の協力を得て、地域ぐるみの活動を造りだしていくことではないでしょうか。では、どうしたらそれが可能になるでしょうか。この映画は、二つの事例から、その方策を探っていこうというものです。 (文部省選定)
1-10-40	地域に生きづく シルバーボランティア	29	小・高学年以上 一般	ボランティアの意味は、今、着実に変化しつつある。「弱者への愛の手を」という運動から、積極的社会参加を通して自己能力の再発見、そして地域の活性化や国際協力…と幅広い意味を持ち始めている。この事実を、老人クラブのふるさと教育への参加活動を通してみつめ、現在、各地で起こりつつあるシルバー・ボランティアの実態を描いていく。 (文部省選定)
1-10-41	青春の集い ～これからの青少年教育施設～	20	中学生以上 一般	スポーツ、音楽、そしてレジャーへと青少年を取り囲む環境の変化の中で、これからの青少年教育施設のあるべき姿を、国立オリンピック記念青少年総合センターの事例を中心に説明している。 (文部省選定)
1-10-42	新しい自分との出会い ～生涯学習～	34	一般	人生にハリをもち、心豊かに生きていくために、今や生涯学習は日本中に広がりにつつある。その実状を、個人や地域の活動を通して描き、生涯学習の意味・活動のねらい・取り組み方などを考える。 (教育映画祭優秀作品賞)
1-10-43	アラスカ 友情&冒険の旅	45	中学生以上 一般	子ども会のジュニアリーダーの若者達がアラスカでの2週間にわたるトレーニングキャンプを実施した様子を記録したもので、アラスカの厳しい自然条件を克服し、苦しさや楽しさの中で自分自信を見つめなおしていく様子をとらえている。 (文部省選定)
1-10-44	きらめきの輪	35	高校生	人のために何かをしてあげたい。それも大きなことでなく、身の回りの中で。そんな思いは誰でも持っている。この映画は、高校生たちが、暮らしの中でちょっとしたボランティア活動をしていることを、ドキュメントで見せてくれる。
1-10-45	富士山に登りたい ～広がる若者たちのネットワーク～	30	高校生 一般	脊髄性進行性筋萎縮症という難病と闘いながら生きる21歳の女性の夢『富士山に登りたい』を実現するために地域社会へネットワークを広げていく若いボランティアたちの姿を感動的に描く。今日、青少年層の社会体験の乏しさ、人間関係の狭さが指摘されている。この映画はそんな社会状況の中で、どの世代の人たちが視聴しても自分にも何かできると実感させる。 (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
1-10-46	翔べアンデスの子よ	19	小・高学年以上 一般	かつて無限の黄金に飾られた栄光のインカ帝国は今のペルー。しかしペルーは今猛烈な貧困に悩まされている。コロンブスのアメリカ大陸到達以来南米を襲う貧困と闘う子ども、そして国際飢餓対策機構(FHI)のボランティアを優しいレンズの視点でとらえ、日本人の南米理解を無言のうちに呼びかける。 (文部省選定)
1-10-47	素敵にボランティア ～受け手の気持ちを考えて～	31	一般	この作品は、人が人としてお互いに認め合い、共に支えあっていく本当の意味でのボランティアのあり方や、ボランティアの心とは何かについて、担い手から受け手の立場に変わった一人の主婦の視点から描く。 (文部省選定)
1-10-48	いきいきライフ大発見 ～シニアボランティア活躍中～	30	一般	高齢化社会を迎えて、定年後の生き方がますます問題になっている。この映画は定年後、ボランティアで在日外国人のための日本語の指導や、子どものためにおもちゃの修理をしている人たちのいきいきと活動している姿を描きながら、豊かで充実した自分の人生を見つけたヒントを提示している。(文部省選定)
1-10-49	会議の進め方 ～学習のための会議～	30	一般	社会教育指導者は、会議運営の技術やルールを習得し、司会者や議長を務めることも必要不可欠な技術になっている。この作品は話し合いによる学習効果を高めるために必要な基本的知識や技術・態度を実践的に解説する。
1-10-50	明日への学び ～生涯学習社会をめざして～ (ビデオ有り：1-10-28)	21	一般	生涯学習という言葉は、広く使われている。しかし、生涯学習には多様な要素があるため、その意味も曖昧な点が多い。この作品は、生涯学習という概念の正しい理解と、人々が生涯自由に学習の機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価されるような事例を具体的に構成し、その健全な育成に役立つ教材としてまとめられている。 (文部省選定)

【家庭教育（乳幼児・少年期）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
2-1-1	思い出の一冊の本 ～子供と読書～	30	小・高学年 一般	この頃の子どもは、あまり本を読まないといわれている。テレビや漫画の溢れる世相の中で、読書に何とか馴染ませたいと願う大人の気持ちには切なるものがある。この映画では、野球好きの少年に野球に関連して読書への糸口をつくり、徐々に興味を広げ、やがて本を読むことの「よさ」がわかって生活態度も変わってきた経過がドラマ形式で示されている。
2-1-2	こころ	32	中学生 一般	私たちは生活の中で、気づかずにとても恐ろしいことを平気で言ったり行ったりしていることがある。この映画では、少年の心のやさしさ、子どもの自殺、老人問題等、さまざまな問題を扱っている。一番、皆で考えたい事は、私たち自身が知らず知らずのうちに蝕まれてしまっている心の形骸化である。きれいな老人ホームにさえ入れればしあわせ、こういう形だけ整えればよいという考え方が、問題をひき起こすのである。
2-1-3	見て、コアラの森よ ～幼児の表現活動を探る～	20	一般	すべての幼児がもっている潜在能力、知的な創造性、何事にもくじけない意志と体力を、より豊かに育てていくためには、どのような環境で、どのような指導をしていくのが望ましいのだろうか。それをある幼稚園活動を例に考えていく。動物園で見学した動物を造形活動を通して表現していく過程で子ども達の生き生きとした活動を中心に描いていく。
2-1-4	少年と花 ～こころをみつめる～	30	中学生 P T A	有名学校から一流大学にわが子を歩ませようとする親は、やみくもに子どもを勉強にかりたてる。そしてその結果、悲劇を生み、子どもの将来をそこねることがあることなどは、全く意に介さない。この映画は花を育てることに熱心な少年と、その家族や友人たちを描きながら、進路の選択には、能力や適正を考慮することが、いかに大切かを訴えようとするものである。
2-1-16	親が子どもに語りかけるとき	31	小・高学年以上 P T A	小・中・高校生の自殺や非行、家庭内暴力など子どもの心の荒廃を示す事件が相つぎ、家庭教育のあり方が改めて問われている。そこで子どものしつけの基本は、子どもを一個人の人格と認め、自覚と責任を身につけさせることだと知った親たちの活動、正しいしつけへの導き方を教える。
2-1-19	ほめてよいことわるいこと	30	小・高学年以 P T A	価値観が多様化し、混乱し、価値の基準が失われたかに見える現代の社会状況の中で、なにをどうほめたらよいかわからないという事がよくある。甘やかし教育や、受験競争のテスト体制の中で、ほめてはならないことをほめている親はいないだろうか。こうした主題のもとに物語は展開する。
2-1-20	みどりぐみ こ・う・じ・げ・ん・ば	21	保育・幼稚園 P T A	作る、遊ぶ、夢中になる、小学校入学前の子どもにとって、これは欠くべからざるものである。時間を超越してこの子ども達は泥まみれになって表現活動、創作活動を行う。この映画はこうした幼児の姿を克明に描きながら、幼児教育のあり方を問う。
2-1-21	善悪のけじめを育てる	31	保育・幼稚園 P T A	子どもが成長し、行動範囲が広がるにつれ間違いや過ちを犯す機会も増えるが、それを正す時をはずすと、次の過ちにエスカレートする。だからこそ善悪のけじめは幼い内にあらゆる機会に教え込んでおくべきである。小さい頃に善悪のけじめを身につけておけば、将来非行に落ちこむ事はまずない。幼い頃のいたずらは許されもしようが、大きくなってからは過ちはすまされない。非行の芽は幼児期が大事である。
2-1-22	幼児のあそび ～今と昔～	20	保育・幼稚園 P T A	大衆消費時代あるいは情報化社会と呼ばれる高度に進んだ今日の文明社会にあって、子どもたちの遊びも著しい変わり方をみせています。ことにテレビを始めとするマスコミの影響は著しく、また核家族化現象ともあいまって、子どもたちの遊びの変質は、その人格形成の上にさまざまな問題を投げかけています。この映画では、伝承遊びと現在の遊びを対比させながら、真の遊びの在り方を考えようとするものです。
2-1-23	私の育てた2人の子 ～きょうだいの導き方～	29	保・幼・小P T A	子育てにおいて、家庭教育において、『きょうだい』は避けて通ることのできない難物ともいえるほどに難しい問題を多く含んでいる。親が一つ導き方を誤ると重大な問題になり後遺症を残すこともある。しかしうまく導けば『きょうだい』は無限のプラスを子どもの性格形成に与えることができる。つまり親がどのように『きょうだい』関係にかかわり合っていくかそこに導き方のむずかしさとコツがある。
2-1-24	子どもはうったえている ～幼児と保育者のかかわり～	21	保育・幼稚園 P T A	楽しい筈の幼稚園でも、よくみるとしらけた子どもの姿があります。保育者はそれに気づかずに通りすごしてしまいます。気づいてもどうしてよいかわからずに放りだしてしまいます。あるいは荒れた姿があります。それも子どものせいにして打つ手を考えずに見すごしてしまいます。このままにしておいては何か大変なことになるのではないかと。そこでこうした子どもの現実や保育者の現実に見えませんでした。

【家庭教育（乳幼児・少年期）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
2-1-25	光った水とろうよ	21	保育・幼稚園 P T A	幼児の知的好奇心を日常生活の中に、マイクとカメラでさぐってみた記録である。幼児の何気ないことばに耳を傾け、その姿をみつめてみると幼児がまわりの身近な事象につぶやきながら、さりながら、全身でたしかめながらぶつかっていることに気づく。この映画は、一人ひとりの保育者によって、さらに問題が掘り下げられ、幼児の姿をよくみつめるよう願って製作されたものである。
2-1-26	非行少年と呼ばないで	29	小・中学校 P T A	ほとんどの中学生は、程度の差こそあれ誰もが非行の芽を持っているといっても過言ではない。多情多感で、しかも、環境の影響を受けやすい年頃の彼等は、大人の世界を覗いたり、真似てみたいという好奇心や欲望にかられたり、親や教師に抵抗してみたいという意識を多分に持っている。この映画は環境の異なった2人の中学生が、なぜ非行の芽を持つようになったかを解説して説明していく物語である。
2-1-27	父と母への赤信号 ～家庭を非行防止のとりでに～	30	小・中学校 P T A	この映画は、「児童福祉司と母親の対話」を軸として、次々と小学生の家出—非行の事実が明るみに出されてくるという、教育映画としては珍しく、一種推理映画的な形式をとって興味深く見られるように工夫して作られている。非行の結果だけを重視せず、その要因と対策に目をむけて、非行化への赤信号を敏感に感じとる柔軟さを親が得られる様に製作されたものである。
2-1-28	小学生の非行	30	小学校 P T A	非行の芽は、中学生や高校生になって突然現れるものではなく、その芽はすでに小学生の時から芽生えているといわれる。「うちの子にかぎって…」と、ほとんどの親は安心して切っているのではないだろうか。この映画は最近とみに増えている小学生の非行に焦点を絞り、父親は、そして母親は、「わが子の非行化」にどのような態度で臨み、対処していったらよいかを考えてみようとするものである。
2-1-29	0歳児とのふれあい	30	乳幼児の保護者	核家族化の進む中で、初めて赤ちゃんを育てる親の不安感はいへんなものである。そこで、そうした親に新生児や乳幼児の心身の成長と発達を正しく把握し、不安を感じず、成長を見つめるよるこびなどを感じてもらおうとするものである。また親と子の相互のかかわりあいの大切さ、親の問いかけ、話しかける態度の大切さといったものを理解し親への信頼感をはぐくむ様、心がけて欲しいものである。
2-1-31	親と子が信じあうとき ～非行防止と親の役割～	31	P T A 一般	わが子が非行に走る前に子どもをどうしつけたらよいか。どんな環境でも誘惑に負けず困難を克服し、正しく社会に適応していける様に子どもをしつけるのは親の責任であると訴えると共に、地域の大人達が少年少女の非行防止に一声かけることの大切さを強調している。一人の普通の子が母親への反発から非行へ走りかける。その行動の中から友人関係、母娘関係を考えてくれるものである。
2-1-32	責任をもつてどういうこと	20	小・中学年	調査研究を分担して学級新聞を編集したのだが、公害調査班の調査がまとまらなかったために、とうとう新聞の発行が出来なくなってしまう。そういう調査班4人の姿を描いて、自由と責任という問題について考えさせたいものである。期日までにまにあわず約束の軽視、自分勝手の行為やなまけ心、安易な考え、いふべき発言をしないことによって、責任が果たせなかったことなど具体的に描かれている。
2-1-33	幼児の手	30	一般	近頃の子どもは、ナイフで鉛筆を削ることができない。竹トンボや竹馬などあの手作りの技術が失われてしまったと嘆く声をよく聞く。手を思うように動かすことができなくなったということは、単に手の技術の上手・へたということではなく、人間の成長・発達という、もっと深い問題と関わりあいがある。この映画は、「手の働き」がいかに子どもの人間形成に重要な意味をもっているかを明らかにする。
2-1-34	ある少年の心	30	小・中学校 P T A	両親の仲は冷たく、家の中は何となく暗い。気軽に話も切り出せない。好きな動物の飼育も、お母さんが嫌いなので許してもらえない。学校から帰っても一人ぼっちだ。友だちと遊んでもおもしろくない。僕は淋しい。たまらなく淋しい。本来温かい和やかであるべき家庭のふんいきが、こんな冷ややかになってしまったのはどうしてだろうか。感受性の強い年頃のこの少年の心のいたではどんなだろうか？
2-1-35	ほめて育てる	29	小学校 P T A	叱られて育つ子と努力を正しく評価されほめられながら育つ子とは、違いが出てくる。昔から「一つ叱って三つほめよ」と言われている様に、ほめ言葉は子どものやる気と自信を育てていく。正しくほめる事は、正しく叱ることと表裏一体で、しつけの基本でもある。小学校低学年生の2組の親子に焦点を当て、ほめる事が子どもの心に与える影響を探っていく。

2-1-36	見なおそうわが子のしつけ ～家庭と学校のけじめ～	29	小・中学校PTA	勉強は学習塾、生活習慣や非行の責任は学校に、という家庭が多い。こうした、家庭における教育機能の喪失が問題にされている中で、学校と家庭の役割とけじめを考え、親が家庭で責任をもってしなければならぬポイントを、学校との対比の中で明らかにします。
2-1-37	育てていませんか… いじめっ子 いじめられっ子	30	保育・幼稚園 PTA	いじめ非行の人格的な基礎が就学前の親子関係で培われているとしたら…。ある幼稚園を舞台に、いじめっ子、いじめられっ子、普通の子、それぞれの親子の姿を描き、成長してから惨忍ないじめっ子、無気力ないじめられっ子に育てないためにはどうしたらよいか、親の在り方を考えます。  (文部省選定)
2-1-38	さくらんぼ坊や・1 幼児の全面発達を求めて	36	保育・幼稚園 PTA	さくらんぼ保育園の子どもたちの行動的な逞しさ、しなやかな心と体の発達に注目し、映画は、近年世界の多くの学者の間で定説となっている、乳幼児の運動機能、運動能力の発達促進が、大脳の発達を促すという大原則から、「子どもたちの全面発達とは」を記録したものです。  (東京都教育映画コンクール金賞)
2-1-39	さくらんぼ坊や・2 模倣と自立	39	保育・幼稚園 PTA	前作の5歳児を培ったものは何であったかをみつめるために、あくまで子どもの行動に焦点をあわせて子どもの目の高さから1歳児を追いました。これは、模倣と失敗を重ねつつ見事に自立していく子どもの力をあますことなく具象化し、この子どもたちに必要な保育、教育とは何かを鋭く問いかけた作品。  (日本PTA全国協議会特選)
2-1-40	さくらんぼ坊や・3 言葉と自我	48	保育・幼稚園 PTA	1歳児のアリサちゃんが、3歳になりそのみずみずしい世界を鮮明にみせます。十分に体を動かす生活と仲間があって、はじめて子どもがどれだけの発達の可能性をみせるかを伝え、人間としての基礎が築かれる大切な3歳の時期に、子どもの豊かな発育をうながすものは何かを考えさせます。  (厚生省児童福祉文化奨励賞)
2-1-41	さくらんぼ坊や・4 4歳と仲間	48	保育・幼稚園 PTA	腕白時代の幕開けといわれる4歳、日を追って成長する子どもたちをとらえました。そのなかで、アリサちゃんが集団の中で豊かな仲間を持つていく様子や、仲間で作る遊びのスケールがぐんぐん大きくなる様子も描かれ、子どもの発達を見極める保育者や父母の確かな目の大切さを考えさせる作品。  (優秀映像教材選賞優秀作品賞)
2-1-42	さくらんぼ坊や・5 5歳と仲間	47	保育・幼稚園 PTA	5歳になった「さくらんぼ坊や」たちは、知的にも、身体的にも、私を驚かせるほどの成長・発達をみせる。とりわけ、子どもたちは、仲間なしには生きられないことを、鮮明に教えてくれる。
2-1-43	みる きく たしかめる ～創りだす自分のせかい～	21	保育・幼稚園 PTA	一人ひとりを大切に保育の大切さを言葉で知らない人はいないだろう。しかし、現実には4歳児の平均像、5歳児の平均像にははみこんで幼児をみたり、行動を促す場合が多い。3歳児の保育を記録し観察することによって幼児の原体験の大切さに気づき、4歳・5歳の保育を、もう一度別の視点から考えてみたい。
2-1-44	子どもをみる目 ～ある保育者の実践記録から～	45	保育・幼稚園 PTA	いつもみんなの遊びを発展させていた年長組の子どもたちが「箱積木遊び」に行きづまってきた事から積極的に遊びに参加できない子どもたちが目立ってくる。こんな中から皆が参加できる新しい遊びを、子どもたちから導きだす若い先生の実践を通して、幼児教育の本質について考えていく。
2-1-45	いじめっ子いじめられっ子	31	小学校PTA	子どもたちのいじめ、いじめられが、エスカレートしている。そして、いじめ現象は子どもらしさの範囲を越えて、大きな社会問題となっている。この映画はいくつかのいじめっ子、いじめられっ子の事例をとおして、その原因の背景を探りながら、いじめっ子、いじめられっ子の問題を克服していくには親と教師が協力しあってどう対処しなければならないかを訴える。
2-1-46	夢かぎりなく ～わが子が豊かな体験を～	31	小学校PTA	一人暮らしのお年寄と風の共同制作をしながら社会を見る目を養って行く少年。二人の心温まる交流を描いて、子どもを人間的に成長させるには興味や関心あるものを通して豊かな社会体験をさせ、それを温かく見守る包容力が必要とされることを強く訴える。
2-1-47	いいこといいこと考えた ～遊びでひろがる数量の世界～	21	保育・幼稚園 PTA	数量の指導について大きく二つの意見がある。幼児期に数量を積極的に教えこむ必要があるというものと、いや、幼児期には全くその必要はないというものだ。遊びの中でのどのくらい数量があらわれているのか、教師はどんななかかわり方で、数量の世界を子どもの中にひろげ深めていくか、現実の保育の記録の中からそのことを考える。
2-1-48	さくらんぼ坊や・6 自治と創造	54	保育・幼稚園 PTA	かつて洋の東西を問わず、幼児期における健康児の発達を継続的に記録した映像はほかにない。この映画は幼児期のしめくりとなる年長組になったアリサちゃんたちの一年間の成長をまとめ、この運作記録映画の完結編といえる作品である。

【家庭教育（乳幼児・少年期）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
2-1-49	ぬくもり	32	中学生以上 一般	数人の仲間にかこまれて、暴力を加えられていた気の弱い一人の少年が、たまたま通りかかった労働者からかけられた励ましの一言。その一言は、少年の胸の中を、まるで電流のようにかけめぐったという。いったい何がそうさせたのか…。この映画は、実際にあったある少年をモチーフに、自省の念とともに、その心の軌跡をたどってみたい。そして、心をゆさぶる感動の言葉…愛の言葉の大切さを考えてみたい。
2-1-50	きびしさ ～いま親に問われているもの～	30	小学校PTA	小・中学生の間で深刻な広がりを見せる「いじめ」が原因の小・中・高校生の殺人や自殺が相次ぎ、社会問題化している。いじめの原因の決定的部分は家庭にあるといわれている。家庭教育の場で、父親や母親はどうあるべきかを、ある中学で起きた「いじめ」の事件をさぐりながら考えていく。
2-1-51	素敵なお母さん	29	小学校PTA	子どものしつけは子どもとの戦争ではない。押しつけは反発を生むが、母親がゆとりと創意工夫、アイデアをもって接すると、それがかえって子どもの心をとらえ相乗効果を発揮する。そうしたケースを通して、しつけを成功させる秘けつをソツと伝授する映画。
2-1-52	いつもどこかに本がある	31	小学校PTA	本がある読書環境づくりの大切さを訴えるため、PTA母親文庫18年のおばあちゃんから孫までの3代にわたる活動と、更に地域の子どもたちに広げられている公民館の子ども文庫、図書館などの事例を紹介する。
2-1-53	いじめをなくす ～親の役割と責任～	27	小学校PTA	小学校5年のクラスでのいじめの典型的な事例を追いながら子どもたちがなぜいじめをするのかという心の問題を描き、学校と家庭の連携を密にし、大人と子どもに真の信頼関係を取り戻すことによって、いじめを早期発見し、根絶していくことを訴える。
2-1-54	しかることを考える	28	小学校PTA	親は、子どもをほめたり、叱ったりしながら善悪のけじめを示し、将来社会に適応できるように仕向けるが、子どもも親の日常行動を観察しながら自己を形成していく。その様子を描きながら少年期における家庭教育のポイントを考える。 (文部省選定)
2-1-55	先生は演出家？ 保育を見なおす	20	保育・幼稚園 教職員	園児たちによる劇あそびの進め方をめぐりクラス担当会議で話し合い、その結果を保育の中に生かしていき、保育をより充実したものへと高めていくことの大切さを、ある幼稚園での保育の様子を背景にとらえている。 (文部省選定)
2-1-56	生命のシグナル ～親子の絆を考える～	30	中学校以上 一般	前途ある若者の自殺が続発し、大きな社会問題となっている。その底にあるものは何か。この映画は、家庭教育に横たわる問題を掘り下げながら、自立心を育て、親子のきずなをしっかりと確立させることの大切さを訴えている。 (文部省選定)
2-1-57	母と子の絆 ～愛のクレパス～	40	小・高学年以上 一般	絵の好きな一人の小学生を取りまく「親の考え」「教諭と児童との交流」をおりませ、母親のかたよった狭い考えの教育と、ふとした言葉が子どもにどんな影響を与えていたか。それらを通して、子どもの学校や家庭での教育のありかたをとらえて描く。
2-1-58	父よ母よ子よ	29	PTA	子育てに対する両親の意見の食い違いは、子どもに大きな悪影響をおよぼすといわれている。この映画は、子どものしつけは「母親まかせ」といった関係から生ずる不足面を反省し、補い、望ましい方向に発展させようとする父親を中心とした一家の姿を描いている。 (文部省選定)
2-1-59	タカちゃんくるまをつくる ～先生のかかわり～	22	保育・幼稚園 教職員	幼児が自由に好きな遊びをし、そこからさまざまな体験を通して学んでいくためには先生はどうすればよいか。勝手に遊ばせればよいという放任主義、もう一方には、どの子にも揃ってためになることを体験させなければ教育とはいえないという考え方がある。この映画は、現実の幼児の活動する姿と先生のかかわりを通して、遊びによる総合的指導とは何かを問う。 (文部省特選)
2-1-60	お母さんの勉強机	30	一般	生涯教育にとって、子どもの人生最初の教師である母親の教育が最も重要という観点から、主婦たちに絶えず学ぶことと生きがいを与えてくれ、知る喜びが得られることを描く。 (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
2-1-61	語りの伝承は今 ～お母さんもお話しを～	33	一般	読み聞かせや昔話を語りつぐ活動や絵本づくりをするお母さんグループがふえてきました。この映画は、ふるさとの方言で語り続けるおはなしおばさんや、語り終わって子育ての話に熱中するお母さんグループの語りべ運動を紹介し、親と子のふれあいを深めるために、心豊かな子を育てるために、心をこめて語りかけていくことがいかに大切であるかを訴えかけている。 (文部省特選・教育映画祭最優秀作品賞)

【家庭教育（乳幼児・少年期）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
2-1-62	本好きな子に育てるために！ ～本いっぱい愛いっぱい～	28	一般	この映画は、視覚に訴えて合理的に思考を処理してゆく映像文化と、一字一句を自らの力で読みくつき、そのイメージをひろげていく活字文化の相違を確かめるとともに本を読む子どもたちをどのように育てたらよいかを考えていく。  (文部省選定)
2-1-63	あなたの子育て まちがっていませんか ～過保護と過干渉～	28	小学校PTA	いま、過保護・過干渉という親の養育態度によって、自発性のない自分本位な子どもが育っているようです。この映画は、過保護・過干渉はということか、何故そうになってしまうのか、親のとるべき態度と親でなければならない教育のあり方を考える。  (文部省選定)
2-1-64	先生ってなあに ～五歳児の保育を考える～	22	保育・幼稚園 PTA	子どもが遊べなくなった、あるいは遊びが画一化されているなど5才児の保育のむずかしさに焦点をあて、園児のそのような行動に対し、教師としての指導のあり方を考えさせている。  (文部省選定)
2-1-65	友だちがいてほくがいる ～登校拒否にうち勝つ～	34	小学校PTA	登校を拒み部屋に閉じこもる5年生の子ども、子どもの行動におろろする母親、そして、学校と一緒にいこうとはげます友達などの様子を描き、登校拒否の子どもに対する親のあり方について考えさせている。  (文部省選定)
2-1-66	もうすぐ一年生 ～新入学にそなえて～	24	保育・幼稚園 PTA	自分のことは自分でする、登下校における安全指導など、小学校への入学を前にした子どもに対する親としての望ましい在り方について、具体的事例をあげ説明している。  (文部省選定)
2-1-67	イギリスのある家庭生活 ～子供のしつけ～	29	一般	イギリスのロンドン郊外に住むグレース家。家族は、父母に9才と8才になる男の子と、3才の未っ子の5人である。この家庭にカメラをすえ、日常の家庭生活の中で、子どもの自立心を育てるために、両親が協力してどのように「しつけ」を行っているかを子どもの生活とともに克明に記録し、「自立心の育成」のための「しつけ」のあり方を考える。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
2-1-68	母へ ～子どもたちの心～	30	小学校PTA	「あのね、今日ね、犬が吠えたんだよ」…とりとめのない、日常の親と子のおしゃべりのような会話をするために『子ども電話相談』のダイヤルをまわすたくさん子どもたち！子どもが求めている愛と、大人が与えている愛とのすれちがいが、この映画は、電話の中に「家庭のだんらん」を求め、どこにでもいる子どもたちの姿の中に、現代の子どものこころの孤独を見つめる。  (文部省選定・優秀映像教材選奨入賞)
2-1-69	ぼくがおじいちゃん おじいちゃんがぼく	32	小・高学年以上	高齢化社会における問題は、高齢者のみの問題ではない。21世紀に向けて、子どももおとしよりも共に豊かに幸せにくらすにはどうすればよいか、あるいは自分が年をとったとき、どのような生き方をしたらよいかを子どもたちに考えさせるアニメーション。小学校5年の健児くんは、おじいちゃんときよくいいあそびをしている。ある日、公園のお地藏さんが、二人の体を入れかえてしまった。二人はお互いの気持ちがわかり始める。
2-1-70	せんせいせんせい ～3歳児の世界～  (ビデオ有り：2-1-3)	22	保育・幼稚園 教職員	保育園・幼稚園は幼児にとって初めての集団生活。その中で幼児は、何をどのように学びとり、身につけていくのだろうか。先生の役割や指導とは何なのだろうか。この映画は、ある幼稚園における3歳児と先生の生活する姿をありのままに記録し、幼児教育の指導のあり方を教えていく。
2-1-71	きえちゃんのイメージ ～保育の記録から～	21	保育・幼稚園 PTA	幼児期は思考力の芽ばえを育む大切な時期。創り出す充実感や知っていく喜びを味わいながら、考えるちからを身につけてほしいと願う一人の教員が、4歳の幼児の生活を通して自分のかかわり方を探っていく姿を記録した作品。  (文部省選定)
2-1-72	まどガラスとさかな	20	小・中学年	あやまちを犯してしまった時は直ぐ謝ることが大切である。この謝るという行為には「誠実」「正直」「素直」という要素がある。ひとりの少年があやまちを犯して近所の家のガラスを割ってしまった。この少年があやまちを認めて謝るまでの心の葛藤を描き、子どもたちにあやまちを謝ることの大切さを深く考えさせていく。
2-1-73	子どもの絵をよみとる	20	幼児の保護者 教職員	子どもの絵は、さまざまな環境の中で体験したこと、感じたことを素直に表現したもので、それを誰かに伝えようとしたメッセージとも言える。子どもの発達段階（1歳～5歳頃）を追いながら、子どもの絵はどういうものか、どう読みとればよいかを考える。  (文部省選定)

【家庭教育（乳幼児・少年期）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
2-1-74	地域で子育て ～キーポイントはお父さん～	20	一般	子どもも大人も、家庭や地域で過ごす生活へと大きく変化し、家庭や地域での教育の重要性が改めて認識される。中でも、子育てへの父親の参加が強く求められている。この映画は、肩書きを忘れて、地域で活動する父親たちの姿を追い、子育てや地域づくりに果たす父親の役割の大きさを訴える。
2-1-75	何がやりたいの？ ～生活のなかで育つ子どもたち～	23	保育・幼稚園 教職員	子どもたちは、遊びを中心とした毎日の生活の中で学んでいる。先生の役割は、子どもに接する中で、今その子にとって何が一番必要なか見極めながら援助していくことである。この作品は、4歳児の幼児の行動を通して、子どもの言葉や表情や行動が何を求めているのか、適切な援助等について、日々保育に携わる先生方の研修用として製作されている。  (文部省選定)
2-1-76	およその考えを生かそう	19	小・高学年	算数では正確な計算をすることも大切ですが、それと同時に、数量や図形について、およその大きさや形をとらえて適切な判断をしていくことも大切です。そうした考えのおもしろさや便利さが楽しく味わえる作品。  (文部省選定)
2-1-77	3人でやるってきめたのに ～友だちと、先生と、環境と～	20	保育・幼稚園 教職員	シュンスケ、マナブ、タイチの4歳児の仲良し3人組は、友達、先生、身近な自然や道具などの園内の様々な環境と関わって遊んでいる。その子どもたちの姿をとおして、友達と先生、さらに環境との関わり合いについて、また、教師の援助や環境の構成のあり方について考える。  (文部省選定)
2-1-78	お母さんのせいきゅう書	20	小・中学年	たけし(小3)は、お駄賃欲しさにお母さんの手伝いをして「お手伝いの請求書」を渡した。それを見たお母さんは、ひと晩考えて、お金と一緒に「たけしへの請求書」を渡した。それは病気の時の看病代などすべて0円と書かれた請求書だった。家族への思いやりの気持ちを深め、家庭生活に積極的にかかわることの大切さを伝える作品。  (文部省選定)
2-1-79	子育ては手をつなぎあって	20	一般 P T A	各地で取り組まれている活動事例を紹介しながら、手をつなぐ子育ての大切さ、さらに子育てを支援するボランティア活動の必要性を訴える。  (文部省選定)
2-1-80	お母さんの仕事	20	小・高学年	自分の母の仕事を「あんな仕事、いやね。」と友だちに言われ、千恵ははじめになった。恥ずかしいから仕事をやめるよう母に頼むが、母の仕事に対する信念を知っていくうちに…。  (教育映像祭優秀作品賞)

【家庭教育（青年期）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
2-2-1	双生児学級	41	中学生 P T A	親から同じ性質を受けた一卵性双生児も成長につれてちがったところがみえてくる。どこが似ていて、どこがちがうか、それを追求することは、遺伝と環境という問題について多くのことを教えてくれる。東大の附属中学に入学したある双生児姉妹の1年生の生活記録を中心に、彼女たちの家庭・夢みている将来、学級生活などを紹介し、全く同一の遺伝素質をもつ彼女たちがどんな成長をするか記録したもの。
2-2-3	十代の非行と親の責任	30	中学・高等学校 P T A	青年非行の背景には、受験中心の家庭環境や家庭教育の混迷がある。それでは、なぜ少年が非行に走るのか。その原因と非行化防止の方策を描き幼児の頃から親が自信と甘やかしてない愛情をもって子どもに接し、人生の指針をはっきり示すことを訴える。
2-2-14	母と子の心がかよるとき	30	中学・高等学校 P T A	ある母親が、社会奉仕活動に参加し人間的に大きく成長していく。やがて子どもたちも母親を見る目が変わり、母と子の間に新鮮な心の触れあいが甦るといふ物語を通じ、親の価値観や生きる姿勢が、子どもとの心のふれ合いと、人格形成に大きな影響をもたらすことを問いかけている。
2-2-15	うどん学校	25	中学・高校生 P T A	戦後の落ちこぼれというより、小学生時代、貧困と差別の中で学校にも行けないで食べるために世の中にほうり出された子どもたちがいる。この人々には、中学校卒業の免状がないため美容師、調理師などの国家試験を受けられない。そういう人たちのために夜間中学校が開校された。
2-2-16	お父さんの勲章	35	高校生 P T A	「暴力集団」「無法集団」となっている暴走族といわれる若者の集団。わたしたちはこのような反社会的な集団を、みんなの力で追放しなければならぬ。この映画は一青年とその家族を通してくりひろげられるドラマであり非行に走りかけた一高校生とその父親との愛情を描き出したものである。この映画により暴走族追放の一助となることを願うものである。
2-2-17	希望	35	中学・高等学校 P T A	硬直した学歴社会の中で「ゆとり教育」が叫ばれているが、その構造が変わらない限り、親たちは、進学競争と家族の狭間で思い悩み、そして、いつしか親子もろとも、その荒波の中に吸いこまれていってしまうというのが現状である。しかしこの映画に出てくる親は、その中で失われてはならない大事な何かを息子たちに…静かに、必死に体で教えようとしているのである。
2-2-18	旅	29	中学校 P T A	子どもの旅をめぐり、ある家庭で実際に起きた出来事の映画化である。1人の少年（中学生）が北海道旅行をする中で、出発前の家庭での出来事や、連絡船で出合った親切な青年との会話、駅のホームで見かけた出稼ぎ家族の親子の別離、少年の父の転勤問題など、いくつかのエピソードをドラマの中に織りまぜながら、少年の体験は旅の中で広がっていく。
2-2-19	小さな愛の詩	32	高校生以上 一般	一枚の布が生まれ、人々の手を経てゆく過程の中で、「物」と私たちの精神生活のかかわりあいを美しく描いたものである。「物を大切にすること」は、物への「いたわり」「やさしさ」を持つことである。消費生活になれ切った私たち。この日常生活の中で見失い忘れて来たものを、もう一度ほりおこしてみたい。そこには、私たち日本人がもう一度考え、次の世代に伝えねばならない大切なものがある。
2-2-20	嫁ぐわが子に	33	一般	若い世代の離婚率は年々増加し、時には子どもまでがその犠牲になっている。原因の多くが結婚と家庭生活に対する根本的な認識の甘さ、安易さである。家庭生活は単に経済生活だけが中心でもなく、また愛さえあれば、といった単純なものでもない。長い年月には病気や災害に会う事もあり、社会情勢の変化によって思わぬ危機に直面することもある。それに対応できる心構えこそ結婚の前提となるものである。
2-2-21	娘の結婚と親のねがい	30	一般	「会って欲しい人がいるの」と娘から言われて狼狽する父親。手塩にかけて育ててきた娘が結婚…まだ手離したくないという心が先に立ってしまう。そうした親の願いを中心に、嫁がせる者の心情を浮き彫りにし、結婚とは何かを考えます。
2-2-22	悲しき暴走	30	高校生 P T A	少年の青春はなぜ歪んでしまったのか。この映画は暴走族に走った少年の過去を探りながら、親の務めとは何かを鋭く問いかけます。そして子どもと共に苦しみ、哀しみ、喜び合い、人の道や生きる目的を求めながら、親と子の絆を確かめ合うことがいかに大切かを考えます。  (文部省選定)
2-2-23	おじは背中ではたてくれた	32	中学生 一般	落ちこぼれというレッテルをはられ、事あるごとに教室のものをこわしていくツッパリ少年が、こわした教室の窓などを黙々と修理する父親の姿に胸をうたれ、自分自身の行為を恥じ反省していく様子をとりあげている。  (文部省選定)

【家庭教育（青年期）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
2-2-24	青春期のわが子へ	31	高校生 一般	<p>大学受験を1年後に控えた息子が「アルバイトをする。それで免許をとりバイクを買う。」と言い出した時の両親の反応、そして家出した息子を探し出す過程で、彼ら受験生たちのあせりと苦悩が浮き彫りにされた時の両親の行動を描いていく。</p> <p>(文部省選定)</p>
2-2-25	頬笑み	34	中学・高校生 一般	<p>つっぱってはいるが、どこかに優しさが残る中学二年の少女と、地域の子どものために、子ども文庫を開いている一人暮らしのおばあちゃんとのかわりあいを描き、子どもたちの非行に対し、何が大切かを訴えている。</p> <p>(文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)</p>
2-2-26	別れ道	34	中学・高校生 一般	<p>勉強に身が入らず、街のバイク屋に出入りし、オートバイの修理に熱中する中学生。そんな息子にいらだちをもつ母親。三年間の単身赴任から帰ってきた父親は、息子が人生の一つの別れ道に来ていることを悟り、親として何ができるだろうかと、探っていく。この映画は、子どもの進路を決めるにあたり、何が大切かをとらえている。</p> <p>(文部省選定)</p>
2-2-27	揺れ動く高校受験生 ～ある中学教師の記録～	30	中学校教職員	<p>中学生は心の動揺しやすい年ごろであり、高校入試で不安と焦燥にかられる。時に親の過大な期待と精神的負担に堪えかねて、自殺という最悪の事態に至ることがある。この映画は、高校入試に失敗した中学生の自殺にスポットをあて、この悲劇がくりかえされぬよう訴えている。</p> <p>(文部省選定)</p>
2-2-28	路 ～MICHİ～	32	中学生以上 一般	<p>盗まれた自分の自転車のかわりに他人の自転車を持ってきて、平気で乗り回す。そんな子どもの罪悪感の欠落に対して、親が自ら生きる路を示し、善悪のケジメの大切さを訴える。今の時代をどう生きるか、問いかけるドラマである。</p> <p>(文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)</p>
2-2-29	悩める思春期 ～親は何も知らない～	30	中学・高等学校 P T A	<p>わかっているようで、実際に親が気づいていないのが思春期の子ども性の悩みである。氾濫する性産業、興味本位の性情報に取り巻かれ、性衝動が芽生え、吹き荒れる思春期の子どもたちの不安や悩みを親はどう受け止めるか、3話の例で考える。</p>
2-2-30	高校進学 親のアドバイス	30	中学校P T A	<p>現代の受験選抜状況の中では偏差値を無視するわけにはいかないが、それに振りまわされて、偏差値の物差しだけで学校を選ぶと自分の人生を誤ることになる。偏差値＝能力ではないし、人間の全てが、一つの数値で表わされるほど、単純ではない。この映画は、中学生が進学の進路を決定するまで、親はその時々何を考えて、行動し、アドバイスしていったらよいか教えてほしいという願いに答える。</p> <p>(文部省選定)</p>
2-2-31	よしっ！僕がやる！ (ビデオ有り：2-2-1)	38	中学生以上 一般	<p>幼い頃、祖父にかわいがられていた少年が、認知症になり始めた祖父の粗相をかたづけ始めた。この姿に両親は驚きながらも感動する。一時はどうしようかと思った母親もすっかり勇気が出てきたという。若い者と高齢者など混成異世代の共に生きる大切さを考えさせる作品である。</p> <p>(文部省選定・文部大臣賞受賞)</p>
2-2-32	夏、そよ風	44	中学生以上 一般	<p>社会を明るくする運動の広報用劇映画。保護観察処分となった16才の少女、間もなく保護観察が解かれる20才の少女、そして小さな工場を経営するかわり非行少女の世話をする保護司のかわりあいを描き、保護司や非行防止の大切さをとらえている。</p> <p>(文部省選定)</p>
2-2-33	少年を暴力団から守るために 狙われた少年 ～暴力団予備軍にならないために～	32	中学生以上 一般	<p>社会は経済的繁栄で豊かな時代になった反面、人間関係や親子の絆の希薄化、有害環境の増大など、社会の狭間で落ちこぼれる少年が多くなり、暴力団が少年を食い物にする事件が増加している。特に最近では、暴力団が組織の維持拡大のため、盛り場などで少年に声をかけ勧誘している実態が見られる。ちょっとしたことで暴力団事務所に入りやすくなった少年が、暴力団から離脱を図ろうとする姿を描く。</p> <p>(文部省選定)</p>

【家庭教育（家庭の人間関係）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
2-3-1	母親の願いと父親の役割	30	中学校PTA	いくら勉強ができて、人間的な心が欠落していたら社会に通用するはずがない—子どもの心のおごりと甘えの精神を発見したとき、父は敢然として立上がる。父と子がぶつかり合うなかで、今日的課題である母親の願いと父親の役割を考えていく。
2-3-2	熟年の季節 ～あなたの老後を～	27	一般 高齢者	老後の生きがいとはなにか、なにが生きることの喜びか、どんな生活に充実感を感じるのかという生きがいのある老後を自分のものにするために、これから高齢期を迎える中年層を対象にして、国民全般の老人問題に対する認識を高揚することを意図したものである。
2-3-3	親はわかってくれない	31	中学校PTA	良い学校に入れば幸福になれる。そのためには好きなことも我慢して勉強しなさい。そういう親の価値観が少年の心をゆがめ、非行化の原因になっているとしたら—高校生の心情を通して、中学・高校生の子どもに親はどのように接したらよいか鋭く問いかけます。
2-3-14	断絶	31	高校生以上 一般	父と子、年輩者と若者の対立が、今日程大きな問題となったことはない。互いの批判、反目が不信や断絶さえ生んでいる。この作品はある職場での年輩者と若者の意識や、価値観の違いを追及して、若者に対する年輩者のあり方を具体的に示唆している。
2-3-15	家庭とは何か	31	高校生以上 一般	激しく移り変わる社会の中で、今、家族の存在意義が問われている。この映画は人間形成の場、安らぎの場としての家庭の役割を、今後ますます充実させていくことが大切であることを訴える。これにより家庭とは何であるのか、機械文明核家族時代の今日、改めて家庭の存在意義を考えてみるができる。
2-3-16	叱らない時代 叱れない親	30	小学校PTA	「ほめることが教育よく、叱ることは悪い」という戦後からの風潮は叱ることをいやがる人間「叱れない親」をつくりつつある。そこで正しく叱ることの教育的意義の重要性を生かすためには、「叱れない親」からの脱皮が必要である。そのためにはどうすればよいかについて考えさせる作品である。
2-3-17	高齢者就業の道	27	一般 高齢者	高齢者国家とは、総人口に占める65歳以上の人の比率が7%以上の国をいう。わが国は昭和45年に7.1%に達して以来その比率は急上昇している。この映画ではそうした働く高齢者の人々の様子を紹介するとともに、高齢者就業への道と、その社会の仕組みを明らかにする。大型バスの運転手、製鉄所の安全操業への相談役、銀行の相談業務、計器室勤務に就く高齢労働者の姿を紹介する。
2-3-18	お父さんあなたの出番です	31	高等学校PTA	父親は職場で働き、家庭教育は母親中心であるというのが日本の平均的な家庭の姿である。その母親中心の家庭教育の問題点を探った作品である。映画では、友達のおトバで軽い事故を起こした高校生とその父親の言動をドラマ形式で描き、かつて父親が果たしてきた社会人となるための教育の必要性と、父親が果たさなければならぬ役割を訴える。
2-3-19	父そして家庭 ～三つのエピソード～	32	小・中・高等学校 PTA	子どもに対する父親の愛情は本来強いにも関わらず、さまざまなネックがあって子どもにストレートで伝わりにくいのが一般である。原因はいろいろある。しかし、それによつてどのような影響が起こるか。小学生、中学生、高校生という三つの家庭の場合を例に、父親の在り方を考える。和やかな家庭は子どもにとって社会的、文化的考えや態度を育む大切な場。その雰囲気づくりのペースに親の姿勢が大きな力になる。
2-3-20	手のひらの詩	32	一般	今日、私たちは実に豊富な「もの」に囲まれ生活している。しかし、その資源は有限である。限りある資源の有効利用を考えることは、これからの消費者の責務といわねばならない。それには「もの」の生命を最大に活かし、それがもつ価値を最高に発揮させるよう使用することである。この映画は、登場する家族のささやかな発意と行動の中に、ものを大切にすることの意義を理解し、実践を訴えるものである。
2-3-21	やさしさよこんにちは	30	一般	今の世の中は、やさしさの時代だと言われている。やさしい心を求める人でいっぱい。これは、今の社会全体にやさしさが必要だからではないだろうか。とすれば、現代は正にやさしさ渴望の時代であるといえよう。この映画は、女子高校生が個人タクシーのおかあさんドライバーの車に添乗させてもらうことにより、次から次と、展開するエピソードを通じて人間の生活には、やさしさが必要であることを訴える。
2-3-22	叱ってよい時わるい時	30	小・中学校PTA	子どもが自殺したくなった動機は、「親に叱られた時」というのが非常に多い。このように親が叱ることが、子どもの心に重大な影響を与えているにもかかわらず、小言をいう母、怒る父が家庭生活に大きな比重を置いている。そこで、この映画は、子どもの健やかな人間育成に効果をもたらす真に正しい「叱り方」とは、どのような叱り方であるかを、臨場感あふれる実話を通して表現し、訴えるものである。

【家庭教育（家庭の人間関係）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
2-3-23	親ばなれ子ばなれ	31	P T A 一般	良い学校を出て良い所に就職させて…と親は子どもの進路に親なりの青写真を描いているが、子どもの方も自らの考えで巣立とうとしている。大学を卒業する息子が陶芸家に魅せられ、その道に進むと決めた。一流会社に就職を願っていた父親との葛藤がはじまる。親の反対を押し切って陶芸の道に進んだ息子の様子から、子ばなれをしていない事に気づき、息子を許す気持ちになるのであった。
2-3-24	親になるって	30	一般	赤ちゃんは両親の影響を最も大きく受け、3歳くらいまでの間に、肉体的精神的に人間としての基礎を身につけていく。それ故、親の責任は重大と言えるのだが…。この映画は色々な事例を通して、親になるということはどういうことなのかを考えていく。  (文部省選定)
2-3-25	老年期をどう生きるか ～心の健康～	33	一般 高齢者	老年期は、すべての人々のゆくてにある。若壮年期と異なると、身体的な老化のために病気にかかりやすくなり、また社会的な役割も少なくなると、経済的にも依存することが多くなる時期である。この老年期に大切なことが、実は「心の健康・生きがい」なのである。この映画は、4人の高齢者のそれぞれの生活を通して、この重要な問題を映像によって、生き生きと描写している。
2-3-27	人生航路80年 ～高齢者の働く喜びと社会参加～	30	一般 高齢者	長くなった人生をどう生きるか。それは今や社会的にも大きな課題になっている。行政はそのための施策を色々講じているが、シルバー人材センターの仲間たちは全国各地でユニークな活動を展開している。その姿を通して人生80年時代に自らの生き甲斐をつかみとっていくことの大切さを示唆する。
2-3-28	60・70 花ならつぼみ	29	一般 高齢者	ネクラ気味だった72歳のお年寄りがこれほど若々しく変身した秘密は何だったのか。ひよんなことから始まった高校生のツッパリグループとの奇妙な交流をユーモラスに描きながら、人間はいくつになっても、生きがいと心の若さを失わない気力が大切なのだと示す。
2-3-29	愛されるお年寄りに	29	一般 高齢者	年齢を重ねるにしたがって人間は肉体も精神も心理的にも老化していく。そうした自分に気付かず、愚痴、ひがみなどで家族や周囲の人たちと問題を起こしているお年寄りを軽妙なタッチで描き、老醜の裏返し、人から親しまれ、愛されるお年寄りになるための心構えをドラマと実践例で示す。
2-3-30	バス停の座布団	31	中学生以上 一般	ある寒い朝、小さいバス停に誰かが作って置いた3枚の座布団。その座布団をめぐる繰りひろげられる人の善意や心のふれあいなど、さまざまな人間模様を描きあげている。  (文部省選定)
2-3-31	私たちの井戸端会議	31	一般	核家族化が進み、子育てや生活の知恵などが伝わりにくくなっている現在、子育てに不安を感じている親が増大している。そういう不安や悩みを解消し、家庭の教育力回復を目指すにはどうしたらよいか。その実践事例を描いたものである。
2-3-32	家族旅行 ～おじいちゃんのよろこび～	31	高校生 一般	1か月ぶりで退院する祖父を元気づける目的で家族旅行を計画。その旅の中で、おじいちゃんの生きていくことの目的は何か、その考えに対し家族はどうかわりあうのがよいかを次第につかみとっていく様子を描いている。  (文部省選定)
2-3-33	おわりなき旅路 ～高齢者・結婚・家族～	31	一般	互に配偶者に死別した高齢者と初老の婦人が見合いをした。そこから発生する双方の家族の心の問題を描き、高齢者には、いつまでも幸せと夢をもって明るく生きる意欲を、家族には老父母の幸せを願う思いやりと理解をもって欲しいことを訴える。
2-3-34	夫と妻の豊かな老後のために	30	一般	息子の結婚を契機に経済独立宣言をする親と、親の経済援助を当てにしていた子どもたちとの葛藤を通じて、いずれは別々の人生を歩んでいかなくてはならない二つの世代が、互に幸せをつかみとるにはどうすべきかを描く。  (文部省選定)
2-3-35	わが家はただいま362歳	34	一般	老年人口は年々増え、その8割の方が同居し、またそれを希望しているという。しかし同居はしても「各自の生活スタイルは守りたい」という気持ちを持って、現に2世代、3世代同居住宅の建設がすすめられている。こうした状況のもとで、家族はどう考え、どう話を進め、それをどう具体化していったらよいか考える。  (文部省選定・教育文化祭優秀作品賞)
2-3-36	家族の時代 ～ぼけ老人をかかえて～	36	一般	ぼけてしまったおとしよりの世話を、いかなる心といかなる覚悟をもってしなければならないか。やがて来るであろう自分たちの問題として、しっかり受けとめていくためには、どうしたらよいか。この映画は、たおれた祖父に対して、家族がそれぞれの生活を生きたがらうともに生きていく姿を、若い世代に焦点をあわせながら描いていこうとしている。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)

【家庭教育（家庭の人間関係）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
2-3-37	そこに・愛	32	中学生以上 一般	田舎暮らしの祖父と都会育ちの孫とのこころの交情を通して、目に見えるものだけに執着し、モノとカネだけが万能の世相の中にあつて、本当は見えないものにこそ、得ることのできないとても大切なものがあるということを、哀感をこめてしみじみと描いた家族愛の物語。  (文部省選定)
2-3-38	風の色が見えた ～私たちの第二の青春～	32	一般	定年後、日々なすすべもなく妻べったりの生活を送っていたある男が、シルバー人材センターで働く友だちや、ボランティア活動に励む仲間を知り、やがて自らも社会参加の喜びを知るまでの様子を、涙と笑いの楽しいコメディタッチで描いている。  (文部省選定)
2-3-39	明日はわが身 ～老人介護と助け合い～	30	一般	「高齢者問題は老人だけの問題ではない」ことをテーマとして、老いを自分自身の問題として受けとめ、若者も、子どもも、みんなで手を取り合い、老人にいたわりと思いやりをもてる人間関係をつくり上げる必要がある。30年後には、国民4人に一人が高齢者である。若い世代も「明日はわが身」であることの自覚を持つことを訴える。
2-3-40	夫の定年 妻の定年	32	一般	会社人間として働き続けた夫は、定年を迎え、子どもたちが独立していくと、今までの基盤がくずれ、所在なく一日中家にいて妻の行動にも、いちいち口出しするようになる。一方妻は、「夫に定年があるように、妻にも定年がほしい」と、これからの人生を自分のために歩いてみたいと思うようになる。高齢化社会を迎えた今日、夫婦はどういう関係をつくっておかねばならないか考える。  (教育映画祭優秀作品賞)
2-3-41	ふれあい ～ホームステイによる国際交流～	31	一般	世界各国から日本を訪れる人々は、年々増加している。そして、訪れた人たちがホームステイする草の根の国際交流も、盛んになってきている。ホームステイの受け入れは難しいものではない。ふだん着のまま迎えるのが一番のもてなしである。この映画では、日本政府が招へいした東南アジアの青年たちを迎えた五つの家庭を描く。  (文部省選定)
2-3-43	寝たきりゼロをめざして	34	一般	日本では、現在、寝たきり老人が60万人、西暦2000年には100万人を突破すると推計されている。さらに厚生省の調査によれば日本の寝たきり老人の率は、欧米諸国より数倍も多い。その原因はどこにあり、欧米なみに減らせないのかを焦点に、老人福祉の先進国デンマークの事例や、わが国で寝たきり老人を減少させるために努力している医療機関や福祉関係、地域団体の活動事例を描いている。  (文部省選定・教育映画祭最優秀賞)
2-3-44	女たちの選択 ～男女共生時代～	30	一般	5歳の子どもを持つ共働き夫婦。育児や食事を分担している二人は、さっそうと現代社会を泳ぐ典型的なニューサーティ一の夫婦である。ある日、夫に地方支社へ転勤の話が出てから、二人には思ってもみなかったさまざまな問題や意識のずれが表面化してくる。このドラマの進行を通して、男女共生時代の今、人々が考えなければならない自分の生き方や社会との関わりを迫る。  (文部省選定)
2-3-45	弟たちの誕生 ～ある家族の立会い出産～	31	一般	東京に住むある夫婦は、出産のあり方について、できるだけ自然に、そして分娩には二人の子どもたちにも立ち会わせたいと願っていた。この映画では、出産のやり方ではなく、出産にともなう家族のいたわりや励まし、喜びなどの心の動きが描かれている。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
2-3-46	わが心の朝	53	一般	男女雇用機会均等法が施行された今でも、女性が積極的に社会に参加していこうとする時、さまざまな障害が待ち受けている。この映画は、女性が社会に出て働き始めるときに出会うさまざまな障害を描き、それを乗り越えていく姿をドラマ化したもの。  (文部省選定・文部大臣賞・教育映画祭優秀作品賞)
2-3-47	あかとんぼ ～家庭のない家族～	32	一般	ごく普通のどこにでもあるような家庭に、ある事件が降って湧いた。一見平和そうに見えていた家庭ではあるが、家庭の色を失った「家庭のない家族」の様相がはっきりと見えた瞬間であった。このことを契機にして家族の考え方に変化が起こる。この作品は、家族にとって家庭とは何かを真剣に反省することを求め、望ましい家庭づくりを考える。
2-3-48	友ある老後	30	一般	心豊かな老後を生きて行くには友人の存在は欠かせないものである。全国では老後の精神的支えである友人を作るための様々な活動が行われている。その中から6つのケースを紹介し、人間が友を持つことの意味を考え、高齢期に人と交わることの大切さを訴える。(文部省選定・教育映画祭最優秀作品賞)

【家庭教育（家庭の人間関係）】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
2-3-49	セカンドライフをさわやかに	30	一般	<p>会社勤めを終えて日々の暮らしの中に自分の居場所を見い出せない主人公が、様々な葛藤を経験しながらも徐々に生き方を見つけていく姿を明るくユーモラスに描く。宏(61)は退職後、何することもなく、妻の美智子に家事の手伝いを頼まれても「そんなことができるか」と怒る始末。一方、美智子は空いた時間を利用してボランティア活動を行っている。</p> <p>(教育映画祭最優秀作品賞)</p>
2-3-50	いじめ・親として	30	中学・高校生の 保護者	<p>上履きのままで帰宅した娘(中2)の様子の変化から父と母はわが子のいじめに気づく。しかし本人はその事を認めようとしなかった。そこで両親は…。わが子がいじめにあった時、親はどうしたら良いのか、その基本姿勢を示唆する。</p>
2-3-51	いま、女性の生き方が変わる ～男女共同参画社会を目指して～	21	一般	<p>すでに各地で始まっている女性の社会参加や活動事例を紹介しながら、男女共同参画社会の形成について考えていく。</p>

【青少年教育】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
3-1	二十歳の出発 ～その権利と義務～	28	一般	成人をむかえたということは、社会から大人として認められるだけでなく、法律の上からも一人の人格を持った人間として扱われることである。この映画は、権利と義務について、あまり理屈に走らずにコトを通してユーモラスにわかりやすく解説している。さらに日本古来から伝わる成人の儀式や風習などをおりまぜながら、成人式のもつ意義や成人として、しっかりした自覚をもつ事が大切である。
3-12	あなたが楽しく仕事をするために ～職場での執務態度～	25	一般会社	企業内教育シリーズの女子社員編の第1部で ①職場の規則を守り、他人に迷惑をかけない。 ②明るい返事、明るい態度が大切。 ③改善意識をもち物や時間の無駄を省こう。 ④ものぐさは錆と同じ。労働よりもかえって消耗を早める。一方使っている鍵はいつも光っている…。などについて考える。
3-13	あなたの笑顔が会社の笑顔 ～職場での対応～	26	一般会社	企業内教育シリーズの女子社員編の第2部で ①対応の基本 ②電話の対応 ③来客の時の対応のあり方 の3点について、対応の心は相手の立場に立って考えることである、とする職業指導用教材である。
3-14	あなたの服装と身だしなみ ～職場でのエチケット～	25	一般会社	企業内教育シリーズの女子社員編の第3部で ①あなたの服装はあなたの職場にマッチしているかどうか。 ②職場の雰囲気にあった服装とメーキャップ、敬語の使い方、正しい発言による美しい言葉づかい。TPOをわきまえたエチケットを…。 ③ユニホームを着用している時は常に会社を代表している。 について考える。
3-20	小さな駅の物語	30	高校生一般	山あいの景勝の小さな駅(三段峡駅)を中心に展開する物語。ごく日常的な淡々とした生活の中に、今の世に特に求められている思いやりの心や計画的な生活行動の大切さ、勤労の尊さ、そして将来に対する貯蓄、生活計画、福祉の意味などを自然に織りこんで、しかもそれらの一つ一つを見る人ひとの心に力強く印象づけ、これが実践への原動力として役立つことを願った作品。
3-21	親の目・子の目 ～お父さん、ぼく就職する～	30	中学生以上 P T A	長崎県五島列島奈良尾の平田秀樹君は中学校の卒業をひかえ、家庭の事情を考え水産高校への進学をあきらめ父の勤める水産会社に就職することを決意する。3ヶ月の漁船員研修訓練を終えた秀樹君は、たくましい大人への道あるきはじめる。
3-22	学級づくりノート ある旅立ち ～2年B組田村洋子の場合～	35	中学生以上 P T A	いま、全国各地の学校内外で、中学校を中心に暴力、非行事件が続発しています。しかし真の非行をなくするには、生徒の中に自己指導の力を育てることが必要です。この映画は、このような視点から、坂本昇一氏(千葉大学教授)の監修の下に、同教授の提唱する生徒指導の理論と実践をドラマ構成により紹介するものです。
3-23	心のふれあいをもとめて	32	青年一般	我々の生活は人と人のかかわりで成り立っており、孤立ではありえない。そのかわりも偶然に知り合ったのが縁で、堅い交わりに発展し、知らず知らずのうちにお互いの人生に大きな役割をはたしている場合がある。この偶然の機会を大切に、実りある人生を導きだしたいものである。この映画は、人を求める青年の投じた石が、職業も、地域も、年齢もちがう人たちの中で、どのような波紋となって広がっていったかを考えさせる。
3-24	許さないじめ ～いま中学生として～	26	中学生	いじめを身近に見たり、直接、その渦中で苦しんでいる多くの中学生たち。彼らに、いじめを共に考えさせ、いかにすれば、いじめを解決する糸口がつかめるのか、中学2年のクラスでの事例に基づくドラマを通して示唆する映画。
3-25	ほほえみの朝	19	中学生以上一般	一人の中学生が、学校へ道すがらいつも二階から外を見ているおばあさんに気付き、お互いに笑顔から言葉を交わし合えるようになるまでの心の動きを描く。 (文部省特選)
3-26	かよいあう心	30	中学生以上 P T A	子どもであるが故に、彼らだって失敗もすれば悪いこともする。それを目に余ることをするとして見捨ててしまってもよいものなのか。その原因は何か。人が人を信じ、お互いに手をつなぎあって暮らしていくために、今何が必要なのか、ドラマで描いていく。 (文部省選定)
3-27	楽しい造形活動 材料と遊ぶ	20	小・中高学年	身近な材料から自由にテーマを見つけ、並べたり、組み立てたり、切るなど次第にイメージを具体化していく造形活動の楽しさを、ある学習過程を背景にとらえている。 (文部省特選)

【青少年教育】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
3-28	生きものと教室の仲間たち	43	小・中高学年	小学校3年のある学級に起こった飼育係をめぐる一事件を中心にして、子どもたちの成長の姿を描くとともに、「いのち」の大切さを訴えようとしている。 (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
3-29	生きている今を	21	中学生	陸上部に所属する女の子が、練習中怪我をし入院。今までのような運動ができなくなることを知り絶望的になるが、枯れかけた鉢植えの木が新しい芽をだし精一杯生きていることを知り、生命のすばらしさを感じとっていく様子をとらえている。 (文部省選定)
3-30	ビジネス電話入門 ～新入社員のみなさんへ～	18	一般	社会人一年生として、職場ではりきる一人の若者の電話での対応をとりあげ、ビジネス電話の基本からエチケットについて具体的に説明している。 (文部省選定)
3-31	青春に背を向けなくて ～暴走する若者の非行～	35	高校生 一般	オートバイの暴走により命を失った少年と、暴走族に仲間入りし家族を苦しめる少年の二つの事例をとらえ、少年たちが暴走に走る原因や、防止対策のあり方について考えさせている。 (文部省選定)
3-32	班長の命令とみんなのいい分	20	小・高学年	社会科の共同研究にあたって、班長と班員の間でとりきめた約束が守られなかったトラブルをめぐり、その原因をみんなで話し合い解決していく様子をとらえている。 (文部省選定)
3-33	いつもと違う日曜日 ～青年たちのボランティア活動～	32	青年 一般	野鳥保護、障害者の自立の援助、母子家庭の野外活動、中国帰国者への日本語教室、山仕事など、青年を中心とした社会人のボランティア活動に視点をあて、自分の世界を広げるため、自分を取り戻す大切な場として積極的に社会と関わっていく姿を追う。 (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
3-34	リフレイン	23	小・高学年 中学生	中学2年の少女が、友達の誘いによってシンナーで酩酊し、交通事故にあい天上界に行く。天上界では女神に出会い、罰として生き直しを命ぜられる。女神は「自分の罪がわかった時、罰から解放される」と…。少女は、小学5年～中学2年という多感な時期を模索しながら生き直していく。果たして、少女は罰から解放されるだろうか。(アニメーション) (教育映画祭優秀作品賞)
3-35	ぼくだってきれいにしたいんだ (ビデオ有り：3-10)	15	小・中学年以上	この作品は、いじめの児童と、いじめに対して傍観的な児童の態度を問題にし、ひとりの問題をみんなの問題として解決していけるような仲間づくりの必要性を訴える。正夫(小3)は、下着が汚れていることをきっかけに、いじめられるようになる。みさきは、いじめのことを知りながら正夫をかばえば自分がいじめられると思い黙っていた。(アニメーション) (文部省選定)
3-36	勇気ある選択 ～許さないじめ～ (ビデオ有り：3-11)	25	中学生以上	偶然いじめの現場を目撃した生徒の悩みを通していじめをなくすための糸口を考える作品。久田(中2)はクラスメイトの西村がお金をゆすられているのを目撃する。しかし、怖くて何も出来ない。ある日、西村はパンを買いに行かされ、それが先生に見つかった。先生は真相を聞き出そうとするが、報復を恐れた西村は何もしゃべらない。久田はいじめのことを先生に相談しに行くが…。
3-37	いじめゼロをめざして ～家庭と学校の連携～	30	中学生以上 P T A	いじめが起きたとき親はどう対処し、学校は親や子どもたちにどう対応したらよいか。親や教師の責任と役割を考え、いじめを根絶するには家庭と学校の連携が不可欠であることを訴える。英美(中2)は、同じクラスの夕子たちからいじめを受ける。英美の母は英美がいじめ110番に電話していることを知り、学校へ怒鳴り込んだ。 (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
3-38	わたしだけが	15	小・高学年以上	いじめが悪いと知りながら傍観者の立場をとる子供も、結果的にいじめの加担者であることを理解させ、いじめを見逃さず、追求していくことの大切さを訴える。雪江(小6)のクラスに転校してきた秋子は、いわれのないいじめを受ける。雪江も秋子を見ていたが、心の中でなぜ彼女を避けるのか自問自答する。ある日、秋子のことが学級会の議題となり…。 (文部省選定)
3-39	負けるな！千太 ～きよならいじめ虫～	24	小・中学年以上	この作品は、弱いものへの慈しみと命の尊さを基本に、いじめという行為がいかに醜く無益であるかを描く。千太のクラスメートがいじめられるようになる。千太がいじめのことを先生に告げ口したという噂が広まり、千太もいじめられるようになる。千太の心は傷付いてしまうが、過去にいじめを受けた響子との出会いにより徐々に癒されていく。しかし…。(アニメーション)

【青少年教育】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
3-40	ひとりぼっち	21	小・低中学年	いじめに遭っている紀子(9)はいつもひとりぼっち。ある日、紀子は、道で倒れているハルを助け、家まで送っていく。ハルはひとり暮らしで、だれにも心を開こうとせず、世話をしてくれるヘルパーの言葉にも耳を貸さない。そんなハルだが、紀子のいじめのことで知り、心配になる。紀子とハルのふれあいを通して、人に対する思いやりと友情の大切さを訴える。  (文部省選定)
3-41	クラスメイト	20	小・中中学年	自分の考えに沿った行動をとる勇気の大切さを訴える作品。聡(11)は真夫と淳をリーダーとするグループからいじめに遭っていた。ある日、ささいなことから真夫と淳がけんかを始めクラスの勢力争いへと発展していく。中立の立場をとると決まっていた忠と公子だったが、今度はこの二人へのいじめが始まり、忠の方は嫌がらせに耐えきれず、グループに入ってしまう。  (文部省選定)
3-42	きょう、きてよかったね！ ～サトシのこだわりと自分さがし～	21	保母	「ミニ四駆あそび」にこだわる4歳児のサトシが、友だち、先生、自然との出会いを通して新たな世界をつくり始めていくまでを描く。
3-43	自分らしさを求めて ～表現の工夫～  (ビデオ有り：3-21)	21	中学・高校生 教員	美術は、同じ題材でも一人一人がみな違う答えを出すところに、本質とおもしろさがある。この作品では、一人一人の自分らしさとは何か、他の人は自分らしさをどのように見付け出し表現しているのか、思いをどのように表現しているか、作家の例や実際の授業例で分かりやすく解説する。
3-44	心のおくりもの	21	小学生	お使いの帰り道、浩介(小5)は5千円札を拾った。さんざん思案したあげく、浩介は警察署に届けることを決意する…。正しい行いを決意し実行に移した少年のかけ渡す素晴らしい友情、そして奉仕の心、少年を温かく導いた家族の愛を描き出す。

【人権啓発】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
4-1	ひろがれのじぎくの輪	50	一般	差別してはいけないとわかっていながらも、なんとなく違うという心情を捨てきれない。そんな意識をどうすればなくすることができるのか。ここでは、同和地区内外住民の温かい生活交流を、積極的に進めることによって、心理的な差別解消への展望を見出ししていく。
4-2	ゆがんだ鏡 ～偏見の伝承～	31	小・中学年以上 一般	子どもは親の姿を見て育つという。もしも私たちがゆがんだ人間観、社会観を持っていたとしたら、子どもはどのように成長していくだろうか。親の期待する「良い子」像に余りにも忠実に生きようとした少年の悲劇を通じて、親から子へ伝えかねない、偏見と差別の問題を提起する。
4-3	親と子の朝（あした）	43	中学生以上 一般	農村の平凡な父親が、社会の中に生きる自分を見詰めながら、被差別部落に対するあいまいな忌避感や、不自然な優越感の空しさに気付いていく筋道を描き、同和教育が家庭に根ざして推進されていくことが、健全で明るい家庭作りに通ずることを示唆する。
4-4	なかまをもとめて	19	小・中学年以上 一般	バレーボール・チームに入れてもらえなかった少女をめぐる、学級討論を映像化した作品。悩みをもっている子には、思い切った悩みをぶつける勇気と、不当なことを見逃さない子どもを育て、そして学級全員には、ひとりの悩みを本気で自分のものとして受けとめ、ともに歩んでいけるような学級集団づくりをどうするのか。そうした問題を提起したものである。
4-5	さくら草の詩（うた）	54	一般	ママさんバレーのチームメイトの中に、同和地区出身者がいることがわかったとき…。近所づきあいや、うわさ話の中にひそむ差別意識を鋭く描きながら、人間同士が連帯して生きることの素晴らしさ、人間が人間として成長していくことの素晴らしさを、感動的にうたい上げる。
4-7	けやきの空に	53	一般	都市化現象により、新旧住民の対立や相互不信の風潮がひろがっている。そのことは同和問題の解決をばはみ、地域の子どもの成長をゆがめ、住みよい地域づくりの障害となっている。このような状況をふまえ、中学生の生活を中心に描くことによって、部落差別解消が国民の課題であることを示唆するドラマとして構成している。
4-8	赤まんまの歌	30	小・中学年以上 一般	封建社会のしくみを学習し、現在も残っている迷信や因習などを人権尊重の立場から問題提起し、さらに日常生活の中にある矛盾や不合理に目を向け、差別のない世の中を実現させるために、私たち一人ひとりがどう生きたらよいか考えさせる。
4-9	青春の炎	60	一般	対象地域に住む一人の青年の結婚問題、そして後輩の就職問題を通じて今日の重大な社会問題として存在するきびしい部落差別の現実を明らかにし、差別にくじけず人間の尊厳を守り、なお闘いに立ちあがっていく青年や家族の姿を描いており、人間の尊重と人間どうしのあたたかいふれあいが、差別の壁をやぶって問題を解決していく大きな力となることを教えてくれる。
4-10	ゆがんだ視線	30	中学生以上 一般	ちょっとした疑いが偏見になり差別につながる。そうした面の日常生活の反省材料として好適な教材である。主人公の平田君は、母子家庭の中学生で妹と3人暮らし、母は病身で生活保護を受けて家計をささえている。あるとき町内に放火魔が出現し夜警がはじまる。ふとしたことから被疑者となり、友人に救われるが大人たちのゆがんだ視線に傷つけられる結果になる。
4-12	あすへの構図	53	一般	人が人を差別するという事は許されない。しかし今日なお同和地区住民に対する差別は、実態的にも心理的にも根強く残されている。この映画は「同和問題」の解決なしに日本の民主主義はありえないとの確信のもとに、とくに結婚差別をとおしてこの問題を見つめようとするものである。
4-14	陽のあたる町	50	一般	美しい自然を背景に、あるひとりの若い保母と子どもたちの交流、そして誤解から生じた保護者とのトラブル。その経過を追いながら「差別」の微妙な構造に迫り、人間どうしの真の連帯と、心の交流がその壁をうちやぶることを訴えたものである。
4-15	炎を受けつぐ子どもたち	43	高校生 一般	部落差別は被差別部落の人たちの家庭を崩壊し、母胎を犠牲にしてまでも働くことを強いて来た。そんな不当な現実にも怒りをもやし部落解放運動をたたかってきた母和枝。その母の姿にゆり動かされ被差別部落の少女ひろみは「友達が離れていってしまうのではないか」という不安とつらさにうちかって出身を宣言する。被差別部落の親と子の生活感情に立ち入ってすべての人々に差別意識とのたたかいを迫る。
4-16	こんにちはお隣さん	31	一般	隣近所に対しても全く開けっ広げ、何一つ隠しだてのない主婦が団地に引っ越して来た。そこから起こる周囲への波紋を描き、地域社会における閉鎖的孤立的な隣人関係に心のふれ合い、裸のつきあいを取りもどそうという社会教育の一つの大きなテーマを追求した教材。

【人権啓発】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
4-18	差別からの解放へ	20	中学生以上 一般	<p>社会における同和教育のすがたを通して、差別をなくする教育について考える。</p> <p>○解放運動についての学習</p> <p>○自主的、創造的な学習活動</p> <p>○地域ぐるみの同和教育推進</p> <p>○国民的課題としての同和教育</p>
4-19	みんなの同和教育	20	中学生以上 一般	<p>地域ぐるみの同和教育の実際を通じて差別をなくする教育を考える。</p> <p>○土地問題、職業・就職・結婚差別</p> <p>○差別から立ち上がる成人</p> <p>○地域ごとの学習会と同和教育の取り組みの様子</p> <p>○部落の完全解放をめざすみんなの同和教育</p>
4-20	差別	BW. 32	小・高学年以上 一般	<p>身近な日常生活における「差別」「偏見」に視点を置き、私たちの日常生活における物の見方、考え方とのかかわりを明らかにし、部落問題学習の素地づくりを前提とした教材である。</p>
4-21	鶴っ嘴（つるっばし）の青春	42	一般	<p>被差別部落出身の青年の苦悩と変革を通じて、現代社会における部落差別の実態を明らかにしたものである。劇中の人物の足どりを通じて、私たちは自分自身の中に欠けているもの、育ててゆかなければならぬものを自問することとなるであろう。そして、部落解放運動が担ってきた思想が、自分の内部にあって自らを支えていくはずの思想であることを教えてくれる。</p>
4-24	五万日の日のべ	20	高校生 一般	<p>明治4年8月、政府は世にいう「解法令」を出した。これは外国に対する体面とか、財政上の必要から止むを得ず踏みきったもので、国民のすべての人権を保障するために出されたものではなかった。「昨日のお触れは五万日の間、日のべになる」…それから100年余り、差別の歴史は今もお生きているのである。</p>
4-25	若竹よ雪をはじけ	43	一般	<p>企業内における同和教育の重要性について考えさせ、職場の中で起こる差別や偏見を正す力量をつけるためには、どんな研修が必要なのか、そして差別に直面したとき、どんな生き方をすべきなのかを問いかける。</p>
4-26	私たちの中のもう一つの顔	31	中学生以上 一般	<p>私たちの中には常に「もう一つの顔」が潜んでいる。この映画はわが子の勉強の妨げになるものは、すべて憎悪の対象としてしまっているある母親を中心に、日常生活の中に現われる偏見や差別がどのように生まれるかを描いた作品で、そうした偏見に自ら気づき、問い直していく。</p>
4-27	若者たちの朝	54	高校生 一般	<p>スポーツか、進学のための勉強か、一人の平凡な高校生の悩みを中心に、その家族の今までかくされて来たうちなる差別意識、つまり私たちの同和教育に対するホンネとタテマエを描き出し、その問題点を学校教育と社会教育とのかかわりの中に示唆する。</p>
4-28	やまなみ映えて	55	一般	<p>この映画は、差別電話を受けた一企業が、部落差別を容認する対応をとったことから、社員の間関係はむろんのこと、企業の生産性にまで悪影響を及ぼす過程を追っていきます。そしてその問題に直面した人々が、本音と建前にゆれ動きながらも、部落差別の不当性に気づき、差別解消のため主体的に取り組む姿を描くことによって、同和教育の解決が国民一人ひとりの課題であることを訴えるものです。</p>
4-29	ミナコ逃げるな	33	一般	<p>子どもが自分の生き方を確かなものにしていくためには、子ども自身が背負っている厳しい現実の実感をしっかり見詰めるなければならない。それを個人的段階でなく、集団の中で共に考え、確かめ合っていく。部落の少女ミナコが自らを確立していく姿に、それを見ようとしたものである。</p>
4-30	生き方とは	48	一般	<p>ある日、家庭に起こった一つの事件がきっかけとなって、子育てや老親扶養をめぐるお互いの独断や偏見があらわになり、家庭がゆれ動きます。やがて、お互いが心を開き、一人ひとりの人格を認めあい、正しい価値観を培っていくことをとおして温かい家庭が生まれていく姿を描いたものです。こうした家庭づくりが、同和教育解決への大きな基盤づくりになることを示そうとしました。</p>
4-31	人として心広く	50	一般	<p>差別をなくそう…と言いながら、日常生活においては差別を助長するような態度をそれとなくってはいないでしょうか。ここでは部落差別意識をなくしていくためには、どのような生き方や、人間関係が生まれてこなければならないかを、あるひとりのサラリーマンの日常生活の言動をとおして考えようとするものです。</p>
4-32	私たちは今…	50	一般	<p>この映画は、現在社会に部落差別がどのように実在し、その解決に「国民みんなの問題」としてどのように実践活動が推進されているか、また社会連帯意識の上立ち、日常の身近な問題を通して、どのように実践活動がなされ、明るい民主的な社会の建設に務めているかを描いたものです。各種研修会等で広く活用されることを期待します。</p>

## 【人権啓発】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
4-33	結婚	55	一般	愛し合っている二人の前に、部落差別のかげがたちはだかっていた。彼を信じてよいのだろうか。二人のための思う家族や知人。ドラマはさまざまな問題を投げかけながら進む。そして彼は「愛とは相手のすべてを受け入れる事なのだ」という心を深めていく。
4-34	バトンタッチ	60	中学生以上 一般	徳島県のある中学校の生徒集会において、障害児学級のそれまでさまざまな差別を受けてきた一人の生徒による人間の権利—生きる—を切実に訴えた発言がある。この日から中学校は大きく変わっていき、人権にめざめた心を持った生徒が育っていった。生きるとは何かを真剣に考える生徒たちの姿を描いている。
4-35	明子の愛、そして	54	一般	身元調査によって被差別部落出身ということが明らかになったため、愛し合っている若者たちが引き裂かれたり、命を絶った例が数多くある。このドラマは、実際にあった結婚差別事件と、この事件にかかわって最高裁判所が興信所に対し、昭和50年4月に下した違憲判決とを素材としており、身元調査がなぜ行われ、主人公がなぜ訴訟にまで踏みきったかの背景をさぐり、差別をなくすにはどうすればよいかを考えさせる。
4-36	まごころの川	51	一般	部落差別の嵐の中で人間愛を目ざして生き抜く人々の生きざまをドラマを通じて追体験していく。つまり、「部落差別の実態から学ぶ」ことによってステレオタイプ化された部落のマイナスイメージを打破すること、更に「差別をしない、させない、許さない」明るい社会の実現に向けて、いったい自分達はどうか生きていくべきなのかということ、真剣に考えていこうするものである。
4-37	青春のかけ橋	51	一般	この映画の視点となったのは、同和問題について「無関心」「知らんぷり」「かかわりたくない」という市民が多いという構図であり、同和地区住民の仕事が、日雇いなど不安定な仕事が多い社会構造である。北九州市にきびしく存在している心理的差別と実態的差別を「柴田修」「村木松男」の日常生活を通して描き出している。
4-38	星がきれいにみえる町	55	小・中学年以上 一般	子ども同志の間には部落差別などはない。あるのは友情だけだ。それを壊しているのは大人ではないか。少年野球チームを舞台に、わたみ意識や偏見を乗り越え、子どもたちの夢を実現させようと努力する青年の姿を描き、明るい町づくりの大切さを訴える。
4-39	輝ける山脈（やまなみ）	57	一般	若いカップルが、お互いに相手の立場を思いやりながら、幸せを求めて取り組んでいく姿が描かれている。かたくなに差別意識を持つ人々に対して、同和問題を自らのものにして、差別の不合理さを解く、ひたむきな二人の姿がある。
4-40	若い旅だち	43	一般	長野から東京に出て、働き、結婚差別にあい、悩む青年「義文」に、彼の父と伯父は精一杯の愛と勇気を示す。この映画は結婚差別を受けた側にスポットをあて、親子愛、兄弟愛を通じて、解放への強い願いを若い世代に託して生きる対象地域出身者の心のひだに触れることにより、差別のない明るい社会をどう築きあげていくのか、結婚の本来の意味・親のあり方・部落解放に向かって生きることを意味を問いかける。
4-41	かくれた偉者 「人間に光あれ」西光万吉	26	一般	わが国唯一の人権宣言といわれる「全国水平社創立宣言」、この宣言文起草した西光万吉（本名・清原一隆）。奈良県の対象地域に生まれた万吉は、画家の道を志して上京するが、病氣と差別のためその道ははばまれる。その苦悩の中で、郷里の青年たちと語り、佐野学思想にふれて、阪本清一郎らとともに、解放をめざして立ち上がっていく。この映画では、万吉のふだんの姿を夫人の話などとり入れながら万吉の人間像を追う。
4-42	誕生	55	一般	この映画は、明と対象地域出身者である菜美江という一組の夫婦の愛のゆくえを追いながら展開される。周囲の人々の「うわさ」、「世間体」にとらわれた生き方の中で二人の愛は危機に直面するが、やがて彼女は出産する。「誕生」という題名は文字通り新しい生命の誕生である。同時にそれは、差別に屈しない二人の愛の本当の意味での誕生でもあった。
4-43	同和教育映像3部作	66	一般	埼玉県が実施した同和問題県民意識調査の結果を生かし、同和地区の歴史の背景の正しい理解を図ることを目指した教材である。 <第1巻>部落差別のおこり以前を考える（21分） <第2巻>部落差別のおこりを考える（22分） <第3巻>部落差別解消への歩みから考える（23分）
4-44	日本列島と朝鮮半島	31	一般	日本は古代から文化・技術・政治など多方面にわたって朝鮮半島の強い影響を受けてきた。その間、秀吉の侵略、明治以降の植民地化という不幸なでき事はあったが、友好の歴史は長い。その歴史を顧みながら、人権が尊重される住みよい国際社会を築き上げる必要性を訴える。

【人権啓発】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
4-45	ひまわり	55	一般	この映画は、総務庁と全日本同和対策協議会の共同企画による同和問題の啓発用として「結婚」「誕生」に続く第3作であり、職場における問題をとり上げている。企業研修がすすみ、対象地域出身ということを利用して採用をこぼむ事例はほとんどなくなってきたが、企業のあり方や職場の人間関係は、いまだ差別解消の方向にあるとはいえない状況にある。それを基本線としながら、人々の「生きる」ことのなかみについて切り込んでいく。
4-46	道	52	中学生以上 一般	中学生のわが子が「いじめ」にあっていることに気づいた母親は、同和地区の子がやらせていると聞き、予断と偏見が渦巻き、混乱する。しかし子どものいじめの問題をきっかけにして同和問題に目ざめていく。また、子どもも同じような立場にある同和地区の子との仲間意識が生まれ、いじめにまけない強さが作られていく。身の回りの人権侵害が部落差別とけって無関係でなく家庭の中での偏見や差別意識について考えることを訴える。
4-48	あざやかな青春	55	一般	有名大学を出て、大手の会社に就職した卓司は、突然会社を辞めた。人間性をはぎとられてゆく物質中心、経済優先の社会に対する不安。その悩みの中で、卓司は同和問題にぶつかる。愛のために身を引こうとする同和地区出身の竜一との対話の中から「あざやかな青春」像が浮かび上がり、お互いから学ぶ。同和問題解決の鍵は、国民全部が人間らしい人間になることと訴えている。
4-49	とらじの詩	54	一般	この映画は、本名で生きていこうとする在日韓国青年の就職問題をテーマにしたドラマである。映画の中で、在日韓国・朝鮮人が日本の社会の中で、本名を使って生きていくことがどんなに困難なことか、また通名を使うことがどんなに民族の誇りを傷つけているか、そしてなぜ韓国・朝鮮人が日本で生活しなければならなかったのかを考えていく。
4-51	ペロ出しチョンマ	15	小・中学年以上 一般	江戸時代の厳しい身分差別の中で、農民が年貢の取り立てに苦しめられ、いためつけられながらも、その圧制に対してどのようにたたかっていたかを、長松一家を中心とした人間愛を通して感動的に描いている。なお、このアニメには、原作にない中兵衛父子を登場させ、より低い身分とされた人々の苦しみも強く共感できるよう配慮している。
4-52	帰郷物語	55	高校生 一般	父の反対を押し切り、家を捨てアメリカに渡った明子は、アメリカ人の夫とも別れ、医学の勉強もうまくいかず、失意の中にあつた。そこに父の死亡の電報を受け取る。久しぶりに日本に帰郷した明子は、父の愛した対象地域出身の女性に出会い、彼女から『生き、仕事をし、人間としての誇りを高く持つ』ことを教えられていく。
4-53	くらしの中にひそむ偏見	30	一般	この教材は、あるサラリーマンを中心としたごく日常的な一日を描きながら、身の回りに起きるさまざまな事柄を通して、私たち一人ひとりにある差別を見抜き、自らの課題として同和問題に取り組むことをねらっている。ふだんの生活の中、心の中にひそむ差別意識を掘り下げようとする話し合い研修に適している。
4-54	青空へキック！	54	一般	すべての子どもたちが健やかに育ってほしいと誰もが願っている。しかし、その一方で誤った考え（差別意識）が、知らず知らずのうちに子どもに影響を与え、子ども同士を分裂させていることに気づいていないことが多い。このドラマは小学校6年生の子どもたちのそんな姿を通して、子どもが健全に育つためには、学校・家庭・地域の協力がいかに大切か気づき始めた母親を描き、今、PTAにとっての課題は何かについて考える。
4-55	風のおとずれ	53	一般	対象地域の青年と結婚した娘を許してはいない父・吉太郎は、初めてしぶしぶながら娘の家にたずねてくる。そこで出合った人びととのふれあいの中で、自分の考え方のあやまりににじみ気づいていくというドラマである。また青年の弟の生き方を描きながら、人間が社会的・経済的自立をすることが差別解消につながることも訴えている。
4-56	人間をとりもどす ～被差別部落の 歴史に学ぶ～	43	一般	近世の幕藩体制によって政治的につくられた部落差別は、心理学でいう「憎しみの振り分け」という機能であったと実証的に明らかにしようとしている。すなわち武士による支配が農民層の欲求不満を生み、不満がたまと弱立場の人を侮辱したり、あからさまに攻撃的態度をとらせていった。この封建時代の意識が今日の差別の現実と及んでいないか問いかけている。
4-57	昌夫の日記	54	一般	夫の死後、二人の子どもと義兄の家族の励ましによって調理師免許を取得した女性が、希望に燃えて就職した。しかし、その職場では部落差別がまちうけていた。義兄は差別を許さないと立ち上がりかけるが、心は揺れ動く。そのとき、弟の娘からの「おじさん負けないで」の声とともに、弟の日記を手にする。

## 【人権啓発】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
4-58	みんなのもり	16	小・低中学年	小学校低学年の子どもたちの言動をみたとき、気が弱くておとなしい子は気の強い子の言動に左右されがちである。一方、気が強く自分勝手の言動をとりがちなのは自分の非がわからない場合がある。この作品は、森の動物たちが、いばりちらし周囲を困らせる狼に対して、心を合わせ、正しいことをきちんと言う勇氣を持ってぶつかっていくよさに共感させることと、狼が不当な言動をするわけや心情に気づくことを主なねらいにしている。
4-59	故郷の空	52	一般	他人に言えない悩みを持つ二人の女性（対象地域出身の母親と口蓋裂による言語不自由児をもつ母親）が、夫や子への愛と心の葛藤を通して信頼の絆を深めていく。差別と偏見の壁を破って人と人とが結びあって生きることの素晴らしさを示唆する。
4-60	ふれんど	57	高校生 一般	押し寄せる国際化の波、日本の同和問題がオーストラリアからの高校留学生の目にどう映ったか。オーストラリアからのホームステイを引き受けた太田家の人々が、日常生活の中で出合うさまざまなできごと、留学生が体験した部落差別を通して、自分たちの差別意識に気づき、変革していく様子を描く。
4-61	ふるさとへの熱き思い	55	一般	ある県の対象地域にカメラを入れ、同和対策事業特別措置法施行以来20年で地域は何が変わり、何が残されているのか、映像とインタビューで明らかにしている。たしかに環境的な面での改善はかなり進んだ。しかし、心理的な面での差別はどうだろうか。とくに後半に語られる結婚差別の話は、きびしい現実を浮かびあがらせる。
4-62	出合い	55	一般	結婚における聞き合わせ（問い聞き）の問題と対象地域内外の交流の大切さをテーマにしている。次男と同和地区出身の女性との結婚に、長男の結婚に差し障りがあると反対したが、説得されしぶしぶ従った母親。その後やはり長男の結婚話が次々とダメになる。聞き合わせに近所の人たちが答えていると知って、婦人会で提起する。一方、長男と交際していた女性の父親がその交際を禁止するが二人の決意は固い。
4-63	小さな指輪	55	一般	小学校2年のさととと1年のともみは、素敵な結婚式に憧れている。この幼い子どもたちの目とおして、部落差別をはじめ身近なところにある差別を大人たちはどのように対処しているかを訴える。結婚差別、職業への偏見、障害者問題、女性に対する差別意識などが考えさせられる。
4-64	私たちと人権 ～家庭編～	26	一般	何げない家庭での言動が、昔ながらの偏見に基づいていたり、また差別の芽を家族に育てていくことがある。この映画はドラマと解説の二部構成で、ドラマを見て話し合いをし、解説部分で内容をふり返ることができるよう工夫している。
4-65	友子よ、晴れない霧はない	42	中学生以上	中学2年生の義姉は、対象地域出身であり、そのことが陰に陽に友子を苦しめてなかなか心が開けない。そのころ中学校では、足の不自由な女子と転校生がいじめられる事件が起きていた。教師の熱心な取り組みで、いじめられていた者、いじめていた者、そして傍観していた者たちの自覚をうながす学級会が開かれた。友子は、いじめと部落差別は同じ根から生じていることに気づいていく。
4-66	春の嵐	51	一般	あるスーパーマーケットの御意見箱の中に対象地域の人を差別する投書が入れられた。これが店の従業員に与えた波紋を描く。どのような目的でこんなことを、犯人は誰かというサスペンスを盛り込み、さまざまな人間模様と葛藤を描きながら人権問題を考える。
4-67	新ちゃんがいない！ (ビデオ有り：4-6)	36	小・高学年以上	四肢性マヒという障害のため、病院の設備が整った浜なす学園にいた新ちゃんが帰ってきた。ツヨシと同じ5年2組に編入されたが、新ちゃんの行く手にはさまざまな困難が待ちうけていた。でも、新ちゃんは泣かなかった。二学期になって、新ちゃんの書いた読書感想文が文部大臣賞に輝いた。お祝いの会が学校であって、お母さんがお礼のあいさつをした。母の言葉を聞きながら、新ちゃんは初めてポロポロ涙をこぼしていた。  (教育映画祭優秀作品賞)
4-68	星空のハイスクール	54	一般	初江は幼いときから働きづめで学校にも行けず、満足に読み書きができなかった。ある事件後、識字学級に通うことになり、やがて自分の息子の通う定時制高校に入学した。定時制高校に目的もなく通ってくる生徒たちに、初江は自分の二の舞をさせないため、自分の苦しかった思い出を話す。この映画は、文字の大切さ、人間関係の大切さを訴えている。
4-70	私たちと人権 ～職場編～	29	一般	「私たちと人権—家庭編—」に引き続き、職場における人権意識を高めていくことを、ねらいとして制作されたもの。この映画は、ドラマと解説の二部構成で、ドラマを見て話し合いをし、後半の解説部分で内容をふり返ることができるように工夫されている。

【人権啓発】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
4-71	コスモスの道しるべ	54	一般	「心配しないでね…」と置手紙を残して、小学校6年生の鈴子が、生まれてから一度も会ったことのない祖父に、一人で会いに行く。親の反対を押し切って、対象地域の女性と結婚してから12年。拒絶を続ける親子とその家族、それを取り巻く人々の姿を通して、親子の絆さえ断ち切ってしまう差別とは何か、また、人間の本当の幸せとは何かを考える。
4-72	人間を生きる 歴史に学ぶ～ ～現代の部落差別の	43	一般	1945（昭和20）年の敗戦以降、現代（敗戦から同和対策事業特別措置法まで）における部落差別に対して抵抗してきた人々の語りを織りまぜて、自由で民主的な社会をつくっていく努力をしない限り、誰にとっても幸せな社会には達しないことを訴える。 ●プロローグ ●憲法をテコとして ●部落解放のひろがり ●国策樹立をめざして ●エピローグ
4-74	勇気あるホタルととべないホタル	17	小・低学年以上	羽がちんで生まれたために、とべないホタルがいた。仲間のホタルたちは、彼を励まし、知恵をしぼって、柳の枝に登らせた。そこに足の不自由な妹のために、ホタルを取りにやってきた姉弟。とべないホタルをかばって、勇気あるホタルが男の子の手の中へ飛び込んだ。明かりを消した部屋の中で、勇気あるホタルは、女の子のため精一杯光ってみせた。窓の外には迎えに来たホタルの大群が、オーロラのように輝いていた。 (文部省選定)
4-75	きつねのかんちがい	28	小・低学年	働きもので、たいそう心の優しい若者「そうごろう」のいる村は、貧しい村だった。村人たちが田植えをしていた時、近くで犬に追いかけられた子ぎつねが、誤って野井戸に落ちて死んでしまった。きつねたちは、そうごろうたちが殺したと、かんちがいしてしまい、せっかく植えられた苗を全部引き抜いた。村人たちは怒り、きつねの肩を持つそうごろうも矢おもてに立たされる。そうごろうは、一人で田植えをやり直す。 (文部省選定)
4-76	獅子頭に雪が降る	55	一般	60年前の小正月のこと、豊作を祈る鳥追い祭りの最中に、獅子舞の獅子頭が何者かに奪われる事件が起きた。誰が、一体何のためにそのようなことをしたのか…。この作品は、若い新聞記者が、昔の事件をとおして、不合理なしきたりを追求し、自分の生き方を問ひかける姿を描くことにより、今日の同和問題を考えていくものである。
4-77	にぎやかな家族	55	一般	東京のサラリーマン家族が転勤に伴い、関西の同和地区に引っ越した。初めて出会う同和問題への家族一人ひとりの反応と態度の変様を明るく伸びやかなタッチで描く。常に物事に対して前向きに、積極的に対応し、開かれた関係を周囲の人たちと作り上げていくことの素晴らしさを訴える。
4-78	お母さんの季節 ～浩介の日記より～	55	一般	幸せに暮らす一家に、ある日、ボツンと黒い影が波紋を投じた。それは結婚15年の記念に、中学2年になる長女が母親の故郷を訪ねてみたいという言葉から始まった。この一家を見舞った差別問題の暗い影は、地域社会の問題でもあった。この黒い雲を吹き払い、再びさわやかな風を一家にもたらした力は何であったか…。ドラマは、地域の人々の善意を追って、明るく展開していく。
4-79	心の壁	55	一般	ある企業で同和問題研修推進員になった主人公が、企業や社会に残る差別意識や偏見の中で苦悩する。かつて差別の現実から逃げた彼は、今、揺れ動く心の中から、自らの意識を変革し、職場の意識も変えていこうとする。その中で何を学んでいくのか。何をなすべきなのか。その生き方を描くことにより、今日の人権問題を考えるきっかけを提供する。
4-80	ひとりひとりの空	57	一般	この映画は、ある家族を中心に職場・学校・地域と場面を変えた3話で構成されている。そして、同和問題やいじめなど人権の大切さを考える。 第1話 長女の勤める会社での人間関係 第2話 次女の通う中学校でのいじめ問題 第3話 父母の出世・肩書きへのこだわり
4-81	千鶴子が微笑った	54	一般	「愛する人と幸せな家庭を築きたい」という人間として当然の願いが、差別により踏みにじられた社会の現実の中で、新しい視点から、人間一人ひとりのあり方を問い直すそうとする作品。今なお続く結婚に際しての厳しい差別の現状を描き、「家父長的な家族関係」や“家柄や格式だけを重んじる風習”、また差別は差別した人自身も傷つき、多くの人々を不幸に陥れることを訴える。
4-82	花咲く日 (ビデオ有り：4-9)	55	一般	ある漁村で漁師をしている両親の老いへの直面。同和地区出身の恋人と次男の結婚問題。家族が同和問題に直面し、それぞれが人間の尊厳と差別の中で、同和問題解決の重要性を理解し、同和問題を解決していく人権啓発ドラマ。

【人権啓発】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
4-83	母たちの応援歌 (ビデオ有り：4-10)	54	一般	同和問題の理解者を主人公に据え、差別に直面したり、心ない人々からの中傷により壊れそうになる家庭を、人生の先輩であるそれぞれの母たちの助言により夫婦の絆を取り戻し、差別に立ち向かう真の理解者に成長していくさまを描く。
4-84	ふるさとに乾杯 (ビデオ有り：4-7)	54	高校生以上 一般	恋人にも告げずに故郷を離れ、板前修業に励んでいた同和地区出身の清が、二浪中の同級生の誠と再会した直後、何故か突然店から姿を消してしまった。不思議に思う経営者を中心に、同和問題を乗り越え、いかに生きていくべきかを考えつつ、歩み行く三人の若者の姿を描く。
4-85	めぐり逢い (ビデオ有り：4-8)	52	一般	最近何かと話題の多い「外国人」の人権問題を通し、部落差別をはじめ男女差別、高齢者差別などの人権問題を、わたしたちの生活の中で、日常起こり得る問題と結び付け、より身近な「人権問題」として考えていくように企画されている。
4-86	お兄ちゃんありがとう	52	中学生以上 一般	筋ジストロフィの診断をくだされた勇樹。その勇樹がいたからこそ一層家族の絆を深め、生きる勇気を教えられて、父・母・妹のそれぞれが素晴らしい人間へと成長していく。だからこそ、勇樹は「ごめんなさい」ではなく「ありがとう」の言葉を贈るのであった。
4-87	へんてこなボランティア (ビデオ有り：4-1)	46	中学生以上	文字の読み書きができないため、家族との交流も、人としてごくあたりまえの社会生活をするのも制限されてきたおばあちゃんが、中学生やまわりの人たちの手助けにより、永年の願いを実現していく物語。
4-88	花束 (ビデオ有り：4-2)	53	一般	自己中心的な生き方で、競争社会を生き抜こうとしている中年男性が、病気で倒れたことをきっかけに、自己の生き方を反省するとともに周囲の人々の生き方から、ともに生きることの大切さに気づいていく様子を描く。
4-89	明子のハードル (ビデオ有り：4-3)	41	中学生以上	中学2年生の明子と母親を主人公に、母子家庭ゆえに差別されていると思っていた明子が、親友をめぐって学校で起きた事件を契機に、自分も親も差別する心を持っていたことに気づく。明子が差別をしない、差別を許さない、差別に負けない心を持つと思うまでの物語。
4-90	さわやかに風吹く町 (ビデオ有り：4-4)	55	一般	対象地域と周辺地域の人々の関わりあいを通して、相手の心の痛みを自分の心の痛みとしてとらえられる人権意識の高揚を図るとともに、改めて部落差別の現状を考え、人権尊重の精神を基盤とした明るい社会の実現を目指すことを描く。  (文部省選定)
4-91	夢の木すとりとと (ビデオ有り：4-5)	55	一般	居酒屋「夢の木」の女主人、藤坂花。部落出身の青年との結婚問題を通して互いに悩みあう「夢の木」の常連客の父と花を母のように慕うその娘。世間体のために花を老人ホームに入所させようとする息子。理由あって、花が預かっている遠縁の娘。それぞれに問題を抱えながら、人とのふれあいの中で本当の優しさに出会う。
4-92	二つめの門 ～一枚の調書から～ (ビデオ有り：4-11)	43	一般	企業が独自に使用している管理用紙、いわゆる「社用紙」を通して、そこに人権上の問題が内在しているということに気づくかどうか、こうした問題にどのように関わっていくか、を問いかけている。ふだんの生活のなかで、人権問題へ目を向けていくことの大切さを考えさせる。
4-93	春をまつ雪 (ビデオ有り：4-12)	53	一般	家族・親戚に反対されながらも、同和地区の青年と結婚して一児の母となり、幸せに暮らしていた主人公。ある事件を契機に、友人・家族との葛藤を経ながら、主人公および彼女を取り巻く人々が変革していく様子が描かれている。結婚成立後の課題に焦点を当て、職業差別の問題も取り上げている。
4-94	ゆかりの鍵 (ビデオ有り：4-13)	54	中学生以上 一般	夏休みを迎えた中一の女の子ゆかりの鍵探しが巻き起こす出来事から、ゆかりと彼女を取り巻く人々の生き方を通して、家族の絆とは…、部落差別とは…、ゆかりと共に考えてみようという物語である。視聴者自身がそれらの問題をどう受けとめていくかを問いかけている。
4-95	家族の条件 ～優子の青春物語～ (ビデオ有り：4-14)	83	一般	不慮の事故で、両親を失った孫娘と勤め先の社長の息子との結婚話を契機に、差別する痛みを老年に入ってようやく気づき、自分も周囲も変えていこうとする主人公の姿を通じて、部落差別を乗り越えようとする家族の愛情を描く。
4-96	はるか素顔の19歳 (ビデオ有り：4-15)	54	一般	プロゴルファーになる夢を抱いてゴルフ場で働く若い女性が、友人の結婚問題を通じて自分の生き方について悩むものの、先輩や友人の誠実さに勇気づけられ、力強く生きる姿を描いている。同和問題の解決に向けて、若い力の結集と粘り強い働きかけの大切さを訴えている。
4-97	贈られた湯飲み茶碗 (ビデオ有り：4-16)	48	一般	陶芸展の出品で落選した若手陶芸家が挫折感を味わい、同じ陶芸展に入選した後輩の被差別部落出身の女性に劣等感をもち、差別的な態度をとります。しかし、阪神・淡路大震災の被災地のお年寄りとのふれあいをおして、自分の生き方を見直し、周りの人々と、ともに生きることの大切さに気づいていきます。

## 【人権啓発】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
4-98	紫陽花のころ (ビデオ有り：4-17)	30	一般	同和地区の青年と結婚して3年たった主人公が、結婚を認めようとしぬ父のもとに再三通い父の考えが間違っている事を正そうとします。「結婚は本人どうしの合意のみによって成立する。」と憲法に記されていますが、今も因習に凝り固まった人達がいるのも現実です。
4-99	明日への彩り (ビデオ有り：4-18)	55	一般	部落差別と在住外国人に対する差別をなくすために人権尊重の精神を訴えるドラマ。日本人のもつ世間体意識のためにいわれない差別が今なお存在しています。在住外国人に対する差別にも同じ事が言えます。部落差別の現状と人権尊重の精神を基盤とした明るい地域社会づくりの実現を描いています。  (文部省選定)
4-100	クレヨンの星 (ビデオ有り：4-19)	14	小・低学年	ひろい宇宙の彼方に、クレヨンたちが住んでいる星がありました。ある日宇宙船によって金の星の王子コインがやってきて「クレヨンの星で一番えらい人に会いたい」と言います。「えらい」という価値観がなかったクレヨンたちの間に、とうとう争いが起こってしまいます。(アニメーション)  (文部省選定)
4-101	私たちと人権 ～課題編～ (ビデオ有り：4-20)	30	中学生以上 一般	社会には部落差別を初め女性や障害者、外国人などに対する様々な差別がある。これらの問題を解決するために、自分を初め多くの人々が深く関わっていることを自覚し、自分自身の人権意識を問い直し、自ら考え、生き方を変え、行動する必要を訴えます。
4-102	サンセット サンライズ (ビデオ有り：4-21)	49	一般	新しい時代感覚で民宿経営に取り組もうとする家族を中心に、中学生の少女の姿を通して自立した生き方とは何かを描いています。少女の危機を救ってくれた同和地区出身の青年と親戚の娘の結婚問題を巡って、その家族や周囲の人々は戸惑い、揺れ動きまわります。その中で、少女の積極的に周囲の人々に働きかけていく生き方が、差別のない明るい社会の創造につながることを訴えています。
4-103	若い波紋 (ビデオ有り：4-22)	57	高校生以上	日々の暮らしのなかで、人権問題を意識することはあまりないかもしれませんが、差別は人の心のなかに潜んでいます。身近な人権問題をきっかけに自分たちができることから行動を起こしていく高校生たちの生き生きとした姿を通して、日常的に人権意識を高めていくことの大切さとともに、次代を担う若者への希望を描いています。
4-104	おーい！ (ビデオ有り4-23)	45	一般	同和問題に対する人々の無知・無関心が何世代にもわたって、いわれない差別を助長し、多くの人々の心を傷つけてきました。差別は誰にとっても無関係ではありません。たとえ悪意はなくても、知らないこと、知ろうとしないことも差別につながることを理解し、差別とは何かということをも自分自身に問いかけてみようとして訴えています。
4-105	しきじきょうしつ (ビデオ有り：4-24)	54	一般	部落差別によって奪われた文字を取り戻そうと20年前に開設され、ここ数年はさまざまな年齢や国籍の人々が通うようになっていく識字教室を舞台に、学級生と講師との心の交流や生き方を通して、今日の同和教育をはじめとするさまざまな人権問題について考える手がかりを提供しようと製作されています。  (文部省選定)
4-106	私たちと人権 ～赤ちゃんのささやき～ (ビデオ有り：4-25)	31	一般	私たちの身近な問題を取り上げています。根拠のない風習や慣習にとらわれたり、ホンネとタテマエを使い分けたりしては、真に人権の守られる社会をつくりあげることができません。一人ひとりが人権意識を高め、みんなが楽しく、幸せに生きていける社会の実現をめざし、製作されています。
4-107	蛍の舞う街で (ビデオ有り：4-28)	42	中学・高校生	寺内家と小林家の交流を中心に物語を展開し、私たちが日常生活の中でごく当たり前のこと、常識だと思っていることの中にも様々な人権問題が潜んでいることや、お互いを尊重していくための自立と共生、家族のきずな、地域社会の連帯等の問題をなげかける。(アニメーション)
4-108	雨あがり (ビデオ有り：4-29)	55	中学・高校生 一般	百合子の勤める信用金庫は、大手銀行に吸収合併され、新しい支店長と次長の下、再スタートを切ることになった。ある日、顧客から融資依頼の話が来るが、担保物件の土地が同和地区にあるため、支店長は受け付けようとしぬ。
4-109	冬のひまわり (ビデオ有り：4-30)	54	中学・高校生 一般	衣料品メーカーに勤める高木美美は、大学時代に交際していた片桐直哉と再会する。今は知的障害者の作業所で働く直哉。その作業所は同和地区にあった。ある日、美美に好意を寄せる会社の男性が、作業所でボランティアを始めた彼女のあとをつける。美美が、同和地区の出身という噂がひろまるのに時間はかからなかった。
4-111	風はみどりに (ビデオ有り：4-32)	50	中学・高校生 一般	幹男は都心の外資系企業に勤めるビジネスマン。自分の住む町をただの「住みか」にしたいと、障害者の手伝いをする小さなボランティアグループ「ケヤキ会」に参加していた。ある日、幹男が同和地区の出身であることを他の会員が知り、グループに亀裂が走る。

## 【人権啓発】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
4-112	シャッターチャンス (ビデオ有り：4-33)	25	中学・高校生	高校3年生の大樹は、卒業後写真の勉強をしたいと思っていたが、親には言い出せないでいた。ある夜、大学受験を巡って父と言い争った大樹は、家を出て指物師の叔父の家に向かう…。基本的人権を守ることの大切さと、多様な生き方を認め合うことの大切さを訴える作品。(アニメーション)
4-113	あかね雲 (ビデオ有り：4-34)	53	中学・高校生 一般	中学教師のひさ子は、自分が同和地区出身であることを、そろそろ子どもたちに話そうかと悩んでいた。話す必要はないという夫、親との衝突が絶えない子どもたち。ますますひさ子は、話すべきか迷ってしまう。そんな時、ひさ子の母親が倒れたとの知らせが入り、一家はそろって実家に向かう。
4-114	そして出発(たびだち) (ビデオ有り：4-35)	54	中学・高校生 一般	子どもの学級懇談会で、直子と恵美は20年ぶりに再会する。高校時代に受けた差別の傷を引きずる直子、子どもの事故を契機に夫とともに差別に立ち向かう恵美。二組の夫婦の交流と葛藤を中心に、人間としての誇りと偏見という垣根を取り払うことの大切さを描く。  (文部省選定・教育映像祭優秀作品賞)
4-115	風のひびき (ビデオあり：4-38)	54	中学・高校生 一般	聴覚障害を持つ奈緒は、手話の出来るヘルパーとして働いている。恋人からプロポーズを受けるが、彼の父親は二人の結婚に猛反対する。誰もがともに暮らせる社会の実現へ希望を抱く奈緒。恋人の両親と分かり合いたいと、頑張るのだが…。
4-116	心ひらくとき	55	中学生以上 一般	新聞記者の主人公は、取材を通じて、日常に潜む差別、偏見、さらにはさまざまな生き方や考え方の違いなどに出会います。そして、人権を自分の身近なものとして、自分自身と向き合い、「心を開く」ことの大切さを実感できるドラマとして紹介します。
4-117	明日に生きる (ビデオ有り：4-46)	35	中学生以上 一般	厳しい競争の中で忘れがちな職場内の人権問題(障害者、女性、リストラなど)を改めて考え、職員・社員同士の人権や、雇用主が職員・社員を大切に必要性などをドラマ仕立てで紹介しします。

【安全・特別支援・性教育関係】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
5-1	地震にそなえて	16	中学生以上 一般	地震は突然襲ってくる災害である。日本はこれまで多くの地震にみまわれ苦い経験を味わってきた。地震の予知がまだ困難な今、それに伴う災害を防ぐ十分な対策が必要だが、その指針となる映画である。
5-2	火災から老人・子どもを守る	24	一般	火災も増えているが、最近では火災による死者が特に多く、中でも年寄と幼児の犠牲者が目立つ。この点にスポットを当て家庭と地域の防火、防災について多角的に考えていく。迫力ある画面、問題点の抽出、適切な指導と三位一体となったきわめて実践的な教材映画。  (文部省選定・自治省消防庁推薦)
5-4	しっかりとぎろう子どもの手 ～母と幼児の交通安全～	20	小学生以上 一般	子どもを交通事故から守るための話し合いの材料としていただくために、街を行くお母さんと、幼児の姿をそのまま記録し、幼児の交通安全の話し合いの材料とするもの。
5-5	新・歩行者の交通法規	24	小学生以上 一般	歩行者の交通事故の内、歩行者側に何らかの責任のある事故が約75%もある。その大半が信号無視、間違った横断、飛び出し等、交通法規の無視、むとんちやくである。その実態を描いて歩行者の交通法規を再確認し、交通ルールの意味、大切さを理解させる。  (文部省選定・全日本交通安全協会推薦)
5-6	小学生と性 ～子と親の相談室～	28	小・高学年 P T A	ある小学校保健室における養護教諭の小学生と親への性教育相談の実話から取材。性についての子と親と先生の対話促進と、理解をすすめる。  (文部省選定)
5-8	心の扉を開く ～障害児との交友を求めて～	20	中学生以上 一般	ことばをもたない、耳がきこえない、知恵がおくれている、身辺の自立ができない、といった重度の障害をもつ児童との交友の関係を成立させることは、そのまま教育の糸口を見つけ出すことでもある。この映画は、国立久里浜養護学校で現に重度障害児の教育に取り組む先生方が、いかにして障害児との交友の関係を成立させていったかを記録したもの。  (文部省選定)
5-10	こころをひらく ～育ちあいを求める保育～	21	一般	障害を持つ幼児を幼稚園がどのように受け入れ、どのように保育をすすめればよいかについては、未だ不十分な経験しかない。現実の保育の中で、障害をもつ子どもと保育者、そして子どもも同志の関係、保育のあり方についてはこれから多種多様な経験を積み重ねていく必要があると思う。
5-11	子育ての中の基礎体力づくり —6歳～9歳編—	20	一般	最近の子ども達は体格は立派になったが体力がいまひとつと聞いた声はよく耳にする。「たくましい体と豊かな心」は子育ての基本であり教育の理想だが、そのために子どもときの「基礎体力づくり」がなにより大切である。ここでは6歳～9歳児を対象を絞って、具体的に描き出そうとするものである。
5-12	—国際障害者年の記録— 明日へ歩む	30	一般	この映画は、1年間にわたって繰り広げられた国の行事に参加したさまざまな障害者の人々の姿とともに、さまざまな障害を克服し、今日を生きる大勢の障害者の生き様と意見を描いている。その中から国際障害者年は決して1年だけのものでなく、明日へ向かって続く道であることが、理解されることを願って製作されたもの。
5-13	—これだけは知っておこう— 地震の知識と対策	31	中学生以上 一般	はじめに地震の起きるしくみをアニメーションなどによりわかりやすく図解し、つづいて国や地方公共団体が行なっている地震対策を解説する。そして最後に、これらをとりにれたオフィス・学校・地域・個人などの対応を、具体的に紹介する。これをきっかけとして地震防災に積極的にとりくみ、地震の災害からまぬがれることを願うものである。
5-14	親から子への性教育	30	小・高学年 P T A	周囲に性に関する興味本位の情報が氾濫している今日、子どもの性に対する疑問や悩みを放っておくと、後になって取りかえしのつかない悲劇にまで発展する可能性がある。家庭における性教育が重視される理由の一つがここにある。この映画では、子どもの幼稚園時代、9～11歳時代、12歳をすぎた頃の三つに大別して、そのころの子どもの正しい性教育のあり方を懇切に解説してくれる。
5-15	噛むことの大切さ	10	小・中学年以上	よく噛むことは健康の土台である。歯を磨く習慣を守ることはもちろんだが、インスタント食品や加工食品、砂糖などはなるべく避け、なるべく自然なものを自然のままに調理し、いろいろな種類のものをよくかんで食べる。それが歯を丈夫にするだけでなく、健康づくりの基本である。これまで案外、気づかなかった「かむ」ということ、それがいかに大切なことかわかるだろう。
5-16	ぼくはじてんしゃ	24	小・中学年以上 一般	自転車は、子どもにとって楽しい遊び道具であり、また、自家用の交通機関でもある。しかし、楽しいはずの自転車も、わずかな不注意から大きな事故をしばしば起こしている。いったい何故事故が起こるのであろう。この映画は、自転車の「語り」の形式をとって、子どもに適した自転車の選び方、運転の規則とマナー、自転車の特性、点検と整備の必要性などを描き、事故を減らす方向で描いたもの。

【安全・特別支援・性教育関係】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
5-17	ひとりひとりをたいせつに ～特殊学級の教育～	20	小・高学年以上 一般	小・中学校には、比較的軽度の障害児のために特別に編成された学級がある。この学級では、障害児の情緒を安定させ、それぞれの持つ隠れた能力を十分にひき出し、それを伸ばし、社会自立ができるようにすることをねらいとして、生活中心に基本的な教育や訓練が行われる。この映画は、小学校の知恵遅れの学級で学ぶ子どもたちの生き生きとした姿をとらえ、障害児教育をありのまま描いたものである。
5-18	なかよしじてんしゃ	15	幼児 小・低学年	ここは子ども公園。仔犬のポチ助が自転車乗りの練習をしていると、山猿のモン吉、狼のビー太、狐のゴンのワンバクトリオが次々とやってきては、さかんにポチ助をからかいます。でも、ワンバクで交通ルールを守らない3人は、とうとう交通事故を起こし、病院に担ぎ込まれてしまいました。この映画は、交通ルールを守ることの大切さを、楽しいアニメーションで解説したものです。
5-19	おとぎの国の交通安全	16	幼児 小・低学年	さっちゃん黄色い帽子の良く似合う女の子。夢の中でおとぎの国へ行きました。でもそこは交通事故だけがをした人形たちの国だったのです。恐ろしい交通事故！この映画は、幼児の心に密着した「おとぎの国」のオモチャや動物たちをテーマに、ユーモアとペースの中で規則の大切さ、事故の恐ろしさを自然に理解させ、より強く認識させてくれます。(アニメーション)
5-20	たいせつな歯	15	小学生全学年	この映画は、歯の働きとむし歯の原因について、あくまでも保健の領域からわかりやすく解説し、むし歯を予防するためにはどうしたら良いかをわかりやすく説明し、これまで行われてきたローリング法に加えて、フォンス法も採用し、清掃順序も大幅に変っています。この映画は、あくまでも児童に対する歯を磨く習慣づけを目的として製作されました。
5-21	ぼくは子象の消防隊	17	幼児 小・低学年	平和で静かな動物村に今日も夜が訪れます。動物たちが眠ってしまうと、森の高い木の枝で、ミミズくじいさんが夜の見張り番です。突然、暗い夜空の彼方に赤い日の光が見えました。山火事です。逃げおくれた木の上の子リスや、猿たちを助けに母さん象は火の中に入っていきます。心配そうな子象のポンプ。川の水を吸い込み炎に向かう母さん象は小さな動物たちを助けます。(アニメーション)
5-22	育ちざかりの体づくり	28	一般	最近、子どもの体力の低下や、それにもなる骨折事故が問題になっている。その背景には、子どもの運動不足が大きく影響している。この映画は、年々増加している骨折事故の原因を解明しながら、育ちざかりの子どもたちが遊びのなかから基礎になる体力を、身につけていく様子を動物実験などを交えながら科学的にわかりやすく、また興味深く描いている。小・中・高の児童・生徒の健康対策について考える。
5-23	からだの発育と女の子の生理	14	小・高学年	女子も男子も20歳位になるまではほとんど成長していくが、10歳頃から女子の発育が目立ち始め、男子を追い越していく。この10歳～12歳の頃、女子は男子より少し早く、からだの中で大人になる準備が始まる。初潮は、それに伴って誰もが経験する現象で、大人への第一歩をふみ出した証明だという事を科学的・情緒的に理解させてくれる。
5-24	からだの発育と男の子の生理	14	小・高学年	男性ホルモンは脳下垂体の働きかけにより精巣から分泌される。男性ホルモンは男子の筋肉や骨格を発達させ、からだつきをがっちりさせる。また、声帯の発達を促し、声を低く太くさせる。口もとや腋の下、性器のまわりに発毛する。この映画は、男性に自己の性を正しく理解させることを目的に製作されている。
5-25	地震とぼくたち	20	小・中学年以上	大正12年の関東大地震の際、地震に続いて起った大火災の恐ろしさを、また昭和39年の新潟地震では現代の都市が持ついろいろな危険性を、宮城沖地震では日常生活をとりまく危険性をはっきりさせ、地震国に住む我々はいつかは大地震に遭遇するかもしれないことを警告している。また、子どもと家庭の主婦を対象に、地震の危険性、特に二次的に発生する火災の恐ろしさを伝え、準備と心構えの必要性を説く。
5-26	“子育ての中の性”を考える	31	一般	各年齢の育ち盛りの子どもをもつ母親に集ってもらい、現場の教師とインタビュアーが加わっているいろいろなケースの子どもたちの性に関する質問をドラマやアニメーションで描く。 (文部省選定)
5-27	青年の愛と性	30	高校生 一般	愛と性について考えを異にして交際している青年男女のドラマに、今大きな社会問題になっている未婚の妊娠中絶の実態と、愛・性に関する識者の意見等を加えながら、青年に愛とは何か、性とは何かを考えてもらい、自らの価値観と責任において行動していくことの大切さを訴えます。 (文部省選定)

【安全・特別支援・性教育関係】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
5-28	がんばれかあちゃん ～交通事故後の母親たち～	30	一般	まさか自分の夫が！この突然の不幸を出発点に、取り残された母親たちの多くが一緒に生活苦と子育てにと追いこまれる。この映画は、交通事故には負けまいと、苦しさに耐え、歯をくいしばり頑張り、交通事故後の母親達の生活を克明に追ひ、交通事故が一日も早くゼロとなる事への願いをこめて描く、ドキュメント映画です。  (文部省選定)
5-29	たくさんの愛をありがとう	35	一般	この映画は、脳性マヒで手足や言葉に不自由な池田久美子さん(20歳)が、1年間ボランティアに参加し、群馬県の特別養護老人ホーム様名題の園で、寝たきりのお年寄りの介助に従事した記録をもとにまとめたものです。お年寄りたちとの出会いと心のふれ合い、そして家族や身よりと離れ、互に助け合い、懸命に生きている老人たちの厳しい現実をみつめながら、久美子さん自身も大きく成長していきます。  (文部大臣賞)
5-30	愛のかけはし ～手話にみつけた生きがい～	30	一般	公共の福祉のために、自主的に無報酬で奉仕するには、そのことに、みのある生きがいを感じ、相手とともに人間としての幸せを求める強い心が必要である。この映画は、手話通訳をボランティア活動としている一人の主婦の行動を軸にし、家族の人々の理解と協力、ボランティア活動を志す後輩の指導などを加えて、真のボランティア活動の意味を考えようとする。
5-31	生命(いのち)のふれあう街を ～障害者問題を考える～	31	一般	障害者の参加と平等が叫ばれている中で、障害者の施設を建てようとする強い反対にあう。福祉会館建設をめぐる障害者而非障害者との公聴会を同時進行形で描き、障害者問題とは、街に生きるといことは私たちににとって何なのかを問いかける。
5-32	親子で語る愛と性	30	一般	家庭での性教育はどうあるべきか。幼児期、小学生、中学生、高校生。特に、高校生ともなれば性知識もあるし、体は成人並み、性欲も性衝動も高まってくる。さまざまな状況の中で親はどう対したらよいか。二つの家庭を例に親のとるべき姿勢を示します。
5-33	水の事故ゼロへの願い	30	子ども会指導者	夏のキャンプや海水浴、川遊びなど、子ども会における水辺活動は、自然の中で、子どもたちの夢と可能性を無限に広げる素晴らしい体験の場である。しかし事故を恐れるあまり、ともすれば活動が停滞する要素をもっている。この映画は、子ども会で実際にあった海と川の事故事例をとりあげ、何故事故が起こったかを分析し、こうすれば事故は起こらなかったというチェック・ポイントを導き出して行く、事故防止のための映画である。
5-34	群衆の行動を考える	28	中学生以上 一般	群衆の中では、個人の意思・行動とかわりなく特別な物理法則が働き、特殊な心理状態が生じる。このことを十分認識することが、群衆事故を回避する最良の方法なのである。
5-35	パニック ～災害時の行動と心理～	20	一般	災害に直面した時、人間はいかなる行動をとるか。この映画は、NHKならではの豊富なニュース・フィルム、九死に一生を得た人の貴重な体験談、これらをもとにした専門家の実験、分析など、災害に際していかに人命の安全確保をはかるかを追求したユニークな防災教育映画である。
5-36	大地震・マグニチュード7の証言 ～体験者から学ぶ防災対策～	19	一般	地震は、防ぐことはできない。しかし、地震による災害は、人間の英知と努力で防ぐことができる。この映画は最近、日本列島を襲った地震(日本海中部地震・宮城県沖地震・北海道浦河沖地震)の映像と体験者へのインタビューを中心に、実験フィルムを交えて、防災に対する私たちの意識に、改めて問題を提起する。
5-37	明日に生きる	36	高校生 一般	生まれながら重度障害を持った車いすの青年が恋人や家族や職場の人たちの愛と友情を支えに、社会の荒波の中で勇気を持って苦難と闘い、唯一動く左手一本で、たくましく生きる姿を描いた青春ドラマ。
5-38	十代と妊娠	20	中学・高校生	10代の妊娠は精神的にも経済的にも、また社会的にもさまざまな問題がある。望まれない妊娠をしないために、安易な性行為のツゲが人工妊娠中絶という結末にならないために、今、何が大切なのか、高校生・中学生に自分の性のあり方を考えてもらいたい。  1. 10代の妊娠中絶がふえている 2. 未婚妊娠者のその後… 3. 中3のA子のケース 4. 男子の性と女子の性とは違う 5. 愛とは何か、愛していればいいのか
5-39	赤ちゃん誕生	20	小・高学年以上 一般	性の交わり、受精、妊娠から出生までのしくみを理解させ、生命の尊さにも気づかせる作品。  1. 赤ちゃんの生命と精子・卵(卵子) 2. 受精のしくみ 3. 男女の性はどうして決まるか 4. 母体の中で成長する胎児 5. 赤ちゃんを産むための準備 6. 赤ちゃんの誕生(出産) 7. 生命の尊さ

【安全・特別支援・性教育関係】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
5-40	自転車事故ゼロへの誓い (ビデオ有り:5-20)	21	小・中学年以上 一般	交通事故には至っていないものの、子どもたちは大抵ヒヤッと した経験をいくつか持っている。それが同級生の事故をきっかけ に吹き出した。交通事故ゼロを目指して各自の体験を生かす一そ うした話し合いが、交通事故防止に対する意欲を高揚する。
5-41	中絶 ～北と南の女たち～	55	一般	この作品は、世界6か国—アイルランド、ペルー、タイ、日 本、カナダ、コロンビア—を取材し、人工妊娠中絶の実態と、女 性の置かれた状況、そして中絶が、安全な医療の中で行われるこ とを求める、女たちの声をありのままに描いたドキュメンタ リー。
5-42	キックオフ!明日香ちゃん	26	幼児 小学生	サッカーが大好きで、車椅子にのった少女“明日香ちゃん”を 主人公に、障害児と健常児のふれあいをテーマとしたアニメー ション映画。障害児については自立、健常児については障害を持 つ人に対する理解を深め、映画を通じ子どもたちの精神面の成長 を促す内容である。
5-44	出血・骨折・やけどの手当	16	中学生以上 一般	直接圧迫止血法をはじめ、止血、骨折、やけどの応急手当の方 法、留意点を医学上の知識を加えながら、わかりやすく解説す る。 (文部省選定)
5-45	たばこと健康	20	中学生 一般	たばこの発がん性、ニコチンや一酸化炭素の害、受動的喫煙の 害など、健康への悪影響について科学的に、わかりやすく解説 し、特に未成年への喫煙防止を訴える。 (文部省選定)
5-46	子どもたちへ ～いのちと愛のメッセージ～	55	小・高学年以上 一般	性に興味を持ち始めた小学校5年生の子どもたち。いまこそ、 いのちと愛と性の正しい知識を伝えるべきだと水町先生は考えた …。子どもたちが命の大切さや生命誕生のすばらしさを感じとっ ていく様子をドラマ構成で描いている。 (文部省選定)
5-47	翔べよ!千賀ちゃん 明日に向かって	40	小・高学年以上 一般	先天性脳性マヒという障害をもつ17歳の少女の、1年間にわた る姿を記録したもので、和文タイプをマスターし、詩をつくり、 そしてワープロにも挑戦するなど、障害にもめげず、明るく積極 的に行動する様子をとりえている。 (文部省選定)
5-48	生理時の手当と女の子の生活	15	小・高学年	女子の体の生理、その手当の方法、生理時における日常生活の 過ごし方などについて、わかりやすく描いている。
5-49	大地震が学校をおそった	20	小・中学年以上	大地震が学校をおそったときはどうすべきなのか。この映画 は、震度6の地震が学校をおそった場合を、実験施設で再現し、 被害がどのようにして起きるのかを見つめ、地震時の防災には、 みんなで力を合わせて行動することが一番大切であることを、強 く訴えている。
5-50	虫ばになった王様	13	小・低学年	動物物のライオンの王様が、甘いものばかりを食べすぎたため 虫菌になり痛みが止まらず困ってしまう様子をアニメーションで 描いている。 (文部省選定)
5-51	危険がいっぱい ～わが家の事故防止対策～	21	小学生以上 一般	家庭は家族の日常生活の場として最も安全でなければならない。 しかし、設備の改善などによって生活が便利になる一方で、 家庭内での危険もふえている。この映画は、過去のデータによっ て、家庭内でおこりやすい事故、特にこうした事故の対象となり やすい老人と子どもに重点をおいて、事故例のいくつかを取りあ げ、その防止策について考える。 (文部省選定)
5-52	じぶんで働いて生きるために ～精神薄弱者たちのコロニー雲仙～	40	中学生以上 一般	長崎県の島原半島にある精神薄弱者施設であるコロニー雲仙福 祉牧場の百人の精神薄弱者たちが、社会人としてひとり立ちす るために、さまざまな教育や訓練を受けている実践の記録映画。心 身障害をこえて「働く」ことの喜びを知り、社会的自立をめざし て挑戦する人々が生々しく描かれている。 (文部省特選・教育映画祭優秀作品賞)
5-53	いのちの詩	34	小・高学年以上 一般	大分・福岡県内にすむ重度障害者の人たちが、いじめが原因で 命をおとす若者たちの姿に心をいたため、命の大切さ、生きるこ のすばらしさを、同人詩集“つぶやき”を通し訴えようと懸命に 努力していく姿を感動的に描いている。 (文部省特選・教育映画祭最優秀作品賞)
5-54	どうして生まれるの? かわいい赤ちゃん	23	小学生 一般	「赤ちゃんはどうしてできるのか」「どこから生まれるのか」 は、たいていの子どもがその幼少時代に発する疑問である。これ に対し、教師や親であるおとなたちは、きちんとした説明をする 必要がある。この映画は、生命の原点である「性」を人間科学と してとらえ、小学生がからだと生命の誕生、そしてその成長の素 晴らしさを理解できるように、わかりやすく描いている。 (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)

【安全・特別支援・性教育関係】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
5-55	性の知識	30	小・高学年 P T A	第二次性徴期における男女の身体の変化や、初潮における心構えなどを、小学校での性教育に関する授業の様子を背景にとらえている。 (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
5-56	続・性の知識	30	中学生 P T A	第二次性徴期における性とは何か、芽生えてくる異性への興味や性的な事への関心や欲求とはなど、中学生年代における性に対する考え方を、ある中学校における性教育に関する授業の様子を背景にとらえている。 (文部省選定)
5-57	稲むらの火	16	小・中学年以上 一般	津波の襲来を予感して、それを村人に知らせるため、大切な稲むらに火をつけ、高台へと導いた庄屋・五兵衛の姿を通して、なにもものにも換えがたい生命の尊さや、災害時には冷静沈着に状況を把握して対応することがいかに大切かを浮びあがらせる。(アニメーション) (文部省選定)
5-58	男と女 ～高校生の性を考える～	37	高校生 一般	高校生の性の悩みは、人間形成に大きな影響を与える。子どもたちと性を語ることは、それは子どもたちのこれからの人生を語ることもある。この映画は、性についてのロールプレイングによって変わっていく高校生たちの生の声や姿を記録して、親と子が性を通して生き方を語り合うための材料を提供しようとしている。
5-59	がんばれ盲導犬サーブ	27	小・中高学年	手島悠介原作「がんばれ盲導犬サーブ」を素材に映画化したもので、盲導犬サーブ号が自分の左前足を失いながらも主人を自動車事故から守るという物語を、アニメーションで描いている。 (文部省選定)
5-60	たんぼぼ山の大火神	23	小・低中学年	火事の中からはなを助けてくれたまま、行方不明になっていた子馬のシロを捜しに出かけた助とはなは、猟師の不注意で起きた山火事にまかれてしまうが、再び空のかなたから白い子馬「シロ」が現われ、二人を助けるという物語で、人間のちょっとした油断で大惨事が起きるといふ事を主題に、なお一層の防火意識の高揚を願って作られたアニメーション。 (文部省選定・自治省消防庁推薦)
5-61	スーパーマリオの交通安全 (ビデオ有り：5-4)	14	幼児 小・低学年	子どもたちに親しまれているスーパーマリオを主人公に、道路を渡る時の注意や、飛び出しの危険性など交通安全のための注意事項について、アニメーションで描いている。 (文部省選定)
5-62	ピーター君の火の玉退治	13	幼児 小・低学年	火事をひきおこそうとする火の玉ボーイと火事を未然に防ごうと活躍する宇宙人ピーター君の物語を、アニメーションで描いている。 (文部省選定)
5-63	ありがとう	55	高校生 一般	進行性筋肉萎縮症のため、23歳の若さで生涯を終えた一人の青年とその家族の姿を、青年の、最後の1年6か月の生活を通じ記録したもので、病魔と闘う青年の姿と、介護のため家族全員が協力しあう姿に、生命の大切さ、生きることの意義を強く感じとらせている。 (文部省特選・教育映画祭優秀作品賞)
5-64	誕生 その歓び	28	高校生以上 一般	初産婦が自然分娩へ向けて日常生活をどうするか、妊娠の初期・中期・後期にある実在の妊婦3人の生活を通して具体的に描く。妊娠・出産のメカニズムは、いつの世も変わらないが、大きく変わったのは、夫たちの出産への参加意識といえる。もはや、出産は女性だけのものではないという考えが普遍化しつつあることを実証する。 (文部省選定)
5-65	災害に備えて ～わが町の防災体制～	29	一般	国や地方自治体でいくらか防災体制を強化しても、個人や地域住民が日頃から防災意識を持たなければ被害を最小限に抑止することはできない。この映画は、災害に備えて、住民の防災意識の高揚と自主防災組織の必要性を訴えることを目的とするもの。
5-66	お母さんの白い杖 (ビデオ有り：5-40)	32	小・高学年以上 一般	目の不自由な母の「白い杖」代りをして、外出するときはいつも助けていた保ちゃん(当時5歳)が、夜、母と買い物帰りの途中、横断歩道でひき逃げされて死んだ。このようないたましい事件を少しでもなくすことができればとの願いから、被害者の小林さん家族が悲しみにたえて出演し、この事件やその後の様子そして、事故から35日目の犯人逮捕などをドキュメントで追っていく。
5-67	ミラクル・オブ・ライフ	26	高校生 一般	人類とは何かを考えるために必要なことは、生命の誕生というドラマを見つめていくことが一つの条件かもしれない。この映画は、受精から胎児期の成長のみならず、男性の生殖機能も克明に追い、精子の成長過程から、射精、そして受精まで映像化している。人の命の重さ、人の命の不思議、そして一人ひとり生きて、ここにあることを、男女問わず感動させていく。—スウェーデン放送協会製作・日本語版— (文部省選定)

【安全・特別支援・性教育関係】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
5-68	高層住宅火災から 生命（いのち）を守る	17	一般	近年、地上20階建て以上の高層住宅も増えている。そこで火災が発生すると、たとえ鉄筋コンクリートなどの耐火構造であるとは言え、対応を一つ間違えると大きな災害になる危険をはらんでいる。防災設備のみを過信せず、自らの手で自らの生命や財産を守る防災意識の重要性を訴える。  <内容>●煙の性質●高層住宅で火災が発生したら ●高層住宅火災から生命を守るために  (文部省選定)
5-69	いのちのつながり ～人の発生と成長～	15	小・高学年	この作品は「人の発生と成長」という小学校高学年の学習課題を取りあげるにあたり、すでに学んでいる動・植物の雌雄合体（昆虫の交尾、オシベ・メシベの受粉等）にフィードバックし、さらにメダカやウサギの受精のメカニズムを実証的に把握させ、私たち人も、卵子と精子が母胎内で受精し、成長して生まれることを理解させる。  (文部省選定)
5-70	ユミちゃんあぶないよ！	15	小・低中学年 P T A	幼児や小学生の誘拐事件は社会に大きな衝動と不安をあたえている。このような事件の発生を防ぐには保護者、学校、地域の人が関心と注意をはらうことが重要だが、さらに日頃からの子ども自身を対象とした指導が非常に大切である。この映画は、子どもの興味を引くアニメーションで作られており、テレビゲームをエサにユミちゃんに近づく不審な男を登場させ、誘拐防止のためのポイントを描く。  (文部省選定)
5-71	はばたけ！ ちょっと夢工場	36	中学生以上 一般	この映画は、山家さん一家の35年間にわたる実体験をもとにドラマにしたものである。脳性小児マヒで重い障害をもつ、二人の息子の子育ての苦労から、息子たちが働ける場として、自分たちの印刷工場をつくるまでの経験や仕事を、深い家族愛とともに明るく生きいきと描く。「人権尊重」をことばだけでなく「行為」とすることの大切さをしみじみと考えさせてくれる。  (文部省特選)
5-72	トントン・ユウユウの火の用心	10	幼児 小・低学年	かわいいパンダのトントンとユウユウ、キツネの正太や動物村の消防隊が火遊びの怖さなど、防災の大切さを教えてくれます。 (アニメーション)  (自治省消防庁推薦)
5-73	STOP AIDS エイズの正しい知識と予防	25	中学生以上	エイズは、人類が克服しなければならない世界的なテーマである。この映画は、エイズとはどんな病気なのか、どんな経路で感染していくのか、どうしたら予防できるかなど、エイズについての正しい知識と予防をわかりやすく解説している。(財)日本経済教育センターより寄贈)
5-74	ぼくのじしんえにつき	23	小・低学年以上 一般	「災害は忘れたころにやってくる」。大災害が起きるとしばらくは気をつけるが、時間が過ぎると記憶も薄れいざという時の心の準備も怠りがちになる。この映画は、子どもたちに災害時の心構えや非常用品の用意の大切さを気づかせる。(アニメーション)  (文部省選定・教育映画祭最優秀作品賞)
5-75	みんなともだち	20	小・中学年	盲学校、聾学校、養護学校などで学ぶ子どもたちの学校生活や学習、交流の様子を描き、この作品を見ることにより、児童たちが「みんなともだち」として、温かい思いやりの心をもつきっかけとなることを願って製作されている。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
5-76	地震!!あなたはどうする	21	小学生	地震の原因、しくみ、それによって起きる様々な危険など地震の基礎知識をわかりやすく解説するとともに、ある小学校が取り組んでいる地震対策を紹介し、災害が起こった時に迅速かつ的確に避難行動がとれるように、日頃から安全な行動の仕方を身につけておくことの必要性を訴える。  (文部省選定・教育映画祭最優秀作品賞)
5-77	金色のクジラ (ビデオ有り：5-82)	25	小学生以上	岸川悦子原作「金色のクジラ」をアニメーション化。弟のために自分の骨髓液を提供したツトムの愛と勇気を描く。ある日、ツトム（小3）が家に帰ると弟のユウイチが玄関に座り込み、苦しそうにしていた。ツトムは救急車を呼び病院へ連れて行きましたが、その日からユウイチの闘病生活が始まりました。白血病に冒されていたのです。  (文部省選定・教育映画祭最優秀作品賞)
5-78	～健康に生きる～ 喫煙の害を科学する	20	中学生以上	日本人の喫煙率は他の国に比べて高く、特に未成年者や女性の喫煙率は年々高くなっている。タバコには強い依存性があり、一度習慣化するとなかなか止めることが出来ない。そのため早期の喫煙防止教育が重要となってくる。この作品は、喫煙の有害性を医学的データによりわかりやすく解説し、健康に生きるためにはどうすればよいかを考える。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)

【安全・特別支援・性教育関係】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
5-79	校長先生が泳いだ (ビデオ有り：5-83)	20	小学生以上	水泳大会に出場することになった足の不自由な少女なつみとその仲間たちの心温まる物語。なつみが通う分校は4年生がたったの5人しかいません。毎年本校で行われている水泳大会の組対抗リレーに分校の4年生も出るようになりました。しかし、水泳の苦手な信男は嫌がり、4人のメンバーが揃いません。新平は、なつみが出ることを提案しますが…。(アニメーション)
5-80	ぼっぼちゃんの目につき	40	小・高学年以上	聴覚障害というハンデを背負いながらも元氣一杯に生きる少女の姿を通して、障害児教育の在り方、障害児と家族とのかかわりなどを描く。外を歩くのが大好きなぼっぼちゃん(11)の周りでは、毎日、様々なことが起きている。ろう学校からの帰り道、草むらで死体を発見し、苦手な発声で警官に伝えようとするが理解してもらえない。  (文部省選定・教育映画祭最優秀作品賞)
5-81	ぼくの青空 (ビデオ有り：5-88)	26	小・高学年以上	原作は、難病・筋ジストロフィーに冒された大久保義人さんの闘病生活をつづった「僕の青空」。お母さんが、義人の異状に気づいたのは保育園の運動会の後だった。義人はすぐに足がもつれて転ぶようになる。病院でお母さんは、義人が筋ジストロフィーで後2、3年の命であることを宣告される。両親はあらゆる手を尽くすが、筋肉は衰えていく一方だった。(アニメーション)
5-82	分かりあうって素敵です ～聴覚障害者と コミュニケーション～ (字幕入り)	32	一般	聴覚障害者の雇用は、大企業を中心にかなり進んでいるが、その一方で円滑なコミュニケーションがとれないことなどから、離職を繰り返す人も多い。聴覚障害者が能力を発揮し、生きがいを持って働くためには、円滑なコミュニケーションは不可欠なものである。コミュニケーションの基本や企業で行われている様々な取り組みを紹介する。  (文部省選定・教育映画祭最優秀作品賞)
5-83	自転車通学のための 交通法規と安全な乗り方	20	中学・高校生	自転車事故の大きな原因として慣れからくる交通ルールの無視が挙げられる。そこからさらに危険な乗り方、無謀な行動へと進み、事故を引き起こすことになる。この作品では、中学・高校生の通学時にポイントを置き、自転車による事故例から事故の発生原因を分析すると共に、交通法規と自転車の安全な乗り方について基本に立ち返って考える。
5-84	自転車の乗り方・迷惑物語 ～自分勝手な人って、いるよね!～	21	中学生以上	自転車は、手軽な乗り物として広く利用されているが、交通ルールやマナーを守らず、自分勝手な走行をすると危険で迷惑な乗り物に変身する。この作品では、日常ありがちな危険で迷惑な自転車走行の事例を取り上げ、コミカルなタッチで自転車の正しい乗り方、守るべき交通ルールやマナーなどをわかりやすく解説する。  (文部省選定)
5-85	口口とモモの じしんとかじのおはなし	18	幼児	地震や火災などの知識や、災害時の実践的な避難のしかたを、幼児にもわかりやすく解説する。
5-86	街で生きる障害者と共に	30	中学生以上 一般	健常者と障害者が共に生きる社会を築くためには、健常者が障害者のかかえる様々な問題についてよく知り、障害者と直接ふれあうことが必要となってくる。この作品では、様々な活動を続けるグループと、そこに所属する人々を紹介する。  (教育映像祭優秀作品賞)
5-87	健康に生きよう 成長期の心と体をむしばむ アルコール (ビデオ有り：5-89)	21	中学・高校生	一般的な飲酒の害も描きながら、未成年者の飲酒の害をわかりやすく、興味深く描いた作品。  (文部省選定)
5-88	～健康に生きる～ NO! 薬物乱用	22	中学・高校生	覚せい剤と大麻を例に、その薬理作用を動物実験で、人体への影響をアニメーション、イラストで、また薬物依存、覚せい剤精神病、大麻精神病など、恐ろしい薬物乱用の害を分かりやすく描く。さらに薬物乱用の誘惑を拒否する訓練としてのロールプレイングの様子も紹介する。  (文部省選定)
5-89	大岡越前のお年寄りの交通安全	30	高齢者 一般	上州屋のお内儀を荷車ではねてしまった清吉は…。波乱に満ちたストーリー展開に絡め、お年寄りがうっかりと忘れがちな交通ルールや安全を守る上での心がけを解説。見事な大岡裁きに感心しながら、現代においての心がけを、楽しく学んでいく。
5-90	ぼくのお姉さん	36	小学生	障害を乗り越え、自立して生きようとする姉。姉を疎ましく思いつつ、心の痛みや苦しみを理解しようとする弟。その家族の明るい生き方を描き、家族の絆の素晴らしさ、障害者を正しく理解することの大切さを示す。さらに、障害の有無に関係なく、だれに対しても優しさや思いやりの気持を持つことの重要性を訴える。  (文部省特選・教育映画祭優秀作品賞)

## 【スポーツ】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
6-1	あなたの体力づくり	24	一般 スポーツ指導者	現代に生きる私たちは、おそろしいほどのスピードで進歩する社会環境に取り巻かれています。しかし反面、身体を使う機会がますます少なくなり、体力の低下を心配しなければならない時代になりつつあります。自分の体力に気をつけ、それぞれの年齢、身体に応じて、適度な運動を毎日すること、そして体力を改善しようとする意志と工夫が大切です。
6-2	スポーツは友だち	29	一般 スポーツ指導者	子どもたちが集団でスポーツ活動を行う場合、プログラムづくりが重要である。子どもたちの心と、体の発達を考えたプログラムづくりを、具体的なスポーツ少年団活動を通して考えていく。
6-3	世界の最新スキーテクニック	24	一般	世界23か国のスキー指導者たちが演出し、初歩から高度までの技術を系統的に組み合わせ、スキー技術の発展段階を解説する。
6-4	オリエンテーリングの基礎技術	21	一般	パーマメントコースをまわりながら、地図やコンパスの読み方など、これだけは知っておかなければならない基礎知識や基礎技術、上達のコツを描いた実践編。
6-5	心を結ぶ家族キャンプ	30	一般	多忙な日常の暮らしの中で、ともすれば見失われがちな親子の対話をとり戻す一家族。近所の人も交えて、素晴らしい自然にひたる喜びとキャンプの心得を説く。
6-6	楽しいバレーボール	30	一般	楽しく、色々な効用のあるスポーツも、実際にプレイするには、ある程度の基本的技術を身につけておかなければ、楽しさは半減する。そこで日本バレーボール協会の監修・指導のもと、どのように練習すればバレーボールが楽しめるか、その練習方法を描く。
6-7	楽しいテニス教室	24	一般	硬式テニスの基本技術をデビス・カップ日本代表、九鬼選手の指導によって描いた作品。各ポイントにはハイスピード撮影を用い、誰にでもコツが会得できるように解説する。初めて硬式テニスを始めようとする人、ビギナー用に最適の実践教材映画。
6-10	登山の第一歩 ～若人のための 登山シリーズ(1)～	20	一般	山は美しい。しかし、登るものの心がけ次第では危険な場所にもなる。山登りは楽しいことばかりではない。むしろ苦しみの方が多い。しかし、我々は山に登ろうとする…。それは、山が何かを持っているからである。この映画は、登山の第一歩として、さまざまな技術を解説するとともに、安全な登山の仕方を順序だてて説明してくれる。我々は何故山へ登るのか。スリルを求めるだけではやめた方がいい。
6-11	魔女のバレーボール ～技術の分析～	20	一般	1964年10月23日、東京オリンピック・女子バレーの部門で日本女子チームは栄冠を射止めた。この映画は、当時、東洋の魔女と世界におそれられた日本代表チームの個々の得意プレーを、サーブ、レシーブ、トス、スパイクなど、プレーを再演し解説をまじえながら説明する。「栄光への道は遠く険しい。この人たちは懸命の努力を重ねたのである」基本に立ち返った練習が必要と教えてくれる。
6-12	スポーツクラブ ～明るく豊かな生活のために～	29	一般	多くの人たちの間で、スポーツ欲が高まっている現在、身近な生活の中で継続してスポーツをとり入れるためのシステムとして、スポーツクラブが目目されてきている。この映画は、あるスポーツクラブの活動をとりあげて、その具体的な例を手がかりに、スポーツクラブとは何か、何をめざすものかを考え話し合う問題提起の形をとっている。
6-13	コミュニティスポーツのすすめ ～スポーツ指導員を中心に～	23	一般 スポーツ指導者	“みんなでスポーツ！”を標語に、国民総スポーツを展開している日本体育協会は、国民スポーツ振興策の一環としてスポーツ指導者養成事業を推進している。コミュニティスポーツ、体力づくりなどの各種のスポーツ活動の関心が高まりつつある昨今、普及振興の要となるのは、スポーツ指導者ではなかるうか。この映画は、日本体育協会が養成しているスポーツ指導員養成講習会、組織、活動を紹介する。
6-14	あるマラソンランナーの記録	63	小・高学年以上 一般	孤独に耐え、腰の痛み・足の故障を克服してきびしいトレーニングに励み、何のために、なぜこんなに走るのかを自らに問いながら今日も走ることをやめない。東京オリンピックを目指す、君原選手の苦闘の記録。
6-15	サッカーの神様 ペレの妙技 No. 1	31	小・高学年以上 一般	ボールと人間が美しいハーモニーを奏でるサッカーは世界のスポーツといわれている。この映画は、試合で効果的に発揮させるいくつかのプレーについてペレの最高の技術を提供し、指導することがねらいである。高度なテクニックを競う試合の模様を紹介する中で、ボール・ジャグリング、ドリブル、シュートなどペレの誇る天才的な技術の秘密を説き明かしている。
6-16	サッカーの神様 ペレの妙技 No. 2	29	小・高学年以上 一般	ボールはていねいに扱わなければならない。一人の選手がボールにさわるのは一試合に2～3分。この映画は、体中を使ったトラッピングの仕方、ヘディングの練習方法、パスの要領など、ペレの瞬間的な動きを映像にとらえその連続的な動作を追うことで、正しいボールさばきを学ぶことができる。

【スポーツ】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
6-17	サッカーの神様 ペレの妙技 No.3	22	小・高学年以上 一般	この映画は、ペレの技術の生かされた劇的な場面をとらえ、見る者の間に新しい感動と理解をよび起こす。ペナルティ・キックはいかにけるべきか(ける位置をきめ、それを変えないこと。ゴールキーパーをみないこと。)フリー・キック、ゴールキーパーのゴールキーピングの基礎、ブラジル独特のウォーミングアップ、11種目のサーキットトレーニングの方法などを解説していく。
6-18	海底をあなたのものに 第1部 基礎編	20	一般	〈水中での保健知識〉スキンドайビングを始める人々のために、必要な基礎知識とトレーニングの方法を紹介した映画。厳しい海の条件を楽しむものにかえ、海にもぐることのすばらしさを知るための基礎訓練の様子を描いたもの。耳ぬき・マスククリアー・スノーケルパイプ・ウェットスーツ・足ひれ。
6-19	海底をあなたのものに 第2部 すもぐり編	20	一般	〈潜水泳法の基礎知識〉自分の息だけで海中を楽しむための映画。余計なエネルギーをつかわないすばやくもぐる方法、すもぐりのときにおきる傷害、岩場から海に入るときの動作、砂浜から海に入るときの動作などを解説していく。
6-20	海底をあなたのものに 第3部 アクアラング編	20	一般	〈アクアラングの安全な使い方〉大自然の中で心を解放するためには、スキンドайビングほど適したものはない。私たちは、アクアラングによって海底からの美しいいざないに伝えることができる。この映画は、アクアラングの脱着訓練・エア・ステーション訓練・アクアラング潜水のときにおきる傷害などを解説していく。
6-21	楽しいスキー ～初心者のためのスキー～	18	小・高学年以上 一般	子どもたちのスキーは理屈ではありません。自由にのびのびすべり、雪と友達になることによって、自然なうちにスキーを覚えていくものです。初心者も、その子どもたちのようにのびのびとスキーをするうちに、スキーに必要なバランス感覚を身につけ、スキーを操作する要領を覚えることが、大切です。この映画では具体的なスキーの練習を楽しみながら、教えてくれます。
6-22	日本スキー教程	32	一般	スキー環境の近代化、用具の進歩にともなうスキーの技術向上は、スキーの楽しみ方の幅を大きく広げ、ますます多様化の傾向にあるといえる。80年代の新しいスキー指導法として改訂されたスキー協定の内容について、トップスキーヤーによる模範演技により解説する。
6-23	アルプスに翔ぶ	25	一般	フランスの元ワールドカップ、オリンピック出場選手らと日本人スキーヤー鈴木謙二郎がヨーロッパアルプスの山々で、スリリングなアドベンチャースキーを繰り広げる。
6-24	楽しいソフトボール	28	小・高学年以上 一般	スポーツは健康面、余暇の過ごし方の面、コミュニティづくりの上からも見直されている。この映画はそうしたスポーツを十分楽しんでもらうために、多くの人々に親しまれているソフトボールの基本技術を実感的に理解できるように解説している。
6-25	楽しいバドミントン	28	一般	バドミントンは多くの人々に楽しまれているスポーツである。基本技術を身につければ一層楽しくなる。シャトルを思いのまま、ねらった所に打つにはどうしたらよいかを、実感的に理解できるように解説している。
6-26	楽しい卓球教室 ～ラリーを楽しむために～	28	小・高学年以上 一般	卓球は手軽にできるスポーツだが、自己流に陥りやすく、そのため上達どころか反対に下手になることもある。この映画は、正しい基本技術を、元世界チャンピオン荻村伊智朗氏が実技指導をしながらわかりやすく解説している。
6-30	北壁に舞う	100	中学生以上 一般	世界三大北壁の最後の難関といわれるアルプスのグランドジョラ北壁を、1979年3月4日午前10時30分、日本人青年(長谷川恒男)が単独登はんし、成功した。その壮举を感動的に描いた長編ドキュメンタリーである。 (文部省選定)
6-31	楽しいラグビー教室 ～誰でもできるミニラグビー～	31	小学生以上 一般	ラグビーは危険なスポーツと思われがちであるが、誰にでも楽しめるものとしてミニラグビーがある。ラグビーのまったく経験がない人でも楽しめるように練習からゲームまでを、日本ラグビーフットボール協会前日本代表監督日比野弘氏が、わかりやすく解説していく。
6-32	夏山登山へのアプローチⅠ・Ⅱ	58	一般	大自然の美しさにふれ合う登山の楽しみは、他のスポーツでは見られない醍醐味がある。山登りをもっと楽しく、自分の領域を拡大してさらに広く色々な自然に接するためには、登山技術のマスターが大切。この映画は、オールロケで、無雪期登山のノウハウを基礎から解説する。
6-33	楽しいバスケットボール ～ミニバスケットボール～	26	小学生以上	小学校高学年で学ぶミニバスケットボールの基本技術を元ナショナルチーム監督の笠原成元氏による実技指導を通して、やさしく教える。指導者用の教材としても有効に活用できる。
6-34	マリンスポーツ入門 ～ヨット、スクーバダイビング～	21	高校生以上	マリンスポーツのうち代表的なヨットとスクーバダイビングを取り上げ、それぞれの基本的な知識と技術を、イラストやアニメーションを交えてわかりやすく解説する。 (文部省選定)

【平和教育】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
7-2	にんげんをかえせ (ビデオ有り：7-9)	29	小・高学年以上 一般	広島・長崎に投下された原爆のキノコ雲、投下後の広島・長崎市街地の様子、病院で手当を受ける被爆者の姿など、アメリカが撮影したフィルムを10フィート運動により収集し、記録映画として編集している。10フィート映画運動で製作が可能となった3部作の第1作。
7-3	世界の子らへ ～原爆・1980年 広島の人々は今～	50	小・高学年以上 一般	日本最初の全組織が統一された原水爆世界大会から始まり、その年劇的な試合で広島カープの優勝にわく広島市民からは35年前の「死の街」の傷跡などほとんど見られない。直接体験者はだんだん老化し、被爆二世、三世の時代に移っている。現存する原爆の語り部たちは、戦後生まれの子どもたちに自分たちの体験を証言していく。「戦争はなぜ起こるか。」と広島弁で訴える。
7-4	ひろしま	白黒 100	小・高学年以上 一般	「原爆の子」と同じ原作に題材を取っているが、こちらは原爆後日談ではなく、1945年8月6日当日の惨状に真正面から取り組んだ最初の劇映画である。原爆の悲劇がつづく広島市には、アメリカ兵とこれにむらがる娼婦たち、再軍備へ進む保安隊員の姿があふれ、軍艦マーチが街頭に流れていた。他方、二度と原爆を許すまいと歌声高く、原爆ドームへ向かう行進があった。
7-5	生きていてよかった	白黒 53	中学生以上 一般	映画は第1回原水禁世界大会で、被爆者救護の宣言を聞き、ある被爆女性が語った「生きていてよかった」を題名にとり、第1部「死ぬことは苦しい」、第2部「生きることも苦しい」、第3部「でも生きていてよかった」の3部構成から成る。広島・長崎での2ヶ月にわたる撮影で数十人の被爆体験者は苦しみを越えてカメラの前に立った。
7-6	広島・長崎 1945年8月	白黒 18	中学生以上 一般	「1945年8月6日午前8時15分17秒、広島に原爆が投下された。パイロットたちは眼下の庭に咲く花まで見えた…私は憶えている。いつも、いっしょだった友だち、彼女の姿は見えない。まわりはまっ暗。火のように赤い…」と語るナレーションとともに、広島と長崎の被爆直後に撮影された焼野原、悲惨な被爆者の実情がつぎつぎと展開され、広島・長崎の真実を事実の映像で訴える。
7-7	ノーモア ヒロシマ	20	中学生以上 一般	青い空に鳩の舞う広島市街。健康にすくすくと育つ原爆を知らない広島の子どもたち。平和そのものの広島を訪れた女優の磯村みどりさんの「この子どもたちの上に二度と原爆を落とさせてはならない」という呼びかけから映画は始まる。画面は一転して1945年8月6日の広島、その地獄の惨状。30年を経てその印象を語る被爆者たち。磯村さんは、そうした原爆の生きた証人たちをつぎつぎと訪ねた。
7-8	明日への伝言 (ビデオ有り：7-66)	7	中学生以上 一般	「子どもたちに、世界に！被爆の記録を贈る会」はアメリカ国立公文書館に眠る8万5000フィートを買い戻す「10フィート運動」を起こした。その運動を推進するために製作したパイロット・フィルムだが、これ自身が核兵器禁止を端的に訴える短編記録映画である。
7-9	予言 (ビデオ有り：7-38)	45	小・高学年以上 一般	10フィート映画運動で製作が可能となった3部作の第2作、米国から入手したフィルム、それに合わせ取材・ロケした現在のフィルムが約半々に使われている。今考えるべき核問題の本質を、アメリカ・ヨーロッパのフィルムをまじえる中で、すどく描き出している。
7-10	ヒロシマのうた	11	小・高学年以上 一般	兵隊からかえってきた男が、広島市の焼土で赤ん坊の泣き声を聞き、助ける。そして通りがかりの夫婦にその子の世話を頼んだ。その子、ヒロ子が17歳になった年の8月6日、男は17年ぶりに再会する。ヒロ子はその日、はじめて自分の生い立ちを知った。男はロゴもりつつ、少女に8月6日の出来事を語った。彼女はそのショックを乗り越えて、力強く生きていく。アニメーション映画。
7-11	灯(ひ)は生きていた	83	高校生 一般	原爆投下から30数年、あのいまわしい黒い雨を浴び、死んでいった人々、そして今年も、数人の犠牲者が生命を絶てていった。第二次世界大戦によってもたらされた、人類史上最も悲劇的な原爆被爆国日本と、ナチの侵略により、ユダヤ人の大量虐殺を受けたアウシュヴィッツ、ワルシャワ蜂起のポーランド。この映画は、この二国の映像による交流のかけ橋です。真の平和希求のドラマになっています。
7-12	ヒロシマ・ナガサキ 核戦争のもたらすもの (ビデオ有り：7-4)	45	中学生以上 一般	科学者たちの報告を集大成した書物「広島・長崎の原爆災害」に基づき、あくまでも科学的な視点から、原子爆弾による物理的破壊力及びその放射線障害など被爆の総合像を描いた記録映画である。(企画/広島市・長崎市)
7-13	おこりじぞう (ビデオ有り：7-73) (DVD有り：7-17)	27	小・低学年以上	昭和20年8月6日。広島市街はアメリカ軍によって落とされた原子爆弾によって一瞬のうちに焼け野原になりました。それから数年後の広島市の町に“おこりじぞう”と呼ばれるおじぞうさんがたっていました。その首は、元からのおじぞうさんの首ではないようです。それになぜ、おこった顔をしているのでしょうか。この映画は、小学校の教科書にも掲載された「おこりじぞう」を人形アニメーションにしたものです。  (文部省選定)

【平和教育】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
7-14	ピカドン	10	小・低学年以上	原爆、人びとはその時の太陽の百倍の閃光をピカと言い、ついでおそった衝撃波をドンと呼んだ。—これが、この短編アニメの題名の由来である。1945年8月6日の朝、戦時下とはいえ、広島市民はいつものような生活をはじめ、学校へ、工場へ、勤労奉仕へと出かけていく。アニメ作家木下運三・小夜子夫妻が核兵器への怒りと平和への祈りをこめて自主製作した初の原爆アニメーション映画。
7-15	迫りくる核の脅威	30	高校生以上 一般	毎年、広島で8月6日夜、原爆で犠牲となった人びとの霊をなぐさめるため、灯籠流しが行われる。しかし世界中いたるところでおそるべき大量殺人兵器が大量に生産されている。刻々と迫る核戦争の脅威を、世界中から収集した貴重なフィルムを編集して解説し、訴えかける短編記録映画である。核軍縮を促進するために国連の広報センターが製作したもの。
7-16	中学生日記 蒼空	30	中学生以上 一般	大人たちとはわかりあえないと、自分たちのカラに閉じこもろうとする中学生。彼らに対して大人たちは過去の鮮烈な体験を、そして生きてきた軌跡を語りつぐ事が出来るだろうか。夏の広島を訪れた9人の中学生たち。かつて彼らの親たちが彼らと同じ年頃に遭遇した戦争の傷跡が今もある。市内各地に点在する被爆記念碑、原爆ドーム、資料館、そして今なお身体の不調を訴える被爆者たち…。
7-17	歴史 ～核狂乱の時代～ (ビデオ有り：7-41)	115	中学生以上 一般	あれから38年の歴史とは、広島・長崎の人びと、人類にとって、そしてあなたにとっていったい何であったのだろうか。原爆製造マンハッタン計画を紹介しつつ、第二次大戦からベトナム戦争を経て、今日のMX、パーシングII、SS20の配備の実態をえぐり、同時に日・米・南太平洋の被爆者の苦しみ、怒り、そして行動を描き出します。  10フィート映画運動で製作が可能となった3部作の最終作。
7-18	トビウオのぼうややはびょうきです (ビデオ有り：7-74)	19	小・低中学年	1954年3月1日、太平洋ビキニの水爆実験を背景に、いぬいとみこさんが書いた童話をアニメにしたのがこの映画。ものがたりは、死の灰をかぶったトビウオのぼうやが病気になる、仕事に行ったお父さんの帰りを待っています。「お父さん、はやくかえってぼくのとぶのみてよ！」
7-19	もし、この地球を愛するなら (ビデオ有り：7-53)	26	高校生以上 一般	「今は核時代といわれますが、その始まりはアインシュタインが相対性理論を発見した時からです」と静かに話し始める医学博士ヘレン・カルデコット女史。医学的立場から、核問題の本質をわかりやすく説明。そして、もし、私たちが自分たちの生きているこの地球を愛するなら、人類の未来を考えるなら、今、何をすべきかを訴える。  (文部省選定・米アカデミー記録映画賞)
7-20	生きるための証言 ～いま、ヒロシマから～ (ビデオ有り：7-34)	63	小・高学年以上 一般	核狂乱の時代に、今まで39年間、語ることのなかった被爆者たちが、「今こそ、私たち被爆者が語らなければ、世界は滅びる！」「あの核の恐ろしさを伝えなければ死んでも死にきれません…」と、その被爆体験と、現在までの生活を初めて語りはじめた証言ドキュメンタリー。
7-21	世界の科学者は予見する 核戦争後の地球 第1部 地球炎上 (ビデオ有り：7-25)	30	小・高学年以上 一般	NHKが東西の世界科学者100人以上の協力を得、周到な調査取材と、最新の映像技術によって、核戦争が実際に起きたとき、どのような状況が地球上に現出するか？を生々しく予見して見せた空前のドキュメント。イタリア賞大賞など、国際的にも注目を集めた。
7-22	世界の科学者は予見する 核戦争後の地球 第2部 地球凍結 (ビデオ有り：7-26)	30	小・高学年以上 一般	第1部「地球炎上」は、核爆発の直接的な破壊力、人体損傷力を多角的に説明したが、第2部「地球凍結」では放射線被爆の後遺症を動植物実験で明らかにし、さらに恐るべき“ニュークリア・ウィンター”(核の冬)になる“地球凍結”の恐怖を訴える。
7-23	戦争 ～子どもたちの遺言～ (ビデオ有り7-40)	53	中学生以上 一般	過去の戦争、特に空襲による破壊と死をふりかえりながら、皆殺し戦争を告発し、今日の核狂乱の時代に警鐘を鳴らす映画。広島原爆資料館、ポーランドのアウシュビッツ博物館などの新撮フィルムと、東京大空襲を描いたアニメーションを組み合わせたユニークな作品。戦争の犠牲者はいつも子どもたちだった…53分の映像がそう語る。
7-24	おかあちゃんごめんね	25	小・中高学年	昭和20年7月10日、大阪・堺市では、大空襲によって1,860人が殺され、傷ついた人は970人を数えました。当時6歳だった浜野絹子さんの体験をもとに、早乙女勝元が一冊の本にまとめた、アニメ映画化された。アメリカの飛行機B29が雨のように降らせる爆弾。迫ってくる火の海。逃げ遅れそうになる絹ちゃんとお母さん…。しかしお母さんは全身の力をふりしほり…。
7-25	戦場ぬ童 (いくさばぬわらび) (ビデオ有り：7-36)	パート カラー 26	小・高学年以上 一般	沖縄戦40周年を記念し、沖縄戦の実態を戦争を知らない世代に伝え、今日の基地の島沖縄を見つめるドキュメント。米軍が撮影した沖縄戦の実写フィルムと、今日に残る戦跡と基地化の実態を記録したフィルムで構成し、反戦平和を訴える。

## 【平和教育】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
7-26	生きる ～その証しのために～	30	一般	ある胎内被爆女性の青春を追い、彼女の語りを織りませ、被爆女性のよるこびと悲しみ、人生への期待と不安を生きていきと記録した秀作。1976年のライプテヒ国際映画祭で絶賛をあげ、最高の金鳩賞に輝き国際的な反響をまき起こした。
7-27	赤い月の街 ～空襲襲～	35	小・高学年以上 一般	ヒロシマに隣接するかつての呉は、戦艦「大和」を建造するなど東洋一の軍事施設をもった海軍の基地であった。米軍の返還フィルムと、現在の若者たちが戦争の声を集録していく様子、空襲を再現した影絵等を織りませながら、空襲と戦争の実態を引きだしていくセミ・ドキュメント。
7-28	おかあさんの木 (ビデオ有り：7-52)	22	小・高学年以上 一般	7人の息子を持つ母親は、息子たちが戦場に行くごとに息子たちの名前を付けた桐の木の苗を植え、我が子のように大切にしていた。そんなある日、長男の一郎が戦死したという知らせがあった。そして…。大川悦男原作の同名著書のアニメーション化。子供のことを思う親の愛情を描き、戦争がもたらす悲劇と平和の尊さを訴える。  (文部省選定)
7-29	小さな証言者たち ～子供の目に映った戦争～ (ビデオ有り：7-35)	20	幼児 小・低中学年	1946年にポーランド教育省が、ナチスの残虐の歴史を記録に残そうと全国の小学生に呼びかけ、集められた絵と作文によって構成された作品。原作は画集「子どもの目に映った戦争」
7-31	100ばんめのサル (ビデオ有り：7-32)	20	小・高学年以上 一般	日本の南の国、幸島に住むサルたちの芋洗いの話を例にして、核兵器廃絶を願う気持ちをひとりひとりが自覚として持つよう呼びかけるアニメドキュメンタリー作品。
7-32	海 いま、トマホークが… (ビデオ有り：7-24)	13	一般	アメリカの核巡航ミサイル「トマホーク」とは何か。むずかしい解説抜きで、目でみて誰にでもすぐ理解できるようつくられた映画である。新しく入手した米軍用トマホークのフィルムを中心に、10フィート映画運動で集めた豊富な映像を編集。トマホークの説明だけでなく、核兵器の恐ろしさを訴える迫力のある短編記録映画。
7-33	世界の人へ ～朝鮮人被爆者の記録～ (ビデオ有り：7-60)	47	一般	朝鮮人被爆者の人たちの口から語られる重い言葉と、顔に刻まれたしわ、そして原爆による傷跡は、辛苦の歴史を雄弁に物語っている。日本のファシズムと原爆と、二重の苦しみに遭った朝鮮人被爆者。その悲劇を乗り越えてきた朝鮮人被爆者と、原爆と共に消えた朝鮮人被爆者の思いを世界の人に伝えようとする作品。
7-34	8月9日長崎	10	小・低学年以上	赤レンガの威容を誇った浦上天主堂の場面から始まる。そのきれいなスタンドグラスが映し出され、被爆前のナガサキの静かなたたずまいが紹介される。やがて上空にB29の機影が爆音と共に現われる。8月9日午前11時2分…。(アニメーション)
7-35	世界は恐怖する	白黒 80	中学生以上 一般	「生きていてよかった」の亀井文夫監督が相次ぐ核実験の怒りをこめ、放射能のおそろしさを化学的なデータと実験状況によって明らかにして、全世界に警告する長編記録映画。外国語版も製作され、海外でも大きな反響をまき起こした。(製作 昭和32年)
7-36	東京・ヒロシマ子ども派遣団 ～1986年～ (ビデオ有り：7-27)	31	小・高学年以上 一般	東京の小・中学生、父母、教師、140名が被爆地ヒロシマの地へ…被爆体験者は、原爆の悲惨さを子どもたちに証言していく。「いのちは自分の手で守るもの、平和はじっくり築き上げるもの…戦争は起こしてはならない。核兵器は地球に存在してはならない。」原爆資料館、慰霊碑、原爆養護ホーム訪問、三泊四日の平和の旅で「生命」の尊さに目覚める子どもたちを描いている。
7-37	雨はやさしく	11	中学生以上 一般	映画は、2026年12月31日朝、アメリカ、カリフォルニア州のある都会の核シェルター内にはじまる。原子炉で動く巨大なロボットが朝食を準備し、居住者を起こす。しかし、その声に応じる人はいない…。『核戦争後の地球』のアニメ版ともいえる作品で、私たちはそんな未来を選ぶかどうか。いま何をすべきかを問う作品である。
7-38	なっちゃんの赤いてぶくろ (ビデオ有り：7-28)	18	小・高学年以上 一般	西野綾子原作「小さな赤いてぶくろ」を素材に映画化したもので、友だちに贈るためベンチで赤いてぶくろを編んでいたなっちゃんが、突然の原爆に命を奪われてしまった話をアニメーションで描き平和の大切さを訴える。  (文部省選定)
7-39	核戦争	15	小・高学年以上 一般	映画は、「いつまでも平和な日が続くといいが…」と語る長生きのカエルの回想で日本の戦争の歴史をふり返っていく。そして兵器の移り変わりや戦死者の数を示し、最後に現代の戦争、核戦争によって生じる恐るべき事実を示し、私たちの住む地球が「核時代」のまっただ中にあることを描き、核の恐ろしさと平和の尊さを訴える。  (教育映画祭優秀賞)
7-40	かわいそうなぞう	17	小・低中学年	戦時中、動物園の動物たちが、軍部の命令で殺された話をもとに映画化したもので、動物たちの命を助けようとする人々と動物たちのふれあいをアニメーションで描いている。  (文部省選定)

## 【平和教育】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
7-41	天に焼かれる ～絵による証言～	17	小・高学年以上 一般	この映画は、被爆直後の惨状を描いた紙芝居を、最新のアニメ技術を駆使し、感動的な作品に仕上げたもので、人間の痛み、悲しみ、家族の愛情、そして原爆の恐怖を、絵とおして私たちに語りかける。
7-42	マヤの一生	25	小・低中学年	太平洋戦争の最中、日本の食料事情は悪化し、警察は村の犬すべてを殺すことを決定する。少年が飼っている犬マヤも人間と同じように、戦争のもたらす暗く悲しい運命からのがれることができなかった…。戦争の犠牲となって死んでいった犬マヤの一生をとおして、子どもたちに、戦争の悲惨さ、恐ろしさを訴えている感動のアニメーション映画です。  (文部省選定)
7-43	ひろしまのエノキ	20	小・中高学年	被爆した老エノキを、子どもたちが水をやったり、雑草をとったり懸命に努力をして、守り続けていく姿をとおして、生命と平和の尊さを描いている。(アニメーション)  (文部省選定・教育映画祭優秀賞)
7-44	沖縄戦 未来への証言	55	中学生以上 一般	沖縄戦の実写と現在の沖縄の姿をモニタージュして、沖縄戦の推移を追い、その実相を明らかにしていく。
7-45	夏服の少女たち (ビデオ有り：7-37)	30	小・高学年以上 一般	原爆死した少女が残したものは、ボロボロに燃えつきたあこがれの女学校の夏服だけだった…。この少女たちのアニメ物語と、原爆でボロボロに燃えた少女の夏服を今なお形身として守り続けている年老いた母親たちのドキュメンタリーとを合わせて、忘れることのできない原爆の悲劇を感動的に描く。
7-46	シー・キャット	20	小・低中学年	平成7年6月抜き焼きスリ替え 8月に入れ替え予定(平成9年5月入れ替え)  時は春。川に流されてしまったネコの子と、子をなくしたばかりのラッコの母親が出会い、親子となり平和な日々を送っていた。だがある日突然、人間たちの戦争により、平和は破られた…。という物語を通して、反核・平和への願いを訴える。(アニメーション)
7-47	樺太犬ゴン太・母をさがせ	25	小・中高学年	少年の父は戦死、幼い時に母と別れ、樺太犬ゴン太だけが母を知っている。少年はゴン太をつれ、北海道にいる母をたずねて引き上げ船に乗り込んだ…。(アニメーション)
7-48	せんすい艦に恋をしたクジラの話	15	幼児 小・低学年	この作品は、野坂昭如著「戦争童話集」におさめられている「小さな潜水艦に恋をしたかすぎるクジラの話」という物語をアニメーション映画化したもので、一頭のクジラの運命を一転させた戦争の愚かさや残酷さ、そして愛の大切さをふかく語りかけている。
7-49	さようならカバくん (ビデオ有り：7-42)	25	小・中高学年	昭和18年、空襲の際の危険を予測し、上野動物園でゾウをはじめトラやライオンなど数多くの動物たちが殺されていった。かろうじて生きのびた2頭のカバ、大太郎と京子は、昭和20年3月10日の東京大空襲のあと、ついに2年前の動物たちと同じ運命をたどることになる。しかも“絶食死”という最もつらい死にかたによって…。(アニメーション)  (文部省選定)
7-50	お母さんの声がきこえる ～平和な明日へ～ (ビデオ有り：7-65)	31	小・高学年以上 一般	現在、戦争を知らない世代の人口が7割以上を占め、満ちたりた生活の中で、もはや戦争は終わったという声さえ聞かれる。今こそ、戦争のおそろしさ、地獄のような惨状を、子どもや孫たちに語り継いでいかなければならない。この映画は、東京大空襲の数々の悲惨な体験をもとに、平和への強い願いをこめて生きぬいてこられた人々の記録をもとに平和賛歌を訴えかけている。  (文部省特選・教育映画祭優秀作品賞)
7-51	ながさきの子うま	27	小・低中学年	日本がアメリカと戦争をしていた昭和20年、広島にアメリカの原子爆弾が落とされた3日後の8月9日、長崎に再び原子爆弾が人間の頭上に落とされました。犠牲になったのは、人間ばかりではありません。命ある生きもの全てが犠牲になりました。その中には、母さん馬と幼い子馬もいました…。(人形アニメーション)
7-52	平和公園の碑はうたえている 原爆の子	53	小・中学年以上 一般	原爆により親兄弟を失った幼い少女が、叔母の家でなにごともなく十数年の月日を過すが、突然に襲った原爆症のため、さびしく死んでいくという物語を、アニメーションで描いている。  (文部省選定)
7-53	原爆ドーム物語	15	小学生以上 一般	「私は原爆ドーム。いつ、だれが、この名をつけたのかわからない」—こんなモノローグから物語は始まる。この映画は、原爆ドームの誕生から現在に至るまでを物語形式により、原爆被害の惨状を織り込みながら、ドームが見つめてきた戦争と平和を描いている。2度の修復工事を経た原爆ドームの持つ意味、私たち自身の未来への責任などを考えていく。

## 【平和教育】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
7-54	ヒロシマ 母たちの祈り (ビデオ有り：7-7)	30	中学生以上	原爆から生き残ったすべての母たち、そしてそれを見守り続けた母なるヒロシマの山河。そうした広い意味での「母」たちの声、悲しみ・怒り・苦しみ・叫びそして行動した「母」の祈りという形で、ヒロシマの今を見つめる。  (企画／広島市・(財)広島平和文化センター)
7-55	一つの花 (ビデオ有り：7-18)	23	小・中学年以上 一般	昭和19年の夏が過ぎ、ゆみ子のお父さんにも、ついに召集礼状がきた。兵隊に行くお父さんを見送りに駅に行ったゆみ子は、お腹がすいて泣き出してしまった。困ったお父さんは、ホームの隅に咲いていたコスモスの花を摘むと「さあ、一つだけの花、大事にするんだよ。」と言って汽車に乗って行った。(アニメーション)  (文部省選定)
7-56	ちいちゃんのかげおくり (ビデオ有り：7-19)	17	小・中学年	あまんきみ原作のアニメーション。戦場に行ってしまったお父さんに教えてもらったかげおくりをして遊ぶちいちゃん。戦争が激しくなったある日、空襲でお母さんとお兄さんにはぐれ一人ぼっちになってしまう。だんだん体も弱まりちいちゃんは、みんなに会いたくて一人でかげおくりをしようと、お父さんお母さん、お兄さんのかけが、空にニコリ笑っていた。  (文部省選定)
7-57	太平洋戦争と東南アジア (ビデオ有り：7-55)	29	中学生以上 一般	1941年12月8日、ハワイ真珠湾攻撃の2時間前、日本軍はマレー半島のコタバル上陸作戦を行っていた。また同時にタイ南部のシンゴラやバタニにも上陸し、シンガポールをめざして進軍していった。この作品は、マレーシアの日本軍による中国人虐殺で生き残った人々や、元日本軍兵士の証言などにより、太平洋戦争とは、東南アジアの人々にとって何だったかを検証する。
7-58	石の声 ～沖縄戦マラリア地獄の記憶～	24	小・高学年以上	1945年の沖縄戦では、弾雨によって20万人余りの尊い命が奪われたが、沖縄戦の犠牲者はそれだけではなかった。当時、八重山諸島の波照間島の島民は、マラリアの蔓延する西表島へ強制移住させられた。その結果、ほとんどの人がマラリアにかかり、人口の3分の1が犠牲となった。ふるさとを奪われマラリアの犠牲となった多くの人々の嘆きや怒りを、子どもたちを中心に描いたアニメーション。
7-59	つるののって ～とも子の冒険～ (ビデオ有り：7-20)	30	小学生以上	主人公は、小学6年生の元気な少女とも子。夏休みのある日、広島原爆資料館を見学したとも子は、原爆の破壊力と恐ろしさに圧倒され、重い足取りで記念碑「原爆の子の像」に行きつく。そこでいろいろなできごとが起こり…。この作品は、未来の大人たちに核兵器や放射能の恐ろしさと、平和づくりへ自ら参加することの大切さをアニメーションで訴える。
7-60	最後の空襲くまがや	29	小・低学年以上	1945年8月14日夜、第二次世界大戦最後の空襲を終戦前夜に受けた熊谷市の惨劇を、当時の記録や体験者の話・手記を忠実に参照して描いた短編アニメーション。  (文部省選定)
7-61	ヒロシマに一番電車が走った (ビデオ有り：7-29)	30	小・低学年以上	昭和20年のあの夏を生き抜いた少女の物語。「地獄に電車は走らん。だからこそ電車を走らせる。ここは地獄じゃないということ、皆に知らせて欲しいんじや…。」この言葉を胸に、女学校で学びながら路面電車の車掌を務める15歳の弥生は、一番電車に乗り込んだ。
7-62	みいちゃんのでのひら	22	小・低学年以上	3月9日の東京大空襲で、心には癒しがたい深い傷を負った森下の叔父さんと、お手伝いのみいちゃんの心の葛藤や感情のもつれを、当時12歳だった姪のきくちゃんが現在の時点から語り伝えるお話です。戦争は加害者でも被害者でも、人々の心に大きな傷痕を残すことを訴える。(アニメーション)
7-63	サヨナラはお乳の匂い	50	小・中学年以上	昭和20年8月9日、長崎に投下された原子爆弾。この映画は、原爆によって日常の幸せを壊された母と子の姿を、原作者である主人公・荒木正夫の目を通して静かに訴える。(アニメーション)  (教育映画祭最優秀作品賞)
7-64	ポッポちゃん和クリちゃん ～ヒロシマ・ナガサキのたび～	59	小学生以上	被爆50周年を記念して作られた作品。被爆当時のヒロシマ・ナガサキの瓦礫の街の様子を撮影したフィルムを、子どもたちにわかりやすくするため、アニメ・キャラクターのポッポちゃん和クリちゃんがガイド役に登場。親と子が一緒に鑑賞し、平和の大切さを継承していくために製作された。  (文部省選定)
7-65	第三の兵士 ～ヒロシマから世界へ～ (ビデオ有り：7-47)	26	中学生以上	1945(昭和20)年8月9日、赤十字国際委員会の在日首席代表として来日したマルセル・ジュノー博士は、原爆による広島島の惨状を聞き連合軍総司令部へ救援するように強く要請した。9月8日、博士は15トンの医薬品と共に廃墟の広島へ入り、自らも被爆者の治療にあたり、多くの被爆者が救われた。救援活動に携わった人などの証言を交えながら博士の功績を紹介する。

## 【平和教育】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
7-66	太平洋戦争と沖縄 (ビデオ有り：7-56)	35	中学生以上	1945(昭和20)年3月23日、アメリカ軍が慶良間諸島を攻撃し、本格的な沖縄戦が開始された。それから3ヶ月間、沖縄は地獄の戦場と化した。住民による集団自殺、日本軍による住民虐殺など多くの悲劇を生み、多くの尊い命が戦場に散った。この作品は、沖縄戦で生き残った人々の証言と記録フィルムにより沖縄戦の真実に迫る。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
7-67	おぼけ煙突のうた (ビデオ有り：7-23)	44	小・中学年以上	見る場所によって、4本、3本、2本、1本と違って見える「おぼけ煙突」。そのおぼけ煙突にロープを張って、空中を渡ろうという夢を抱く二人の少年。しかし、東京大空襲によってもろくも打ち砕かれる。戦時下の激しい状況にありながらも、明るくたくましく生きる東京の下町の少年たちの、抱いた大きな夢と友情と、平和と命の大切さをアニメーションで描く。  (文部省選定)
7-68	消えさらぬ傷あと 火の海 大阪 (ビデオ有り：7-48)	20	小・高学年以上	1945(昭和20)年、大阪に住む幸子は、父と母と2人の妹の5人家族で、幸せな毎日を送っていた。6月1日、大阪上空に数百機のB29が現れた。無差別に焼夷弾が落とされ、多くの市民がその犠牲となった。幸子の妹も犠牲となり、そして幸子自身も右腕に重傷を負った。大阪大空襲の体験者の声と実話をもとに戦争の惨めさと平和の尊さを訴えるアニメーション。  (文部省選定)
7-69	十六地蔵物語 ～戦争の犠牲になった子供たち～ (ビデオ有り：7-49)	26	小・高学年以上	戦時中の人種差別と疎開先で焼死した子供たちをもう一つの戦争の犠牲者として描く。昭和19年9月、大阪市にある国民学校の3・4年生は、徳島県に集団疎開することになり、朝鮮人労働者の子供である栄太もその中にいました。子供たちにとって疎開先での生活は、寂しくつらいものでした。ある日、子供たちが寝ていたお寺で火災が発生し…。(アニメーション)  (文部省選定)
7-70	君知ってる？首都炎上 ～アニメ東京大空襲～ (ビデオ有り：7-50)	18	小・高学年以上	1945(昭和20)年3月10日の東京大空襲は、一夜にして10万人以上の人が犠牲となった。その空襲を体験した3人の証言をもとに、その時の痛ましい惨状をアニメーションにより再現し、戦争で負った消し去ることの出来ない心の傷を伝える。
7-71	ぼくのいる街 ～写真集『銀座と戦争』より～ (ビデオ有り：7-51)	23	中学生以上	国民服を着た少年が、ゼロ戦のおもちゃを持って銀座の街を走る。1945(昭和20)年1月の空襲により死んだ少年が現在の銀座によみがえった。そして少年は思い出の場所を訪れる…。写真集「銀座と戦争」を映画化。戦前から敗戦直後の銀座の写真と現在の銀座の映像により、空襲による被害の大きさとその当時の様子を伝える。
7-72	～平和の使者～ 青い目の人形物語 (ビデオ有り：7-54)	30	小学生以上	昭和の初期、アメリカの宣教師シドニー・ルイス・ギューリック博士が渋沢栄一とともにアメリカの青い目の人形を「平和の親善大使」として小学校などに贈った。しかし、太平洋戦争の勃発とともにその人形は敵がい心をあおる格好の標的にされ、みせしめとして焼かれ、過酷な運命をたどった。青い目の人形を救おうとした子どもたちの物語。(アニメーション)  (文部省選定)
7-73	あの日—この校舎で ～50年前に被爆した ナガサキの記憶～	30	中学生以上	1945(昭和20)年8月9日長崎に原爆が投下された。救護所にあてられた新興善小学校(国民学校)には、約7千人の被爆者が運び込まれた。当時、看護婦や看護学生として救護にあたった人、その学校に通っていた人たちが眼にし、耳にした悲惨な体験を証言する。そして、その証言を通して、被爆体験を次の世代へと語り継ぐことの重要性を訴える。  (文部省選定)
7-74	太平洋戦争への道 中国大陸侵略 (ビデオ有り：7-61)	30	中学生以上	1929(昭和4)年、突如の株価暴落により世界恐慌は始まり、日本経済もその影響を受けて行き詰まる。その状況下で、豊富な資源を持ち日本経済を支えていた満州は、日本の生命線と位置づけられた。そして、満州事変、国際連盟脱退、泥沼化する日中戦争と、日本は太平洋戦争への道を進んでいった。日清戦争から太平洋戦争までの中国大陸を舞台にした歴史をたどる。
7-75	タイコンデロンガのいる海 (ビデオ有り：7-57)	25	小・低中学年	1965(昭和40)年12月5日、沖縄近海で米軍の空母・タイコンデロンガに搭載されていた攻撃機が水爆を装備したまま海に沈んだ。ある日、海が濁り、悪臭を放ち始め、南の島は大騒ぎになる。島の少年・アカシは助けを求めくじらの声を聞く。アカシがくじらに連れられていった所は、恐ろしい死の海だった。そして、くじらの母から、海を腐らす魔物の正体を聞く。(アニメーション)
7-76	太郎と花子 ～がれきのにほんれっとうのたび～	50	小学生以上	太平洋戦争末期、アメリカ軍の空爆によって日本の主要な都市はがれきと化し、多くの人々はその犠牲となった。空襲後の都市の様子を記録した映像により、沖縄から北海道室蘭市までをアニメ・キャラクター・太郎と花子を案内役に訪れる。平和の大切さを継承することの必要性を訴える。(文部省選定)

## 【平和教育】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
7-77	ビルマの竖琴	43	小・高学年以上	太平洋戦争末期のビルマ戦線に、隊長が音楽家の小隊があった。水島上等兵は竖琴の名人だった。終戦となり小隊は収容所に入れられたが、水島だけは、敗戦を信じず戦い続ける日本軍を説得するため、戦地へ向かった。隊員は水島の帰りを待つが、戻ってこない。小隊は日本へ帰れることになった。隊員は方々を捜すうち、僧侶となった水島と再会する。(アニメーション)  (文部省特選)
7-78	あおよ かえってこい ～東京大空襲～	20	小・低学年以上	昭和20年、東京。ベガサスに思いをはせる少年は、運送店の小馬・あおをとともかわいがっていた。そして3月10日、アメリカ軍の空襲により、多くの人が戦火に包まれた。それは少年とあおをも襲う。少年は薄れる意識の中で、ベガサスになったあおに乗り、火の海を飛ぶ夢を見る。意識を取り戻す少年。あおは、少年をかばうように死んでいた。(人形アニメーション)  (文部省選定)
7-79	～朝鮮半島～ 植民地支配の実態 (ビデオ有り：7-64)	28	中学・高校生 一般	日本の朝鮮植民地支配は、強制連行などの労働力の収奪のみならず、創氏改名などにより民族の誇りさえも奪った。数々の証言をもとに、その歴史的事実の検証とともに、在日韓国・朝鮮人への偏見と差別の根源に迫る。
7-80	実験場の家	81	中学・高校生 一般	数万人の人々が住んでいた太平洋クワゼリ環礁の島々は、30年前にアメリカの秘密ミサイル実験場にされた。多くの島々から人々はひとつの島に集められた。伝統的な生活を破壊された人々の悲惨な生活を描く。
7-81	とべとべひよこ	21	小・低中学年	幸子は迷い込んだにわとりを飼っていたが、ある雨の日に突然死んでしまう。悲しみに泣く幸子に、隣家の画家のおじさんが戦争中にもっとかわいそうな殺され方をしたにわとりの話をし、慰める。幸子は元気づけられ、平和の大切さを告げに新学期の学校に急ぐのだった。(アニメーション)
7-82	増大する放射能 (ビデオ有り：7-68)	9	中学・高校生 一般	牛、馬、犬、うさぎなどの動物を使った模擬実験フィルムを通し、中性子爆弾の恐ろしさを訴える。
7-83	太郎と花子 ～東アジアのたび…～	55	小学生以上	戦争で大きな被害を受けた東アジアの国々を、アニメ・キャラクター・太郎と花子を案内役に訪れ、南京大虐殺、沖縄戦、原爆投下、朝鮮戦争、ベトナム戦争などを記録映像を通して検証していく。
7-84	はとよひろしまの空を (ビデオ有り：7-71) (DVD有り：7-6)	21	小学生	太平洋戦争末期、家族とかわいがってくれた飼い主の少年を原子爆弾で亡くし、一羽残されためすの子鳩は、やがてやさしいおす鳩に出会い、愛の巣をつくりともに卵をかえそうとするが…。焼け野原となった町を必死で生き抜こうとした鳩の姿を通して、命とは、平和とは何かを問いかける作品。(アニメーション)  (教育映像祭優秀作品賞)
7-85	日韓併合への道 (ビデオ有り：7-67)	30	中学・高校生 一般	江華島事件や伊藤博文暗殺、そして併合後の3・1万歳運動など、日韓併合へと至る道のりを、長期韓国ロケーションで描く。現存する遺跡、資料映像や証言などをまじえながら、歴史的事実とその背景を明らかにしていく。
7-86	太郎と花子 ～アウシュヴィッツのたび…～	43	中学・高校生 一般	アニメ・キャラクター・太郎と花子を案内役に、アウシュヴィッツ、マイダネック等の絶滅強制収容所、ワルシャワ・ゲットーを訪れ、かつてこれらの場所で起こった悲劇を、記録映像を織り交ぜながら検証していく。  (文部省選定)
7-87	まっ黒なおべんとう	49	小学生以上	県立広島第二中学1年生の折免しげる君は、建物疎開作業現場で被爆しました。翌日、しげる君を探しに行った母親が、弁当箱をおなかの下に抱えるような姿の遺体を発見しました。しげる君が食べるのができなかった弁当は炭化してまっ黒になっていました。この弁当箱は、広島平和記念資料館に展示されています。(アニメーション)
7-89	太陽をなくした日	19	小学生以上 一般	今日もセミは鳴き、寺の境内では子ども達のにぎやかな歓声がありました。あの瞬間までは…。原爆投下前の『日常』を柔らかいタッチで描き、それらを破壊する原子爆弾の爆風シーンは、様々なデータから再現しています。広島から世界へ発信するピース・アニメーションです。

## 【児童劇】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
8-3	あの空のはてに響け	45	小・中学年	思い出の曲く家路>を吹いて父の面影を求めている少年と、トランペットの美しいメロディーに魅せられた子どもたち。その少年が彼等に励まされ、元気になっていく姿を感動的に描き、友情の美しさ、悲しみを乗り越えていくことの大切さを考えさせる音楽映画超大作。
8-4	鍾乳洞と三人の少年達	32	小・中学年	洞窟探険に出かけた3人の少年は、たまたま3億年前の化石を見つけもつと大がかりな探険を計画する。アルバイトをやって資金をため、マラソンをして体力をつけ、ロック・クライミングの練習まで積んで鍾乳洞に再びいどむのだが…。 (文部省選定)
8-5	赤いお月さま	45	小・中学年	古いハンドバックとその中にあった「赤い月」という名の金せん花の種が、公子に終戦直後の苦しかった生活と一人の友の記憶をよみがえらせた。彼女は戦災孤児の疎開つ子。その友にまつわる美しく、感動的な物語を通して戦争の残酷さと平和の尊さを描く。
8-6	炎よ創れ	34	小・高学年	窯業を家業にしている笠戸家の孫に、重大な試練となる問題が続いて起る。焼物を心から愛する祖父、子どもの教育に腐心する父母達が彼を温かく見守り、励ましながら物語は進む。この三世代の交流を通して真に価値あるものを考えていく。 (文部省選定・教育映画コンクール金賞・教育映画祭最優秀作品賞)
8-7	涙なんか飛んでいけ	45	小・高学年	突然父を失って小6の重雄の環境はガラリと変わった。母が働きに出ることになったから、妹の面倒も見なくてはならない。新しい学校にいたいじめっ子。彼のいやがらせが妹にまで及ぶ。そうしたさまざまな難問に敢然として立ち向かう重雄の生きざまが快い感動を呼ぶ。 (文部省選定・優秀映画鑑賞会推薦・厚生省中央児童福祉審議会特薦)
8-8	ぼくとギターとおじいさん	43	小・中学年	絶対に立ち読みを許さない本屋の雷おやじ。算数がきらいで音楽が大好きな少年は悔しくてたまらない。ところが、そのおじいさんは元音楽家で優しい心と素晴らしい青春を持っていたのだ。ギターが取り持つ心温まる友情の中で、感動的なドラマが展開する。 (文部省選定)
8-9	はばたけ！天平	42	小・中学年	粗暴だった天平の心に愛の灯をともしたのは何か。パチンコで撃ち落した鳩の死を乗り越えて、天平はレース鳩の飼育に熱中する。どんなに遠い所からでも帰ってくる鳩に母への愛情をダブらせながら、天平の心の成長を描き出す。 (文部省選定・教育映画祭優秀賞)
8-10	希望の船	35	小・中学年	船上生活者の生活記録をもとにした作品。3人の子どもは、通勤・通学のために陸上生活をしていて、家族9人が一つの家に集まるのは盆か正月しかない。しかし、離れていても親子のきずなは強く結ばれている。そういう温かく心豊かな親と子の姿を感動的に描く。
8-11	ぼくはSLをみた	46	小・中学年	山口線のSLを撮りに東京から一人旅立った鉄道マニアの少年と盲学校の寄宿舎から我が家に向かっての一人旅に挑む少年が鈍行列車で道づれになった。そこで芽生えた友情。ダイナミックなSLの魅力と2人の心温まるふれあいが見事な感動を盛り上げていく。 (文部省選定・教育映画祭優秀賞)
8-12	おじいちゃんのおくりもの	42	小・中学年	困難に屈することなく、家族や村の人たちの温かい心のふれあいと助言に守られて、最後まで「おじいちゃんの松茸の代」を探すさとし。強い意志とやり遂げた満足感を明るく、美しい八ヶ岳山麓を背景に描く。 (文部省選定・文部大臣賞・教育映画祭最優秀作品賞)
8-13	ひみつのかたつむり号	40	小・中学年	子どもらしいいたずらや遊びを知らない現代の子どもたちに、空想の楽しさを存分に味わってもらおう児童劇。同時に遊び場問題や子どもの世界をのぞく手がかりとして親子で楽しめるドラマ。タツオとアキラはクラスのカキ大将だ。その中に弱むしのタカシを加えて「ボンコツ車」を3人の秘密の基地にした。ペンキをぬったり、いっしょうけんめい整備したカタツムリ号にのった3人の夢は無限に広がる。
8-14	カミキリムシ救助隊	12	幼児 小・低学年	カミキリムシが、力を合わせて森にすんでいる虫たちの生命を守って大活躍するドラマ。おとなも、子どももいっしょに楽しめる映画。主人公は、子どもたちに絶大な人気があり、愛嬌のある顔をしたカミキリムシ。カミキリムシのユーモラスな動きは、ドラマのコミカルな展開にぴったり。

【児童劇】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
8-15	インダイしまごろう	38	小・中学年	広い海で自由に育った一匹のインダイが、ふとしたきっかけで水族館で訓練を受け、巧みな芸を披露する。そのインダイの訓練にとりくんだ青年とそれを見守る少年の暖かい心のふれあいを通して、海に生きる生物と、その母なる海への愛をうたう。本格的な水中撮影をまじえて、インダイの生態をとらえ、海的美しさを描き出し、生命の尊さ、動物愛護を訴えている。
8-17	竹とんぼの空 ～ともだち～	25	小・高学年	助け合いの実践にあたって、その根本となるべき“相手の立場の尊重・人の能力を認めよう”ことの重要さを訴える。算数が苦手なぼくの友だち。でもいいじゃないか。ぼくの足りないものをたくさんもっているんだから。おかげで、ぼくは勉強よりももっと大事なことを教わった。ほんとうの友情と助け合いのあり方…。
8-18	ぼくの変身 ～やりぬく心～	30	小・中学年	鉄棒やとび箱運動が苦手な子どもが挫折感におそれながらも、友人たちに励まされ、弱い心にむち打って、それを克服していく姿を描いたもの。 (文部省選定)
8-19	わたんべえとすばらしい仲間	40	小・高学年	級友の心臓手術という出来事に、クラスのみんなが相手を思いやり、行動していくあたたかな心のふれあいが、笑いと涙と緊張の連続の中から、ほのぼのと伝わってくる感動の物語。「仲間はずれを作らない」ことを、クラスのモットーにしている6年2組の明るく健康的なクラスメートの心の交流を「わたんべ (渡辺和彦君の愛称)」の心臓手術という出来事を軸に楽しく描いていきます。 (文部省特選・教育映画祭最優秀賞)
8-31	わが家の好敵手	41	小・高学年	山川梨香は小学校6年生で、大変陽気な少女である。梨香の家は4人家族で、父と母と弟はいずれも明るい性格でユーモラスな一面を持っている。梨香を中心に展開するこの物語は伸び伸びとして明るく、開放的で、ユーモラスである。しかし、その中には親と子の心の結びつきや、父と母、男と女、しつけのきびしさとやさしさなど、数々のエピソードの中から家庭のあり方や親子の関係を教えてくれる。
8-33	ダンプの母さんと6人の子どもたち	41	小・中学年	ダンプトラックの運転手をやっているお母さんが突然2人のみなし児をつれて帰り、1年生から6年生までズラリと揃った6人兄弟、彼等が巻き起こす波瀾万丈の生活模様、そしてたくましいダンプ母さんのわけへだてのないやさしさ、思いやり…というドラマを楽しく、壮快に涙と感動をこめて描き出す。
8-35	わんぱく漂流記	57	小・中学年	忘れられた夢と冒険へのいざない。漁師の子ケンを中心に4人の友だちと夏休みで別荘にきていた都会の子らが仲間になり、ひそかに沖をひとまわりしようと漁船で乗り出した。ところが故障が起き、7人をのせたまま太平洋を遠く流されていった。数日後、流れついた無人島でわんぱく7人の生活がはじまる。
8-36	チビ六二死満塁	51	小・中学年	課題図書としてベストセラーになった作品の映画化。野球のピンチだけでなく、チビ六が迎えた初めての人生のピンチ。悔し涙にくれ、悩んだり考えたりチビ六が人間として大きく成長していく過程を描いていく。苦難をのりこえる勇気と、明るい希望を与える。
8-37	あしたの空は青い空	46	小・中学年	手足も言葉も不自由な先天性脳性小児マヒの少女が書を志し、友だちや大人たちの暖かい思いやり、家族のはげまして障害にも負けず元気にあかるく成長していく姿を描いていく。 (文部省特選・教育映画祭優秀賞)
8-38	故郷(ふるさと)は心の中に	51	小・中学年	この映画はかつて蒸気機関車の機関士だった老人と、その孫である少年との心のふれあいを通して、ある家族の心の絆を描いた作品である。少年の母との気まずさから家出する老人、子ども達が追って行く少年の心のやさしさが一つの家庭を救う。
8-39	海のあした	54	小・中学年	氾濫する児童文化財の洪水の中で、ともしれば甘やかされがちな現代の青少年に強くたくましく生きることの意味を訴えます。この映画の主人公は、海で育つやんちゃ坊主。漁師の父は海水汚染や資源減少などのつらい現実にもめげずに一家の生活をささえています。腕の良い海女の母親とほがらかな姉に囲まれて少年は生きることのきびしさを身につけながら成長します。 (文部省選定・教育映画祭最優秀賞)
8-40	お父さんの宝島	41	小・中学年	島の測候所に勤める父に会いに行った明は父には会えなかった。しかし島の子どもにあずけた一枚の宝の地図、それには「お父さんの宝島」と書かれてあった。汗と涙の末に、子ども達が探しあてた「父さんの宝物」とは？—あの日の空と、そして君こそ、父さんの宝…。父親のあたたかい愛が、夕映の空にひびいていく。本当の父親の価値と役割を素直に見直し、感動と共に思い起こさせる。

## 【児童劇】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
8-41	ムシムシ海へ行く	15	幼児 小・低学年	まだ海を見たことのない6びきの虫たちトロンボ、クワガタムシ、カミキリ、キアゲハ、カフトムシ、カナブンたちが川の流れの先のほうにある海にむかって命がけの冒険旅行に出かけていく。生きている虫たちがくりひろげる愉快なドラマ、明るい笑い。みんなが知っている虫たちが、自由に動きまわっておはなしを作ったおもしろさがあります。
8-42	まいごのテントウムシ	18	幼児 小・低学年	ほんものの虫たちがスターになってくりひろげる楽しいお話です。登場する虫たちの特徴や習性も観察できるよう配慮されています。ややもすると、虫の世界から遠ざかりがちな現代の子どもたちに、またとない贈りものになるでしょう。テントウムシは集団越冬をしながら春をむかえます。秋の終わりになると暖かい場所を求めて移動します。その時、一匹が取り残されてしまいました。
8-43	かんいりオタマジャクシ	18	幼児 小・低学年	日ざしほっかり、ねむくなるような川の中、散歩に出てきたザリガニばあさんにマツモムシとゲンゴロウが声をそろえて言うことは「水草ジャングルには、行かないほうがいいよ。」しかし、ザリガニばあさんはまだまだ元気、平気な顔をして出かけていったが、奥からフナが逃げてきて、「不気味な声が聞こえるよ」と言った。そこでみんなが見たものは…。
8-44	カマキリのおじぞうさま	12	幼児 小・低学年	どじなカマキリは、いつも腹ペコです。それは、いつももう少しのところで獲物を逃がしてしまうからです。ある日のこと、リスがおじぞうさまのお供え物を食べていました。それを見たカマキリは自分もお供え物をたくさんもらおうとして、おじぞうさまを造ることを思いつきました。子ども達に人気があり、親しみを持たれているカマキリがくりひろげる楽しいドラマです。
8-45	てんぐ祭りとかぎ大将	45	小・高学年	秩父の山ふところのある村。ここでは250年の昔から楽しい子どもの火祭りが今なお毎年続けられています。この日は山からてんぐ様が降りてくるといふ伝えられ、小学校1年生から中学生までの男子が大人の手をかりずに、山から木を伐り出し、てんぐ小屋を作るのです。最上級生の一人が“かぎ大将”とよばれるリーダーになり、ほぼ1か月の間、日曜日ごとに集まって、小屋作りに励みます。
8-46	バトンはVサイン	51	中学生	複雑な家庭の事情から、人間不信に陥り、長期欠席や家出をくり返す女子中学生と、彼女を立ち直らせようと努力する、級友や新任の女性教師をめぐる物語です。思いやりや、いたわりの大切さ、みんなで手をとり助け合っていくことの尊さを描き、傷つき孤独に落ちこんだ心も、周囲の人々のひたむきな、温かい励ましの中でこそ、立ち直っていくことができるのではなからうかと訴えます。
8-47	ちびでか物語	42	小・高学年	5年2組のクラスに、丸々と太っている大山雄三が転校してきた。大山は、その体形から、クラスみんなに、さっそくデカ三というアダ名をつけられる。大山の席は小松健吉のとなりと決まったが、小松はねずみのようにすばしくて、小さいためデビ健とアダ名されていた。その後、学級内でいろんなことが起るが、2人で助け合いながら生活していく。その後、小松君が転校することになった。
8-48	イルカと少年	45	小・高学年	太平洋の荒波が押し寄せる紀伊半島の南の端、潮岬。その町の小学校5年生の和田源太君が主人公です。美しく青い海を背景に一人の少年と一匹の迷い子のイルカとの愛情を描いた珠玉の児童劇映画です。大勢の児童に、海について、海の自然と人間のかけり知れないかわりについて、少年と傷ついたイルカの交流を通して少しでも興味を抱いてもらう糸口になればと考え製作されたものです。
8-49	お兄ちゃんとぼくの七転び八起き	43	小・高学年	坂口健一君は小学校5年生、一人っ子の甘えん坊である。しゅくだいはわすれる、遅刻はする。クラスの班のお荷物的存在である。一方、二子山部屋で修業にはげむ梅の花俊吉君は、相撲界に入って1年目、1年生である。2人は、ふとしたことで知りあい、男と男のつき合いをしていこうと約束する。なにをやっても失敗ばかりする2人は、互いにはげまあいながら頑張っていこうとするが…。  (教育映画祭優秀賞)
8-50	青い目の人形	48	小・高学年 中学生	日米友好のかけ橋にとアメリカから人形が贈られて来たのが昭和2年のことでした。アメリカのお母さん達が作った約1万2千もの人形は全国の小学校・幼稚園に贈られたが、日米開戦とともに次々に処分されていきました。しかしその中に愛の手を守られて生き残った人形がありました。子どもたちに「平和」という言葉を実感させる格好の素材にフィクションを加え、友情・優しさを感動的に織り込んだ作品。

【児童劇】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
8-51	さようなら子ネコちゃん	41	小・高学年	学校へ行く途中の道端に捨てられていた一匹の子ネコ。それを拾いあげた子どもたちの家庭は？あずけられていた母と子は？子ども達は、一匹の子ネコを飼うことによって、人間と動物のつきあい、友だちや家族、また見知らぬ人びととの、いわば人間関係を発見していく。その素朴で活力あふれる姿をいきいきと描く。
8-52	フララ・フララ物語	58	小・高学年	同い年のアキに優しく迎えられてハルはようやく元気を取り戻した。彼女はつい先日父や兄と別れて母の実家、長野県にたった一人でやって来たのだ。介護に疲れ果てて、ハルの母は命を狭めてしまった。その介護された老人は特別養護老人ホームに生活している。だからハルはお爺さんが憎かった。そういう彼女の心を動かしていった太陽の様に心温かい人達との感動的な物語である。
8-53	ブルドンズがんばる	50	小・中高学年	花子はちょっと勝気な小学校6年生の女の子だ。母をなくし父と妹の3人暮らし、父の買ってくれたテニス道具も道路・公園がオブリットでつかえない。やっとみつけた工場近くの空き地も同級の犬五郎たちの野球チーム“ジャガーズ”とトラブルが絶えない。口争いのはずみから“ジャガーズ”と女の子のチーム“ブルドンズ”が野球の試合をして勝った方が空き地を領有できることになった。
8-54	子だぬき愛情ものがたり	55	小・中高学年	山道で自動車にはねられ、大けがをした野生の子だぬきを救った長距離トラックの運転手と獣医の心温まるエピソードの映画化です。生きものに対するやさしい心の大切さ、人間と動物が共存共栄していくことの重要性、そして約束を守ることがいかに貴重な行為であるのか、といったことをドラマの中で訴えかけていこうとしたものです。
8-55	翔べオオムラサキ	49	小・中高学年	ある夏の日、広島県福山市に住む少年が、父のトラックに乗って県境まで行った帰りの山道で一羽の蝶が突然トラックのフロントガラスにぶつかかり、ふっ飛ばされていくのに遭遇した。少年はその蝶を拾い上げ、家にもち帰り園鑑で調べてみたところ、日本の国蝶オオムラサキとわかった…。日本の国蝶オオムラサキは絶滅寸前の状態にある。小さな命の尊さを見つめながら、自然愛護の心を訴える。
8-56	吉四六（きっちよむ）ばなし ～吉と助とふるさと～	43	小・高学年	江戸時代の終わり、九州豊後の国に“吉四六さん”と呼ばれるゆかいな農夫がいました。反骨精神に富み、持ち前のユーモアとトンチをもつ吉四六さんと、その子どもの吉と助が欲張り庄屋をギャフンといわせる民話の劇映画。 (文部省選定)
8-57	ぼくのロボット ～科学クラブの子どもたち～	45	小・中高学年	この映画は、ある児童館の発明クラブに通う子どもたちが、自分たちの生活の中から創意工夫をこらして、ものを作り上げていく苦しみや喜びを、明るくユーモラスなタッチで描いている。
8-58	ぼくの熊おじさん	46	小・中高学年	音楽好きの焼き芋屋さんが内気な少年の心を大きく変えた。家庭や学校では学び得なかった町のおじさんの素晴らしい人生指南…。涙と笑いが渦巻く楽しいドラマ。体と本音をぶっつけ合う中で、少年は積極的な生き方を身につけ、豊かな心を培って行く。 (教育映画祭最高賞)
8-59	長くつしたのピッピ	84	小・中高学年	ある小さな町に、10歳になるピッピという世界一カ持ちで、空を飛んだりする不思議な女の子がすんでいた。ピッピは、猿のニールソンと馬のおじさんと一緒にゴタゴタ荘という名の家に住んでいる。すぐ隣の家には、仲良しの、トミーとアニカが住んでいるが、ピッピは、一人ぼっちのみなしごだった…。(リンドグレン原作)
8-60	ピッピの新しい冒険	84	小・中高学年	リンドグレン原作の「ピッピ船にのる」を二部に分けた前編に当るもので、一本の作品として十分完成しており、ロケ地スウェーデンの自然と、ピッピの天衣無縫な活躍は、大人、子どもを問わず、見る人すべてを夢と冒険の世界へつれていってくれる。
8-61	小人になったポッパー博士	62	小・中高学年	コール・ストリート・スクールの科学主任教授ポッパーと、優秀な生徒サイモンの二人は、ポッパー教授が完成した「物を収縮する薬」の解毒剤の方式を勉強していた。ところが二人とも薬を間違えて飲んでしまい、みるみるうちに背丈が5センチに縮んでしまった…。 (イギリス映画・日本語発声版・文部省選定)
8-62	とべ！ぼくの白鳥	44	小・中高学年	母を失い傷心の都会の少年が、この白鳥の町（新潟県水原町）へやって来て、白鳥と触れあひ町の子どもの友情に支えられながら自然をいづくしむ心や野鳥の愛護に目ざめ、自分自身も白鳥のように、たくましく成長していく姿を美しい冬の瓢湖を舞台に楽しく描く。 (文部省選定・教育映画祭優秀賞)
8-63	春風の子どもたち	49	小・中学年	中3の円空を筆頭に円忍・円雲・円海・そして小学校1年の円月という5人兄弟、いずれ劣らぬヤンチャ小坊主が大活躍。山奥の貧乏寺の住職夫婦とその子ども達が醸し出す春風の様に温かな物語。花岡大学の作品を元に兄弟愛と親子の情愛をユーモアとペースを交えて描く。

## 【児童劇】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
8-64	やえちゃんとわたし ～わけへだてのない心～	31	小・中高学年	だれでも善い心をもちながら、いざという時、弱い心に負けてしまうことがある。人間には、善い心をふるいたさせるための真の勇気が必要である。この映画では、いじめる立場の子どもの心の移り変わりを描くことにより、真の勇気とは何かを考えさせ、勇気をもって、わけへだてのない仲間づくりをすることの大切さを教えようとしている。
8-65	咲ちゃんのおふる屋さん	43	小・中高学年	かつて、前の学校でいじめられたことのある咲子が、転校した学校で同じクラスになったいじめられっ子と、一緒にイモを植えたり、おふろに入ったりして仲良くなり、最後には、クラスにいじめっ子、いじめられっ子もいなくなるというユーモアあふれた作品。
8-66	お母さんにVサイン	45	小・高学年	マラソンには目標があるし、走り遂げた時の充実感は何ともいえないと、早朝マラソンに挑戦を始めたお母さん。その根性に刺激されて、敢然として弱者いじめに立ち向かうピン子ちゃん。それぞれが自らの成長を目指して明るく生きる母と子の心温まる物語。
8-67	走れ！ぼくの小さな友だち	47	小・中高学年	子どもたちが捨て犬ちゃんを発見した時、だれもが「飼いたいな」と考えた。このままでは死んでしまうし、皆、犬を飼える状態にない…彼等が小犬に心を寄せ、交流を重ねていく様子を情感豊かに描き、生あるものに対する限りない愛情を培っていく。
8-68	とうふ屋かあさんと その子どもたち	48	小・中高学年	4人の子どもを一人前にするまではと、右ひじの痛みをおしてがん張る豆腐屋母さん。我が家の一大事に気づいた子どもたちがどう対応したか。家族を思う母、母を気遣う子どもたち…その温かい心のぶつかり合いが素晴らしいエピソードを生み、感動を盛り上げる。読売新聞縦方コンクール入賞作品を、地方色（鹿児島ロケ）豊かに描いた作品。
8-70	新・仔鹿物語	60	小・中高学年	トムたち、ポラート家は、イギリス南部、エクスムーアの人はなれた禁漁区でたくさんの羊を飼って平和に暮らしていた。そこへ両親を交通事故で失ったこの少女ベリндаが引き取られてきた。親と離れた子鹿と少年少女がおりなす愛と感動の物語。
8-71	アリババと40人の盗賊 (ワイド版)	CW. 68	小・中高学年	国境の山あいを夕日をあびて隊商がゆく。突然、丘の上に騎馬の群れ。凶悪アハサン率いる40人の盗賊団だ。隊商の指導者で医者のマスターファは必死に哀願するが盗賊の群れは襲撃してくる…。
8-72	父ちゃんの汗に乾杯！	46	小・中高学年	最近の子どもは、世の中を反映して、ホワイトカラーや有名タレント志向がふえ、地道に汗して働く労働を軽くみる傾向が強まっていることが意識調査などで指摘されている。この映画はそうした気持ちをもった少年が鮮魚類の卸売市場で働く父親の人情と仕事にいちずな生き方に啓発されて、足が地についた労働親をつかみとって行くまでを、活力と笑いと涙を織り交せて描いている。
8-73	青空くんと七人の仲間たち	43	小・中高学年	このドラマの主人公は、やさしい心の持主です。しかし、動作がやや鈍いせいか、友だちからかわれたりします。そんな兄をみてくやしがる勝負な妹の二人と七人の仲間たちが、ふとした事件をきっかけに、次第に深い友情に結ばれていく様子を明るくさわやかに描く。 (文部省選定)
8-74	おじいちゃんの海	50	小・高学年	聴覚に障害のある少女が祖父の涙ぐましい努力と深い愛情によって、障害をのり越えていく。だが祖父はとつじよ帰らぬ人となってしまう。少女は深い悲しみにくれる。しかし少女は自分を育ててくれた祖父への感謝をこめて「おじいちゃんの海」という歌を作ろうとする。一人ではうまく作れないもどかしさ。だが、その歌は先生や級友の協力によりすばらしい歌となって合唱される。さわやかで心温まる映画である。
8-75	がんばったねお母さん	39	小・高学年	自分中心の考えから働く母に不満を抱く小学4年生の女の子が、母の会社勤め10周年記念を機会に、次第に母の立場を理解していく心の変化をとらえたもので、母親だけでなく父や祖父母に対する思いやりなど、家族の暖かい結びつきを感動的に描いている。 (文部省特選)
8-77	ゴンタとよばれた犬	42	小・中高学年	山火事にあい恐怖のあまり愛犬を見失った少年が、地域の学校に手紙で消息を依頼するなどあらゆる努力をし愛犬をさがしあてる様子を、東北の美しい自然を背景に描いている。 (文部省選定)
8-78	ぼくのクモがっせん	21	小・中学年	クモをたたかわせるという父の昔話に興味をもった少年が、クモがっせんを再現しようとクモを探して行く中で、自然の動植物に対する愛情が芽生え自然を守ることの大切さを感じとっていく姿を描いている。 (文部省選定)

## 【児童劇】

No.	作品名	時間(分)	対象	内容
8-79	黒潮物語	52	小・中高学年	南国種子島の子どもたちが、手紙を入れたビールビン黒潮海流に乗せて流したところ、これが北海道の苫小牧海岸に漂着する。これが縁となって、種子島の子どもたちと雪国北海道の子どもたちの交流が始まる。この映画は、一本のビールビンに託した手紙をもとに、南と北の子どもたちの間にはぐくまれた友情の中から、夢の実現に努力していく少年たちの姿を、大自然を背景に描いていく。 (文部省選定)
8-80	ガキ大将先生	48	小・中高学年	読売つづり方コンクール受賞作品「ガキ大将先生」を素材に映画化したもので、元気のいい新任の先生が失敗を重ねながらも明るい学級づくりを目指し、子どもたちとともに活動していく様子を描いている。
8-81	まぼろしの4番バッター	49	小・中学年	天真爛漫な町医者父と子の織りなす、おおらかな愛情と心温まるふれあいをユーモアたっぷりに描き、そこから物の豊富な時代における人間の生き方、心の大切さを訴える。 (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
8-82	いつか来た道	46	小・高学年	水郷の町・柳川を舞台に、童謡を歌い継ぎ、そこにこめられた美しい心を守り、育てていこうとする音楽教師と、その教え子や町の人々との、童謡を歌いつづけることを通して、しだいにその心をひとつに通わせていく様子を、感動的に描いている。
8-83	お母さんの卵焼き	21	小・高学年	いろいろな偶然が重なって、遠足の弁当の材料をとうとう買うことができなかった。それなのに、お母さんは、彼女の注文どおりの弁当を作ってくれた。そのことから、彼女が深い家族愛にめざめていく様子を感動的に描いている。 (文部省選定)
8-84	がんばれ聴導犬タロー	46	小・中高学年	聴覚障害者とボランティアの青年に知りあった主人公が、かわいがっていた犬を聴導犬訓練所に提供し、障害者のために役立てようとするまでの苦しみや、愛犬が聴導犬として成長していく様子を描いている。
8-85	ぼくと仔犬のわんぱく大事件	52	小・中学年	主人公の少年が仔犬を拾ったばかりに大騒動に巻きこまれ、こんどは、サイフを拾って、またまた大騒動に巻きこまれるという物語を通して、「親切」「勇気」「心と心のふれあい」を描いた人情あふれる感動のドラマ。
8-86	ぼくは負けない	31	小・中高学年	いつもいじめられている気の弱い少年が、土曜日だけのおもちゃ図書館を知り、小さい子どもたちのためのおもちゃ作りを手伝っていくなかで、次第にたくましく成長していく様子をとらえている。 (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
8-87	春を呼ぶ瀬戸の小島	53	小・中高学年	美しい瀬戸内海に浮かぶ小さな島を背景に、父と5人の子どもたちが明るく、助けあい、力強く生きる姿を描き、心のふれあい、思いやり、家族の愛、故郷の大切さを訴えている。 (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
8-88	がんばれたえちゃん ～木曾馬と少女～	45	小・中高学年	浅川かよ子原作「木曾のおばあちゃん騎手」を素材にしたもので、貧しい家の暮らしを助けるため奉公にでた少女が、つらい仕事にもめげず、奉公先にいる木曾馬とともに、明るくたくましく生きていく様子を描いている。 (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
8-89	うれしいときにも涙がでる	31	小・中高学年	「お父さん」の作文を書くことから話は展開して、家庭におけるやさしい母親の心づかいや、苦しくとも懸命に働く父の姿が、息子テツヤに深い感動を与え、また、担任の先生の温かい心づかいも、ともすると沈みがちになるテツヤの心に活力を与えるという物語で、親子の生き方やつながり、あるいは教師と子どものかかわり方などを、感動的に描いている。 (文部省選定)
8-90	ミルクとチョコと七人の天使たち	47	小・中高学年	捨てられた子犬を助けるため、女の子たちは、「もらい手そうさく隊」を結成し、走りまわる。次々と起こる難題に悩み、考え、色々とアイディアを出しあい、飼い主をさがす彼女たちが、さまざまな大人たちとふれあい、学校の中だけでは学べない貴重な社会勉強をし、友情を深め、人間的にも成長していく姿を描く。 (文部省選定)
8-92	しあわせ色の小さなステージ	45	小・低中学年	みどりあふれる山の村で、小さなしあわせをかぞえながら成長する一人の少女の物語で「まねっこ一年生」の体験をさせてくれる先生のやさしさや「板の間のステージ」をかこんで繰りひろげる家族の交流など、人間の心の限りない深さと、その心の交わりのおたかさが、美しい大自然を背景にほのぼのと展開される。 (文部省選定・教育映画祭最優秀作品賞)
8-93	赤いカラスと幽霊船	35	小・中高学年	タクヤは、バスケットボールの試合でミスして意気消沈して、妹のエミと家路についた。そこへ赤いカラスに導かれて、空とぶ幽霊船が落ちてきた。着陸した幽霊船に乗り込んだ2人は、病に伏す老船長に会い、船を無事港につけてほしいと頼まれる。タクヤは、心に夢をとり戻し、未知の宇宙を乗り切ることができるだろうか。

【児童劇】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
8-94	わんわんの冒険旅行	45	幼児 小・低学年	<p>猟にでかける途中、ふとしたことから飼主と離ればなれになった2匹の猟犬が、いろいろな危険にあいながら無事飼主のもとにたどりつくまでの冒険物語。</p> <p>(文部省選定)</p>
8-95	黒潮の流れる島で	21	中学生	<p>黒潮洗う伊豆諸島の三宅島。三宅島は有史以来噴火を繰り返してきているが、縄文時代から人が住みついている。この映画は三宅島の美しく壮大な自然と共存し、たくましく生きぬいてきた島民たちの生活を都会育ちの一人の少年の目を通して描きながら、自然や人間の力を超えたものに対する畏敬の念について考えさせてくれる。</p> <p>(文部省選定・教育映画祭最優秀賞)</p>
8-96	背負子(しよいこ)日記	32	小・高学年以上 一般	<p>長野県の山岳地帯で山荘を営む老夫婦の所に、都会へ出て生活している息子夫婦が、孫・正太郎を連れて訪れた。正太郎が自分のカラの中に閉じこもってしまい、親の手ではどうしようもないので、夏休み中あずかってほしいと言う。祖父母と孫の山の生活が始まる。大自然の偉大さにそして祖父の心やさしさにひかれて、正太郎は見る見るうちに明るく少年にもどっていく。夏休みが終わり、山荘も燃えるような紅葉に包まれた。</p> <p>(文部省選定)</p>
8-97	ガッツ親父とオサム	56	小・高学年以上 一般	<p>オサムは、小学4年生。けんか早く、大人にもなかなか手にも負えない悪童と評判の少年である。母親を早く失い、父、祖母と妹の4人暮らしだが、父は長距離トラックの運転手をしており、父親と落ち着いて会話を交わすことも少ない毎日。ある日、友達にケガさせてしまい、父に叱られるのが恐くなって、トラックの仮眠ベッドの中に隠れた。父は知らずに、そのまま仕事で東京へと走り出す。偶然による父と子の旅が始まる。</p> <p>(文部省特選・教育映画祭優秀作品賞)</p>
8-98	かわいいマーニー 大空へはばたけ	40	小・低学年	<p>カナダ中西部の森は、野生動物の宝庫である。野生動物を撮影していたジョンは、狼に襲われていたカナダガンの二羽のヒナに、マーニー、ミニーと名をつけ、カモのヒナ・モリーといっしょに親がわりとなって育てていく。やがて、季節も変わり、旅立ちのときが近づいてきた。ほかの仲間と飛び立つ美しい一群に、ジョンの乗ったモーターボートも編隊飛行の仲間に加わった。</p> <p>(文部省選定)</p>
8-99	サツウのきじ	54	小・低学年	<p>優しくおばあちゃんの突然の死のショックで立つことも口をきくこともできなくなった少女。両親の懸命の努力と愛情、隣人たちとの心の交流を交え、野生のキジによせる少女の優しい心が元気なもとの姿をとりもどす様子を美しい大自然をバックに描く。</p> <p>(文部省特選・教育映画祭最優秀作品賞)</p>
8-100	ぼくに涙はにあわない	50	中学・高校生	<p>高校時代にラグビーの試合中、不幸にも首の骨を折り、手足の自由を奪われた一人の高校生が、悲しみのどん底から新しい可能性に向かって一つ一つ挑戦し、前進していく姿を力強く感動的に描くドラマ。</p> <p>(文部省特選)</p>
8-101	心をむすぶ愛のハーネス	55	小・高学年	<p>盲学校の中学部の時、完全に失明した小百合。一時、絶望した彼女は、家族や友達、盲学校の先生の励ましでスポーツに光を見いだす。盲学校卒業後、小百合は盲導犬カンナと出会い、5キロのロードレースに挑戦。みごとにカンナと走り抜き、多くの人々に勇気と希望を与える。</p> <p>(文部省選定)</p>
8-102	おじいちゃん元気になってね!	47	小・高学年	<p>動物好きなやさしい小学校4年生の正人君と、いつも公園をきれいに掃除している光枝ばあさんと、その近くに住む頑固者の伸二郎じいさんとの心のふれあいを、明るい笑顔と涙で綴った感動の劇映画。</p> <p>(文部省選定)</p>
8-103	やさしい愛をください	41	小・中学年	<p>健一の愛犬タローが暴走族の車にはねられた。はねた運転手は平気だが、助手席の蘭子はぐったりしたタローを見つめる健一の姿に心をいためた。健一は事故以来、口を閉ざして喋らなくなり、後ろ足の不自由なタローを連れ、近くの「ふれあい動物園」に通うようになった。動物園の人たちとの交流を深めるうちに、健一は…。</p>

## 【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-1	動物オリンピック	14	幼児 小・低学年	北は北極から南は南極まで、いろいろな動物が集まって開いたオリンピック大会。ライオンを会長として選手団の動物たちが、おのおのの特徴を発揮して競技するのを実況中継ふうユーモラスにえがく。(人形アニメーション) (教育映画祭最高賞)
9-2	すて猫トラちゃん ～ふしぎなメルモ～	25	小・低学年	瀕死の母トラから赤んぼうトラを託されたメルモは、わが家でトラちゃんを育てるが、小さくてもトラ、いろいろなさわぎをまき起こした結果、トラちゃんは、メルモの不思議なキャンディーで…。ふしぎな少女メルモと弟やお医者さんが活躍する。
9-3	鬼がくれ山のソバの花	23	小・低学年	鬼がくれ山の赤鬼は腹が減ると村のソバを食べに来る。村人は大変困るのだが、恐くて誰も文句が言えない。その中で一人の少女だけが欲しければ自分で作りなさいと鬼を諭す。赤鬼と少女の温かい交流の中で、働くこと貯えることの尊さを描く。 (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
9-4	森の小さな冒険者 リスのパナシ	21	幼児 小・低学年	森に4匹の子リスが誕生する。彼らは親から生きていくのに必要なさまざまな生活技術を教えられるが、森の腕白児リスのパナシだけは、そんなことはおかまいなしに森の中を遊びまわる。その冒険とリスの生態を毛糸のアニメーションで見事に描き出す。 (文部省選定・芸術祭優秀賞・教育映画祭優秀作品賞)
9-5	花のき村と盗人たち	26	小・低中学年	新美南吉原作。平和な花のき村にやって来た泥棒たちが盛んに村の様子を探っている。そこにやってきた子どもが、人もあろうに泥棒の親分に牛を預ける…そこから起こる心の変化、人を信じ、人に信じられることの素晴らしさを美しく描く。 (文部省選定・教育映画コンクール金賞)
9-6	ノートルダムの曲芸師	30	小・低中学年	アナトール・フランスの短編小説をもとにした可愛らしい人形劇映画。静かな修道院で暮らすことになった少年曲芸師が巻き起こす珍騒動に、お坊さんは頭を痛めていたのだが、少年がマリア様にお見せしようと演じた一心不乱の曲芸に、奇跡が起こったのだ…。(人形アニメーション) (文部省選定)
9-8	かぐや姫	27	小・低中学年	2年余の年月と莫大な費用を投じ製作した画期的な超大作動画。日本独特の和紙や、はり紙を用いた作品。宇宙ロケットがつぎつぎ発射される今では月世界旅行も夢ではありません。しかし大昔の人々にとって、月は大きななぞでした。そして、世界中のいろいろな国に、月についてのお話が生まれました。(人形アニメーション) (文部省特選・教育映画祭最高賞)
9-9	つるのおんがえし	18	小・低中学年	深い雪に包まれた山おくに、おじいさんとおばあさんが暮らしていました。ある日、山道でおじいさんは、わなにかかったつるを助けました。ある夜、つうという娘が訪れ、家の手助けや近所の子どものやさしいあそび相手になります…。(人形アニメーション) (文部大臣賞・厚生大臣賞・教育映画祭最高賞・東京都教育映画コンクール金賞)
9-10	わらしべ長者	18	小・低中学年	わずか一本のわらをひろったことから次々に「大人の世界」との対話を重ねる主人公“乙丸”が、野生の自然児から、土に定着するまでの成長を、この物語のもつ即物的な生活感情を活かすことにより、明るく表現したいと心がけました。その方法として、日本の郷土玩具に見られる土の匂いのするパイタリティを人形の様式に織り込み、その動きに素朴なユーモアを感じさせる。(人形アニメーション) (文部省特選・厚生大臣賞・教育映画祭最高賞)
9-11	みにくいあひるの子	18	小・低中学年	夏のさかり、あひるの巣では、ひよこがつぎつぎに生まれます。一番後から生まれた一羽は、他の子と違って灰色をしたみっともない子でした…。この作品には70体以上の人形たちが登場します。豊かな情操と美しい心情を育てるために、想像力と創造の芽を養うために…。 (青少年映画賞・日本映画コンクール受賞・教育映画祭最高賞)
9-12	王様とナイチンゲール	22	小・低中学年	「ほんものの素晴らしさ、とはなんだろう」言葉では説明しがたいこの主題を、アンデルセン原作の「ナイチンゲール」は見事に表現しています。王様は美しい声で鳴くナイチンゲールを自慢していたが、黄金作りの小鳥を贈られるとナイチンゲールのことを忘れてしまう。王様が病気で苦しんでいるとき慰めたのは…。(人形アニメーション) (文部省選定)

【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-13	ベルとかいじゅう王子	20	小・低中学年	<p>3人姉妹の末娘ベルは、父親の身代わりになって怪獣と暮らすことになる。怪獣の心の優しさを知ったベルが結婚の申し込みを承諾すると怪獣の魔法がとけて、怪獣は立派な王子になる。ともすればインスタントな「夢」に慣らされていく今の時世に、人形アニメーションならではの緻密な空間と時間で「心の所産」である幻想のぜいたくなよろこびを贈りたいと思います。</p> <p>(文部省選定・教育映画祭優秀賞)</p>
9-14	ニルスのふしぎな旅より ツルの舞踏会	29	小・中学年	<p>大自然の中で生きる動物や鳥たちは、常に危険から身を守り、知恵を働かせて暮らしています。ガンの隊長のアックは、仲間信頼される優れたリーダーです。自然の変化に合わせて精いっぱい生きていく鳥たちの暮らしに教えられることが少なくありません。映像のニルスをとおして、喜んだり悲しんだり、心を揺り動かしながら、ストーリーの展開を楽しんでいただけます。</p>
9-15	ニルスのふしぎな旅より 月夜に浮かぶ幻の街	29	小・中学年	<p>ひとりの少年が空想の世界での旅を続ける間に会おう、ふしぎなふしぎな出来ごと。このエピソードは幻想的な、異色のものがあります。そこにこめられた意味あいは、さまざまな解釈があるようですがここでは意味あいの押しつけは差し控えています。月夜の海に100年に一度だけ浮かびあがることのできる街にまぎれこんでいったニルスとキャロットが昔ばなしを聞いて何を感じとったのでしょうか。</p>
9-16	彦一とんちばなし	18	小・低学年	<p>とんち童話の魅力は、不可能としか見えない課題を、型破りの考え方と行動で可能にしていくことのおもしろさにあります。村のとんち者彦一とそのパートナーお里の、明るく自然な生活を中心に展開する、ちえと勇気のドラマを充実したアニメーションの演技力によって、歯切れよく楽しいリズムで描きたいと思いました。(人形アニメーション)</p> <p>(東京都教育映画コンクール金賞)</p>
9-17	走れメロス	20	小・中学年	<p>友情を育て、互いに信頼し合って生活することは、いつの時代でもきわめて大切なことです。ところが、社会の急激な変化の中で、人びとの生活は利己的で自分に都合のいいことだけを追求しがちです。この作品は名作「走れメロス」の中より友情と信頼をテーマにして、さらに勇気をもって行動することなどを加えて、現代の子どもに欠けている面を感動的に訴えることを主なねらいとして製作したものです。</p>
9-19	ごんぎつね	21	小・中学年	<p>ごんは、ひとりぼっちの子ぎつねで、しだの一杯茂った森の中に穴を掘って住んでいました。村のまじしい百姓兵十はいつもごんにいたずらをされてこまっています。ある日ごんは兵十がとらえたうなぎをいらずで逃がしてしまいました。数日後、兵十のお母さんの葬式の行列を見てごんは深く後悔した。それからごんは兵十の家へ行って物を運んでいったが…。新見南吉の原作を楽しくアニメ化した作品。</p>
9-20	さるかに	19	幼児 小・低学年	<p>かきが稲をかると、さるがやってきて、稲束をもっていってしまふ。かきが丹精して育てた柿に実がなると、さるは、たらふく食って、かきに青い実をなげつける。おなじみの日本むかしばなし「さるかに合戦」から題材を取り、楽しい人形アニメーションにしたあげました。</p>
9-23	はだかの王様	20	小・中学年	<p>むかしむかし、ある国に、とてもおしゃれな王様がいました。一日に10回も新しい服に着替えるおしゃれ好きで、お城の中は朝から晩まででんこまいです。そんなある日、この世で一番の仕立屋だという2人の旅人が町へやってきました。…この映画は、よく知られたアンデルセンの名作を、その原典にかえて再構成し、子どもたちのなにもにもとられない純粋さを美しい画面で描いたものです。</p>
9-24	花さき山	18	小・低中学年	<p>むかしむかし東北のある山里にあやという心の優しい娘がいました。祭りの晴着を妹にゆずって悲しい気持をおさえて祭のごちそうの山菜を取りに山へ出かけました。霧の中で道にまよい、不思議な場所にたどりつきました。そこは一面、見たこともないきれいな花が咲いているのです。それらの花は、ふもとの村の人間がやさしいことをすれば一つ咲くという不思議な花だったのです。</p>
9-25	美しい森の物語 ～王子とマリア姫～	73	小・低中学年	<p>むかし、むかしで始まる物語はとても多い。しかし、この作品ほどやさしい心と美しい色彩に満ちている作品は少ない。心のやさしいマリアという娘を通して描かれる、メルヘンの世界は、幼い子どもたちから上級生までが、夢の物語の中に魅せられるでしょう。珠玉の音楽、カラフルな素晴らしい色彩、そして、何より楽しく心あたたまる物語は、情操教育に最もふさわしいものと言えます。</p>

【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-26	杜子春（とししゅん）	21	小・中学年	この映画は、芥川龍之介の名作童話を、現代の子どもたちにも十二分に理解できる楽しいアニメーションとして構成した作品です。貧乏人から大金持へ、大金持から貧乏人へ、そして峨眉山や地獄での厳しい修業と、数々の試練を経て、やがて杜子春が「人間らしく正直に暮らしていくことがいかに大切か」を語っていく物語には、ヒューマンズムを基調とした永遠のテーマが秘められています。
9-27	雪の女王	20	幼児 小・低学年	この作品は、アンデルセン童話の中でも特に長く、幻想の材料が豊富な作品です。この映画では、試練を経て成長する愛の姿を、色とりどりに変化する画面を通して一節に描き出しています。多彩な登場キャラクター、そして、雪・氷・オーロラなど極北の自然がうたうメルヘンを人形アニメーション独自の実在感で構成している詩情あふれる作品です。
9-28	りゅうの目のなみだ	20	幼児 小・低学年	浜田広介の童話「りゅうの目のなみだ」は、人の心に希望やなぐさめを与えながら、優しい心、いたわり深い心、弱い者に味方する心を育む作品として、多くの人々から愛されてきました。この映画は、その童話をアニメーション化したもので「優しい心」「いたわりの心がいかに大切か」ということを押しつけがましい説教ではなく、詩情豊かなメルヘンとして描いています。
9-30	おば捨て山の月	21	幼児 小・低学年	昔、信濃の国に一人のわがままな殿様がおりました。殿様はおじいさんやおばあさんが大嫌い、70歳を越したお年寄は残らず鳥流しにしてしまいました。親が子を思い、子が親を思う心の美しさ、お年寄を大切に作る気持の尊さを、おば捨て伝説をもとに、きつねのゴン太、たぬきのポン吉など親しめる動物などを登場させて、明るく、楽しいアニメーションで描いています。
9-31	星の子チョコビン ～ぼくは王子だぞ～	25	幼児 小・低学年	この作品は石森章太郎原作のファンタジック・アニメーションで、可愛い動物たちと不思議な主人公チョコビンの生活を描いた夢多い物語です。宇宙のかなたの星からやってきた「星の子チョコビン」と宿敵ブルガのスリルとサスペンスあふれる闘いを縦糸に、チョコビンの友だちになる動物たちの可愛さ、親しみやすさを織りこんだファンタジックな物語で、新しい境地のアニメーション作品をねらっています。
9-32	くるみ割り人形	30	小・中高学年	エルンストン・ホフマンの原作をもとにしたチャイコフスキーのバレエ音楽「くるみ割り人形」は、日本の子どもたちにもなじみ深い、作品のドラマティズムを通してこの美しい音楽を「見る」ことへの試みが、ソ連邦动画スタジオにおいてなされたのである。名曲の魅惑的な、時に歓喜にみちた、時に悲し気なメロディーが事件を形づくり物語を発展させて、美しい動画と共に見事な調和をかもし出します。
9-33	ピーターと狼	14	小・中高学年	この映画はまず登場人物の紹介とそのテーマを受け持つオーケストラの楽器の紹介から始まる。ピーターは弦楽四重奏、小鳥はフルート、あひるはオーボエ、ねこはクラリネット、狼はホルン、おじいさんはバスーン、という様に楽器によって各々のキャラクターを表現していく。プロコフィエフが作曲した原曲のイメージをウォルトディズニーが動画によって映画に翻訳したという作品です。
9-34	あんじゅとずしおう	31	小・中高学年	冬も近い日本海沿いの道を、2人のおさない子どもをつれて歩く母がいました。姉の名は安寿、弟は厨子王といました。筑紫の国にいる父を尋ねていく途中、心ならずも人買いの手にわたり母と子ははなればなれになってしまいました。兄弟は山椒太夫というあくどい大金持に買いとられました。森鷗外原作の悲しくも美しい伝説を格調と気品あふれる絵作りをとおして、母と子、姉と弟の深い愛情を謳いあげている。  (教育映画祭優秀賞)
9-35	手品師	15	小・中高学年	パリから遠く離れたある小さな町の駅頭に毎日のように独り寂しそうに佇む少年があった。父親を事故でなくし母親は遠くの町に働きに出ていたがその母も昨年病気がもとでなくなってしまう。母の死を知らぬ少年は毎日の様に母の姿を求めて駅に行くのであった。そんな時、やはり孤独な青年手品師に会った。大きな舞台を夢みている手品師との心の交流がはじまる。しかし2人は別れなければならなくなったが…。
9-36	幽霊屋敷	20	小・中高学年	毎夜、幽霊がさまよい出ると噂されるカンタビル屋敷にアメリカ大使の一家が住むことになったが…。この映画は、19世紀末にイギリスで活躍した作家オスカー・ワイルドの短編小説「カンタビルの幽霊」を、子ども向けに再編成し、楽しいアニメーションとした作品です。重い罪の報いで300年もの間苦しみ続ける幽霊、サイモンを救ってあげたいと献身的な努力をするアメリカ大使の娘、バージニア…。

## 【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-38	草原の子テングリ	21	小・低中学年	手塚治虫原作。広大な中央アジアの草原を舞台に、仔牛と少年の友情の物語を、草原の情緒や生活をまじえながら描く。牧畜生活がはじまろうとしていた頃、人間と動物の間には、こんな話もあったのではないかと想像から作られた作品で、子どもたちに優しさや夢を感じさせようとする。むかしむかしの中央アジア、草原の子テングリは、仔牛のタルタルと兄弟みたいに大の仲良しです…。
9-39	おこんじょうるり	25	小・中高学年	まじないで厄払いをするいたこの婆さまは、最近もうろくで、へまばかりやってふさぎこんで寝こんでいた。そんなある夜、腹をへらしたきつねのおこんがやってきた。おこんがじょうるりをうなると、婆さまはすっかり愉快な気持ちになって曲がった腰もしゃきつとなった。そこで婆さまは、おこんを背中に隠して、村人の病気を直しに出かけたが…。(人形アニメーション) (文部省特選・教育映画祭最優秀作品賞)
9-40	クオレ物語 ～炭屋の子ベッチ～	25	小・中高学年	ベッチはランチやノビスから“炭屋の子”とっていじめられ、学校を休んでしまいます。見舞に来たエンリコとベッチの話に耳にした父は、翌日の参観日に出かけ先生に話します。出席していたノビスの父は驚いてノビスを叱り、謝るように言います。「君のお父さんに対してとても失礼な卑劣なことを言ってしまった」と謝り、ノビスとベッチは仲直りしたのでした。
9-41	クオレ物語 ～左官屋小僧アントニオ～	25	小・中高学年	将来は建築家が夢のアントニオは、エンリコたちの助けで予習をはじめたら、苦手の算数が100点！大喜びで帰るとお父さんが仕事場でけがをしたというのです。エンリコは日記帳に“思いがけない事故だけど皆で力になるからがんばろう”とアントニオへの励ましをこめて記したのです。
9-42	クオレ物語 ～ポー川での大活躍～	25	小・中高学年	今学期最後の日、先生からポー川は危険なので泳がないようにと、夏休み中の注意がありました。エンリコ達が舟遊びなどしていると、ランチがやって来て、皆が引き止めるのをふりきって泳ぎ出しますが、おぼれてしまいます。ザルローネが岸辺へ上げ、デロッシが人工呼吸をし、馬車で病院に運び無事助かりました。エンリコは勇敢だったザルローネ、冷静に行動したデロッシに感動したことを日記帳に記しました。
9-43	トム・ソーヤの冒険 トムとハックとブタ騒動	27	小・中高学年	いたずらをして教室で立たされていたトムのところへ、遊び友達ハックが、野生のブタをつかまえて行こうと誘いにやってくる。こっそりと教室を抜け出し、苦労の末ブタをつかまえる。ミシシッピ川を上ってきた蒸気船の客にブタを売りつけようとするが、ブタが暴れ出し、蒸気船の中で大騒ぎになってしまう…。
9-44	トム・ソーヤの冒険 あこがれの蒸気船	27	小・中高学年	トムは夜中に、こっそりと家をぬけだし、港に停泊している蒸気船リパークウィーン号に、ハックと一緒に忍び込み、蒸気船の中を探検していると、出航してしまう。乗組員にみつつかると船から飛びおり、いかだに乗って村までもどってくる。翌日、トムは学校で冒険の数々を友達に話して大満足する。
9-45	トム・ソーヤの冒険 冒険・冒険また冒険	27	小・中高学年	大雨の日、しかられて家を出していたトムとベン、ハックと一緒に川へ遊びに行き朝になっても家に帰らなかった。村では、3人が川でおぼれ死んでしまったと思われ大騒ぎになる。ところが、3人も元気に森で遊びまわっていたのだ。村での騒ぎを知ったトムは、村の人達が自分達のことをどう思っているのかを知るために、夜中にこっそり村へもどってみる。しかし、ポリー伯母さんの悲しむ姿をみて…。
9-46	海のトリトン ～行け南の島！～	25	小・低中学年	北の海をあとにしたトリトンとピピ、それにルカーは、南太平洋にあるイルカ島に向かっていた。それを察知したボセイドンは、南太平洋司令官、ポリベイモスに連絡、2人を狙う。音波を出して追撃してくる巨大提燈アンコウに対し、トリトンは応援にきたイル、カル、フィンと共に、おとり作戦を実行、危機を乗りきるのだった。
9-47	ムーミン はばたけ！ベガサス	25	小・中高学年	突然の大地震で、おさびし山がくずれ、ベガサスの白骨が見つかる。白とピンクの2頭のベガサスの絵を見ながら、ヘムレンさんは、ベガサスの悲しい話をしてくれ、ベガサスをみんなで復元することとなる。出来上がった復元のパーティのさなか、ムーミンとノンノンは、おさびし山で、2頭のベガサスが連れ立って美しい光を放ちながら空高く舞い上って行くのを見て、ベガサスの心が一つになって空の彼方へ翔んでいくのだと知った。
9-48	ピノキオより ピコリーノの冒険 ～靴屋のジャンゴじいさん～	30	小・中高学年	ある街角で、ピコリーノは重い荷物を持って歩く老人を助ける。そして、老人の仕事である靴屋のお店を手伝いする。失敗したり、おこられたりするが、ピコリーノは一生懸命がんばる。そこに悪いドロ狐とドラ猫が、またまたやってきて大さわぎ…。

## 【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-50	シンドバットの冒険 ～空とぶジュータン～	30	小・中高学年	40人の盗賊から宝を取りもどしたシンドバットは街の人たちに返すことにしました。でも、一枚のジュータンだけが残りしました。それは空を飛ぶ魔法のジュータンだったのです。魔法使いのタバ婆さんは魔法のジュータンを取りかえすために美女に化けて空飛ぶ木馬に乗って出かけます…。
9-51	小さなバイキングビッケ ～ビッケとクジラの親子～	27	小・中高学年	小さなビッケはフラーク村に住むバイキングの頭ハルバルの息子で、とても賢い子です。あるとき、島の入江にとじ込められた子クジラを助けて、親クジラの元へ帰してあげました。航海の途中、海賊スペインに襲われますが、今度はクジラに助けてもらいます。
9-53	ニルスのふしぎな旅より がちょうに乗って	29	小・中学年	夜、湖で眠るガンの群をキツネのレックスが襲った。ニルスは力いっぱい戦い、ガンの群を助ける。ガチョウのモルテンは、ニルスの心の中にやさしさもあることを知る。 (文部省選定)
9-54	ニルスのふしぎな旅より お天気魔女のいたずら	29	小・中学年	お天気魔女の気まぐれで急に強い風が吹きあれる。氷の張った湖の上を渡る2人の子どもに危険が迫る。ニルスはガチョウのモルテンに乗って空から道案内をして子どもたちを助ける。 (文部省選定)
9-55	ニルスのふしぎな旅より 空からの救えん隊	29	小・中学年	屋根裏の部屋で勉強をしていた大学生たちは、ニルスの身の上におこたえごを熱心に聞いてくれた。書きためた小説の原稿が吹き散らされてしまったので鳥たちは探し集める。 (文部省選定)
9-56	もりのおんがくたい	14	小・低中学年	年をとって役にたたなくなった家畜のろば、いぬ、ねこ、にわとりが、力を合わせて新しい幸福な生活を築くまでの有名なグリム童話。(人形アニメーション) (文部省選定)
9-57	くつやとこびと	14	小・低中学年	童話の一編を人形劇化し、そぼくな人形のメルヘンの中で心の優しい老夫婦と、その手助けをするこびとたちとのあたたかい心の交流を描いたもの。(人形アニメーション) (文部省選定)
9-58	ふしぎないど	18	小・低中学年	グリム童話。性格が違う姉娘と妹娘がおりなす物語を通して、現代の子どもたちが健全な価値観を見出し、楽しみながら豊かな情感を味わえるように表現した人形アニメーション作品。グリム童話。 (文部省選定)
9-59	ヘンゼルとグレーテル	20	小・低中学年	森の中に置きざりにされた兄妹が、いろいろな冒険の末に家に帰りつく、というおなじみの物語。どんな困難にも勇気を失うことなく、励まし合うことの大切さをうたう。 (文部大臣賞)
9-60	ポロンギター	27	小・低中学年	花売り娘の美しい心にうたれたギターがひとりでに鳴りだし、花がたくさん売れるという人形映画。 (文部大臣賞・文部省特選・教育映画祭最高賞)
9-61	泣いた赤おに (人形劇)	18	小・低中学年	人間と仲よくしたい赤おにを助けて、にくまれ役を買って出る青おにの気持ちを描いた感動的な人形劇作品。浜田広介童話。 (文部大臣賞・文部省特選・教育映画祭最高賞)
9-62	月夜とめがね	10	小・低中学年	特殊撮影と複雑な光学処理を生かした不思議な画面がつづる幻想の世界。小川未明童話。 (文部省選定・毎日映画コンクール教育映画賞・アニメーションフェスティバル奨励賞)
9-63	花ともぐら	15	小・低中学年	ハナコちゃんがかいた、草花の世話をするもぐらの絵が、秘密の研究所にとびこんだ。研究所では苦心して、ロボットもぐらを作り上げる。 (文部省選定・教育映画祭最高賞)
9-64	竹取物語	31	小・中高学年	月に人間が立つ時代になっても、かぐや姫は永遠の生命を持っている。日本最古の物語文学といわれる「竹取物語」を通して私たちの心のふるさとを探り、愛の美しさ、別れ、悲しさをうたいあげる。
9-65	紅ばら白ばら	37	幼児 小・低学年	森の中の一軒の家に、優しいおかあさんと紅ばら白ばらという姉妹が住んでいた…。グリム童話の中から選んだ、“親切でやさしい、ふたりの姉妹”の物語である。この作品は、美しい色彩、親しみのある画像、そして音楽を豊富にとり入れながら、子どもたちをメルヘンの世界にさそい、美しい豊かな心を育てる。
9-66	南極犬タロ	26	小・中高学年	タロとジロが生きていた！全世界に驚きを与えたこのニュースは、あらためて生命の尊さと犬たちの自然での強さを教えてもらったものでした。この作品はタロとジロたちと、育ての親ともいべき北海道大学教授・犬飼哲夫先生との動物記を土台に、犬たちを教授やトレーナーたちが南極犬として育てていく話を、アニメーション化したもの。

【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-67	日本漫画映画発達史第1部 戦前編 漫画誕生	30	小学生以上 一般	漫画映画の草創期、大正中期から昭和20年までの代表的な12作品を収録したもので、懐かしい傑作漫画が移り変わる社会情勢の変化を反映させながら、進歩、成長していく様子を見事に描き出す。 「フクちゃんの潜水艦」「くもとちゅうりっぷ」他 (文部省特選)
9-69	セロひきのゴーシュ (人形アニメーション)	19	小・低中学年	ある町の小さな楽団で、人々にばかにされながらもセロの練習をつづけるゴーシュの姿によって、物事をするときには熱心にやり、途中で投げだすことのないようにすることの大切さを訴える人形アニメーション映画。 (教育映画祭最高賞)
9-70	ニルスのふしぎな旅より 街角でうたうニルス	29	小・中学年	鉄砲で狙われているニルスは海へ落ちてしまった。ガンたちはどうすることもできない。漁師に拾われて見せものにされたニルスは、歌も踊りもできない。こっそり逃げだす。
9-71	ニルスのふしぎな旅より 捕らわれのオオワシ	29	小・中学年	別れてしまったアッカの群れを探して動物園へもぐりこんだニルスは、ワシのゴルゴを金網から助け出した。ゴルゴはヒナのときにアッカに育ててもらった気の弱い大ワシだ。
9-72	ニルスのふしぎな旅より 太陽と氷の精の戦い	29	小・中学年	北の果ての国ラブランドの雪と氷の山に太陽が向っていく。木や草や鳥や動物たちも加わって、ふしぎなパレードが丘をこえ、谷を渡って進む。ニルスの旅は冒険がいっぱい。
9-73	美しいさいごのひと葉	19	小学生	アメリカ、ニューヨークの裏町の古ぼけたアパートの二階にシュワート一家が住んでいた。シュワートさんにはスーとジョアンナという娘がいる。姉妹の部屋の窓の外には、小道をはさんで塀が続き、見事な蔦の木が葉をはわせている。同じアパートの一階には、ベアマンという一人暮らしの老画家が住んでいる…。オー・ヘンリーの作品をもとに、美しい隣人愛と清らかな心をアニメーションでわかりやすく、興味深く訴える。
9-74	鹿鈴 (ろくれい)	20	小・低学年	大鷹に襲われ、親鹿とはぐれた子鹿を少女が助けてあげました。子鹿とすっかり仲良くなった少女は、毎日が楽しくて仕方ありません。しかし子鹿と別れる日が、ついにやってきました。数々の受賞に輝く中国水墨アニメーションの最高峰。
9-75	おじいさんのランプ	22	小・中高学年	みなし児だったおじいさんがランプ屋を始め、自分なりの「文明開化」を実践しますが、やがて電気の時代となり、思いきってランプ屋をやめて本屋を開業するまでのあゆみを、やさしさとなつかしさをこめて描きました。ごく平凡な人間の創意と努力にみちた体験を通して、私たち自身の生き方を考えてみたいものです。教科書にも載った新見南吉の代表作の映画化。 (教育映画祭優秀作品賞)
9-76	くずの葉ぎつね	26	小・中高学年	狐の化身、くずの葉は命の恩人と結ばれ、かわい子子どもが生まれます。しかし…。歌舞伎や浄瑠りでも有名な日本の古い伝承「くずの葉」の物語をもとに創作した親子、夫婦の愛情をうたいあげる美しいアニメーション。
9-77	いたちのこもりうた	19	幼児 小・低中学年	昔々、ある村の長者さまの家に、花のようにきれいな女の子がいた。ひとり娘だったので、それはそれは大事に育てられた。ばあさまがきびしくて、村の子とも遊ばず、いつもひとりで、お花という人形を相手に広い庭の木の下で遊んでおった。そしてお人形を背おっては子守唄をうたっていた。そうしているうちに、いつか一匹のいたちとすっかり仲良くなった…。 (芸術祭優秀賞・教育映画祭優秀賞)
9-78	エジソン物語	19	小・中高学年	エジソンは、蓄音機、白熱電球、映写機…などの、かすかすの素晴らしい品々を生みだし、「世界の発明王」といわれた、発明の天才である。この映画は、そのエジソンの生涯を、主に、幼・少年の時代に焦点を絞って、アニメーションによって楽しく描きながら、「天才は1パーセントのひらめきと99パーセントの努力のたまもの」と言った、彼の言葉のように、素晴らしい成功を導き出すには、努力と探究心とがいかに大切かを描く。
9-79	ナイチンゲール物語	20	小・中高学年	“看護婦の母”とたたえられ、看護組織の確立や、看護婦の養成に力をつくしたフローレンス・ナイチンゲール—この映画は、彼女の少女期から、看護婦として自立する決心をし、クリミア戦線で活躍するまでの生涯の前半期に焦点をあて、その人類愛の素晴らしいさを、少年少女にも親しみやすい、美しいアニメーションによって浮び上がらせようとしたもの。
9-80	しあわせの王子	19	幼児 小・低学年	ヨーロッパの港町。行きずりのツバメが「しあわせの王子」の銅像から自分の刀についているルビーを貧しい人に届けて欲しいと頼まれる…。オスカー・ワイルド原作の美しいアニメーション。 (文部大臣賞・教育映画祭最優秀賞)

## 【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-81	したきりすずめ	18	幼児 小・低学年	おじいさん、おばあさんとすずめの子どものふれ合いを、美しく、幼い子どもたちにもわかるように描いた日本の代表的なむかしばなしの人形アニメーション。
9-82	一寸法師	14	幼児 小・低学年	都へ修業によってきた一寸法師が、お姫さまのおともでお寺まいにいき、待ちぶせしていた鬼どもを残らず退治して、もらった打出の小づちでりっぱな若者になり、お姫さまと幸福な生活に入る。日本民謡に取材した人形アニメーション。  (文部省選定・教育映画祭特別賞)
9-84	ニルスのふしぎな旅より しんまいパパのモルテン	29	小・中学年	鳥たちのあこがれの国ラブランドの短い夏の間に鳥たちはせつせと巣を作って卵を産む。かわいいヒナが誕生して、パパやママになったガンたちは大喜び。ニルスもいっしょに遊ぶ。
9-85	ニルスのふしぎな旅より あとを追わないでゴルゴ	29	小・中学年	雪がちらついてくると、渡り鳥たちは南に向かって旅を始める。仲良しになった大わしのゴルゴと別れるのはつらくて悲しい。けれど、いつまでも甘えてはいけないうゴルゴ、さよなら。
9-86	ニルスのふしぎな旅より ニルスの子守	29	小・中学年	山の中で迷い子になった赤ん坊を放っておく訳にもいかずにお守りをするニルスたち。さんざん振り回されて、ようやく羊飼いの兄さんの手に戻すことができへとへとになる。
9-87	クオレ「愛の学校」より 父と子	22	小・中高学年	父親の負担を、軽くしてあげたいと深夜ひそかに、筆耕の手助けをするジュリオと、それを知らずに成績の下がった息子のことを心配する父親をめぐる感動アニメーション。
9-88	クオレ「愛の学校」より 難破船	19	小・中高学年	イギリスから故郷のイタリアにむかう客船に乗りあわせてマリオ少年とジュリエッタは、互いに不幸な身の上ということもあって親しくなっていたが、ある日、あらしで船が難破した時に…。
9-89	クオレ「愛の学校」より 母をたずねて三千里	29	小・中高学年	アルゼンチンに出かせぎに行つたまま、消息を断つた母をたずねて長い苦しい旅をつづけるイタリアの少年マルコが母に再会するまでをさまざまなエピソードをまじえて描く。
9-90	青い鳥	32	小・中高学年	ノーベル文学賞に輝く、メーテルリンクの名作。幸せの青い鳥を求めて、さまざまな夢の国をさまようチルチルとミチルのファンタスティックな冒険物語を通して、本当の幸せは、家族や隣人たちの相互の愛と思いやりの心の中にあることを訴える。
9-91	七夕ものがたり	20	幼児 小・低学年	夏の夜空に天の川をはさんで織姫と彦星が繰り広げるラブロマンスを美しくうたいあげた七夕伝説のアニメーション化。宇宙に想いをこめた壮大でロマンチックな物語。
9-92	若草物語	70	小・低中学年	ルイザ・M・オルコット原作のアニメ版。貧しくとも、愛情豊かに生きたメグ・ジョー・ベス・エミーの四人の姉妹と、その周囲の人々とお話を涙と笑いで描く感動の物語。アメリカが奴隷解放問題で、南と北に分かれて戦っていたころのフィラデルフィア郊外に住むマーチ家がこの物語の舞台。
9-93	いじわる狐ランボー	15	幼児 小・低学年	いじわる狐のランボーは、とうとう、山羊のおじいさんまでけがをさせてしまいます。ところが診療所の熊先生は冬眠中、おこそうとして、みんなは部屋を春のように暖めます。その外でランボーが一生懸命うぐいすの鳴きまねをしていました…。  (文部省選定)
9-94	泣いた赤おに (アニメーション)	15	小・低中学年	里の人たちと仲良しになりたいと思っているのだが、村人たちは怖がって赤鬼に近付きません。そこへ親友の青鬼が訪ねて来て名案を教えてください…。誰でも知っている浜田広介の名作を美しいアニメーションで描く。  (文部省選定)
9-95	うかれバイオリン	20	小・低中学年	親切で心のやさしい少年ハンスが、旅の途中で助けた老人からもらった不思議なバイオリンで、邪心をもった悪者たちをこらしめるといふ物語。  (文部省選定)
9-96	いたずらっ子トム	26	小・低中学年	いたずらっ子の少年トムが、ふとしたことで水の国の女王に逢い、水の世界で冒険を重ねながらしだいにたくましい心の優しい少年になっていく物語を描いたアニメーション。
9-97	目をさせトラゴロウ	17	幼児 小・低学年	山の竹やぶの中に住み、食べ物のことばかり考える虎のトラゴロウと、動物たちを捕え毛皮にしようとする狩人とのたたかいを明るく楽しく描く人形アニメーション。  (文部省選定)
9-98	ゆきちゃんのこんには	19	幼児 小・低学年	あいさつができないゆきちゃんが、雲の上の少年とのかかわりあいの中で、次第に、あいさつのできる子に変わっていく様子を、民謡調アニメーションで描いたもので、多くの人と接するうえであいさつのもつ大切さを感じとる。  (文部省特選・教育映画祭最優秀作品賞)

【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-99	がんばれスイミー	26	幼児 小・低学年	泳ぎの速い魚のスイミーは、大きな魚に追われ得意の泳ぎで難をのがれるが、同じ目にあう仲間の魚たちと協力し、大きな魚たちを追いはらうという物語を、アニメーションで描いている。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
9-100	キュリー夫人物語	26	小・中高学年	ラジウムなどを発見し、二度もノーベル賞を受賞した、ポーランド生れのキュリー夫人の少女期から結婚までの人生にスポットをあて、厳しい環境の中で、兄弟姉妹と手をとりあって励まし合いながら努力をつづけ、しだいに頭角を表わしていく過程をきめ細かく描いたアニメーション映画。
9-101	森のトントたち 吹雪のトナカイ訓練	25	小・低中学年	世界の子どもたちにクリスマスプレゼントを届けるため厳しい寒さの中でトナカイを訓練中、急に襲ってきた吹雪に驚きあわてるがみんな協力し危険から脱するという物語をアニメーションで描いている。  (文部省選定)
9-102	大造じいさんとがん	23	小・中高学年	棕鳩十原作「大造じいさんと雁」を素材に映画化したもので、仲間の危険を身をもって防いだ雁のリーダーと、それを見守る大造じいさんの物語をアニメーションで描く。  (文部省選定・教育映画祭最優秀作品賞)
9-103	ゴンザとソウザ	24	小・高学年	1728年、鹿児島から大阪への航海の途中、あらしに遭遇し、ロシアのカムチャッカ半島にたどりついたゴンザとソウザがロシアの地でさまざまな苦難を乗り越え、世界最初の「露日事典」を作りあげた様子を描く。  (文部省選定)
9-104	虚十公園林	18	小・中高学年	宮沢賢治原作「虚十公園林」を素材に映画化したもので、自然を限りなく愛した一人の少年が空き地に杉の苗を植え大切に育てた苦勞がみのり大きな杉林として成長し、人々から公園として親しまれるという物語をアニメーションで描いている。  (文部省選定)
9-105	一休さん たけのこと虎退治	25	小学生	安国寺へ見廻りにやって来た新右衛門は「手打ちにした」という口実で、タケノコを取り上げてしまう。これに対し一休は「死骸を引き取る」という口実で、おいしくたいタケノコをまんまと取り戻す。新右衛門から一休の利発ぶりを聞かされた足利義満は、知恵のほどを試さんものと考え一休を金閣寺に招く。そしてついでに絵の虎の退治を命令する…。
9-106	蛇女房	20	小・中高学年	貧しい木こりの若者長太と、蛇の化身であるその女房との間に生まれた「はなや」が、蛇の正体が知れて山奥の沼へと帰ってしまった母親に再会するまでを描きながら、子を思う母、母を思う子の、その情愛の美しさ、尊さを浮かび上がらせる。東北地方に伝わる民話「蛇女房」を原作の素朴な味わいを残しながら子どもたちを楽しめるような人形劇として映像化している。  (文部省選定・教育映画祭最優秀作品賞)
9-107	野口英世物語	20	小・中高学年	野口英世の生涯を、特に少年期に焦点をあて描いたもので、幼いころ、大やけどで左手の自由を失った英世が、そのハンディにもめげず、勉強にはげみ、力強く生きていく様子をアニメーションで描いている。  (文部省選定)
9-108	地藏浄土	20	小・中学年	正直者のじいさまは、ある日、落した団子を追って穴の中にころがりこみ、そこにいた地藏さまに団子をあげたことから、鬼の宝物を手に入れたが、それを真似した隣のじいさまは、地藏さまをないがしろにしたことから、鬼にさんざん目にあわされる—という物語を通して、正直な思いやりの心の大切さを浮かびあがらせる。  (文部省選定)
9-109	カバのポトマス	25	幼児 小・低学年	人間の言葉が話せるゆかいなポトマスというカバと、マキという少女を中心に、カバと人間との心がつながりあっていく姿を描いたもので、動物とおしゃべりしたいな…、といった子どもの夢をかなえてくれるアニメーション。  (文部省選定)
9-110	天人女房	20	小・中高学年	若者に空をとぶ衣をとられ、天国に帰れなくなった天女は、若者と夫婦になったが、ある日、若者が隠しておいた衣を見つけ、天国へ帰ってしまうという物語を通して親子愛・家族愛の尊さを浮かびあがらせる。(人形アニメーション)  (文部省選定)
9-111	怪談 ～芳一ものがたり～	25	小・中高学年	小泉八雲原作「耳なし芳一」を素材に映画化したもの。夜ごと寺を抜けだし、平家の墓場で琵琶をかき鳴らす芳一。このままでは死者に命を奪われてしまうと考えた住職は芳一の体に経文を書きつけるが、耳に経文を書きわすれたことから、耳をとられてしまうという物語をアニメーションで描いている。

【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-112	スペーススキッドの宇宙探検	25	小・低中学年	宇宙パトロール隊のスペーススキッドが宇宙船に乗っていざなう太陽系宇宙の旅。惑星誕生の話から水星・金星・地球・月・火星・木星・土星・海王星・冥王星についての初歩的な知識を美しい映像で描く。
9-113	よわむし太郎	15	小・中高学年	村の子どもたちからよわむし太郎と呼ばれている若者が、白鳥を射とめようとする殿様の前に立ち、命をかけて白鳥を助けるといふ物語をアニメーションで描いている。 (文部省選定)
9-114	ブカドン交響楽	12	小・低中学年	全管楽器・木管楽器・弦楽器・打楽器のはじまりと発達を、楽しく感動的に描いたアニメーション。 (アカデミー賞)
9-115	月の峰の狼	15	小・中高学年	仲間たちの幸せのため、新天地を求めて旅立つリーダーの兄狼にかわり、残った仲間を守る若き狼の勇気ある行動と責任感を感動的に描く。 (文部省選定)
9-116	ミッキーマウスのお化け退治	9	幼児 小・低学年	ミッキー・ドナルド・グーフィーのゆかいな仲間のお化け退治の様子を、おもしろく描いたウォルト・ディズニーの作品。
9-117	一休さん がまん会ときもだめし会	25	小学生	うだるように暑い真夏の日、桔梗屋利兵衛はがまんくらべの会を行い、一休をやりこめようとするが失敗。続いて、一休がクモを苦手とすることを知った利兵衛は、きもだめし会を開催して、洞穴にはりぼてのクモをしかけて一休を待ちうける…。
9-118	一休さん つらい修業と鬼の和尚さん	25	小学生	一休のトンチの評判は日まじに高まり、トンチ合戦の申し込みや相談事があいつぐ。そうしたことが、一休の修業の邪魔になると考えた和尚さんは、それらの申し込みを一切拒否するとともに一休に従来の三倍の修業を命じる。やがて一休は苦しい修業の中から、禅の悟りというもの、素直な心によって得られるものだという事を知る。
9-119	火事と子馬 (字幕入り)	22	幼児 小・低学年	この映画は、新しい感覚で子どもと動物の美しい友情を描いたもので、生命尊重と、他人への思いやりや、正義をつらぬく勇気などを、幼い心に鮮やかに印象づけようとしている。 (文部省選定)
9-120	森のトントたち 白鳥の湖	25	幼児 小・低学年	子どもたちは、ケガで飛び立つことができない白鳥を助け介抱してやる。やっと飛び立った白鳥は、無事に群れに追いつくだろうか…。 (文部省選定)
9-121	約束 ～アフリカ・水と緑～	16	小・高学年	少年時代、父親の仕事の関係でアフリカで日々をすごした少年が、やがて地下水開発のための技術協力隊員として、再びアフリカを訪れ、少年時代の友だちと再会するという物語をアニメーションで描いている。 (文部省選定)
9-122-1	がんばれ五色桜	21	小・中高学年	病弱な少年健吉は、枯れかかった桜の古木の生命を助けようとする人々の願いに接し、自分なりに協力していくが、その中で生命の尊さ、自然への思いやりの大切さを感じとっていく姿を、アニメーションで描いている。 (文部省特選・教育映画祭最優秀作品賞)
9-123	おにたのぼうし	18	小・低中学年	人間が喜ぶことを何かしたいと、誰にも気づかれないように、ひっそりと暮らしている黒鬼の子ども、おにたを主人公に、春夏秋冬の美しい自然を背景にして、詩情ゆたかなメルヘンの世界を描く。 (文部省選定)
9-124	ハチ公物語	18	小・中高学年	渋谷の駅前で主人の帰りを待ち続けたハチ公の話を映画化したもので、飼主である上野さん一家や近所の子どもの交情の姿を興味深く描いている。 (文部省選定)
9-125	小公女セーラより 親切なパン屋さん	25	小・低中学年	このアニメーションは、どんなに厳しく、苦しい目にあっても、他人へのやさしさと思いやりを決してわすれない小公女セーラの美しく豊かな心を描いている。 (文部省選定)
9-126	薩摩義士 ～木曾川にいどむ～	24	小・高学年	江戸時代の中期、木曾川の治水工事のお手伝いを命じられた薩摩藩の人々が、地元の人々との協力のもとに、多くの困難を克服して見事に大工事を完成させるまでを描く。 (文部省選定)
9-127	パオちゃんのクリスマス	15	幼児 小・低学年	仔ぞうのパオちゃんと友だちの動物たちが繰り広げる、ゆかいで楽しいクリスマスの話を描いている。 (文部省選定)
9-128	ミッキーマウスの キャンピングカー	9	幼児 小・低学年	ミッキーマウス、ドナルド・ダック、グーフィーの三人は、キャンピングカーで旅行することになりいよいよ出発。しかし、下り坂で引っぱっていたキャンピングカーがはずれ、うしろのキャンピングカーだけが猛スピードで暴走。ヒヤヒヤ、ドキドキの連続…。 (文部省選定)
9-129	森のトントたち 森になった館	25	幼児 小・低学年	森の冬は厳しく、吹雪が吹き荒れている。動物たちには食べるエサもなくなってしまった。吹雪の止んだ日、子どもたちはエサを持って弱った動物たちを助けてやる…。 (文部省選定)

## 【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-130	アニメ三銃士 パリの三銃士	25	小学生	花の都パリへやってきた少年剣士ダルタニアンは、国の陰謀の渦に巻きこまれるが、危機をはらいのけ銃士隊の三人と固い友情に結ばれるという物語を、アニメーションで描いている。  (文部省選定)
9-131	こぎつねコンとこだぬきポン	21	幼児 小・低学年	人は誰でもひとりでは生きていけない。お父さんやお母さん、家族の愛情とともに、大切なのは仲の良い友だちである。親どうしは互いにきらいあっても、こぎつねのコンとこだぬきのポンは友だちになってしまうという物語を通じて、友だちを持つことの楽しさを訴える。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
9-132	スノーマン	26	小・低中学年	ブリッグス原作「スノーマン」を素材に映画化したもので、少年が作った大きな雪だるまが、夜になって少年の部屋をおとずれ、長い冬の夜を楽しく過ごす様子をアニメーションで描いている。  (文部省選定)
9-133	わくわくえほん劇場 PART 1	17	幼児 小・低学年	絵本として親しまれている“ロージーのおさんぼ”“なににかわるかな”“ハロルドのふしぎなぼうけん”の三作を動く絵として楽しくとらえている。  (文部省選定)
9-134	りんごの袋 (字幕入り)	21	幼児 小・低学年	親切で気のいいさぎが、森でみつけたリンゴを袋につめ、帰る途中、クマやリス、ハリネズミたちに分けてやり喜ばれるが、家で待っている子どもたちの食べるものがなく、リンゴをとり森へ引き返すという物語をアニメーションで描いている。  (文部省選定)
9-135	雪国からのたより	24	小・中学年	本の返却をめぐり仲良しの友だちと気まづくなった健一は、父の転勤で田舎の学校へ転校するが、偶然、返したと思った本を見つけ、自分の非を反省するとともに友情の大切さに気づいていく様子を描いている。  (文部省選定)
9-136	木を植えた男	30	小・高学年以上 一般	人が地球上に生命を得て、人類がみな幸せに生きていくには何をすればよいか。この映画は、生命の喜びを共に享受できる自然環境を守り、荒野から長年にわたる努力により緑滴る森林をつくりあげた一人の男の物語である。  (アカデミー賞・国際アニメーションフェスティバル広島大会グランプリ)
9-137	ピュア島の仲間たち	38	幼児 小・低学年	ピュア島の妖精たちと平和に暮らしている少年が、妖精をつかまえようとする悪者を、妖精たちと協力し、こらしめるという物語を描いている。  (文部省選定)
9-138	化けくらべ	20	小・低中学年	松谷みよ子原作「化けくらべ」を原作に映画化したもので、化け方が得意の狸と狐が、どちらがうまいか化けくらべをすという物語を描いている。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
9-139	吉四六どん	19	小・低中学年	大分県に古くから語りつがれている吉四六話を素材に映画化したもので、吉四六少年が得意のトンチで相手をやりこめる話を、楽しく描いている。  (文部省選定)
9-140	よいこのたのしいクリスマス	25	幼児 小・低学年	クリスマス・ソングをそれぞれ音楽のイメージに合わせた映像に乗せて聞く、ミュージックアニメーション。クリスマス・ソングは9曲で、「もろびとこぞりて」「ジングルベル」「あかはなのトナカイ」「あわてんぼうのサンタクロース」「サンタがまちにやってくる」「きよしこのよる」など、おなじみの曲ばかり。
9-141	おばけうんどうかい	25	幼児 小・低学年	お化けたちの運動会の日、白組にスカウトされた少年が、一日だけお化けに変身し、白組の優勝をめざし頑張る様子を描いている。  (文部省選定)
9-142	パラダイス	16	小・低中学年	宮殿で不思議な色や姿に変化し楽しむ鳥たちをみたカラスは、自分も着飾り王様の前で踊るが、王様に嫌われ宮殿から追い出されるという物語をアニメーションで描いている。  (文部省選定)
9-143	スノーグースと少年	11	小・低中学年	傷ついた一羽の雁をみつけた少年は、その傷の手当をしてやり雁と仲良しになるが、その雁も秋がきて冷たい風が吹くころ、仲間とともに旅立っていくという物語を、アニメーションで描いている。  (文部省選定)
9-144	腹ぺこ童子	20	幼児 小・低学年	うまいものを腹いっぱい食べる事だけを考えている少年が、村の天狗様のお告げで旅にでるが、その旅の中で、本当にうまいものは母がつくった食べ物であることに気がつくという物語をアニメーションで描いている。  (文部省選定)

【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-145	黄金のかもしか	31	小・低中学年	インドに古くから伝わる話をもとに映画化したもので、金のカモシカをねらう欲張りな王様と、カモシカを助けようとする少年の物語を、アニメーションで描いている。 (文部省選定)
9-146	いじわる狐ランボーのなみだ	15	幼児 小・低学年	子狐のランボーは、わるさばかりして、みんなに迷惑をかけるので、森の仲間のきらわれものだった。しかし七夕祭りの日がランボーの誕生日と知ったみんなは、長い話し合いのすえ、誕生祝いをいっしょにすることにした。みんなの「ハッピーバースデー」の歌に包まれたランボーは、それまで人の前で泣いたこともなかったのに、大きな涙をボトリとこぼすのだった。
9-147	黒田清輝	24	小・中高学年	法律家になることを進められパリに留学した黒田清輝が、法律の道より自分の天分をいかした画家としての道を歩もうと決意し、後に日本洋画の父として大成していく姿を描いている。 (文部省選定)
9-148	親子パンダの物語	51	小・低中学年	故郷で楽しくくらすパンダが、人間に捕まり動物園で暮らすようになるが、長い間の動物園生活の中でもたえず故郷を慕い、淋しい想いで生きていく物語を、アニメーションで描いている。 (文部省選定)
9-149	フランダースの犬	35	小・中高学年	主人公の少年と老人と犬の間の愛情と交流を中心にして物語を進め、少年の芸術にあこがれて努力する姿や、少年をほめます少女の友情などをからめ、動物愛護、友情、そして美へのあこがれなど、子どもの情操を高める内容を豊かに盛りこんだ作品です。 (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
9-150	とべないホテル	18	小・低学年	生まれつき羽がちれてとべないホテルと、仲間のホテルの友情を中心に、足が不自由で歩くことができない人間の子のひろちゃんとホテルの出会いの話。身体障害児への理解と共感を深めるよう工夫されている。 (教育映画祭優秀作品賞)
9-151	粉屋とロバ	12	幼児 小・低学年	イソップ童話「粉屋とロバ」を素材に映画化したもので、粉屋の親子が、ロバを売りに町へ行く道すがら、行き交う人の言葉のままにロバに乗ったり降りてみたりするという物語を描いている。 (文部省選定)
9-152	彦星と織姫	20	幼児 小・低学年	牽牛星「わし座のアルタイル」と織女星「こと座アルファ・ベガ」が一年に一度、再会すると語りつがれた物語。星座の正式な星の名称・羽衣伝説・七夕伝説・竜宮の乙姫伝説をないまぜにした構成の工夫が、このアニメを一味ちがった新鮮なものにしている。 (文部省選定)
9-153	3丁目物語 ～春編～ うちのタマ知りませんか	25	幼児 小・低学年	たけし君のいえのネコ、タマが行方不明になった。たけし君は、ポスターを描いて、3丁目中に貼った。『うちのタマ知りませんか。とくちよー：あたまかたとしっぽにちやいろのブチがあります。せいかくはおとなしくほとんどなまきません。ケンカもしません…。みつけたひとはさんちよーめの岡本までれんらくください。』3丁目には、いつも「あたたかい心」があふれている。
9-154	わたしおてつだいねこ	19	幼児 小・低学年	お手伝いの大好きな「ねこさん」が引きおこす失敗と、それをやさしく見守る周囲の親切な人々の心の交流を描く。 (文部省選定)
9-155	サンタのおくりもの	8	幼児 小・低学年	クリスマスイブの夜…サンタクロースがトナカイのそりに乗って子どもたちのねむる家へやってきた。サンタがひとつひとつメモを見て子どもたちのくつ下にプレゼントを入れていくと、サンタの袋からおもちゃの人形たちがとび出して大活躍、にぎやかにクリスマスツリーを飾っていく。サンタのおじさんは子どものいる家を一軒一軒たずね、贈り物をくぼるのに大忙し。明日は楽しいクリスマス。 (文部省選定)
9-156	赤い靴	45	小・低学年以上	アンデルセンの原作を虫プロダクションがアニメーション作品にしたもの。笑いの玉座一座の夢は、コペンハーゲン最大の花のコミック大ホールの舞台に立つことだった。でも現実には厳しく、いつも貧乏劇場での公演ばかり。ある時、弟のカールが見つけた赤い靴をはいてケティが踊ると、自然に動き出し素晴らしい踊りになった。それが評判になり、コミック大ホールの舞台に立てることになったが…。 (文部省選定)

【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-157	小川よ走れ	20	幼児 小・低学年	ソビエト連邦映画スタジオ制作の日本語版アニメーション。さらさら音をたて雪どけ水が流れ出した。春を待ちわびた森の動物たちは急いで穴からはい出し、身づくろいをしたり、水浴びをしたり大よろこび。すこしでも早く皆に春の到来を知らせようと「春の小川」は一歩けんめいに森をぬって進んでいく。ところが悪いかえるの親分は自分の池に水の流れをみな取り込んで、せき止めてしまった。  (文部省選定)
9-158	ペンギン	14	幼児 小・低学年	働き者のペンギンと、のんきですぼらなペンギンがいた。働き者は、毎日卵を大切にたためていたが、空腹に耐えきれず、のんき者に留守を頼み、えさを取りに出かけた。のんき者は、ついうとうとして、誤って預った卵を海に落としてしまった。困った働き者は、そっと手ごろな石をひろって働き者に卵とだまして返した。短い夏が終わって冬になっても働き者の卵はヒナにならない。やがて…  (文部省選定)
9-159	ミッキーマウスと魔法の帽子	10	幼児 小・低学年	ポール・デユカ作曲の「魔法使いの弟子」の音楽にのせて、ミッキーマウスが活躍。ミッキーは魔法使いの弟子になったが、いつも水汲みや雑用ばかりで、なかなか魔法を教えてもらえない。ある日、魔法使いの先生がいない時、しまい忘れた帽子をかきりて魔法の練習を始める。つらい水汲みをほうきにさせようと思ひ、ほうきに魔法をかけた。ほうきは、熱心に水汲みを始めたため、ミッキーはひと休み。目がさめると…  (文部省選定)
9-160	ミッキーマウスとブルート	10	幼児 小・低学年	犬のブルートが、川を流されていく一匹の子猫を助け、家に連れて帰った。主人のミッキーは、その日から子猫ばかりをかかわいがるようになり、ブルートの気持ちはおだやかではない。そんなある日、外で子猫が遊んでいて、誤って井戸に落ちるのをブルートは見つける。ブルートの心の中で助けるべきか、見捨てるべきか、「天使」と「悪魔」の葛藤が始まる。そして…  (アカデミー賞)
9-161	ミッキーマウスのおたんじょう日パーティー	9	幼児 小・低学年	今日はミッキーマウスの誕生日。ミニーの家に、グーフィもドナルド・ダックもメンドリさんも集って、みんなでミッキーのお誕生日パーティーを開くことになった。ミニーからケーキづくりを頼まれたグーフィは、みんなが楽しんでいる間も、ひとり台所でケーキづくり。なんども失敗しながら、やっとできあがったケーキをみんなの所に持ってきたが、つまずいてミッキーの頭に落としてしまう。でもミッキーは大喜び。  (文部省選定)
9-162	いたずら子リスとドナルドダック	8	幼児 小・低学年	チップとディールの2匹のいたずら子リスは、高い木の上に住んで、毎日木の実を食べて楽しく暮らしていた。ところが、ドナルド・ダックが、その木をきれいに刈りこもうと思ひ作業をはじめた。2匹の子リスとドナルド・ダックのたたかいが始まってしまった。さて、どちらが勝つか。  (文部省選定)
9-163	ディズニーのベンとエイモス	23	幼児 小・低学年	ベンジャミン・フランクリンは、小さな新聞社の編集者。ねずみのエイモスは、ベンを助けてニュースを集め、助言もする有能な記者役。ところがある日、ベンが電気の研究をしていてエイモスに落雷してしまう。怒ったエイモスは、生まれ故郷に帰ってしまう。その後、アメリカの独立戦争が始まり、ベンは独立宣言書を起草することになるが、その草稿がはかどらない。エイモスの助けを求めるためベンは出かける。  (文部省選定)
9-164	ディズニーの三びきのこぶた	9	幼児 小学生	三びきの兄弟のこぶたがいた。ある時、三びきはそれぞれに自分の家を造ることにした。一番上の兄は、わらの家をつくり、二番目の兄は、木の家をつくり、三番目の弟は、レンガの家をつくった。二匹の兄たちは、汗を流しながら働く弟を見て、「かんとんにこしらえて、ぼくたちみたいに遊べばいいのに」とばかにした。その二匹を、お腹をすかせた狼がねらった。「ガオオッ！」兄たちの家は、あっという間にこわされた。  (文部省選定)
9-165	くまのおいしゃさん	23	幼児 小・低学年以上	美しい自然を背景に動物村の皆が助け合って、平和に暮らしている。そこでもし出される親子、友人、村人たちの信頼の大切さ、やさしさなどとともに交通安全に気をつけることを気づかせ、幼い子の心情を育むアニメーション。くまのお父さんは、森のおいしゃさんです。今日も自転車に乗ってでかけていきます。くまの子サベアとエベアも自転車大好きです。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)

【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-166	ムーミン 落ちてきた星の子	25	幼児 小・低学年以上	流れ星のおはなしを聞いて夜空をながめていたムーミンは、空から星の子が降ってくるのを発見しました。さっそく探し出して家に連れ帰りますが、星の子は星に帰りたいと泣くばかり。驚いたことに、その涙はどれも美しい星の粒なのです。ムーミン谷のみんなが大騒ぎする中で、ムーミンはなんとか星の子を空に帰してあげようとしています。 (国際アンデルセン大賞)
9-167	山に輝くガイド犬平治号	28	小・低学年以上	九州の屋根、くじゅう連山で14年間も登山者の命を守り、多くの人々に親しまれたガイド犬「平治」の物語。大自然の中で、たくましく生きる平治の一生を通じて、子どもたちに、生きることの喜びを伝える。ある日、くじゅう連山の登山口の一つ長者原に、傷ついた子犬が迷って来た。地元の人たちは、傷をなおし、平治と名づけ、かわいがった。やがて大型の立派な犬に育つ…。 (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
9-168	小さなバイキングピッケ ～火山島探険～	23	幼児 小・低学年以上	宝物をさがしに、バイキングたちは火山島にやってきました。溶岩を避けながら森に向かう途中、ピッケは深い穴に落ちてしまいました。何とそこは恐竜の巣でした。そして奥には光輝く宝石があったのです。みんなが宝石を掘り出していると、火山の爆発がおこり、恐竜もバイキングのみんなも海へと逃げ出しましたが、恐竜の方が一足早く船に上がりこんでいます。爆発による津波がせまってきました…。
9-169	王さまライオンとカエル	20	幼児 小・低学年以上	わがままな森の王様ライオンが、星の女王を妃にしたいと言いつつ出た。そしてカエルのカールとエルに星の女王を迎えてくれるよう命令します。カエルはなんとか天界にたどり着くが、太陽の神は、わがままなライオン王をこらしめるため、魔法の力で呼びよせ、水鏡で宮殿をのぞいて自分のわがままが家来をどんなに困らせているかを見せていきます。 (文部省選定)
9-170	夢ものがたり	20	小・低学年	古典落語の名作人情ばなし「芝浜」をもとに、江戸の裏長屋の魚屋夫婦に子犬をからませ、「地道に働くことの尊さ」「夫婦愛の大切さ」をユーモアとペースをまじえて描く。 (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
9-171	世界のヒーロー 偉人物話 コロンブス	23	小・低学年	マルコポーロの「東方見聞録」を読んだコロンブスは、黄金の国ジンバングへ行くため、西回りの航路を考えていました。ある時、スペインのイザベラ女王がコロンブスの計画に理解を示し、その航海の許可を出しました。コロンブスは長く苦しい航海の果て、思いもよらない未知の大陸（アメリカ）に到達したのです。
9-172	三ねん寝太郎	43	小・低学年	年がら年じゅうねてばかりいるので、村の子どもたちから“寝太郎”と呼んではやしたてられている若者がいた。彼のいる村は貧しく、どんなに田んぼを耕し、稲を大切に育てても、川がないため夏に日照りが続くとどうすることもできない土地だった。3年3か月も寝ていた若者は、この村に幾山も越えた湖から水を引くと言ひ、力のかぎり土を掘り運び、くわが折れても掘り進んでいくのでした。 (文部省選定)
9-174	アンパンマンとばいきんまん	10	幼児	アンパンマンは、パン屋のジャムおじさんが作ったアンパンから生まれた正義の味方。アンパンマンのおかげで、ジャムおじさんの店も大繁盛。ところがある日、店のパン全部にカビがはえてしまった。どうやらばいきんまんの仕業らしい。ジャムおじさんに体を大きくしてもらったアンパンマンは、ばいきんまんをやっつけに飛んでいく。
9-176	クリスマスキャロル	29	小・低学年	冷酷で、けちん坊なスクルージ老人が、クリスマスの日に、夢の中で、幽霊たちから過去・現在・未来にわたる自分の姿を見せられて、やさしい心を取り戻し、人間性に目覚めていくという物語。原作をできるかぎり現代の子どもたちも興味をもてるように再構成し、他の人々への思いやりの心がいかに大事かという、今に通じるメインテーマを浮かび上がらせている。 (文部省選定)
9-177	はれときどきぶた	38	小・低学年	矢玉四郎原作のベストセラー童話のアニメーション。野球をやれば三振ばかりの“十円安”こと畠山則安くんは、どこにも居そうな小学三年生。彼のとりえは元気なこと、毎日欠かさず日記をつけていること。その日記をお母さんがこっそり読んでいたらしい。則安くんは、お母さんをびっくりさせようと日記にデタラメを書いた。これがとんでもない事件に発展していく。 (文部省選定)

## 【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-178	いじわる狐ランポーの勇氣	15	幼児 小・低学年	“いじわる狐ランポー”シリーズ第3弾。森の動物たちの村に暴れ者の狼、ドラゴンが現れた。ドラゴンの強さにひかれたランポーはドラゴンに誘われるまま、そのあとに従ったところから、村の仲間たちはランポーもドラゴンと一緒に森から追い出そうと相談する。しかし、キキはひとり『ランポーも困っているんだ。みんなで助けようよ』と提案した。さて森の動物たちは…。
9-179	ムーミン 消えないおばけ	25	幼児 小・低学年	ムーミン家にお客さまがやってきました。でもちょっと困ったことに、そのお客さまは“おばけ”だったのです。おばけくんは、ママの料理に文句をつけたり、わがままばかり言ってみんなを困らせています。でもおばけくんにも大きな悩みがありました。誰もおばけを恐がってくれないのです。そこでママがある計画を立てました。
9-180	笠地蔵	20	幼児 小・低学年	ある山村に貧しい老夫婦が住んでいた。年の瀬もおしそまつた大みそかの日、わずかな餅でもつき、魚の一匹でも買って正月を迎えようと、おじいさんは大急ぎで編んだ笠を持って町に出かけた。しかし、皆忙しそうで、おじいさんの笠を買ってくれる者は一人もいない。やがて雪が降りはじめ、人通りもなくなり…。 (人形アニメーション)
9-181	雪おんな	20	小・中学年	昔、夏には魚を追い、冬にはしかやうさぎを追う、茂作と箕吉という親子がいた。ある冬のこと、二人は獲物を追っているうちに雪が降りはじめたので、近くの山小屋に泊まることにした。その夜、強い風とともに戸が開いて、真白い着物を着た美しい女が小屋に入ってきた。雪おんなは、茂作に白い雪のようなものを吹きかけ殺し、次に箕吉へ近づいて…。 (人形アニメーション)
9-182	ムーミン 氷の国をぬけだせ	25	幼児 小・低学年	ムーミン谷に氷がはり、ムーミンたちはスケートに夢中。不思議なことが起きたのはそのときで、湖の水がかたむき、アツといううまにムーミンたちは氷の世界に引き込まれてしまったのだ。驚いたことに、そこには氷の国のおきさきが、地上にあるものをすべて氷結めにしていたのだった。今度ねらわれるのはムーミンたちで…。  (国際アンデルセン大賞)
9-184	ムーミン おじさんは手品師	25	幼児 小・低学年	ある夜、ムーミンは本を見ながら「外国ってどんな所なんだろう。どんなに素敵だろう。いつか行ってみたいな。」と夢を馳せていた。その時、誰かムーミンの家にやって来た。ドアを開けると、大きなバックを持って変な格好をした、フレドリクソンというパパの古い友だちが立っていたのだった。ムーミンはおじさんの仕事は手品師と思ひ込み、次の日友達に自慢をしに行くが…。  (国際アンデルセン大賞)
9-185	1人ぼっちの狼と 7ひきの子やぎ	18	幼児 小・低学年	一人ぼっちのオオカミは、森の中でみんなからいつも恐れられ仲間はずれにされていた。今日も丘の上にあるやぎの一家が住む家では、7ひきの子やぎが笑い声をあげて楽しそうに遊んでいるが…。人と接するとき、噂や他人の言葉から得た先入観をもって接するのは正しくない。偏見を持たず自分自身で確かめる事が大切である。優しい心で接すれば相手も優しい心でこたえてくれることを描いた作品。
9-186	大きなライオンと小さなウサギ	24	幼児 小・低学年	森の中の広場で、森に住む動物たちの会議が始まった。カバの議長は、乱暴者のライオンが動物仲間を襲うので、どうしたらよいかを提案した。ワナや落とし穴をつくろうとか、力の強い者が立ち向かえばなどの意見が出たがまとまらない。最後にクジを作って当たった者が犠牲者になることになり、まさかと思っていたウサギに当たってしまう。ウサギは、何とかライオンを負かそうと考える。  (文部省選定)
9-187	まいごのこねこちゃん	6	幼児 小・低学年	いたずらざかりの子猫ちゃん、おかあさん猫の目を盗んで町へ飛び出した。車にひかれそうになったり、コックのおじさんに怒られたり、大きな犬に追いかけて工事現場に迷い込んだり。果たして、やさしいおかあさんのもとへ帰り着くことができるのだろうか。
9-188	子犬と子ねこの冒険旅行	20	幼児 小・低学年	ある牧場に、ロンという番犬がいた。臆病で何もできないので、追い出されてしまう。森のミミズクさんに、強くなる良い方法を教えてほしいとお願いしたら「朝が一番早くくる国へ行けば、誰でも強くなれる。」と教えてくれた。喜んで出かけたロンは、途中一軒の農家でネズミを捕らえることができないミックという弱虫子ねこに出会い、「力を合わせて強くなろう」とロンとミックの冒険旅行が始まる。  (文部省選定)

## 【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-189	ジャングル大帝 ～誕生～ (DVD有り：9-31)	24	小・中学年	手塚治虫の代表作。アフリカ奥地の秘境に、パンジャという白いライオンが王者と崇められ、人間達からは魔神と恐れられていた。しかし、密猟者の手にかかりパンジャは殺され、妻のエライザは捕えられヨーロッパへ送られる途中の船内で「レオ」を出産する。エライザはレオに、人間に飼われるよりパンジャの森に帰って父の遺志を継ぎ生きると説得し、逃亡する事を決心させ、レオは嵐の海に飛び込む。
9-190	ジャングル大帝 ～故郷～ (DVD有り：9-39)	24	小・中学年	友人となったトニーとココに案内されて、パンジャの森に入ったレオは、森に住む動物たちに紹介されようとした時、ジェット機が森の中に墜落し炎上した。火災に逃げ惑う動物達。その中でレオは、薬草を探しに来ていたライオン、ライヤと出会う。長老クロサイから薬草のある場所を聞き、燃え盛る炎の中を突破し、滝の上の薬草を取った時、レオは森の火災を消す方法を思い付いたのであった。
9-191	ジャングル大帝 ～森の掟～	24	小・中学年	日照り続きで飢きんに陥ったサバナナから、象の一族が食べ物求めてパンジャの森の対岸へやってきた。そのため、そこに住んでいた大勢の動物たちは、川を渡ってパンジャの森へ逃げ込んでくるのだ。そのうえ、ボス象のバグーラの子どもビゾーが好奇心から森へ入ってきて、森の掟を無視したイタズラをはじめる。レオはパンジャの森を守るため、一人で象の一族と戦う決心をする。
9-192	ぼくとときどきぶた (ビデオ有り：9-3)	25	小・低学年	あだなは「十円やす」こと畠山則安君。クラスの発表会で、則安君の班は紙芝居をやることになった。中川君は「宇宙人が地球を攻撃する話」、花村さんは「こぶたがお弁当を持って遠足に行く話」、則安君は「魔法使いがでてくる話」がいいと言い、結局3人の意見を全部まぜた話にすることにした。発表会の日、紙芝居の2枚目をだして「魔王がやってきました」といった時、紙芝居から魔王が飛び出し大騒ぎになる。  (文部省選定)
9-193	かあちゃん泣かないで	28	小・低学年	ある山奥の村はずれに母と娘が住んでいた。ある日、母に怒られたユキは、腹立ちまぎれに山の神社のほこらを壊してしまう。すると山神さまが現れ、懲らしめのためにユキの身体と心(幽体)を別々にした。ユキは幽体となりいろいろな体験をする。
9-194	海ガメさんのちえ	20	幼児 小・低学年	海ガメは、知恵と勇気のかたまりのような不思議な魅力と説得力を持っている。海ガメは、海の友達に乱暴するクジラと、けがに効く不思議な赤い木の実を独り占めにしているゾウのゴーマンと「知恵と勇気」で対決する。  (文部省選定)
9-195	夢の星座	9	幼児 小・低学年	クリスマスの前夜、北斗七星の一つがはずれて地球に落ちてきた。地球の家の中では、子どもたちがモミの木に飾りを付けていた。星は、子どもたちやおもちゃに迎えられ木の頂の飾りになる。しかし、広い空を失った星はだんだん悲しくなり、星の気持ちがあわかった子どもたちは、星を空に帰してあげることにする。
9-196	サギの親子と宝物	24	幼児 小・低学年	サギ夫婦は立派な家とたくさんの宝だけで、子どもはいらないと思っていたが、ヒナが生まれるとこれが本当の宝だと気づく。しかし、悪いキツネがヒナをよこせと迫って来た。困っているところへカラスがやって来て、家中の宝物を少しづつキツネに渡すスキに、飛べないヒナを訓練する。キツネに渡す宝がなくなった時、やっとヒナが飛べるようになった。  (文部省選定)
9-197	パーニング・ピレッジ ～風小僧チャンスの話～	13	幼児 小・低学年	ある日、ヘンテコだけどかわいくて心のやさしい村の仲間たちの所に、空から不思議な男の子チャンスが落ちてきた。チャンスは、空飛ぶ自転車に乗って大空のむこうのすばらしい夢を追いかけるロマンチスト、そんなチャンスのお話。
9-198	リトルツイズ ～祭の夜オスカが呼ぶ～	25	小・低学年	蛇におそわれて以来、恐怖心で外出しようとする足がすくんでしまう少女チフル。チフルの状態は一向によくならず、家族も心配でたまらない。兄のタフルは、妹チフルが早く元気になるように祈りながら、祭の日に神に捧げるマーボーを作り上げ、チフルを祭に誘い出すが…。  (文部省選定)
9-199	こぎつねのおくりもの	30	小・低学年	峠に住むいたずらな3匹の子狐は、お父さん狐から悪いことに使ってはいけないと化け方を教わる。ある日、茶屋のおばあさんが、「だんご」に巻く朴の木の葉っぱを拾いに峠までやってくる。今まで一つだったお地蔵さまが四つ並んでいた。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
9-200	アニメ三銃士 アラミス断崖の決闘	25	小・低学年	フランス・ルイ13世の時代の波乱に富む歴史を背景とした少年剣士ダルトニャンと友情を誓い合った3人の剣士の冒険物語。フランス軍は、鉄仮面のたてこもるベル・イールの要塞に総攻撃をかけた。その島には、一足先にダルトニャンと3人の仲間が潜入し、鉄仮面逮捕の機会を狙っていた。

【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-201	アニメ三銃士 さよなら！ダルタニャン	25	小・低学年	ダルタニャンと三銃士は、鉄仮面一味の立てこもるベル・イールの要塞の大砲を奪うことに成功し、鉄仮面とミレディーを追いつめることができた。しかし、鉄仮面は火薬庫に火をつけ用意していた潜水艦で逃走。残されたダルタニャンと三銃士の運命は…。
9-202	しっぽじまんのウサギさん	22	幼児 小・低学年	美しいしっぽをもったウサギが、あちこちの国を旅してはみんなから誉められ得意になっていたが、ある日、カメの国へ行くことになったが、カメに仕返しをするため悪巧みを考えが失敗し、最後は自慢のしっぽをカメに噛み切られる。だましたりしたら必ずその報いが自分にかえってくるというピルマのお話。
9-203	白いラクダの親子	18	小・低学年	自分の美しい体に自信を持ち、みんなから誉めて欲しいと思う心がこうじて、高慢になったうぬぼれの強い白いラクダが、この物語の主人公。この作品は、許す心、授け合う心、不幸を見て知らぬ顔をすることができない心が描かれる。
9-204	ひみつの花園 ～夢ではないといいのにな～	25	小・低学年	19世紀のイギリス。インドで孤児となったメアリーは、身寄りのおじさんに引き取られ、大自然に囲まれた広い邸の中で暮らすことになる。600年の歴史を持つ大きなこの邸は秘密に満ちていた。10年間も閉ざされたままの、高い塀に守られた庭園。立入禁止の一角から夜毎に聞こえてくる恐ろしい哀れな泣き声…。
9-205	少年モーグリ ～狼少年モーグリ誕生～	25	小・低学年	ジャングルの中に迷い込んだ人間の赤ん坊モーグリは、やさしい狼夫婦のアレキサンダーとルーリに育てられるが、いつも虎のシア・カーンに狙われていた。しかし、仲間の動物たちに助けられ狼の仲間としてたくましく育っていく。
9-206	にげだしたおおとこ	10	幼児 小・低学年	犬のチョンボは、気はいいけど意気地なしの臆病者。ある晩、大きな体の泥棒がきたのでチョンボは恐ろしくて隠れてしまい、泥棒は悠々と豚や鶏を盗んでいった。チョンボは自分がいても何も役にたたないと思い、家を出て行こうとするが、猫やネズミの友達が「君は、本気を出せばきっと大男を追い払うことができるよ」と励ます。
9-207	クマのプーさん ～プーさんとちみっ～	30	幼児 小・低学年	ハチミツが大好きなプーさんは、ミツバチの後をつけて巣のある木を見つけたが、ミツバチの大群にひどい目に会わされる。うさぎさんに食事に招待されたプーさんは、ハチミツをお腹いっぱい食べて穴から出られなくなり、さあ大変。そこで…。 (文部省選定)
9-208	クマのプーさん ～プーさんと大あらし～	30	幼児 小・低学年	ロビン坊やの森全体がゆれるほどのものすごい風が吹いている日、プーさんは仲良しのコプタ君に会いに出かけると、コプタ君は大風に飛ばされそうになっていた。あわててコプタ君の毛糸の服をつかまえると、まるで風のように…。 (文部省選定)
9-209	クマのプーさん ～プーさんと虎～	30	幼児 小・低学年	森の住人たちは今、1つの共通の問題に悩まされている。それはティガーというトラのせいで、大変陽気で愛想がよいのだが、陽気すぎてすぐに飛んだりはねたり。愛想のいいのも度を越して、みんなをいらいらさせてしまう。 (文部省選定)
9-210	雪渡り	23	幼児 小・低学年	詩人で童話作家の宮澤賢治原作。雪がすっかり凍って大理石よりも堅くなりました。四郎とかんこは、野原の向こうにある森に出かけ、そこで白い子狐の紺三郎と出会いました。子狐は、二人に幻燈会の招待状を渡しました。そして、四郎とかんこが楽しみにしていた幻燈会の日がきました。そして…。 (文部省選定・教育映画祭最優秀作品賞)
9-211	くまのおいしゃさん ～すてきなコンサート～	23	幼児 小・低学年	くまのお父さんは森のお医者さん。お父さんに歌手のエリザベツさんからクリスマスコンサートの招待状が届き、サベアとエベア姉妹と一緒にコンサートに行きました。そこに、キツネのコンゼットさんがそと来て、子どもが急病なので助けてくれと頼まれ、駆けつける。子どもの処置を済ませコンサート会場に戻ると…。 (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
9-212	3丁目物語 ～夏編～ タマが生まれた時の話／ タマとポチの大冒険	24	幼児 小・低学年	第1話「タマが生まれた時の話」 タマのお母さんってどんなネコかな？タマに兄弟はいるのかな？岡本たけし君のうちにくる前、タマがどうしていたかのお話です。 第2話「タマとポチの大冒険」 ある夏の日、タマとポチは偶然、3丁目から離れた海辺の町についていました。はじめて見る海の景色に2匹はびっくり！タマとポチの楽しい冒険旅行のお話。
9-213	どんぐりと山猫	20	幼児 小・低学年	宮澤賢治作の差別を超越して平等を求める作品。ある晩、一郎の家に山猫からおかしなはがきが届きました。翌朝、一郎は、はがきに書かれているとおりに山へ出かけ山猫に会いました。山猫は、どんぐりたちの争いの仲裁を一郎に頼みました。さて、一郎は…。 (教育映画祭最優秀作品賞)

## 【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-214	白い馬 ～馬頭琴～	21	小・低学年	羊飼いの少年スーホーと白い馬の美しい愛情物語です。横暴な王様は、少年と白い馬との愛を引き裂くため白い馬を殺してしまいましたが、少年は白い馬の骨で馬頭琴という楽器を作りました。その馬頭琴の美しい調べで、モンゴルの人々の悲しみと願いを歌いついでいきます。  (文部省選定)
9-215	さだ六としろ	15	幼児 小・低学年	北の国に「さだ六」という猟師と「しろ」という秋田犬がいました。今日も雪の中を狩りに出かけました。一匹の大きなイノシシを追いかけいているうちに隣村の領内に入り込んでいることに気づきませんでした。猟師たちには、無断で隣の領内に入って狩りをしてはいけないという掟があったのでした。  (文部省選定)
9-216	ぶんぶくちやがま	15	幼児 小・低学年	村に1匹のいたずら狸がいて、村の人たちは困っていました。ある日、その狸が子どもたちに捕まっていじめられていました。そこを通りかかったおじいさんが、その狸を助けてやりました。狸はおじいさんの思いやりに感激し改心し、恩返ししようと茶釜に化けて大活躍。  (文部省選定)
9-217	おむすびころりん	15	幼児 小・低学年	おじいさんは今日も山へ野良仕事に出かけました。お屋になったので、おじいさんはお弁当のおむすびを食べようとしました。その時、手からおむすびがストーンと落ちて転がっていき、穴にポトンと落ちてしまいました。すると、穴から美しい音楽が聞こえてきます。  (文部省選定)
9-218	ぼくへそまでまんが	25	小・低学年	いつも失敗ばかりしている“10円やす”こと畠山則安君。きょう、学校でみんなに笑われた。なにしろ、けさ、朝寝坊をして大慌てで、物干しに干してあったトレーナーを着てきたんだけど、妹のパンツがトレーナーに洗濯ばさみでとめてあったのだ。
9-219	雨をふらせる子熊くん	22	幼児 小・低学年	降り続く雨に機嫌の悪いタオタオ。でも雨が降らないと困る人がたくさんいるでしょうと、パンダのお母さんはタオタオにお話を始めました。昔、天国に一匹のクマがいて、地上に雨を降らせる仕事をしていました。ところがある日、雲から落ちて…
9-220	ランボーの秘密	15	幼児 小・低学年	森に新しくクマの親子が移ってきました。クマの子の名前はタンタン。弱虫で内気な性格です。そんなタンタンが心配なお母さんは、森の仲間たちに友達になってくれと頼みました。張り切ったランボーは、嫌がるタンタンを無理矢理すべり台に乗せて特訓をします。怖さのあまりタンタンは逃げ帰ってしまいました。  (文部省選定)
9-221	なかよし鯉のぼり	9	幼児 小・低学年	こどもの日の行事の持つ意味を紹介する作品。外で遊ぶのがきらいな健太は、妹のサチコと相撲を取っても負けるほどひ弱な少年です。それを見かねた鯉のぼりは、健太を背中に乗せて夢の世界へ出発します。そして森の中で熊を連れだ金太郎に出会い、相撲を覚えてもらうこととなります。健太はすっかりたくましくなり、サチコと相撲を取ってももう負けません。
9-222	ひなまつり	19	幼児 小学生	ヒロコちゃんは、ひなまつりの日になぜ人形を飾るのかお母さんやお姉さんに聞きますが、相手にしてもらえません。その夜、ヒロコちゃんがふと目を覚まし、雛壇のある部屋へ行ってみると、雛人形たちが雛壇から降り、くつろいでいました。雛人形たちとヒロコちゃんはひなまつりの歴史をたどる旅に出発することになりました。  (文部省選定)
9-223	ランボーのうそ	15	幼児 小・低学年	ランボーは仲間とリンゴ狩りに行き、弓矢でリンゴを射落とすし、さらに難しい獲物を狙ってカモに矢を向けます。森では矢が刺さった子ガモのことが問題になりました。ランボーは、犯人は人間であり、人間が捨てた弓矢を拾ったと嘘をつきます。その夜、子ガモが泣き叫ぶ夢を見たランボーは、子ガモを医者の方へ連れて行き、子ガモのお母さんに感謝されますが…  (文部省選定)
9-224	鬼の子とゆきうさぎ	22	小学生	鬼の子と人間の女の子との不思議な友情の中から、やさしさ、思いやりの心をメルヘンタッチで描く。人里離れた山の中に住む鬼の子の家族。鬼の子のお父さんは人間の村で手鞠を拾って帰りますが、鬼の子は人間の子の手鞠を探していると思い、心が痛みます。翌朝、鬼の子は手鞠を返すため、降り積もった雪の中を村に向けて出発します。  (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)

## 【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-225	トッピーと森の仲間たち	19	幼児 小・低学年	元気で愉快なモグラのトッピーくんが活躍する3つの物語。 ①『トッピーくんとひよこのたび』ひよこのお母さんを探す冒険物語。 ②『トッピーくんのだいすきなでんわ』トッピーくんの大切にしている電話の話。トッピーくんは受話器を赤ちゃんのようにあやします。 ③『トッピーくんとどうぶつえん』トッピーくんが動物園の中を大冒険します。 (文部省選定)
9-226	双子の星	27	幼児 小学生	宮澤賢治のメルヘンの世界を描く作品。天の川にある水晶のお宮で銀笛を吹く双子の星チュンセとボウセ。泉で大ガラス星とサソリ星がけんかをし、共に傷を負います。星たちは夜までに天に昇らなければ海のひとでになります。しかし、サソリ星はひとりで歩けません。小さな2人は重いサソリ星を必死に運びますが、ついには力尽きてしまい…。 (文部省選定・教育映画祭優秀作品賞)
9-227	風の又三郎	30	小・高学年	宮澤賢治原作作品。ある風の強い朝、高田三郎という風変わりな少年が小学校に転校して来ました。村の子供たちはその少年に「風の又三郎」というあだ名をつけました。実際、三郎が何かしでかすと決まると風が吹きました。三郎と村の子供たちが仲良くなった頃、突然、三郎はみんなの前から姿を消しました。それは三郎が村に来た時のように風が強く吹く日でした。 (文部省選定)
9-228	猫の事務所	22	幼児 小学生	宮澤賢治原作作品。猫の歴史と地理を調べる猫の事務所で働くかま猫は、先輩たちにいじめられています。ある日、かま猫は風邪をこじらせ仕事を休みます。病に伏しているかま猫のもとに幼なじみの山猫がやってきて、事務所を辞めろと言いますが、かま猫は聞きません。翌日、事務所に行くとかま猫の机がありません。かま猫の瞳は涙で一杯になり、そして突然…。 (文部省選定)
9-229	だるまちゃん と てんぐちゃん / だるまちゃん と かみなりちゃん (ビデオ有り：9-4)	23	幼児 小・低学年	加古里子(かこさとし)の名作絵本「だるまちゃん」の2つの物語。 ①『だるまちゃん と てんぐちゃん』だるまちゃんは、かっこいいてんぐちゃんのまねをしようとしますが…。 ②『だるまちゃん と かみなりちゃん』だるまちゃんは、雲の上にあるかみなり国に行きます。そこには珍しいものばかりあります。 (文部省選定)
9-230	ババロワさんこんばんは	24	小学生	真夜中、動物専門のハンターにババロワと名の男から「ある猛獣を生け捕りにして欲しい」と電話があった。ハンターがババロワの家を訪れると、今まで見たことのない珍しい動物たちがいた。ババロワは「さあ、世界一危険な動物を捕まえよう」と言い、ハンターは震えながら銃をかまえた…。地球を破壊していく人間の傲慢さ、愚かさをユーモラスなタッチで描く。 (文部省選定)
9-231	ファーザー・クリスマス	30	幼児 小・低学年	クリスマスイブしか働かないと思われているサンタクロース。本当は、子どもたちからのカードの整理や家事でとても忙しい。たまには休息も必要だと思った彼は海外旅行に行くが、先々でサンタであることが分かってしまい落ちつけない。家に帰ると、プレゼントのリクエストカードがたくさん届いていた。その後も次々に届くカードを整理しながら、いよいよクリスマスイブを迎える。
9-232	笠じぞう	15	幼児 小・低学年	昔、ある所に貧しく暮らすおじいさんとおばあさんがいた。明日は正月だというにおもちも買えない。そこで二人で笠を作って、おじいさんが町に売りに行くが一つも売れなかった。しかたなく家へ帰るおじいさんは、途中で雪をかぶって並んでいるお地蔵さんを見つけた。気の毒に思い、持ち帰った笠と自分のしていた笠までお地蔵さんにかぶせて帰った。その夜…。 (文部省特選)
9-233	さいごのおきやくさま	10	幼児 小・低学年	ある山に、ディーゼルカーの止まる駅があった。駅には駅長さん一人しかいなかった。切符切りから掃除まで全部一人でやっていた。駅長さんは、裏山の動物たちととても仲が良かった。そんなある日、とうとう駅が廃止されることになった。動物たちもそのことを知る。その日からそのあたりでは見かけないお客さんが入れ替わり駅を利用するようになった。 (文部省選定)

## 【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-234	あしたぶたの日ぶたじかん	40	幼児 小・低学年	“10円安”こと畠山則安くんが、「ほん」と新聞を書いて神社の掲示板にはり出すと、本当のことを書かれた人たちが怒ってやってきた。うそを書けばだれにも怒られないだろうと思い、うそを書いた「うそ新聞」をはり出すと、うそで書いたはずのチューリップ頭の少女やドーナツ人間が本当に現れてしまう。あしたはぶたの日と書いてはってみると…。  (文部省選定)
9-235	アニメ落語館 馬の田楽 ～文生十八番～	16	小・高学年	桂文生の落語をアニメ化。男が馬にミソを積んで、酒屋に運んできた。主人と話して帰ろうとすると馬がいない。慌ててあたりを探すがどこにもいない。そこに知り合いの虎十郎が通りかかったので、「おらのミソつけた馬、知らねえか？」と尋ねると、酔っ払いの虎十郎は「ミソつけた馬？ハッハッハッ、おらあの年になるまで“馬の田楽”は食べたことがねえ」。  (文部省選定)
9-236	百目のあずきとき	15	幼児 小・低学年	昔、旅人がちょうちんのあかりを頼りに、不安な夜の山道を歩いていた。どこからか、あずきを研ぐ音が聞こえてきたので、呼びかけると音はやんでしまう。気のせいかと思い歩き出すと、また聞こえてくる。家があるのかと、あたりを見回すがどこにもない。ふと足元を見ると、あずきが散乱していたので不思議に思い、手を伸ばすと何と、あずきが立ち上がって逃げ出した。そして…。
9-237	ハムスターのドンパ	10	幼児 小・低学年	タッチちゃんはいつも、ハムスターのドンパを連れて遊びに行く。ある日、タッチちゃんはドンパを置いて遠くへ行ってしまう。ドンパはタッチちゃんを捜しに行き、猫や犬やふくろうに追いかけられる。もう少しで捕まりそうになるが、何とか無事にタッチちゃんのもとへ帰ることができた。災難を自分の力で切り抜けたドンパは、少し強くなった気がしてうれしくなった。  (文部省選定)
9-238	はなさかじいさん	12	幼児 小・低学年	昔、ある所に正直じいさんが住んでいた。ある日、隣のいじわるじいさんにいじめられていた犬を助け、飼うことにした。大切に育てられた犬が、おじいさんを山へ連れていき「ここ掘れワンワン」と言うので、おじいさんが掘ってみると大判・小判がザクザク出てきた。それを聞きたいじわるじいさんは、犬を無理やり山へ連れていき、ほえた所を掘ってみると化け物が出てきた。
9-239	マッチ売りの少女	12	幼児 小・低学年	雪の降る大みそかの晩。みんな楽しそうに、お正月の準備をする中、少女がマッチを売っていた。靴をなくし、足はしもやけど真っ赤にはれていたが、売れ残ったマッチを持って帰るとお父さんにひどく叱られるので帰れない。人通りはなくなり、とうとうひとつも売れなかった。あまりの寒さに、少女はマッチをすった。すると炎の中にストーブやごちそうが現れた。
9-240	ちいさなジャンボ	28	幼児 小・低学年	やなせ・たかし作のミュージカル・アニメーション。子象と少年がつづる愛と感動の物語。平和な小島・紅バラ島に赤い不思議な箱に乗った子象のジャンボと象使いの少年・パルーが流れ着く。島の人々の前でいろいろな曲芸をしてみせるジャンボとパルー。そんなある日、紅バラ島の両隣にある2つの大きな島が戦争を始め、紅バラ島の上空を大砲の弾が飛び交うようになる。
9-241	七夕さま	9	幼児 小・低学年	「僕のお願ひも飾って」と言いながら、姉の笹竹に短冊を結びつけている弟。その仲よし姉弟に、お母さんが七夕にまつわる織姫と彦星の話をしてくれます。
9-242	お月様とうさぎ	10	幼児 小・低学年	秋の十五夜、お月見を楽しむ子どもたちに、お母さんがお話をします。それはうさぎの母子の悲しくも愛情あふれた、お月見にまつわるお話です。
9-243	ランボーのあぶないいたずら	16	幼児 小・低学年	みんなを驚かそうと、立入禁止の立て札に細工したランボーだったが、それが元に戻っていて思わぬ事態に。深く反省したランボーは一念発起。みんなが喜んでくれることを成し遂げようとする。
9-244	かんすけさんとふしぎな自転車	23	小学生	自転車店を営むかんすけさんは、故障で困っている人のためにあちこちを走り回り、みんなからたよりにされています。ある日、自転車をじっとながめている不思議な男の子が店にやってきました。  (文部省選定・教育映像祭優秀作品賞)
9-245	アニメ落語館2 お血脈	16	小・高学年	古今亭志ん輔の落語をアニメ化。信州信濃の善光寺には、額に押しもらうと現世での悪行が帳消しになるという“お血脈の印”があり、おまいりの人が絶えない。極楽に行く人ばかりで地獄は閑古鳥。そこでえんま大王は赤鬼、青鬼と協議の末、石川五右衛門に“お血脈の印”を盗み出すように命じ、善光寺へとむかわせる。さてその結末は…。  (文部省選定)

## 【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-246	よっちゃんの不思議なクレヨン	22	幼児	よっちゃんはおばあちゃんから、描いた絵が本物になるクレヨンをもらいました。うれしくなったよっちゃんは、おいしい物を描いて食べようと思いますが、森の動物たちに全部あげてしまいました。クレヨンは、もう黒と白と茶色しか残っていません…。  (文部省選定)
9-247	森のトントたち クリスマスクリスマス	23	幼児 小学生	12月24日夜、サンタクロースのヨールブックは美しい森と湖の国から人々に見送られ、八頭立のトナカイに乗って夜空に向かい出発します。大きなソリには、世界中の子どもたちに贈るプレゼントがいっぱいです。ニューヨーク、ロンドンと世界中の子どもたちに慈愛のプレゼントを配っていきます。  (文部省選定・文化庁児童優秀映画賞)
9-248	クマのミナクロと公平じいさん	23	小学生	山小屋で炭焼きの仕事をしていた公平じいさんの所に、黒い大きな熊がやってきました。びっくりして追い返してしまいましたが、三年前ワナにかかっていたところを助けてあげたミナクロだと後で気が付きました。のどの下に白いツキノワのない熊だったので、ミナクロと名付けたのです。  (日本動物保護管理協会第7回奨励賞)
9-249	だるまちゃんにとらのこちゃん ／だるまちゃんとうさぎちゃん	28	幼児 小・低学年	加古里子(かこさとし)の名作絵本「だるまちゃん」の2つの物語。  ①『だるまちゃんにとらのこちゃん』土でペンキを作っただるまちゃんは、とらのこちゃんと一緒に色んなものを塗っていき…。  ②『だるまちゃんとうさぎちゃん』雪が積もった冬の日、だるまちゃんとだるまこちゃんは、うさぎちゃんたちと一緒に雪遊び。
9-250	氷河ねずみの毛皮	24	小学生	宮澤賢治原作。吹雪の夜、北の果てのベーリングへ向かう最大特急・夜行列車が走っていました。車内では豪商のタイチが、着ている毛皮の外套を自慢げに見せびらかせています。すると突然、人間の格好をした白熊たちが乗り込みタイチを捕らえてしまいました。  (文部省選定)
9-251	小さなバイキングピッケ ～世界で最初の消防隊～	23	幼児 小学生	フラーク村で山火事が起こりました。ピッケのつくった水道管が威力を発揮し、村に被害はありませんでしたが、今度は風向きが変わり、森の方に火が回り始めました。森には何も知らないギルビーがいるのです。  (アンデルセン賞・西ドイツ児童映画賞・厚生省児童福祉文化奨励賞)
9-252	トイレの花子さん	30	小学生	桜町小学校のトイレで、大介君は鏡の中の女の子から「あそぼ」と話しかけられ、びっくり。次の日、いつもは早く来る大介君があらわれない…。その上、担任のよし子先生もお休み…。全国各地の学校に、様々な形で語り継がれている「トイレの花子さん」のお話がアニメーション映画になりました。
9-254	注文の多い料理店 (DVD有り：9-41)	21	小・中高学年	宮沢賢治の名作童話をアニメーション化。山奥にやってきた2人のハンターが山猫軒という西洋料理店に迷い込み、数々の不思議な出来事に遭遇する。自然の中に無遠慮に踏み込んだ人間が、仕返しを受けるという教訓的なストーリー。
9-255	ゆうかんな十人のきょうだい	20	幼児 小・低学年	横暴でぜいたくな王様の厳しい税の取り立てに苦しむ村人の中に子室に恵まれないピンボウさん夫婦がいました。ある日、仙人から秘薬をもらい、一度に十人の息子が生まれ大喜びです。姿形はそっくりですが、十人はそれぞれ不思議な特徴を持ってました。兄弟たちは知恵と力を合わせて王様をこらしめます…。
9-256	ぼくは王さま	20	幼児 小・低学年	①「おしゃべりなたまごやき」王さまはいたずらが大好き。しかし、二ワトリが逃げ出してお城の中は大騒ぎ。パレないようにしますが…。  ②「王さまタクシー」わがままな王さまは、好きなだけ自動車の運転がしたいと言い出し、タクシー運転手になってお城を飛び出します。どんな運転手になるのでしょうか？
9-257	うしろのせきのオチアイくん ～うしろのせきはコワイ～	23	幼児 小・低学年	歌が苦手なミホちゃんは、学芸会の練習がゆううつ。いつもいじわるする、うしろの席の落合くんはものすごい音痴。2人だけの放課後特訓をはじめましたが…。
9-258	おれたち、ともだち！ ～ともだちや～	13	幼児 小・低学年	原作：内田麟太郎、絵：降矢ななの人気絵本をアニメ化。草むら歩きながら、キツネはまわりの動物たちに「友だち屋です。友だちはいますか？1時間百円です」と呼びかけます。すると、クマには一緒に食事をしようと誘われ、オオカミにはランプの相手をさせられます。そして…。
9-259	からすのパン屋さん	20	幼児 小・低学年	原作：かこさとしの人気絵本をアニメ化。いずみ君が森のからすのパン屋さん。おもしろくて、すてきなパンをどっさり焼きました。すると、町中の子どもたちに大評判になりました。ところが、大人たちも…。

【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-260	ぎろろんやまと10びきのかえる	20	幼児 小・低学年	原作：間所ひさこ、絵：仲川道子の人気絵本をアニメ化。ひょうたん沼に住む10びきのかえるは、とても仲良しでいつも一緒。ところがある日、ハシャギガエルが病気で倒れてしまいました。病気を治すには恐ろしいぎろろんやまの洞窟に生えているシャッキリダケが必要。勇気を振り絞って出発！
9-261	ねずみくんのチョッキ	19	幼児 小・低学年	原作：なかえよしを、絵：上野紀子の人気絵本をアニメ化。ねずみくんをはじめ、子どもたちが大好きな動物が次々に登場するほのぼのストーリー。①「ねずみくんのチョッキ」②「りんごがたべたいねずみくん」③「コップをわったねずみくん」の3話を収録。
9-262	まんがはじめて物語 第274話 月までとどけホームラン！ ナイター 空にチルチル神の水 噴水	23	幼児 小・低学年	『ナイター』 どうして、夜わざわざ電灯をつけて野球をやるの だろう？ナイトゲームを考えついたのはアメリカの球団のオー ナーです。  『噴水』 古代ギリシャの神殿。神への感謝の気持ちとして捧げ た人工の泉が噴水のはじまりです。やがて池から湧き水、噴水へ と進化しました。
9-263	まんがはじめて物語 第276話 3億年!!人間様はおいらの後輩 ごきぶり 全財産指につければもう安心 指輪	23	幼児 小・低学年	『ごきぶり』 3億年前、地球上に誕生したゴキブリ。様々な気 候の変化にもめげず、形を変えないで生き残ってきた、その生命 力の秘密とは？  『指輪』 亡くなった祖先の復活を願い、古代エジプトの国王が ネックレスにつけていた護符をコンパクトにしたものが指輪のは じまりです。
9-264	まんがはじめて物語 第277話 大地をけてって口笛吹いて 自転車 くさい臭いはいらんで一吹き 香水	23	幼児 小・低学年	『自転車』 自転車を発明したのは18世紀フランスの伯爵です。 木馬と呼ばれたこの二輪車はハンドルがついておらず、また、ペ ダルではなく足で地面を蹴って動かしていました。  『香水』 約4000前のエジプトでは、高温で水が少ない気候のた め、香りの良い草木を燃やして、汗の匂いを消す習慣がありました。
9-265	まんがはじめて物語 第278話 おサルもひと風呂いい湯だな! 温泉 蛍もびっくり!丈夫で長持ち けいこう灯	23	幼児 小・低学年	『温泉』 長野県の野沢温泉、佐賀県の武雄温泉、静岡県伊東 温泉などを発見したのは人間ではなかった!?そして、空海や小野 小町が見つけた温泉とは？  『けいこう灯』 奈良時代の絵描きが、あるものを絵の具に混ぜて 暗闇の中で光る牛の絵を描きました。この絵に使われたのが、世 界ではじめて発見された蛍光体でした。
9-266	まんがはじめて物語 第279話 いけにえなんてモオ〜たくさん 家畜・牛 子供の国のなかまたち おもちゃ	23	幼児 小・低学年	『家畜・牛』 太古の昔、牛は最も神に近い聖なる生き物と考え られていました。やがて牛は農耕に使われるようになり、日本では 大和朝廷の時代に牛を大量に飼いはじめました。  『おもちゃ』 中国・漢の時代、兵士が大風に乗って偵察してい るのを見た子どもたちは、おもちゃの風を作りました。やがてこの 風が、平安時代に日本に伝えられました。
9-267	まんがはじめて物語 第280話 おいらの祖先はおサルさん!? 人間	30	幼児 小・低学年	千数百万年前、樹から降りたサルは、やがて直立歩行をするよ うになり、空いた前足で道具を作り、使いこなすようになってい きました。このサルは自分たちだけの住む世界を造ってしようと します。しかし、この作業は多くの代償をとらざるを得ないです。
9-268	まんがはじめて物語第281話 おいらはつらいよ オリの中 動物園 土をやいたらみごとな茶碗 やきもの(せともの)	23	幼児 小・低学年	『動物園』 18世紀オーストリアでは、王妃の動物好きが高じて 宮殿に動物園が造られました。しかし、この動物園と近代以降の 動物園には決定的な違いがありました。  『やきもの』 焼きものはじめでは、古代の山火事でした。や がて中国から朝鮮半島を経て、様々な技術がもたらされ、焼きも のは実用面でも芸術的な側面でも改良されていきました。
9-269	まんがはじめて物語 第282話 黒い石燃えてまっかに大変身! 石炭 モオ〜けっこう文明開化は牛なべて 洋食	23	幼児 小・低学年	『石炭』 石炭は古代ローマ、日本でも発見され、燃料として使 われました。中世イギリスでは有害だとして使用禁止でしたが、 歴史的な事件をきっかけに、なくてはならない資源となりました。  『洋食』 明治時代になり、日本では文明開化の一つとして西洋 料理が奨励され、徐々に肉を食べるようになりました。そして、 のちに豚肉がつかわれるきっかけとなった事件とは？
9-270	まんがはじめて物語 第283話 雨が降っても一二三四…! 体育館 上がり優先車オーライ 登山鉄道	23	幼児 小・低学年	『体育館』 19世紀のスウェーデン・ストックホルム。天候が悪 くても体操ができるようにと、王立体育研究所が建てられたのが 体育館のはじめです。ただ、ドイツにもう一つの説もあって …。  『登山鉄道』 19世紀後半、当時の蒸気機関車は車輪とレールの 摩擦が小さいので、坂の登り降りができませんでした。そこで技 師たちは模型を使って研究を重ねていきました。

【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-271	まんがはじめて物語 第284話 あなたに替ってガンバマース ロボット おでこにはって ポストへバピンチョ! 切手	23	幼児 小・低学年	『ロボット』フランケンシュタインなどに見られるように、ロボットを作ることは大昔から人々の夢でした。ロボット研究のきっかけは、古代ギリシャのヘロンが考えた自動扉だと言われています。 『切手』19世紀前半のイギリス。当時、郵便物の宅配料金は受取人が現金で支払っていました。そこで印刷屋が、郵便にしか使えない特別なお金を作って国が売り出したらどうかと提案しました。
9-272	まんがはじめて物語 第285話 宇宙をかめぐってお茶の間に テレビジョン チンブイブ直るかな 医者	23	幼児 小・低学年	『テレビジョン』19世紀アメリカで、ベルの手により電話が発明されたのをきっかけに、声だけでなく顔も見たいと言う欲求からテレビの研究がはじまりました。 『医者』古代ギリシャでは、病氣は神の与えた罰だと考えられていて、人々は病氣になると医学の神を祭った神殿に行き、神に祈りを捧げました。そこに“医学の父”ヒポクラテスが登場して…。
9-273	まんがはじめて物語 第286話 火事だ水まけそら壊せ! 消防 醬はオイラの祖先ジャン! みそ・しょうゆ	23	幼児 小・低学年	『消防』江戸時代の消防は、建物をこわして火の広がるのを防ぐという方法でした。明治時代になると、イギリスからポンプが輸入され、水による消火作業の時代になりました。 『みそ・しょうゆ』有史以前、人々は山へ魚を運ぶ時、塩漬けにして運んでいました。ある時、魚も塩も溶けてしまいました。舐めてみると美味でした。これが醬(ひしお)のはじまりです。
9-274	まんがはじめて物語 第287話 楽しい給食じつがまんの…?! 学校 感度良好エンジン快調 ラジコン	23	幼児 小・低学年	『学校』古代エジプトやギリシャには、読み書きなどを教える施設がありましたが、貧しい家の子どもはなかなか行けません。そして18世紀に大きな変化が訪れます。 『ラジコン』電波で模型の動きをコントロールできないか、という発想がラジコンを生み出しました。最初は単調な動きしかできませんでしたが、昭和30年代終わりごろ、革命がもたらされます。
9-275	まんがはじめて物語 第288話 こりゃ不思議! 写真が動いた飛び出した! 映画 へのへのもへじは誰の顔 文字	23	幼児 小・低学年	『映画』1870年代アメリカ。カメラを12台並べて撮った連続写真を見るのに使われたゾートロープという円筒形の機材が映写機のルーツです。 『文字』日本の文字の歴史は漢字の輸入にはじまります。やがて漢字の音訓を用いた一字一音の万葉仮名が発明され、これをもとにして平仮名、片仮名ができました。
9-276	まんがはじめて物語 第289話 尻に火がつきゃ宇宙の旅へ ロケット モグタン・八戒のトンだ対決 家畜・豚	23	幼児 小・低学年	『ロケット』ロケットのルーツは中国の火矢という武器です。火薬に火をつけ、その時噴射するガスで飛ばすという原理は、後のロケットと同じものでした。 『家畜・豚』豚の先祖である猪は気の荒い動物でした。そんな猪がどのようにして人々に飼ならされ、豚になっていったのでしょうか?
9-277	まんがはじめて物語 第290話 野を越え山を越えコンニチハ 水道 生兵法はケガのもと 剣道	23	幼児 小・低学年	『水道』古代ローマ帝国では、完備された水道が町中を走っていましたが、帝国の滅亡と共に姿を消します。その後長い間、人々は井戸や川の水を飲み水として利用してきました。 『剣道』室町時代、剣道は兵法(ひょうほう)と呼ばれていました。刀が普及してくると次第に広まり、戦国時代に新陰流の創始者・上泉伊勢守信綱が竹刀を発明しました。
9-278	まんがはじめて物語 第291話 チンチンチンで出発進行 路面電車 タネもシカケもごぞいます 手品	23	幼児 小・低学年	『路面電車』1832年、路面電車のルーツ、レールの上を走る鉄道馬車が登場。そして1859年、アメリカ・シンシナティーでSLが客車を引くことになりましたが、多くの問題が発生して…。 『手品』手品は奈良時代に中国から伝えられました。室町時代には放下師(ほうかし)という芸人が登場し、町から町へ手品を見せて歩いたことで手品が盛んになります。
9-279	まんがはじめて物語 第293話 おとなにとられた子供のおもちゃ パチンコ 犬も歩けば花よりだんご カルタ	23	幼児 小・低学年	『パチンコ』戦後、名古屋で生まれたパチンコ。昭和20年代後半には連発式のものが出ますが、有害だとして禁止になりました。そこで大阪のヤクモノ師(=パチンコの仕掛けを考える人)は…。 『カルタ・トランプ』7世紀の中国では、紙札という現在のトランプのようなもので賭け事をしていました。14世紀にはイタリアへ伝わり、タロットカードとなり、やがてトランプに変化します。
9-280	まんがはじめて物語 第294話 こりゃ不思議箱の中からコンニチハ ラジオ 身長四尺五寸ハイ合格ヨ 成人式	23	幼児 小・低学年	『ラジオ』アメリカに世界初のラジオ局ができ、ラジオは世界各地に広まりました。日本では、役人たちがラジオ放送を取り入れるかどうかでもめていました。ある日、突然、建物が揺れ始めて…。 『成人式』かつて成人式には、子供だった自分は一度死に、大人として新たに生まれ変わるという重要な意味が込められていました。現在、20歳で成人式を迎えることになったルーツとは?

【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-281	まんがはじめて物語 第295話 またがってぶらさがり 1本道をまっしぐら! モノレール ちょんまげ頭にネクタイしめて 洋服	23	幼児 小・低学年	『モノレール』19世紀前半、イギリスのロンドンでモノレールは生まれました。日本では東京オリンピックの年にはじめて交通機関として利用され、これは世界一の規模を誇るものでした。  『洋服』洋服は戦国時代にポルトガルから日本に入ってきました。明治時代になり一般国民に受け入れられませんでした。ところが大正時代、洋服に大きな変化が訪れました。
9-282	まんがはじめて物語 第296話 お馬も大好き栄養満点! ニンジン 汽笛を鳴らして発車オーライ 鉄道の安全	23	幼児 小・低学年	『ニンジン』奈良時代に朝鮮半島から伝わった人参は薬用で、以来約千年間すべて輸入品でした。これは現在“朝鮮人参”と呼ばれています。では、私たちが日々食べている人参はというと?  『鉄道の安全』明治5年、東京で汽車が走り始めました。当時の踏切は、踏切番が扉を開け閉めしていました。また、当初は単線でしたが、正面衝突が起きなかったのはなぜでしょう?
9-283	まんがはじめて物語 第297話 ただちに答える天才坊や コンピュータ 女だって負けないワ 女性第一号	23	幼児 小・低学年	『コンピューター』19世紀にイギリスのパページが、現在のコンピューターと同じ原理を考えました。これが実用化されるのは、20世紀のある大きな事件がきっかけです。  『女性第一号』現代では女性が様々な分野で活躍していますが、そうなるまでには、大変な苦労と努力がありました。明治時代、医者、教師、新聞記者等、多くの女性第一号が誕生しました。
9-284	まんがはじめて物語 第298話 毒イモも工夫ひとつで美容食 こんにやく ピッポッパ10円入れて3分デート 公衆電話	23	幼児 小・低学年	『こんにやく』コンニャク芋は、毒があるので生のままでは食べられず、マンナンという特殊な糖類からできているため、煮たり焼いたりという調理法も通用しません。これを食材に変える方法とは?  『公衆電話』19世紀後半、誰もが気軽に電話がかけられるようにと、アメリカ、ついでイギリスで公衆電話が作られました。当初、料金は窓口でその都度直接払っていましたが…。
9-285	まんがはじめて物語 第299話 モグラに負けるな 地下にもぐった電車 地下鉄 命まもります波の花 塩	23	幼児 小・低学年	『地下鉄』1863年、ロンドン市内に世界ではじめて地下鉄が走りました。この頃蒸気機関車だった地下鉄は、電気式になり、やがて電車型となって、1929年に日本にも導入されました。  『塩』人間が塩を使い始めたのは五千年ほど前のことで、当時は岩塩が見つげにくかったため、塩は貴重品でした。岩塩のほとんど採れない日本ではどうしたのでしょうか?
9-286	まんがはじめて物語 第300話 貝で買います買い物じょうず お金 黒い紙パリッと食べて磯の味 海苔	23	幼児 小・低学年	『お金』大昔、人々は自分の獲った物と他の欲しい物を交換していましたが、色々と不便でした。そこで、長持ちで、誰もが欲しがり、持ち運びに便利なものはないかと考えました。  『海苔』日本では昔から海藻は大切な食料で、中でも海苔は貴重でした。江戸時代には浅草海苔が名物となりますが、あるものがヒントになって、現在のような四角形になりました。
9-287	まんがはじめて物語 第301話 事件だ!ニュースだ!特ダネだ! 新聞 モグタン白酒飲んで二日酔い 桃の節句	23	幼児 小・低学年	『新聞』新聞は15世紀ドイツで、活字印刷機の発明と共に生まれました。日本では江戸時代にかわら版が作られ、面白おかしいニュースが人々に受けていました。  『桃の節句』桃の節句はなぜ3月3日なのでしょう?またなぜ桃の花なのでしょう?そこには、古代中国の悲しい物語と人々の切実な願いが込められていました。
9-288	まんがはじめて物語 第302話 燃えてみせればこりゃ便利 ガス ヤギさんのお弁当 紙	23	幼児 小・低学年	『ガス』18世紀イギリスで、マードックが石炭ガスを使った照明を発明しました。それまでの石油ランプより明るく、油煙も出ないので評判となり、やがて日本にも入ってきました。  『紙』古代中国では、皇帝が絹の布に文字を書いていた。しかし、当時絹は貴重品だったので、絹の代りになる物を発明するよう部下に命じました。
9-289	まんがはじめて物語 第303話 海の外住めば都か天国か 海外移住 お内裏さまはキューピーさん 人形	23	幼児 小・低学年	『海外移住』慶応4年5月、戊辰戦争で土地を失った人や仕事を無くした人が、アメリカのウェンリッドが募集したハワイ移住に参加しました。これが、日本のハワイ移住第一陣と言われています。  『人形』人形は昔から人間の身代わりでした。時代と共に様々な変化しつつ、どこの国の人形もその国のお国柄を物語っています。では、フランス人形はどのような目的で作られたのでしょうか?
9-290	まんがはじめて物語 第304話 風船フワフワ空の旅 気球 なんでもくつつく鉄ちゃんやーい 磁石	23	幼児 小・低学年	『気球』フランスのモンゴルフィエ兄弟は、大きな紙の風船に煙を送り込み空へ飛ばしました。一方、物理学者のシャルルは空気よりも軽い気体を使って気球を打ち上げました。  『磁石』磁石は当初、魂や魔力を持った不思議な石として占いに使われました。そして南北を指すことを利用して羅針盤が作られました。磁石の針が常に北を指すその理由とは?

【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-291	まんがはじめて物語 第305話 染めてみせればマムシもびっくり! 染物 山こえ野こえ鉄の道 鉄道網	23	幼児 小・低学年	『染物』染物のはじめての一般的な説は、着ている物を美しく飾りたいという欲求から始められたとする説です。また、マムシよけにマムシが苦手な藍の葉を衣に摺りつけたという説もあります。 『鉄道網』明治5年、新橋～横浜間に日本で初めての鉄道が開通しました。その後、東西を結ぶ東海道線が完成すると、支線が次々に作られました。ではその第一号は？
9-292	ちびねこコビとおともだち	20	幼児 小・低学年	まつ子のコビはけんかが大好きで、いつもいたずらばかり。ところがある日、宅急便の箱に飛び込んだコビはそのまま見知らぬ町に運ばれ、迷子になってしまいます。そんな時コビを助けて友達になってくれたのは、優しくて大きなイヌちゃん。コビはお家に帰れるのでしょうか？大人気絵本のアニメーション。
9-293	ぞくぞく村のおバケたち 雨ぼうずピッチャン	20	幼児 小・低学年	雨ぼうずのピッチャンは、いたずらが大好き。久しぶりに大暴れしたくなったピッチャンは、相棒のくもすけとぞくぞく村でいたずら三昧。ところが、怒った魔女のおバタンやグー・スー・ピーが、ピッチャンの頭のアンテナをオンプオバケガムで封じてしまいピッチャン大ピンチ！大人気絵本のアニメーション。
9-294	じごくのそうべえ	16	幼児 小・低学年	綱渡りの最中に、うっかり落ちて死んでしまった軽業師のそうべえ。あの世への道の途中で山伏、歯抜き師、医者に出会い、一緒に三途の川を渡ります。地獄の責め苦が次々と4人を襲いますが、あの手この手でピンチを切り抜けます。はたしてそうべえたちの運命はいかに？大人気絵本のアニメーション。
9-296	やさしいオオカミ	15	幼児 小・低学年	紅葉が美しい秋の森。臆病で気の弱いオオカミは、仲間にいじめられてひとりぼっち。森の動物たちからは牙のないオオカミ『キバナシ』と呼ばれ、バカにされていました。ある日、ウサギのミミがタカにさらわれてしまいます。「誰かミミを助けて！」。兄ウサギが、がっくりとひざを落としたその時、横を駆け抜ける影がありました。
9-297	おれたち、ともだち！ あしたともだち	13	幼児 小・低学年	キツネとオオカミはともだちどうし。だけど最近、オオカミが変なのです。なんだか、キツネをさけてるみたい。「どうしたの？オオカミさん。ぼくたち、ずっとともだちだよね!？」。心配になったキツネがこっそりオオカミの後をつけてみると…。大人気絵本のアニメーション。
9-298	ぞくぞく村のおバケたち ミイラのラムさん	27	幼児 小・低学年	ミイラのラムさんは、お風呂に入るのが大好き。ただ、包帯をほどいたら最後、こんがらがったり、からまつたりで大変です！そんなとき、奥さんのマミさんが太って、包帯が足りなくなってしまいました。ラムさんはマミさんのために、新しい包帯を買いに町へ出かけますが…。
9-299	おれたち、ともだち！ ごめんねともだち	13	幼児 小・低学年	雨の日、オオカミとキツネはゲームをしていました。ダーツやけん玉、トランプも、なぜかこの日はキツネが大活躍。「おれがこんなに負けるなんて、インチキだ！」面白くないオオカミは、キツネとはじめての大げんか。二人とも仲直りがしたいのに、お互いの顔を見るとあの言葉がなかなか言えないのです。たった一言「ごめんね」って…。
9-300	1ねん1くみ 1ばんげんき	12	幼児 小・低学年	こじま君の家で誕生日パーティーをすることになりましたが、くろさわ君は誰にも誘われません。パーティーの当日、みんながケーキを食べようとすると、くろさわ君が現れて、ケーキをがつついて食べていきました。それから数日後の雨の日、みんなで道を歩いていると、車に泥をかけられてしまいます。くろさわ君は怒って追いかけていきました。
9-301	おおきななぶ	21	幼児 小・低学年	おじいさんが、甘い大きななぶを作ろうとかぶを植えました。すると、とても大きななぶができて、おじいさんが抜こうとしても、びくともしません。おじいさんがおばあさんと呼んできて、おばあさんは孫を呼んできて、孫は犬を呼んできて…。有名なロシア民話を、佐藤忠良のキャラクターデザインによりアニメ化。(文部省選定)
9-302	おじいちゃんはぼくのヒーロー	10	幼児 小・低学年	ヒーローにあこがれている武くん。敬老の日を前に、幼稚園でおじいちゃん、おばあちゃんの絵を描く時もテレビのヒーローを描きはじめ、先生を困らせてしまいます。その帰り道、川で釣りをしている祖父を見つけた武くんは、周りの自然のことや天気の前想のしかたを教わって、「おじいちゃんがぼくのヒーローだ」と幼稚園で描いた絵を差し出すのでした。年中行事シリーズ「敬老の日」

## 【アニメーション】

No.	作品名	時間 (分)	対象	内容
9-303	サンタさんは大いそがし	12	幼児 小・低学年	またクリスマスの日がやってきます。サンタさんと森の妖精たちは、世界中の子どもたちのためにプレゼントの木を育てます。夏の暑い日も、冬の寒い日も、それはそれは大いそがし。プレゼントの木には実が実り、トナカイも元気いっぱい！ソリにたくさんのプレゼントを積み込んで、さあ出発です。（教育映像最優秀作品賞）
9-304	セロひきのゴーシュ (セルアニメーション)	20	幼児 小・低学年	ある町の小さな楽団でセロを弾くゴーシュは、いつも楽長にしかられています。毎晩家で練習を続けるゴーシュのところに、いろんな動物がやってきて…。宮沢賢治原作のアニメーション。